



SDGs 未来都市
豊島区

協働のまちづくりに関する 区民意識調査 報告書

令和7年3月
(令和6年11月実施)

豊 島 区

I 調査の概要

1. 調査の目的	3
2. 調査の設計	3
3. 調査内容	3
4. 回収結果	3
5. 報告書を見る際の注意事項	3
6. 回答者の基本属性	4

II 調査結果

第1章 豊島区の印象について	13
1. 住み心地	13
(1) 住み心地〔問1〕	13
(2) 住み心地の変化〔問2〕	16
(3) 住み心地の変化の理由〔問2-1〕	19
2. 居住の経緯	22
(1) 居住の経緯〔問3〕	22
(2) 転入にあたり豊島区以外の区市町村でも住まいを探したか〔問3-1〕	24
(3) 豊島区を選んだ理由〔問3-2〕	27
3. 定住意向	31
(1) 定住意向〔問4〕	31
(2) 住み続けたい理由〔問4-1〕	34
(3) 転居せざるをえない、転居したい理由〔問4-2〕	38
4. 地域への愛着	41
(1) 地域への愛着〔問5〕	41
(2) 豊島区に住んでいることを誇りに感じるか〔問6〕	44
第2章 地域の生活環境について	49
<<設問設定の考え方>>	49
1. 目指すべき生活環境に対する「現在の評価」〔問7〕	52
(1) 地域と共に支えあう安全・安心なまち	52
(2) 子育てしやすく、子ども・若者が自分らしく成長できるまち	53
(3) 生涯にわたり健康で、地域で共に暮らせる福祉のまち	54
(4) 豊かな心と活発な交流を育む多彩な文化のまち	55
(5) 活気とにぎわいを生み出す産業と観光のまち	56
(6) 共につくる地球にも人にもやさしいまち	57
(7) 誰もが居心地の良い歩きたくなるまち	58

目次

2. 目指すべき生活環境に対する「今後の優先度」〔問7〕	60
（1）地域と共に支えあう安全・安心なまち	60
（2）子育てしやすく、子ども・若者が自分らしく成長できるまち	61
（3）生涯にわたり健康で、地域で共に暮らせる福祉のまち	62
（4）豊かな心と活発な交流を育む多彩な文化のまち	63
（5）活気とにぎわいを生み出す産業と観光のまち	64
（6）共につくる地球にも人にもやさしいまち	65
（7）誰もが居心地の良い歩きたくなるまち	66
3. 「現在の評価」と「今後の優先度」をクロスさせた総合分析〔問7〕	67
（1）地域と共に支えあう安全・安心なまち	68
（2）子育てしやすく、子ども・若者が自分らしく成長できるまち	70
（3）生涯にわたり健康で、地域で共に暮らせる福祉のまち	73
（4）豊かな心と活発な交流を育む多彩な文化のまち	76
（5）活気とにぎわいを生み出す産業と観光のまち	78
（6）共につくる地球にも人にもやさしいまち	80
（7）誰もが居心地の良い歩きたくなるまち	82
4. 総合分析の経年比較〔問7〕	84
（1）地域と共に支えあう安全・安心なまち	84
（2）子育てしやすく、子ども・若者が自分らしく成長できるまち	85
（3）生涯にわたり健康で、地域で共に暮らせる福祉のまち	86
（4）豊かな心と活発な交流を育む多彩な文化のまち	87
（5）活気とにぎわいを生み出す産業と観光のまち	88
（6）共につくる地球にも人にもやさしいまち	89
（7）誰もが居心地の良い歩きたくなるまち	90
第3章 区の情報・区の政策等について	93
1. 区の情報・区政への参加について	93
（1）区に関する情報の入手方法〔問8〕	93
（2）区政情報が伝わっていると思うか〔問9〕	96
（3）区政情報が伝わっていないと思う理由〔問9-1〕	98
（4）区政への関心〔問10〕	99
（5）区の政策に区民の意見が反映されているか〔問11〕	101
（6）区に意見を述べる機会や手段、方法に対する満足度〔問12〕	103
（7）あればよいと思う区に意見を述べる機会や手段、方法〔問12-1〕	105
（8）柔軟な区政運営ができているか〔問13〕	106

2. 地域との関わりについて	108
(1) 地域のために何か役立ちたいか〔問 14〕	108
(2) 町会、自治会などの地域活動への参加状況〔問 15〕	110
3. 人権が尊重された多様性のある社会について	112
(1) 人権事業において特に力を入れるべきこと〔問 16〕	112
(2) ジェンダー平等社会を目指すための区の実施〔問 17〕	113
(3) 「多文化共生のまちづくり」のために区が力を入れるべきこと〔問 18〕	114
4. 区政全般への要望	118
(1) 現在、区が力を入れていると思う施策〔問 19〕	118
(2) 特に力を入れてほしいと思う施策〔問 19〕	122
(3) 一番力を入れてほしいと思う施策〔問 19-1〕	126
(4) 総合分析〔問 19〕	131
5. 自由意見	132
Ⅲ 調査票	135

I 調査の概要

I 調査の概要

1. 調査の目的

この調査は、多様な主体との協働によるまちづくりを推進するにあたり、地域の生活環境や身近なまちづくりへの参加・協働のあり方等について、区民の意見や要望を把握し、基本計画が設定する成果指標・重点施策の確認とともに、これからの行政サービスのあり方の検討等に資するための基礎資料とすることを目的とする。

2. 調査の設計

- (1) 調査区域 豊島区全域
- (2) 調査対象 区内に2年以上在住する18歳以上の区民
- (3) 標本数 5,000人
- (4) 抽出方法 住民基本台帳から区内を5地域に分割し、各地域より1,000人を無作為抽出
- (5) 調査方法 自記式調査票による郵送配布・郵送回収又はインターネット回答
- (6) 調査時期 令和6年11月20日(水)～12月9日(月)
- (7) 調査機関 一般社団法人輿論科学協会

3. 調査内容

- (1) 豊島区の印象について
- (2) 地域の生活環境の評価と今後の優先度について
- (3) 区の情報・区の政策等について
- (4) 区政全般への要望
- (5) 調査対象者の基本属性について

4. 回収結果

発送数	回収数	回収率
5,000件	1,675件 (郵送：1,138件 / インターネット：537件)	33.5%

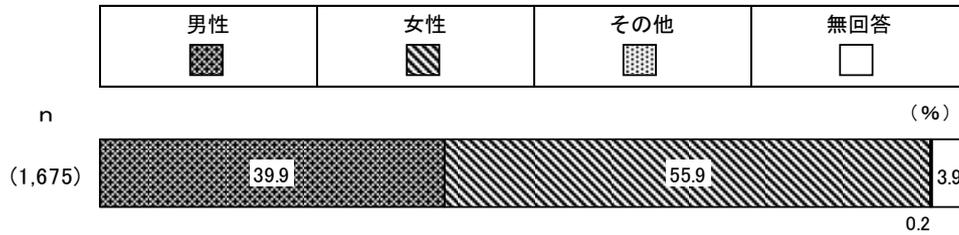
5. 報告書を見る際の注意事項

- (1) 図表中の「n」は、設問への回答者数を示している。
- (2) 回答は百分率で算出している。小数点以下第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が全体の示す数値と一致しないことがある。なお、回答者を絞った設問では、設問該当者を100%としている。
- (3) 複数選択ができる設問では、設問該当者を基数として比率を算出している。したがって、回答者比率の合計が100%を超えることがある。
- (4) 選択肢の語句が長い場合、本文や図表中において簡略化した表現を用いている場合がある。
- (5) 回答者数が小さいものについては、比率が動きやすく分析には適さないため、参考として示すにとどめる。

6. 回答者の基本属性

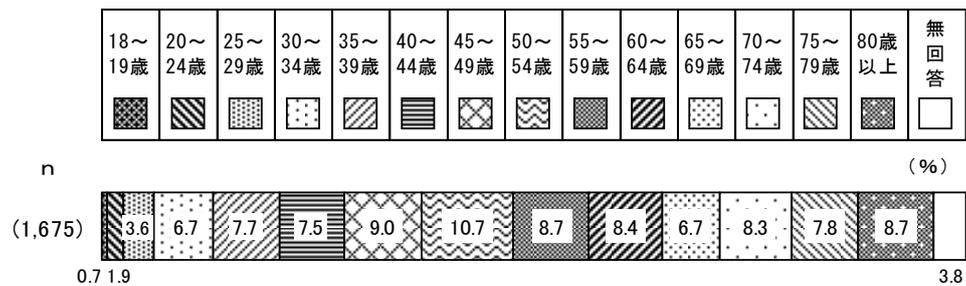
(1) 性別（自認する性）

「女性」(55.9%) が5割半ば、「男性」(39.9%) が約4割となっている。



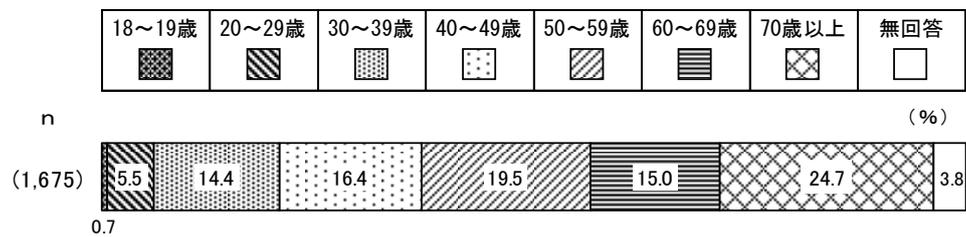
(2) 年齢

「50～54歳」(10.7%) が1割を超え、「45～49歳」(9.0%) が1割近くとなっている。



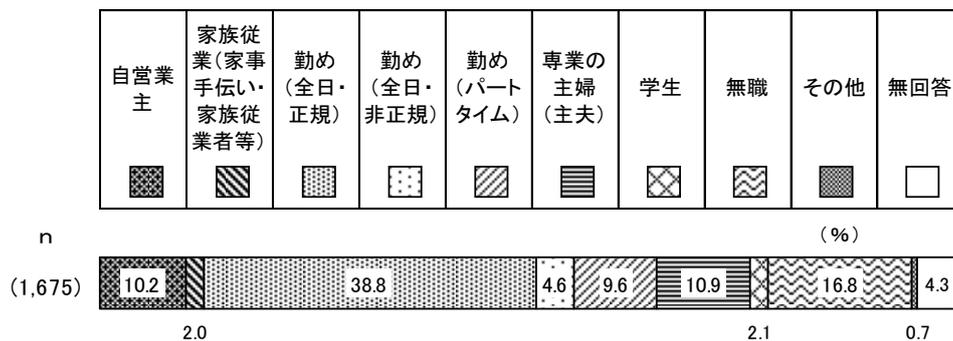
【10歳区分】

「70歳以上」(24.7%) が2割を超え、「50～59歳」(19.5%) が約2割となっている。



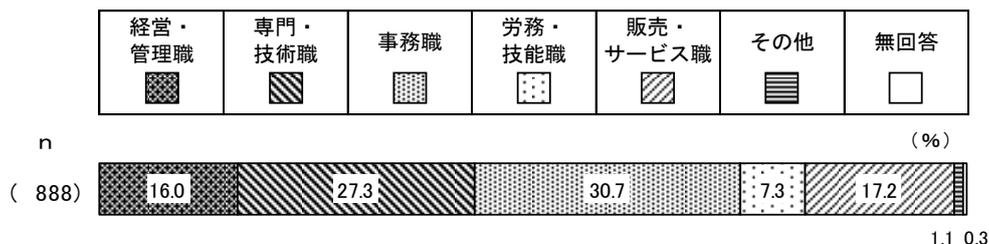
(3) 職業

「勤め（全日・正規）」(38.8%) が4割近くで最も高く、次いで「無職」(16.8%)、「専業の主婦（主夫）」(10.9%)、「自営業主」(10.2%)、「勤め（パートタイム）」(9.6%) となっている。



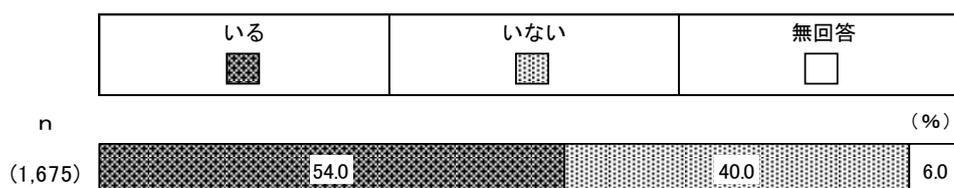
(4) 仕事内容

職業で勤めと答えた方の仕事内容は、「事務職」(30.7%) が3割を超えて最も高く、次いで「専門・技術職」(27.3%)、「販売・サービス職」(17.2%)、「経営・管理職」(16.0%)、「労務・技能職」(7.3%) となっている。



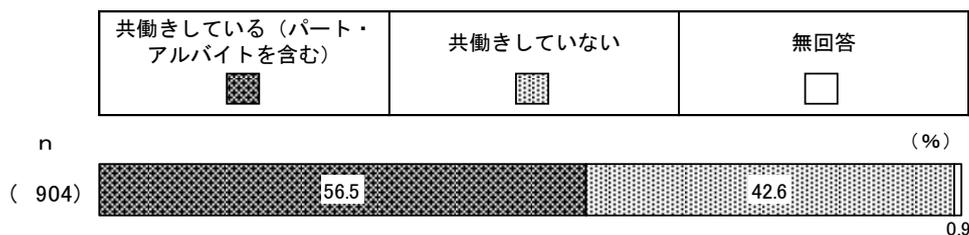
(5) 配偶者の有無

「いる」(54.0%) が5割半ば、「いない」(40.0%) が4割となっている。



(6) 共働きの有無

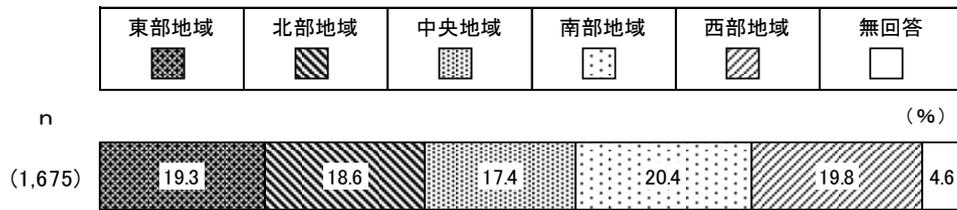
「共働きしている（パート・アルバイトを含む）」(56.5%) が6割近く、「共働きしていない」(42.6%) が4割超となっている。



I 調査の概要

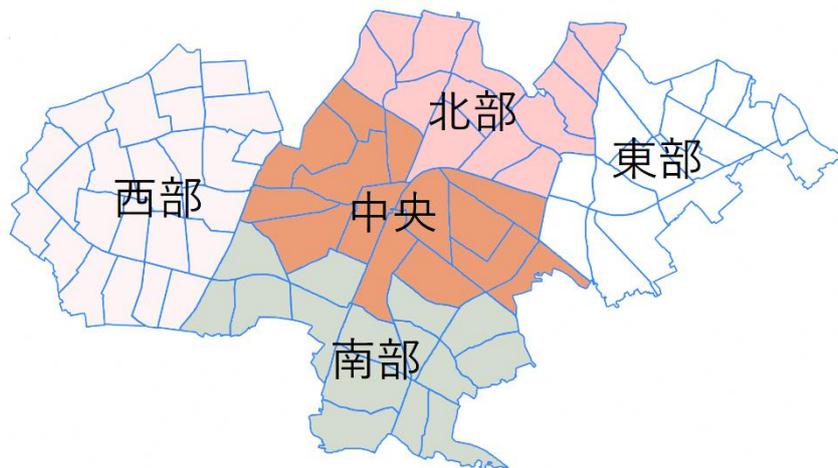
(7) 居住地域

「東部地域」(19.3%)、「北部地域」(18.6%)、「南部地域」(20.4%)、「西部地域」(19.8%)が2割前後となっている。



注) 5地区の町丁構成

- 東部地域 (駒込、巣鴨、北大塚1・2丁目、南大塚)
- 北部地域 (西巣鴨、北大塚3丁目、上池袋、池袋本町)
- 中央地域 (東池袋、南池袋1・2丁目、西池袋1・3・5丁目、池袋)
- 南部地域 (南池袋3・4丁目、西池袋2・4丁目、雑司が谷、高田、目白)
- 西部地域 (南長崎、長崎、千早、要町、高松、千川)



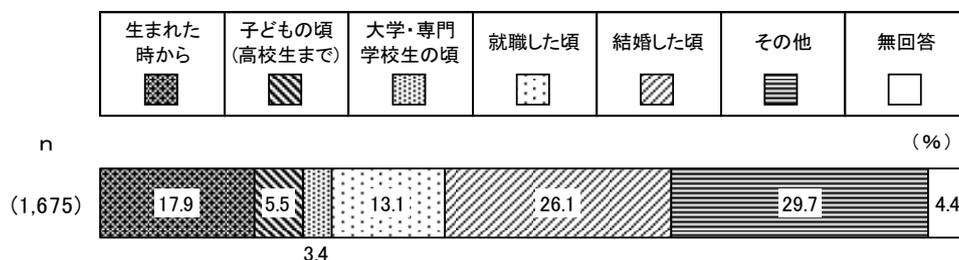
(8) 居住年数

「20年以上」(47.9%)が5割近くで最も高く、次いで「5年以上～10年未満」(13.6%)、「10年以上～15年未満」(12.4%)となっている。



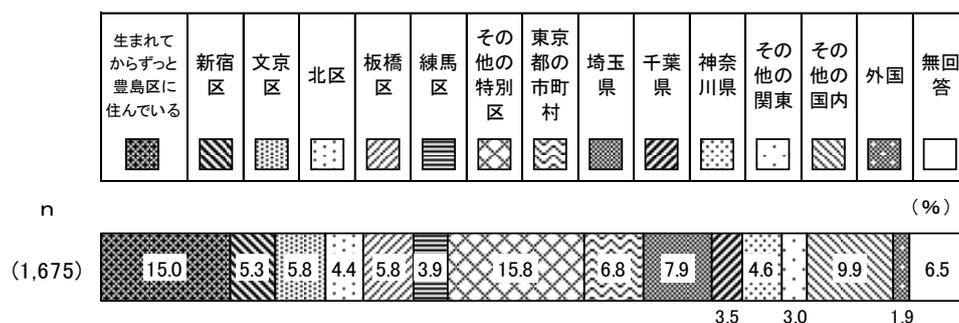
(9) 豊島区に住み始めた時期

「結婚した頃」(26.1%)が2割半ばで最も高く、次いで「生まれた時から」(17.9%)、「就職した頃」(13.1%)となっている。また、「その他」の回答として、「転勤」、「転職」、「住宅購入」、「子どもの出産や進学」などが多くあげられている。



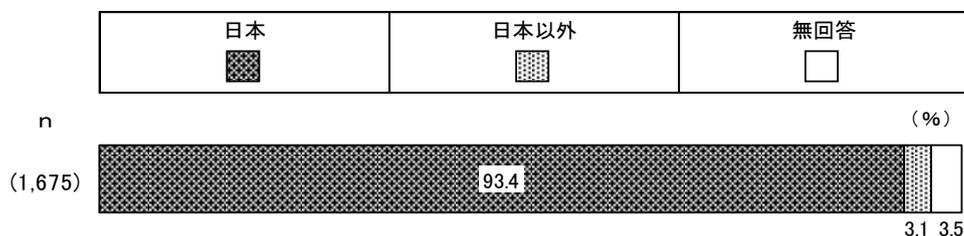
(10) 豊島区に住む前に住んでいた地域

「その他の特別区」(15.8%)と「生まれてからずっと豊島区に住んでいる」(15.0%)が1割半ば、「その他の国内」(9.9%)が約1割となっている。



(11) 国籍

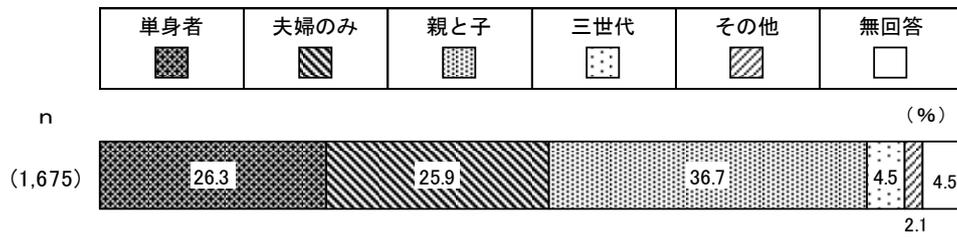
「日本」(93.4%)が9割を超え、「日本以外」(3.1%)はわずかとなっている。



I 調査の概要

(12) 世帯構成

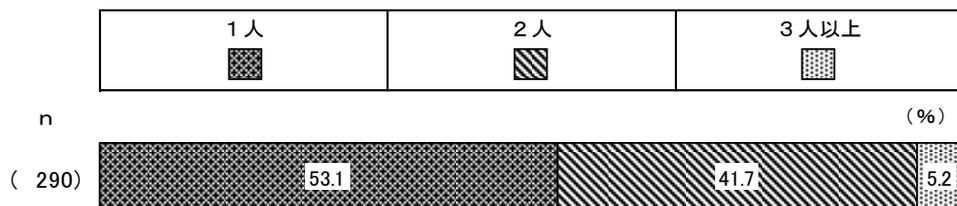
「親と子」(36.7%) が4割近くで最も高く、次いで「単身者」(26.3%)、「夫婦のみ」(25.9%)、「三世代」(4.5%) となっている。



(13) 中学生以下の子どもの有無

世帯構成を「親と子」「三世代」と答えた回答者 689 名のうち、「中学生以下の子どもがいる」と回答したのは 290 名 (42.1%) で4割を超えている。

- ① 「中学生以下の子どもがいる場合の、子どもの数は、「1人」(53.1%) が5割を超えて最も高く、次いで「2人」(41.7%)、「3人以上」(5.2%) となっている。



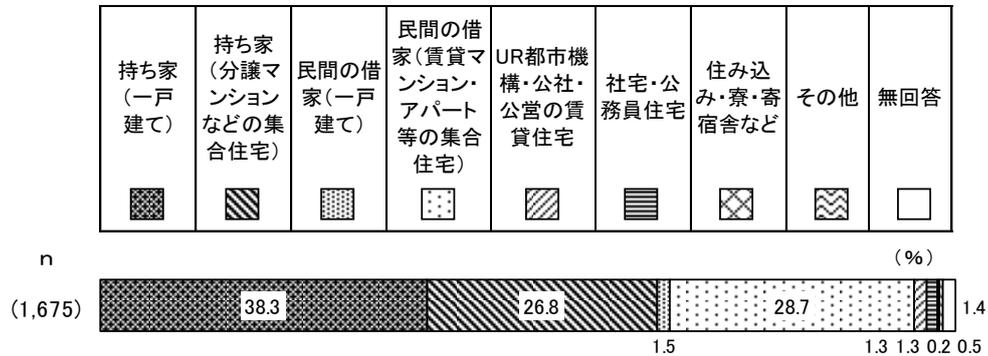
- ② 子どもの年齢別にみた回答者 (n) の数

n	就学前	小学生	中学生
290	145	138	78

※子どもが2人以上の場合があるため、就学前・小学生・中学生の合計は290を超える

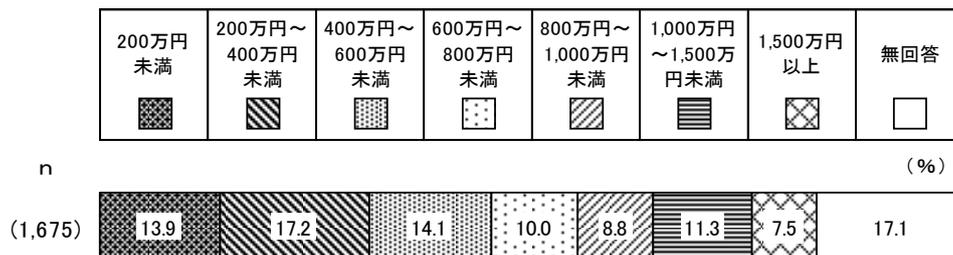
(14) 住まい形態

「持ち家（一戸建て）」（38.3%）が4割近くで最も高く、次いで「民間の借家（賃貸マンション・アパート等の集合住宅）」（28.7%）、「持ち家（分譲マンションなどの集合住宅）」（26.8%）となっている。



(15) 世帯年収

「200万円～400万円未満」（17.2%）が2割近くで最も高く、次いで「400万円～600万円未満」（14.1%）、「200万円未満」（13.9%）となっている。



I 調査の概要

《今回調査と過去調査（令和5年度、令和4年度、令和3年度）の回答者の基本属性比較》

(%)

		令和6年度 調査（今回） (n=1,675)	令和5年度 調査（前回） (n=1,758)	令和4年度 調査（前々回） (n=1,884)	令和3年度 調査（3回前） (n=2,009)
①性別	男性	39.9	40.2	40.9	40.7
	女性	55.9	55.0	56.7	56.5
	その他	0.2	0.2	0.2	0.2
	無回答	3.9	4.6	2.3	2.6
②年齢	18～19歳	0.7	0.7	0.7	0.6
	20～29歳	5.5	5.3	5.9	5.9
	30～39歳	14.4	12.1	12.6	14.6
	40～49歳	16.4	19.0	19.8	17.9
	50～59歳	19.5	21.6	19.3	18.8
	60～69歳	15.0	16.0	16.1	17.3
	70歳以上	24.7	20.8	23.4	22.6
	無回答	3.8	4.4	2.2	2.2
③職業	自営業（家族従業含む）	12.2	10.6	13.4	11.9
	勤め（全日・正規）	38.8	38.4	34.7	37.2
	勤め（全日・非正規）	4.6	5.5	5.1	6.1
	勤め（パートタイム）	9.6	8.8	12.0	10.9
	専業の主婦（主夫）	10.9	10.5	10.6	12.0
	学生	2.1	1.9	2.1	2.1
	無職	16.8	16.8	18.0	15.6
	その他	0.7	2.4	1.6	1.5
④居住年数	無回答	4.3	5.2	2.6	2.7
	2年以上～3年未満	4.5	4.4	4.1	4.5
	3年以上～5年未満	8.9	7.1	6.6	7.6
	5年以上～10年未満	13.6	14.7	15.0	14.4
	10年以上～15年未満	12.4	12.0	12.5	12.2
	15年以上～20年未満	9.3	10.7	8.8	9.4
	20年以上	47.9	46.4	51.0	49.6
	無回答	3.5	4.7	2.0	2.3
⑤居住歴	ずっと住んでいる（一時的に豊島区を離れた人も含む）	24.7	24.2	27.0	25.1
	他の地域からきた	74.0	75.6	72.7	73.9
	無回答	1.3	0.2	0.4	1.0
⑥居住地域	東部地域	19.3	19.6	20.0	20.2
	北部地域	18.6	19.2	18.6	18.9
	中央地域	17.4	15.9	18.0	17.7
	南部地域	20.4	20.9	20.5	19.8
	西部地域	19.8	19.6	20.0	20.4
	無回答	4.6	4.9	3.0	3.0
⑦国籍	日本	93.4	95.0	97.6	96.3
	日本以外	3.1	1.9	1.8	2.9
⑧世帯構成	単身者	26.3	27.2	23.4	22.9
	夫婦のみ	25.9	23.1	25.6	25.9
	親と子	36.7	38.2	42.3	42.2
	三世帯	4.5	5.1	5.3	5.3
	その他	2.1	2.6	1.6	2.2
	無回答	4.5	3.8	1.8	1.5
⑨中学生以下の子どもの有無	いない	56.3	56.3	56.7	55.3
	1人	22.4	23.6	23.1	22.3
	2人	17.6	15.9	13.5	15.9
	3人以上	2.2	2.1	3.7	3.2
	無回答	2.1	2.1	3.0	3.2
⑩住まい形態	一戸建て	39.8	36.9	38.1	38.8
	集合住宅（分譲）	26.8	26.5	26.0	24.9
	集合住宅（賃貸）	30.0	29.2	30.7	31.4
	社宅・官舎、寮	1.5	1.2	1.6	1.3
	その他	0.5	2.0	2.2	2.0
	無回答	1.4	4.2	1.4	1.6
⑪世帯年収	200万円未満	13.9	15.9	13.9	13.4
	200万円～400万円未満	17.2	14.7	19.1	20.9
	400万円～600万円未満	14.1	12.6	13.5	12.9
	600万円～800万円未満	10.0	8.4	8.2	9.8
	800万円～1,000万円未満	8.8	9.2	7.7	8.5
	1,000万円～1,500万円未満	11.3	10.8	11.3	10.2
	1,500万円以上	7.5	8.4	7.8	7.5
	無回答	17.1	20.0	18.6	16.9

注) ③職業、⑨中学生以下の子どもの有無、⑩住まい形態は、過去の調査項目に合わせ編成し直している

注) ⑨中学生以下の子どもの有無は、⑧世帯構成で「親と子」「三世帯」に回答した人のみが回答。

(該当する回答者数は、令和6年度が689人、令和5年度が762人、令和4年度が897人、令和3年度が955人)

Ⅱ 調査結果

第1章 豊島区の印象について

Ⅱ 調査結果

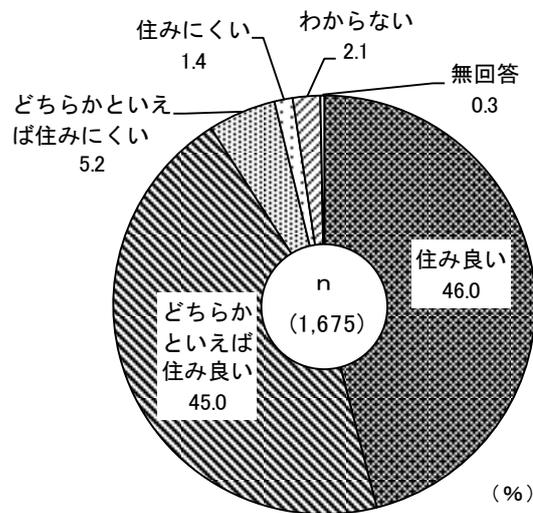
第1章 豊島区の印象について

1. 住み心地

(1) 住み心地

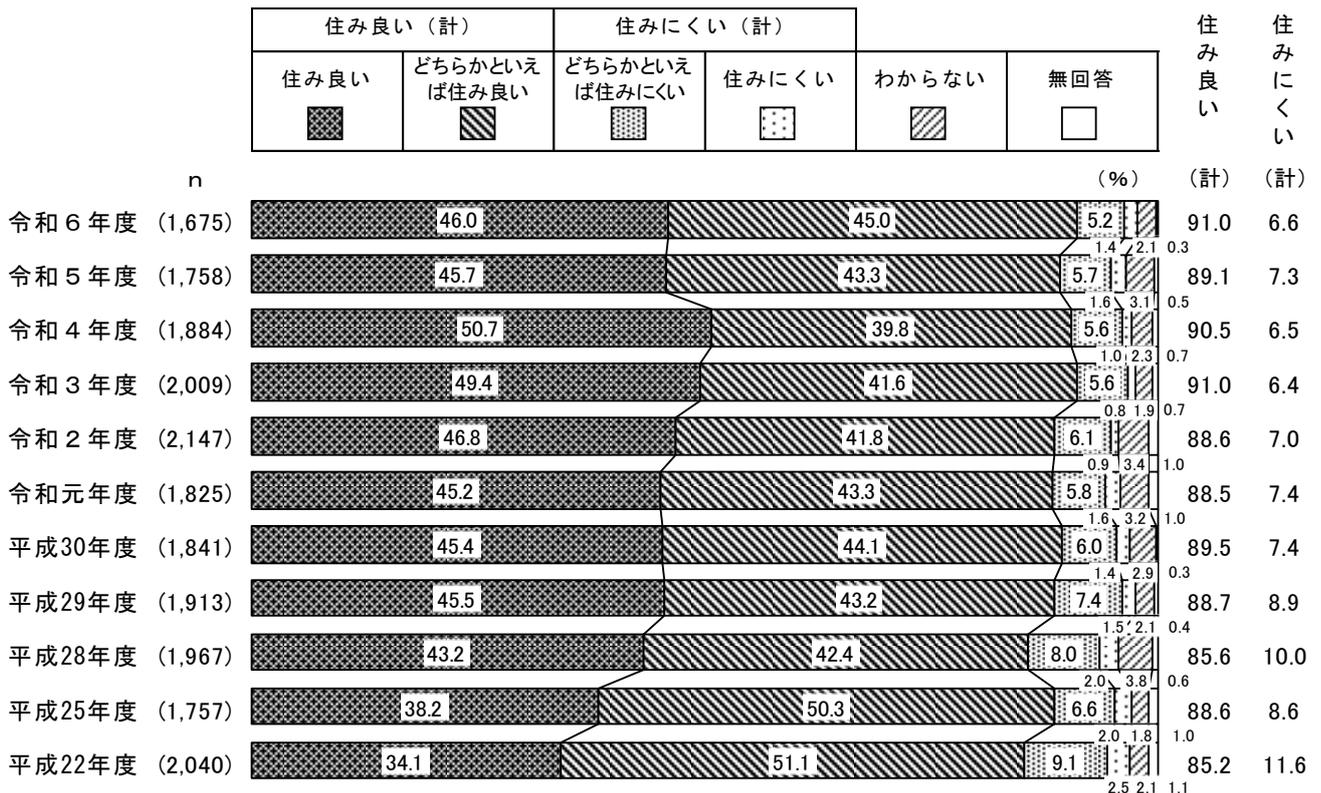
問1 あなたにとって現在お住まいの地域の住み心地ごちはどうか。(1つに○)

豊島区の住み心地を聞いたところ、「住み良い」(46.0%)と「どちらかといえば住み良い」(45.0%)を合わせた『住み良い(計)』(91.0%)は9割超となっている。一方、「どちらかといえば住みにくい」(5.2%)と「住みにくい」(1.4%)を合わせた『住みにくい(計)』(6.6%)は1割近くとなっている。



【経年比較】

過去の調査結果と比較すると、『住み良い(計)』は今年度で9割台に持ち直している。

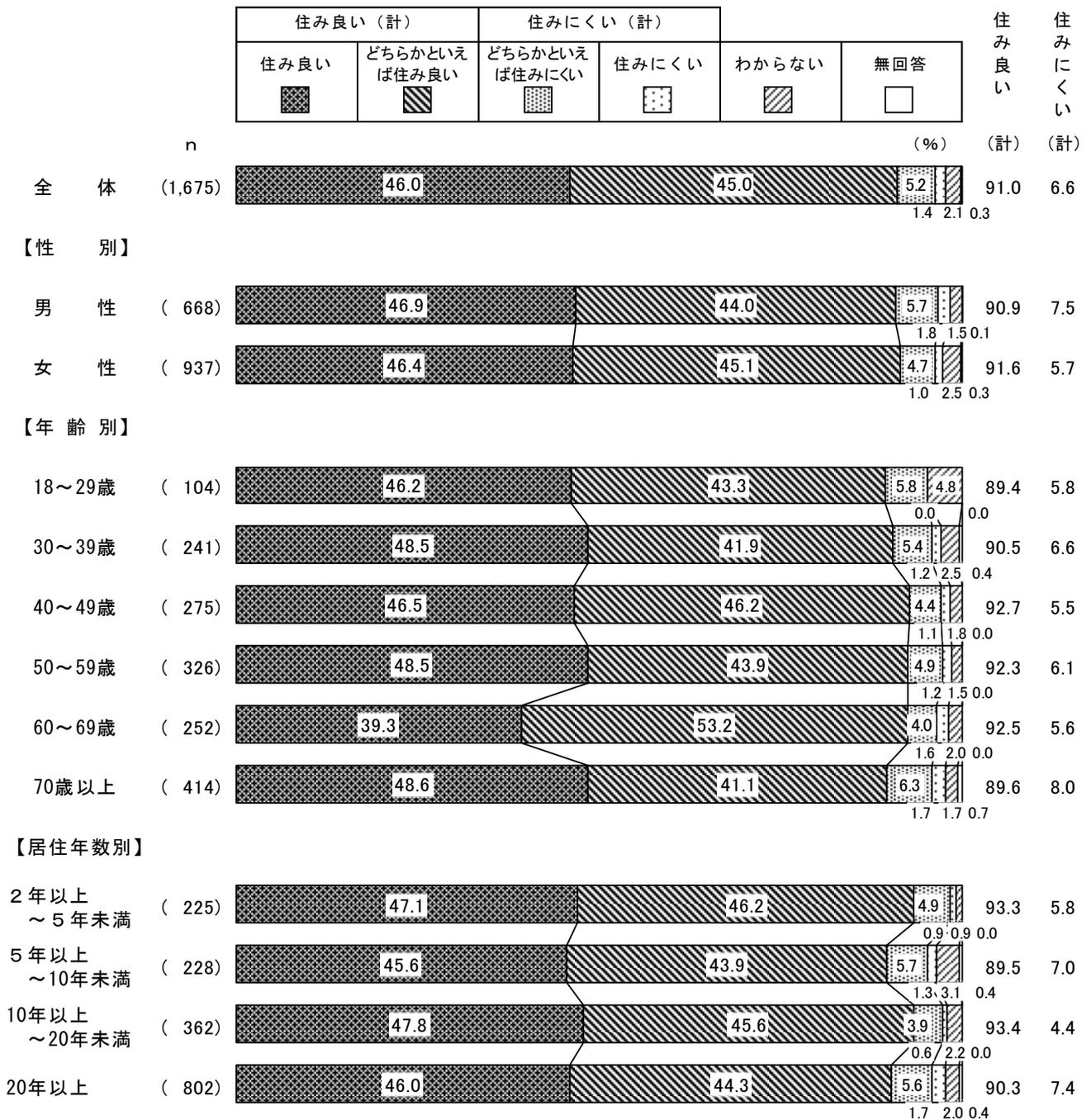


【性別、年齢別、居住年数別】

性別でみると、大きな違いはみられない。

年齢別でみると、『住み良い(計)』は30～39歳(90.5%)、40～49歳(92.7%)、60～69歳(92.5%)、50～59歳(92.3%)で9割を超えている。

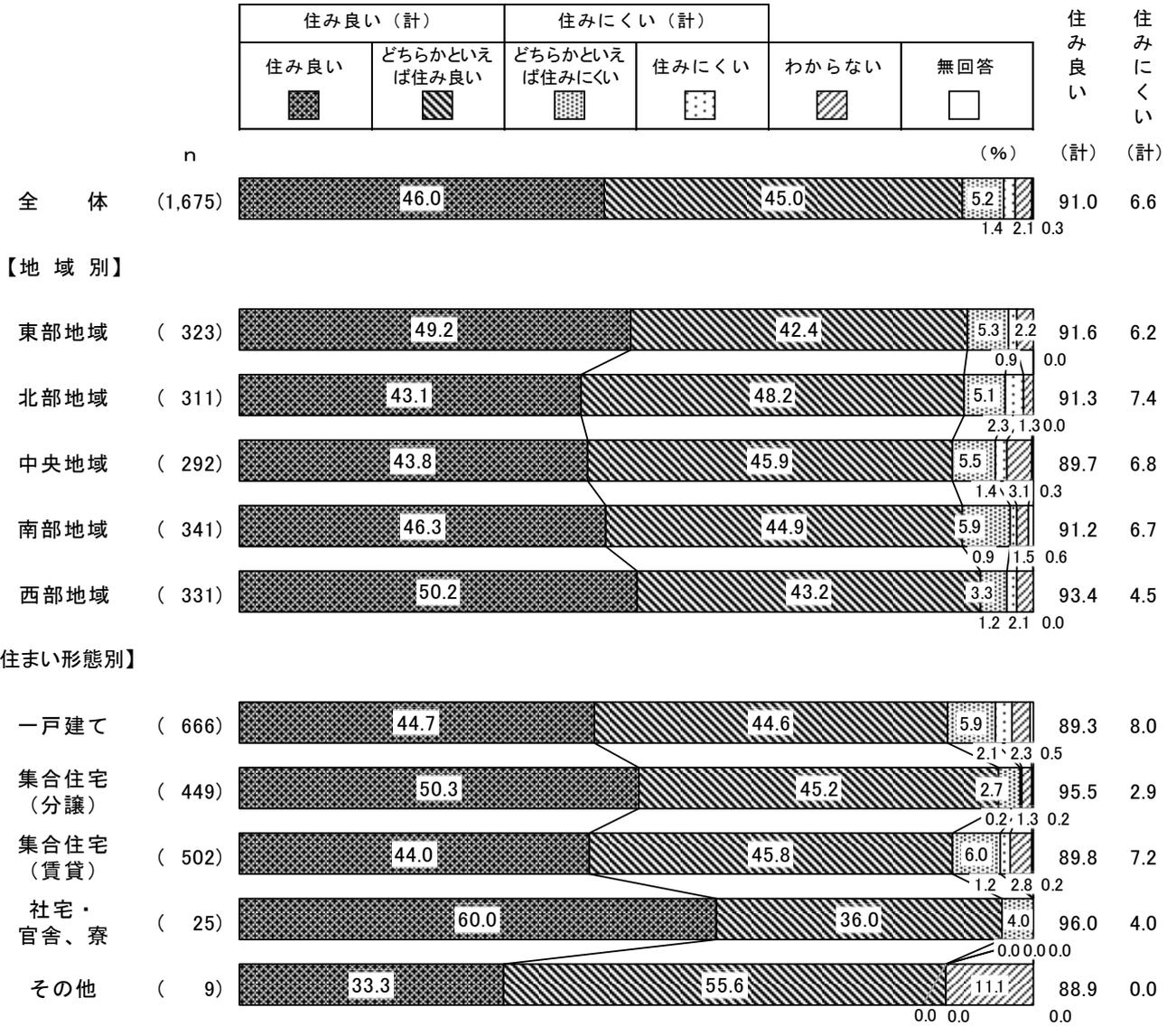
居住年数別でみると、住み良い(計)は10年以上～20年未満(93.4%)、2年以上～5年未満(93.3%)、20年以上(90.3%)で9割を超えている。



【地域別、住まい形態別】

地域別でみると、『住み良い（計）』は西部地域（93.4%）が最も高くなっている。

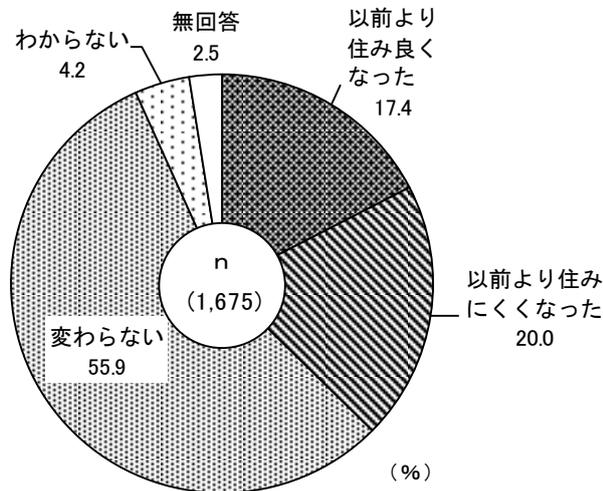
住まい形態別でみると、『住み良い（計）』は集合住宅（分譲）（95.5%）、社宅・官舎・寮（96.0%）で9割半ばと高くなっている。



(2) 住み心地の変化

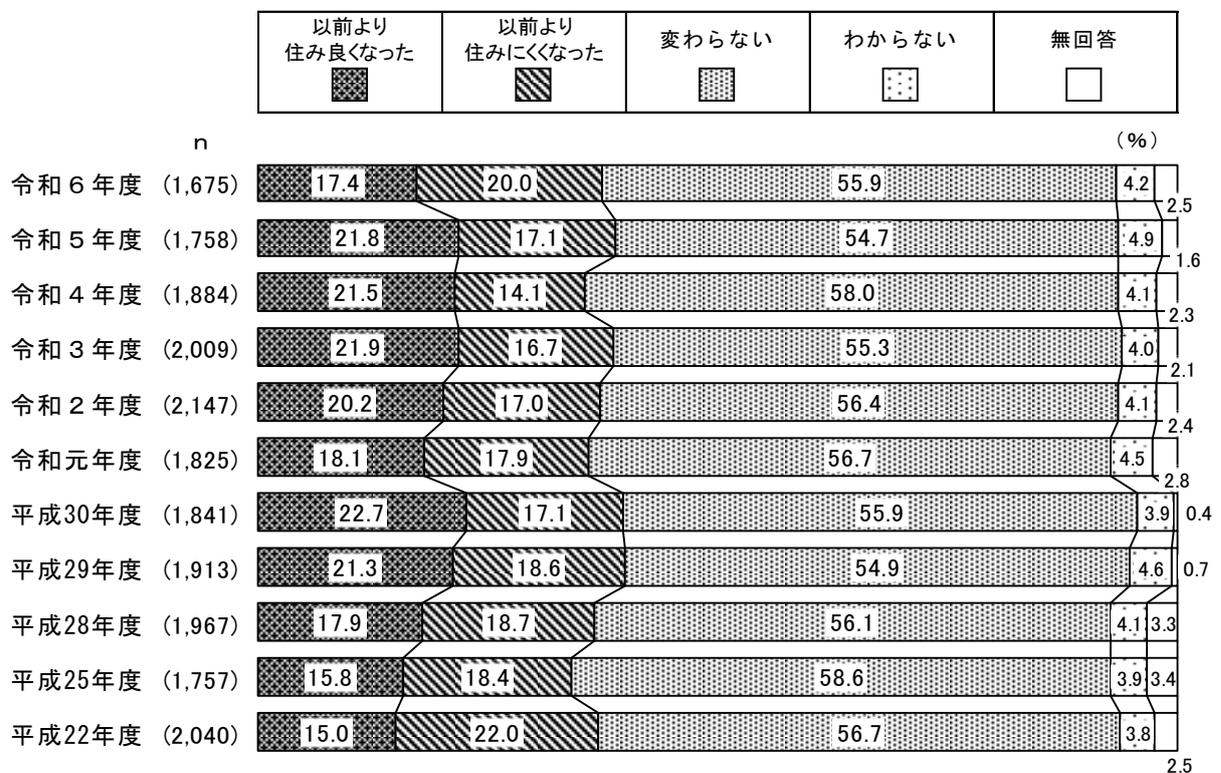
問2 以前と比べて住み心地ごこちに変化はありますか。(1つに○)

以前と比べた住み心地の変化を聞いたところ、「以前より住み良くなった」(17.4%)が2割近く、「変わらない」(55.9%)が5割半ば、「以前より住みにくくなった」(20.0%)が2割となっている。



【経年比較】

過去の調査結果と比較すると、「以前より住みにくくなった」は令和4年度以降増加傾向となっている。

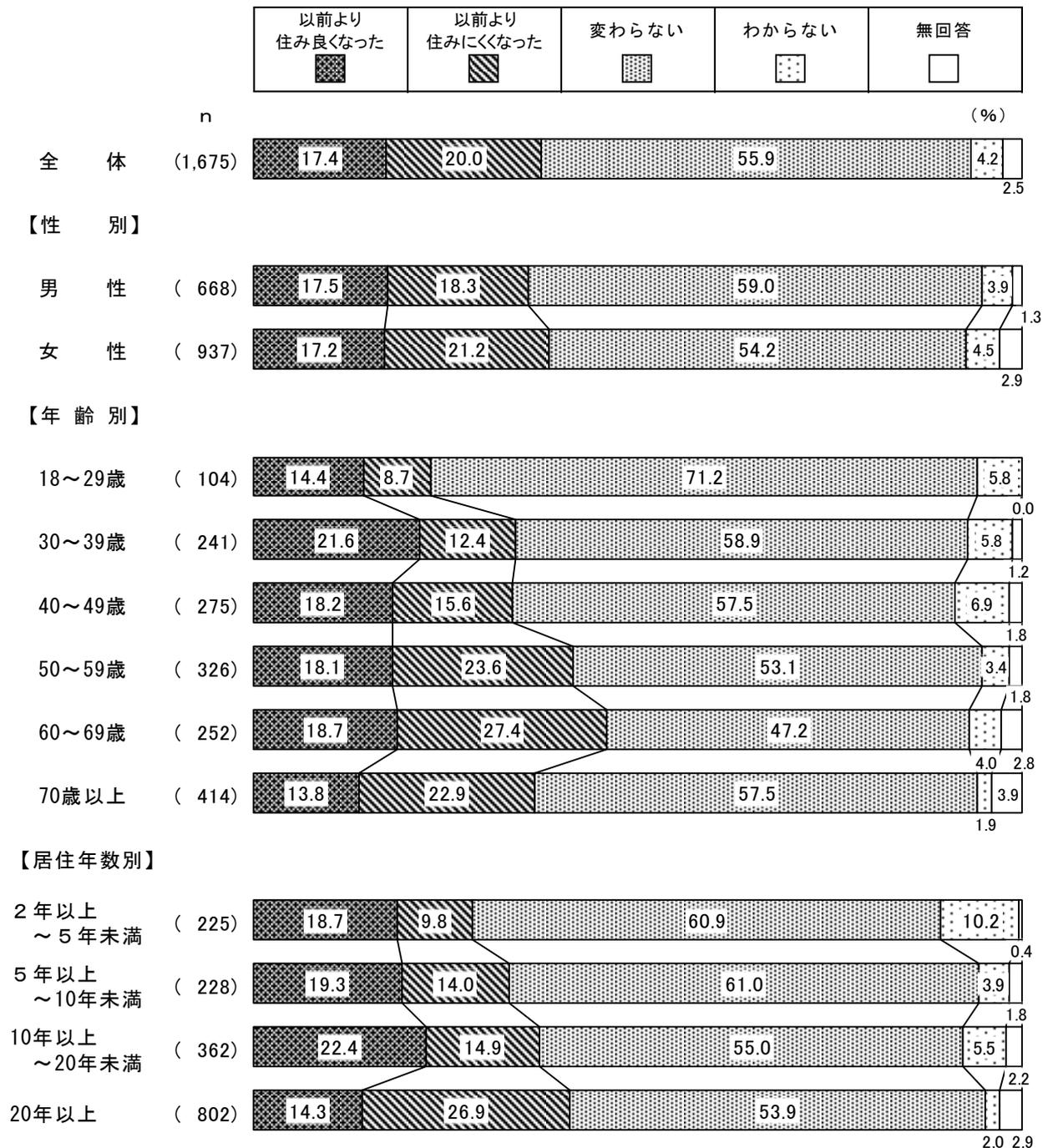


【性別、年齢別、居住年数別】

性別でみると、「以前より住みにくくなった」は女性（21.2%）が男性（18.3%）より2.9ポイント高くなっている。

年齢別でみると、「以前より住みにくくなった」は60～69歳（27.4%）で3割近くと高くなっている。

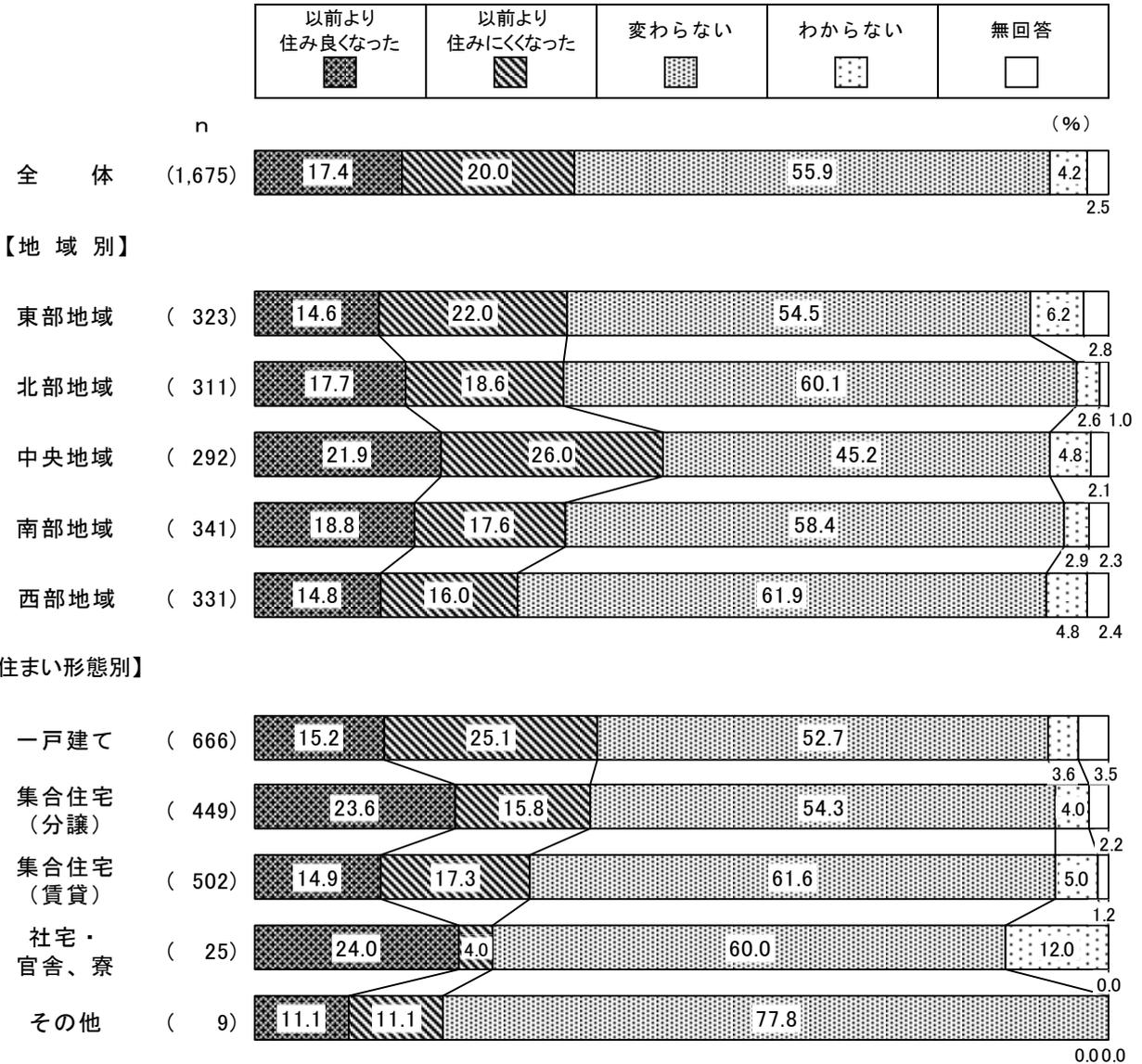
居住年数別でみると、「以前より住み良くなった」は10年以上～20年未満（22.4%）で2割を超えている。一方、「以前より住みにくくなった」は20年以上（26.9%）で3割近くと高くなっている。



【地域別、住まい形態別】

地域別でみると、「以前より住み良くなった」は中央地域（21.9%）が最も高くなっている。一方、「以前より住みにくくなった」も中央地域（26.0%）が最も高くなっている。

住まい形態別でみると、「以前より住み良くなった」は集合住宅（分譲）（23.6%）で2割半ばとなっている。一方、「以前より住みにくくなった」は一戸建て（25.1%）で2割半ばとなっている。



(3) 住み心地の変化の理由

《問2で、「以前より住み良くなった」または「以前より住みにくくなった」とお答えの方におたずねします》
 問2-1 住み良くなった、または、住みにくくなったと考える理由は何ですか。具体的な理由について1つお答えください。(自由回答)

以前と比べた住み心地の変化で、「以前より住み良くなった」または「以前より住みにくくなった」と答えた方に、その具体的な理由を尋ねた。自由回答形式の回答を分類すると、下表のとおりとなった。

【以前より住み良くなった主な理由】

分類項目	件数	主な意見(要旨)
街づくり	67	駅前も便利でお祭りも多い
		再開発が進み、道路が広くなったり、公園が増えた
		公園やバス、ベンチの設置等整備が進んでいる
		街が近代的になってきた。以前の暗いマイナスイメージが消えてきていると感じる
各種施設について	59	区役所がきれいになった
		学校や図書館などもよく整備されている
		きれいな公園や区民センターができて、子供とすごしやすくなった
交通について	59	歩道がバリアフリー化されて良くなった
		歩道と自転車用道路が整備され、街がきれいになった
		副都心線の開通で新宿、渋谷、横浜など一本でいけるようになった
生活環境が改善された	45	ゴミの収集が改善された
		プラスチックゴミの日ができた
		駐輪場が増えた
		放置自転車が激減した
買い物について	44	買い物がしやすくなり、遊ぶ際の選択肢が増えた
		徒歩圏内にスーパーやスポーツジムができた
		引っ越し前の地区よりも、買い物や外食に便利
飲食店や商業施設について	23	近所に便利なスーパーやカフェが増えた
		以前に比べて庶民的な店や子連れで遊べる施設が増えた
		映画館ができた
		映画館やイベントスペースなど、サブカルチャーに特化した施設が増えた
安全・治安について	21	治安が良くなり、住民も良い人に思える
		新しい住宅が増えて、防犯性が向上した
		地域的に目が多く安全
		川の氾濫がなくなった

分類項目	件数	主な意見（要旨）
福祉・医療が充実している	12	子育て系のサポートが充実した
		保育園、学童に入所しやすく、小学校も環境が良い
		高齢者にやさしい区民ひろばなど、体力低下をふせぐための、色々な体操、勉強などが、無料で提供されている
人間関係がよくなった	11	近所の人との交流が生まれ楽しく過ごせている
		ご近所同士、声をかけあったり、隣を心配したりするようになった
		子供、お年寄りが多いため、穏やかになった
		小学校が近く、子供の声に未来を感じる
行政がよくなった	9	公共施設、公共サービスが充実している
		給食費の無償化や、高校生世代の医療費無償化など、子育てがしやすくなった
その他	8	立地が良い
		町が明るくなった
		アートの街が綺麗なイメージになった

【以前より住みにくくなった主な理由】

分類項目	件数	主な意見（要旨）
外国人との関係	117	公共ルールを理解していない外国人の増加
		外国の人が多くなり会釈しても知らないふりばかりの人が多
		マンションやホテルが増えて外国の方が以前より増えたように感じ、ちよつと異様に感じる時がある
		習慣の違い
治安・マナー	75	家の周りのタバコのポイ捨てや、ペットボトルのゴミが増えた
		ゴミを出す曜日が守られていない
		夜道に座り込んでいる人がいて、怖い
		夜中にスケボーをやる人や酔った人が多くなった
新しくマンションや住宅が建設され住環境が悪化した	46	高層マンションが多く建設され空が狭くなった
		高いビルが目立ち、景観が悪化
		周囲がマンションばかりになって、日照、ビル風に悩むようになった
コミュニティ・近隣関係	41	近所の人達との会話がなくなった
		新しい住民が増え、挨拶程度のつき合いもなくなった
		駐車場ができてトラブルがある
買い物が不便になった	31	デパートが閉店した
		商店街がさびれた
		個人店舗がなくなり、買い物が不便になった
		風呂屋（銭湯）と豆腐屋が減った

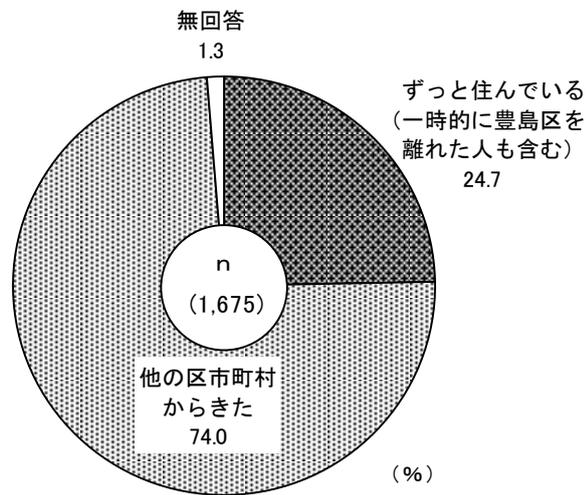
分類項目	件数	主な意見（要旨）
騒音	26	時間に関係なく騒がしくなった
		長い間工事をしていて騒音に悩まされる
		近所で建物の改築、新築が多く、日中工事の音がすごい
		飛行機の音がするようになった
道路・交通	24	橋の完成とともに交通量が増えそう
		自転車が歩道を走っていてこわい
		改正された道交法に対して自転車レーンの整備が追いついていない
		危険な運転の自転車、ループスクーターが増えた
街づくり、都市開発	20	再開発に伴う建て替え等の工事が多く落ち着かない
		空き店舗が増え、活気を感じない
		都市開発でお店が閉まり空き地が増えた
		駅前の開発など少しハデな感じがする。そんなに都会的にしなくてもよい
行政	9	税金や保険料が高い
		国民健康保険料および介護保険料の負担が重い
		救急車を呼んだ時に一向につながらないことがあった
各種施設	6	近くにある池袋ふれあい公園は点灯しなくなり、暗いままという点が気になる
		公園において、キャッチボール程度の簡単なものでも球技が出来なくなった
緑	2	緑が少ない
その他	7	喫煙場所が殆ど撤去された

2. 居住の経緯

(1) 居住の経緯

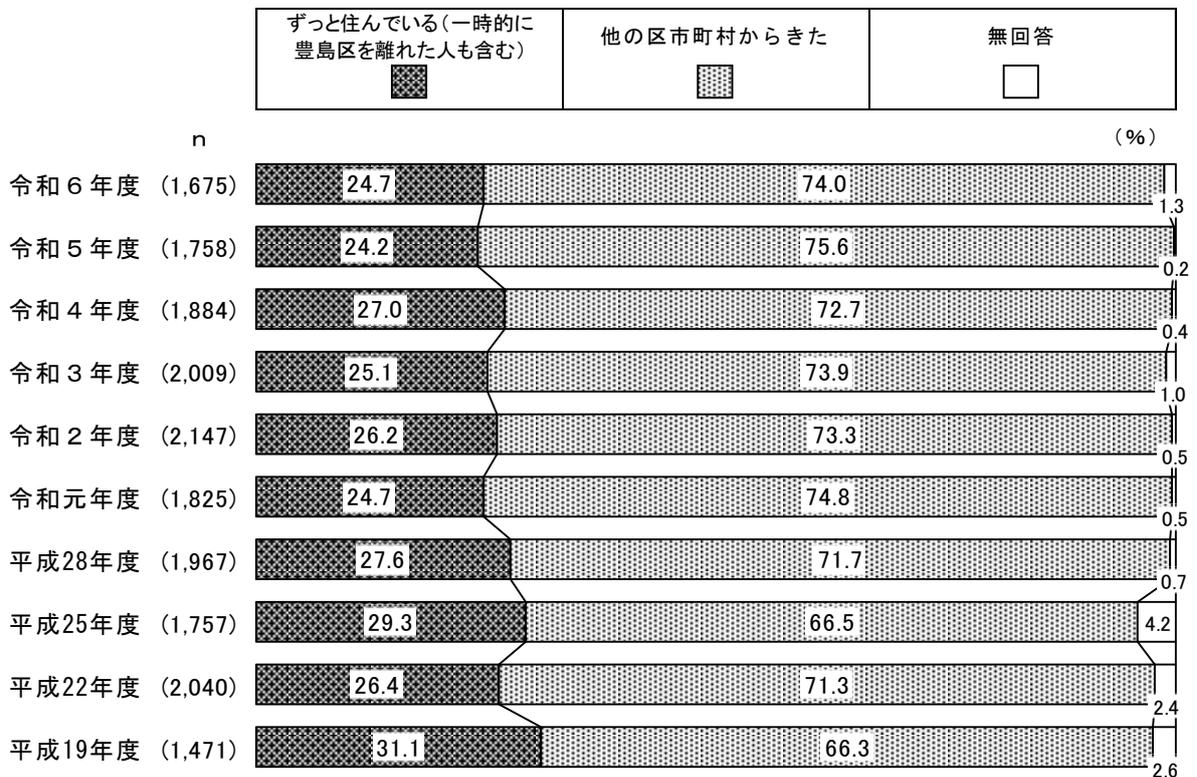
問3 あなたは生まれてからずっと豊島区にお住まいですか。(1つに○)

生まれてからずっと豊島区に住んでいるか聞いたところ、「ずっと住んでいる(一時的に豊島区を離れた人も含む)」(24.7%)が2割半ば、「他の区市町村からきた」(74.0%)が7割半ばとなっている。



【経年比較】

過去の調査結果と比較すると、平成22年度以降、大きな違いはみられない。

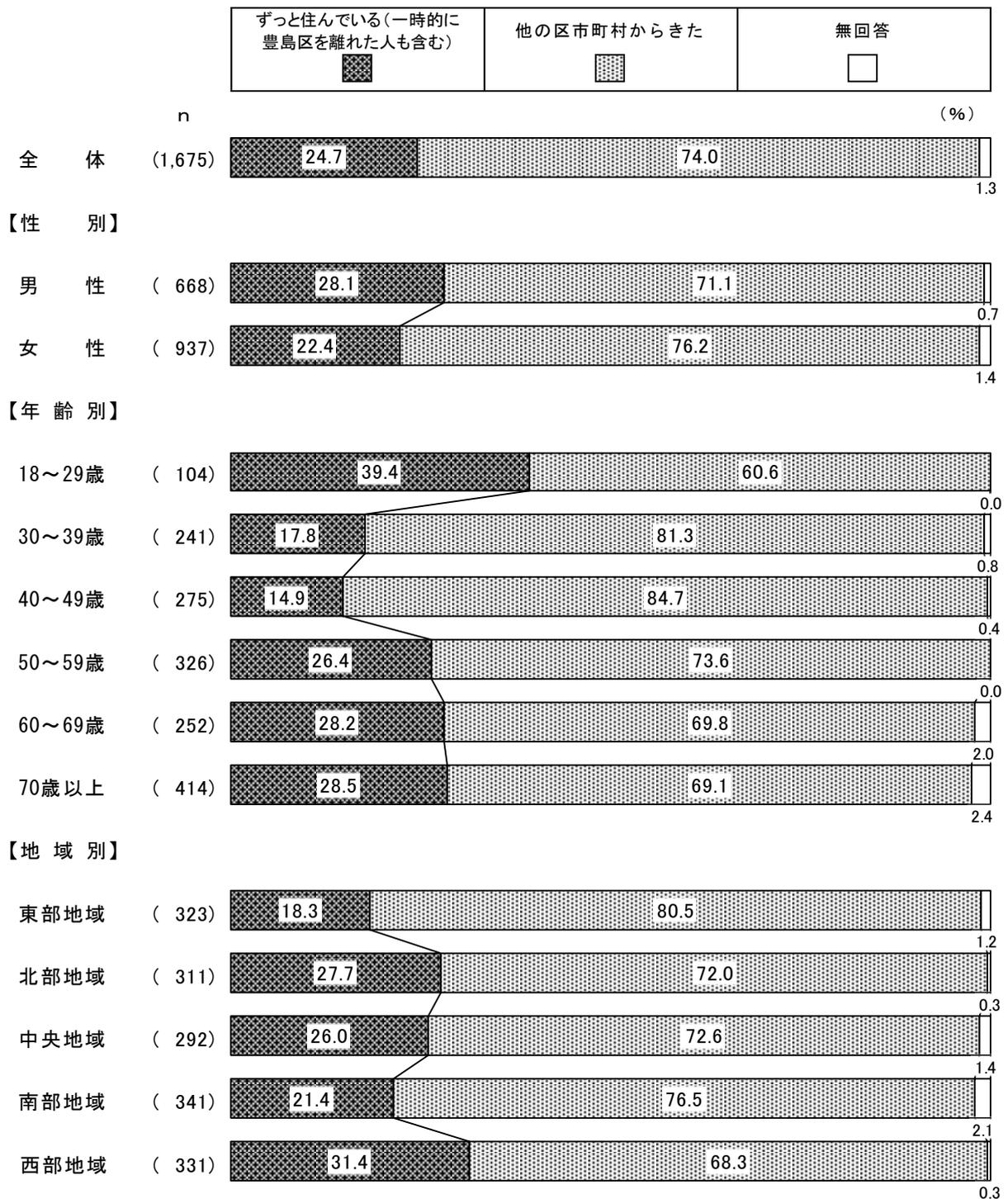


【性別、年齢別、地域別】

性別でみると、「ずっと住んでいる（一時的に豊島区を離れた人も含む）」は男性(28.1%)が女性(22.4%)より5.7ポイント高くなっている。

年齢別でみると、「ずっと住んでいる（一時的に豊島区を離れた人も含む）」は18～29歳(39.4%)で4割近くと高くなっている。一方、「他の区市町村からきた」は40～49歳(84.7%)、30～39歳(81.3%)で8割台と高くなっている。

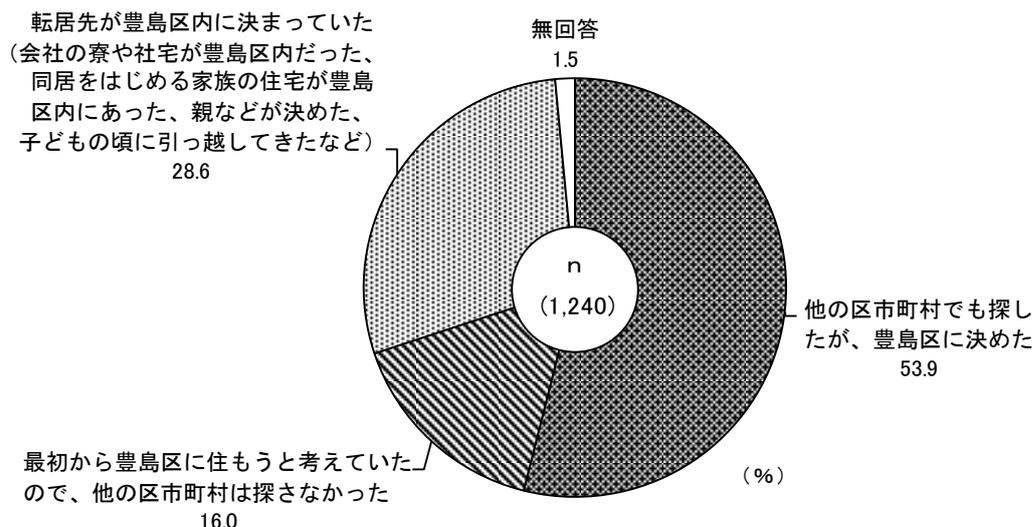
地域別でみると、「ずっと住んでいる（一時的に豊島区を離れた人も含む）」は西部地域(31.4%)で3割を超えて高くなっている。



(2) 転入にあたり豊島区以外の区市町村でも住まいを探したか

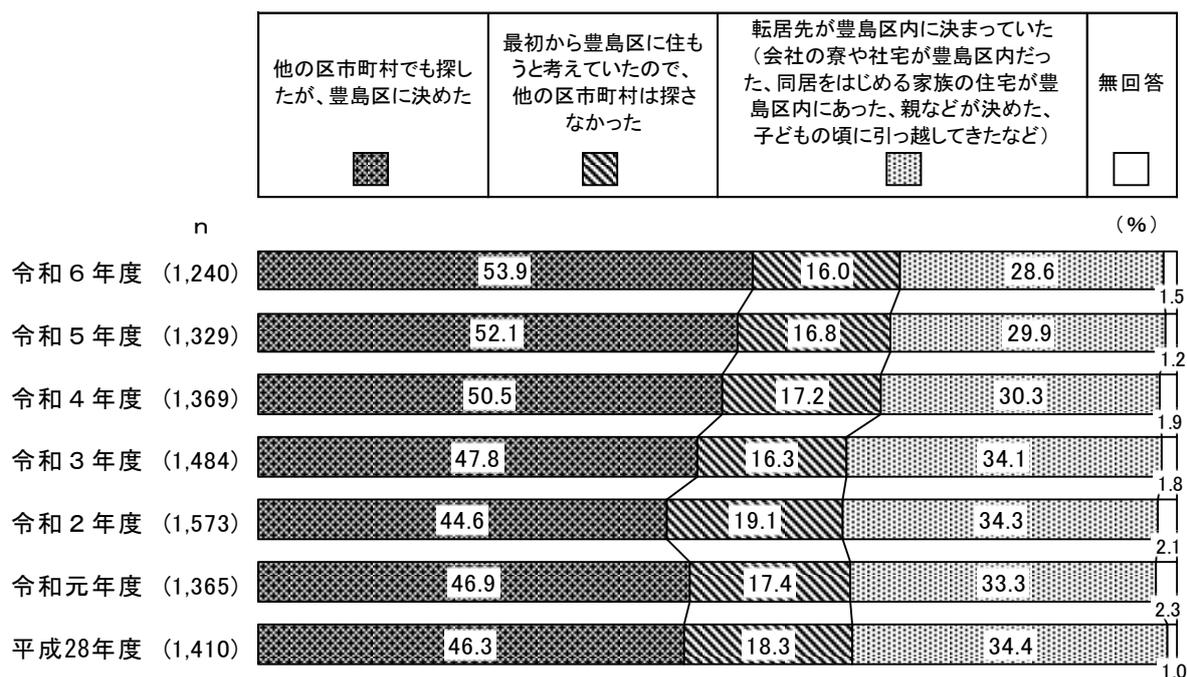
《問3で、「他の区市町村からきた」とお答えの方におたずねします》
 問3-1 転入するにあたって、豊島区以外の区市町村でもお住まいを探しましたか。
 (1つに〇)

居住の経緯で、「他の区市町村からきた」と答えた方に、転入にあたり豊島区以外の区市町村でも住まいを探したか聞いたところ、「他の区市町村でも探したが、豊島区に決めた」(53.9%)が5割半ばで最も高く、次いで「転居先が豊島区内に決まっていた(会社の寮や社宅が豊島区内だった、同居をはじめる家族の住宅が豊島区内にあった、親などが決めた、子どもの頃に引っ越してきたなど)」(28.6%)、「最初から豊島区に住もうと考えていたので、他の区市町村は探さなかった」(16.0%)となっている。



【経年比較】

過去の調査結果と比較すると、「他の区市町村でも探したが、豊島区に決めた」は令和3年度以降増加傾向となっており、今年度が平成28年度以降で最も高い値となっている。

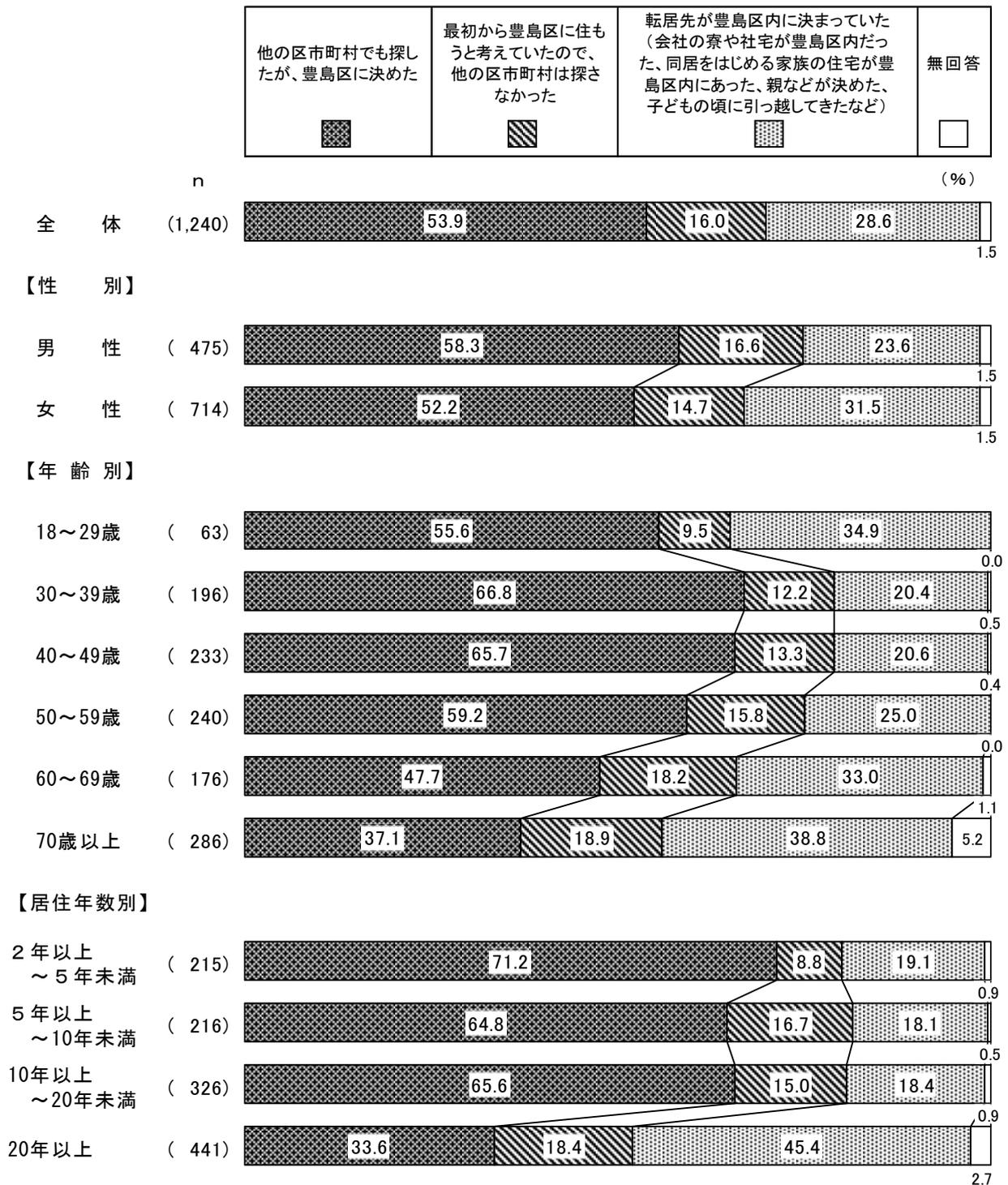


【性別、年齢別、居住年数別】

性別でみると、「他の区市町村でも探したが、豊島区に決めた」は男性（58.3%）が女性（52.2%）より6.1ポイント高くなっている。

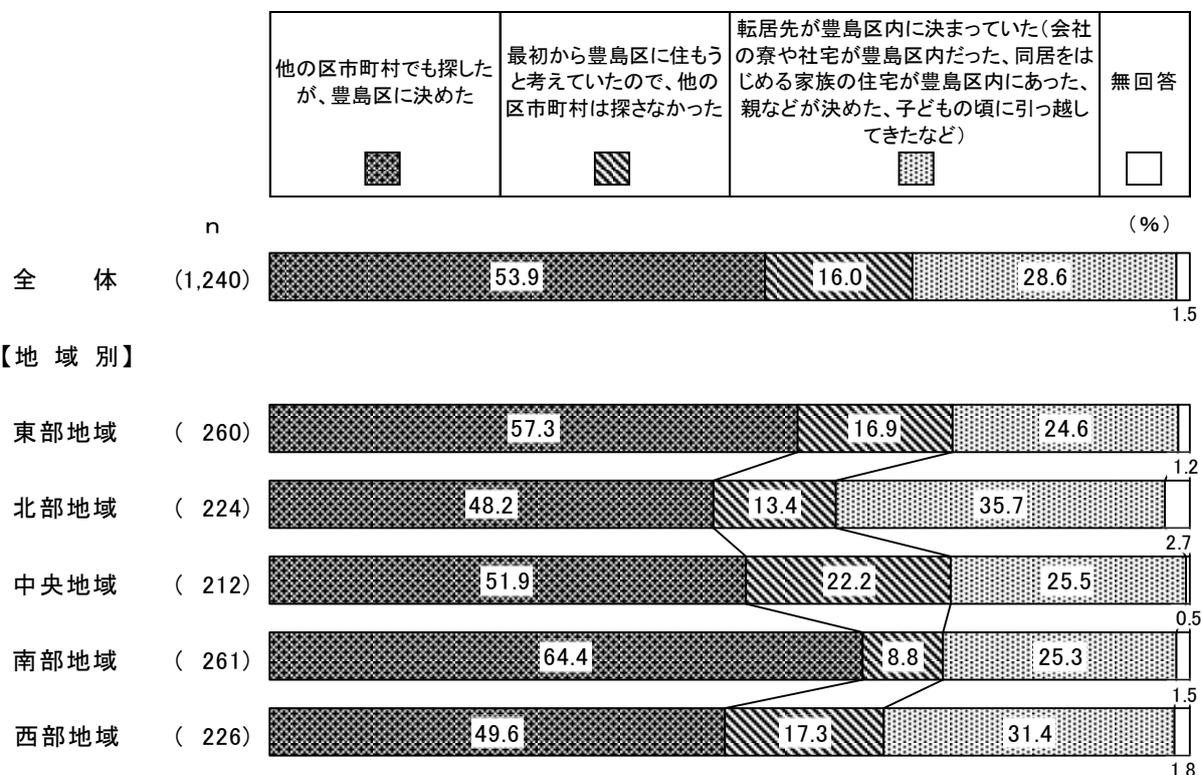
年齢別でみると、「他の区市町村でも探したが、豊島区に決めた」は30～39歳（66.8%）で7割近く、40～49歳（65.7%）で6割半ばと高くなっている。

居住年数別でみると、「他の区市町村でも探したが、豊島区に決めた」は2年以上～5年未満（71.2%）で7割を超えて高くなっている。



【地域別】

地域別でみると、「他の区市町村でも探したが、豊島区に決めた」は南部地域（64.4%）で6割半ばと高くなっている。「最初から豊島区に住もうと考えていたので、他の区市町村は探さなかった」は中央地域（22.2%）で2割を超えている。

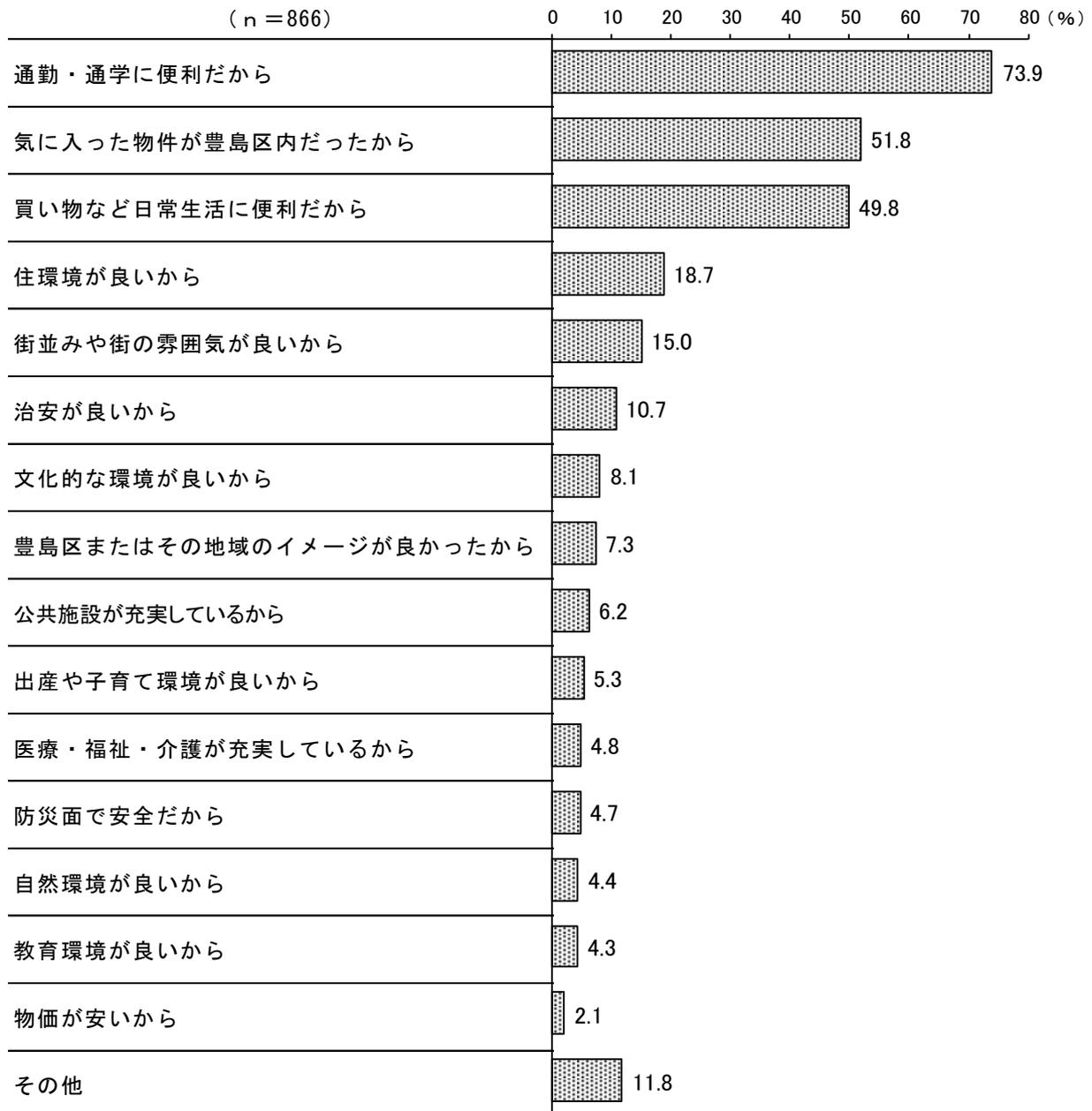


(3) 豊島区を選んだ理由

《問3-1で、「他の区市町村でも探したが、豊島区に決めた」または「最初から豊島区に住もうと考えていたので、他の区市町村は探さなかった」とお答えの方におたずねします》

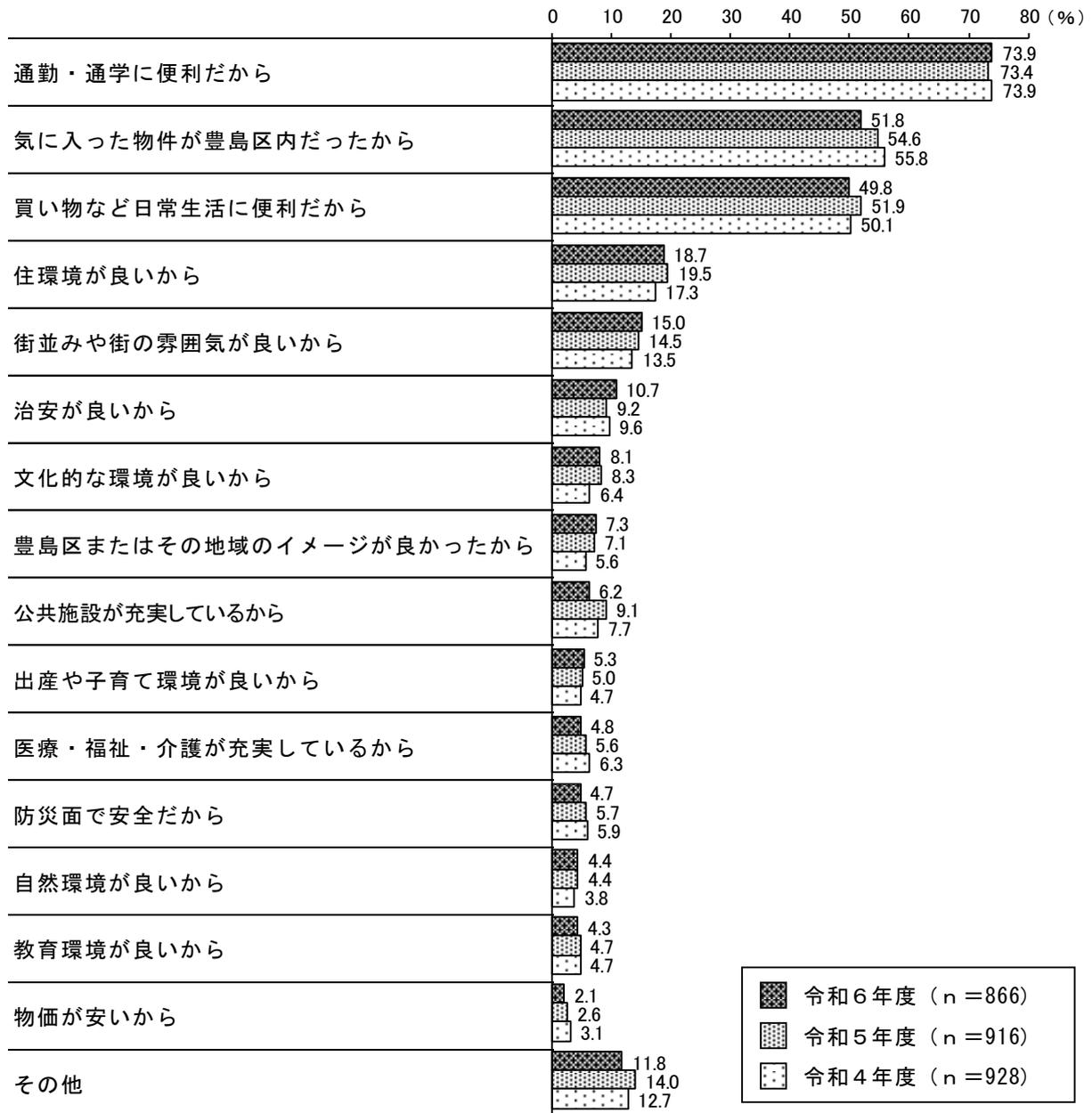
問3-2 住む場所として豊島区を選んだ理由は何ですか。(いくつでも○)

転入するにあたり、「他の区市町村でも探したが、豊島区に決めた」または「最初から豊島区に住もうと考えていたので、他の区市町村は探さなかった」と答えた方に、豊島区を選んだ理由を聞いたところ、「通勤・通学に便利だから」(73.9%)が7割半ばで最も高く、次いで「気に入った物件が豊島区内だったから」(51.8%)、「買い物など日常生活に便利だから」(49.8%)、「住環境が良いから」(18.7%)となっている。



【経年比較】

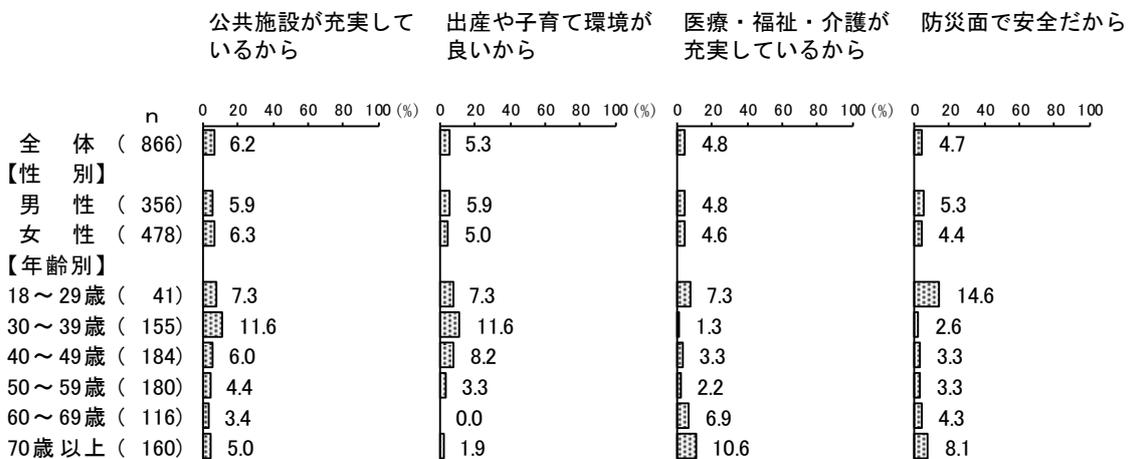
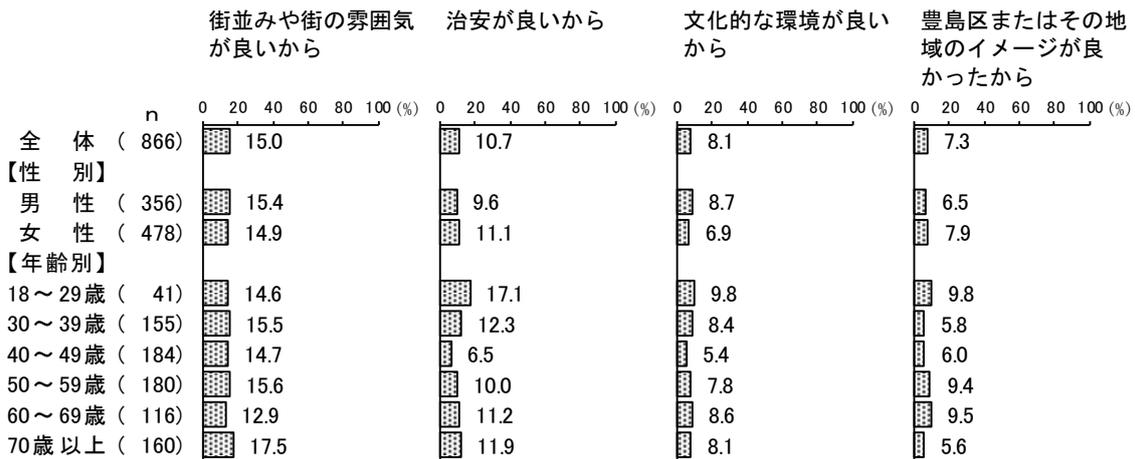
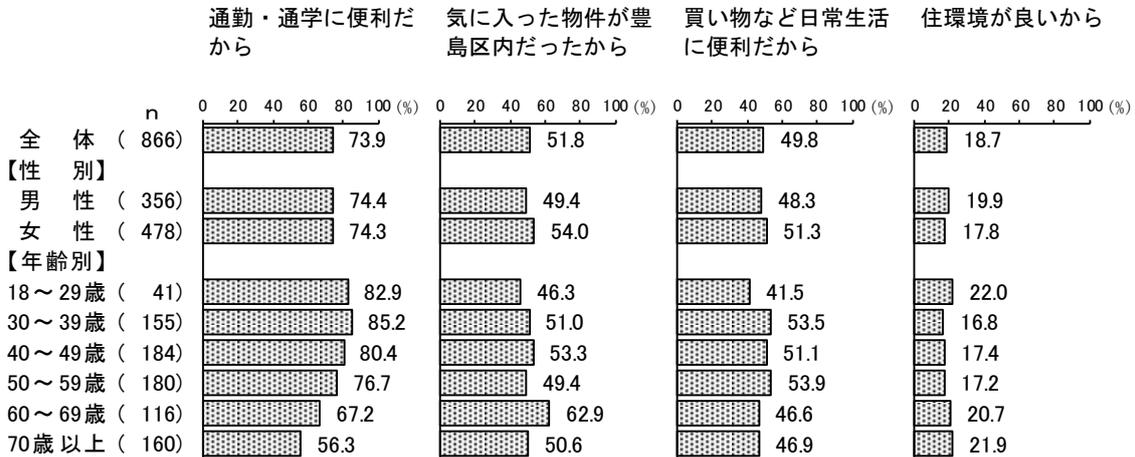
過去の調査結果と比較すると、令和5年度と比べて大きな違いはみられない。



【性別、年齢別】（上位12項目）

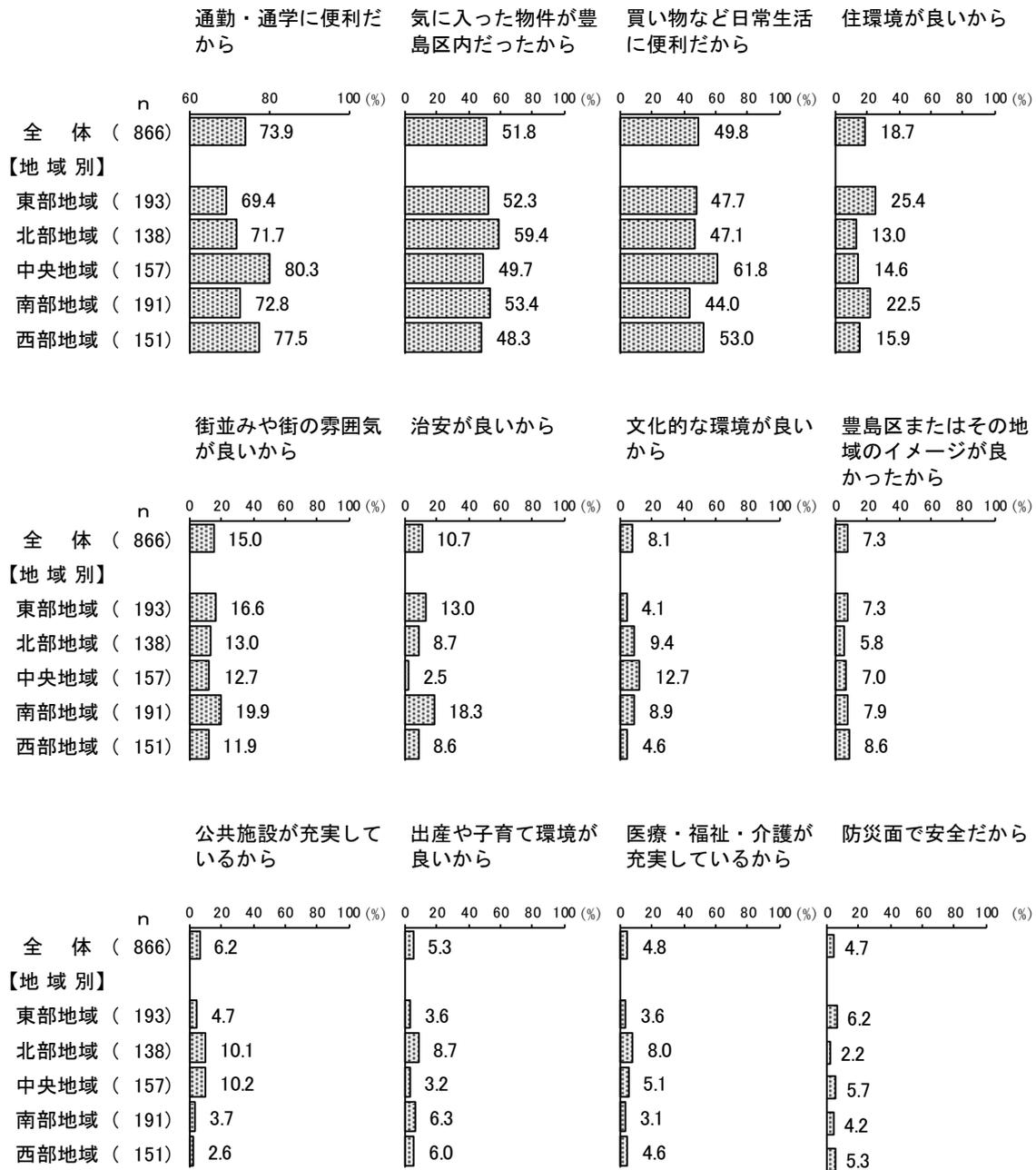
性別でみると、「気に入った物件が豊島区内だったから」は女性（54.0%）が男性（49.4%）より4.6ポイント高くなっている。

年齢別でみると、「通勤・通学に便利だから」は30～39歳（85.2%）で8割半ばと高くなっている。「気に入った物件が豊島区内だったから」は60～69歳（62.9%）で6割を超えて最も高くなっている。



【地域別】（上位12項目）

地域別でみると、「通勤・通学に便利だから」は中央地域（80.3%）で約8割と高くなっている。「買い物など日常生活に便利だから」も中央地域（61.8%）で6割を超えて高くなっている。

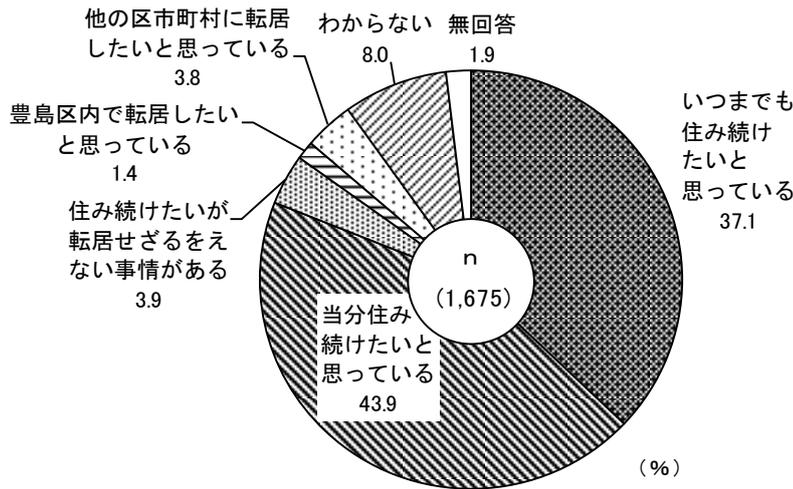


3. 定住意向

(1) 定住意向

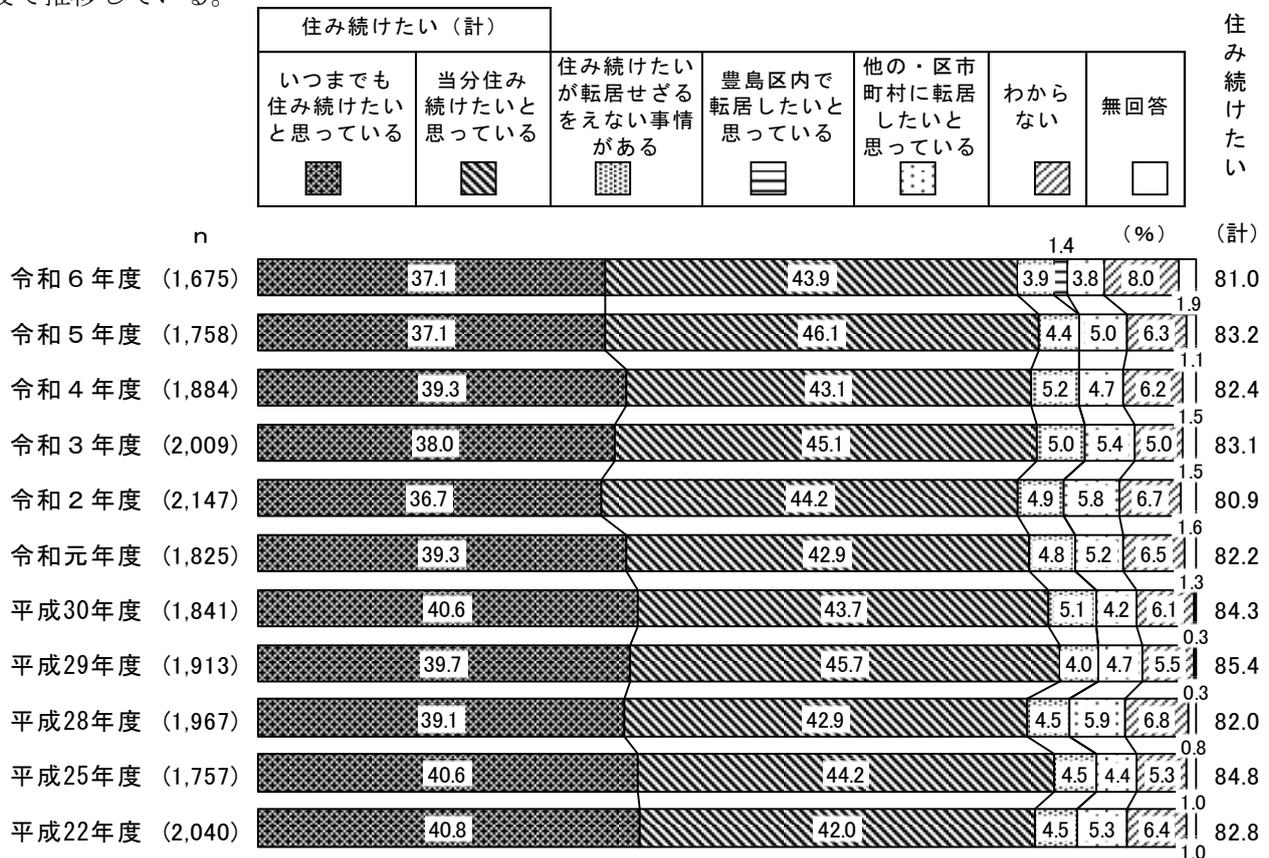
問4 あなたはこれからも現在お住まいの地域に住み続けたいと思いますか。(1つに○)

これからも現在お住まいの地域に住み続けたいと思うか聞いたところ、「いつまでも住み続けたいと思っている」(37.1%)と「当分住み続けたいと思っている」(43.9%)を合わせた『住み続けたい(計)』(81.0%)は8割を超えている。一方、「住み続けたいが転居せざるをえない事情がある」(3.9%)、「豊島区内で転居したいと思っている」(1.4%)、「他の区市町村に転居したいと思っている」(3.8%)はいずれも1割未満となっている。



【経年比較】

過去の調査結果と比較すると、「いつまでも住み続けたいと思っている」は平成22年度以降、4割前後で推移している。



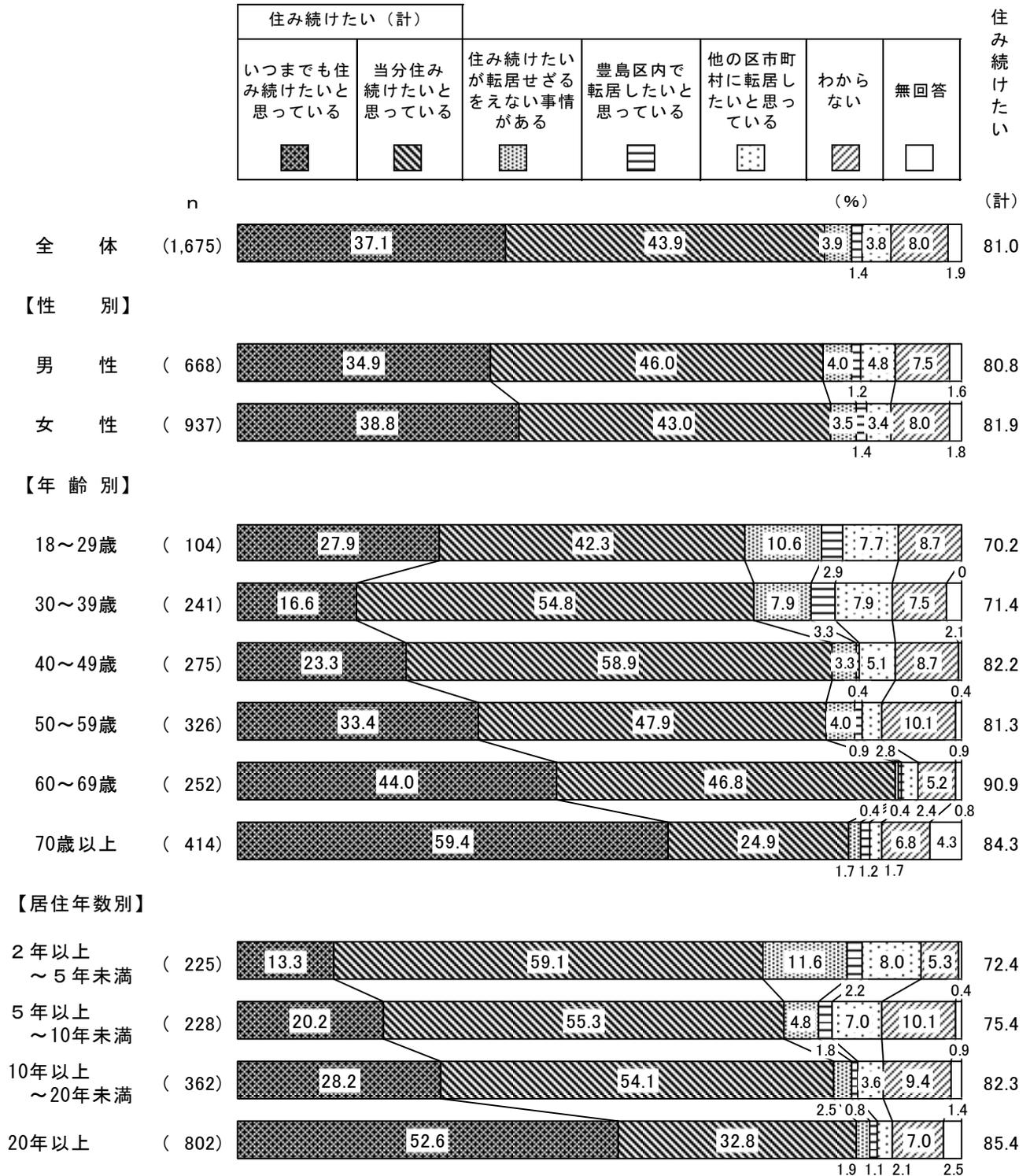
※「豊島区内で転居したいと思っている」は今回調査からの選択肢

【性別、年齢別、居住年数別】

性別でみると、「いつまでも住み続けたいと思っている」は女性（38.8%）が男性（34.9%）より3.9ポイント高くなっている。

年齢別でみると、『住み続けたい（計）』は60～69歳（90.9%）で9割を超えて高くなっている。

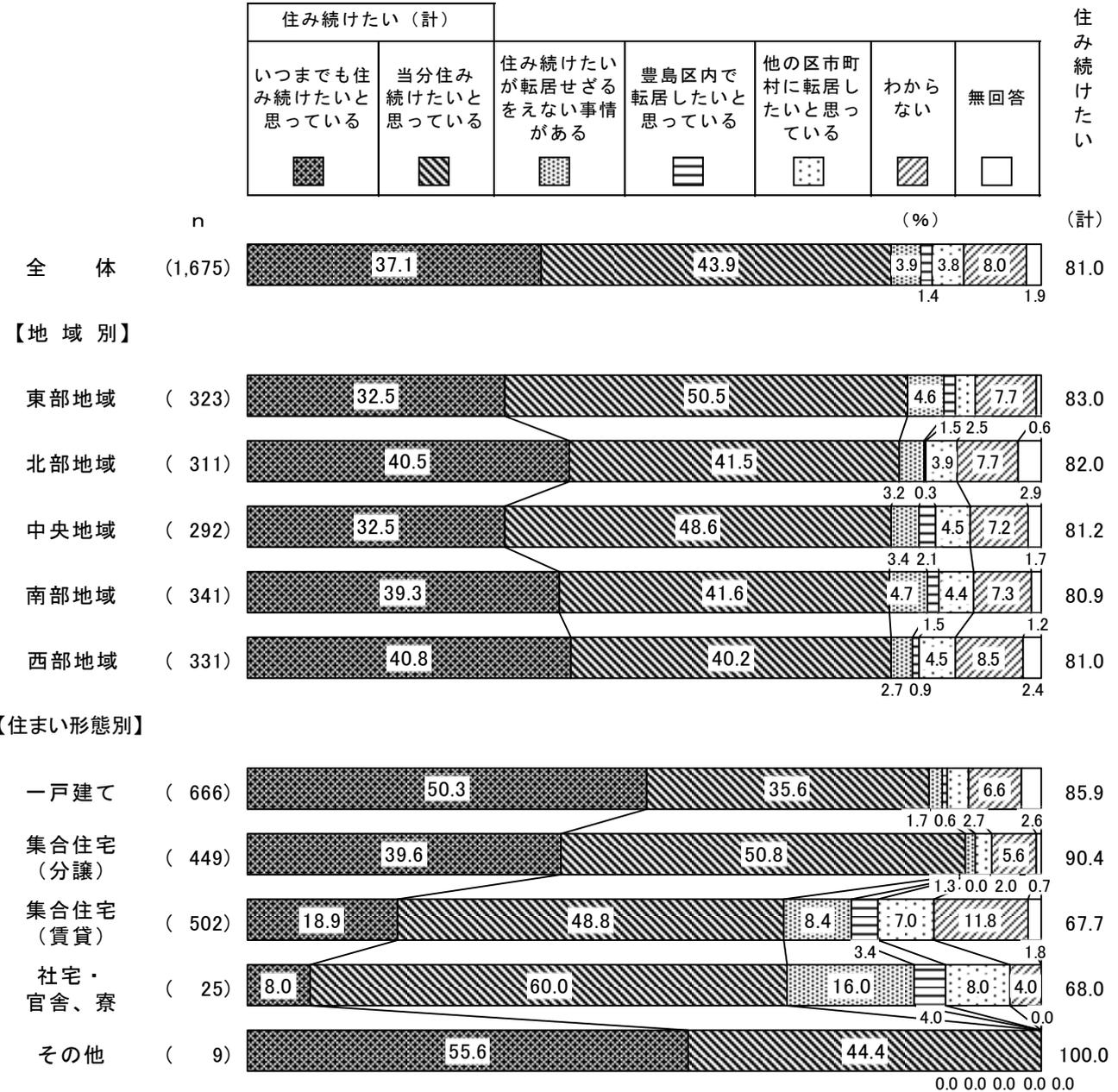
居住年数別でみると、『住み続けたい（計）』は居住年数が長くなるにつれて割合が高く、20年以上（85.4%）で8割半ばと高くなっている。



【地域別、住まい形態別】

地域別でみると、「いつまでも住み続けたいと思っている」は西部地域（40.8%）、北部地域（40.5%）で4割台となっている。

住まい形態別でみると、『住み続けたい（計）』は集合住宅（分譲）（90.4%）で9割超、一戸建て（85.9%）で8割半ばと高くなっている。

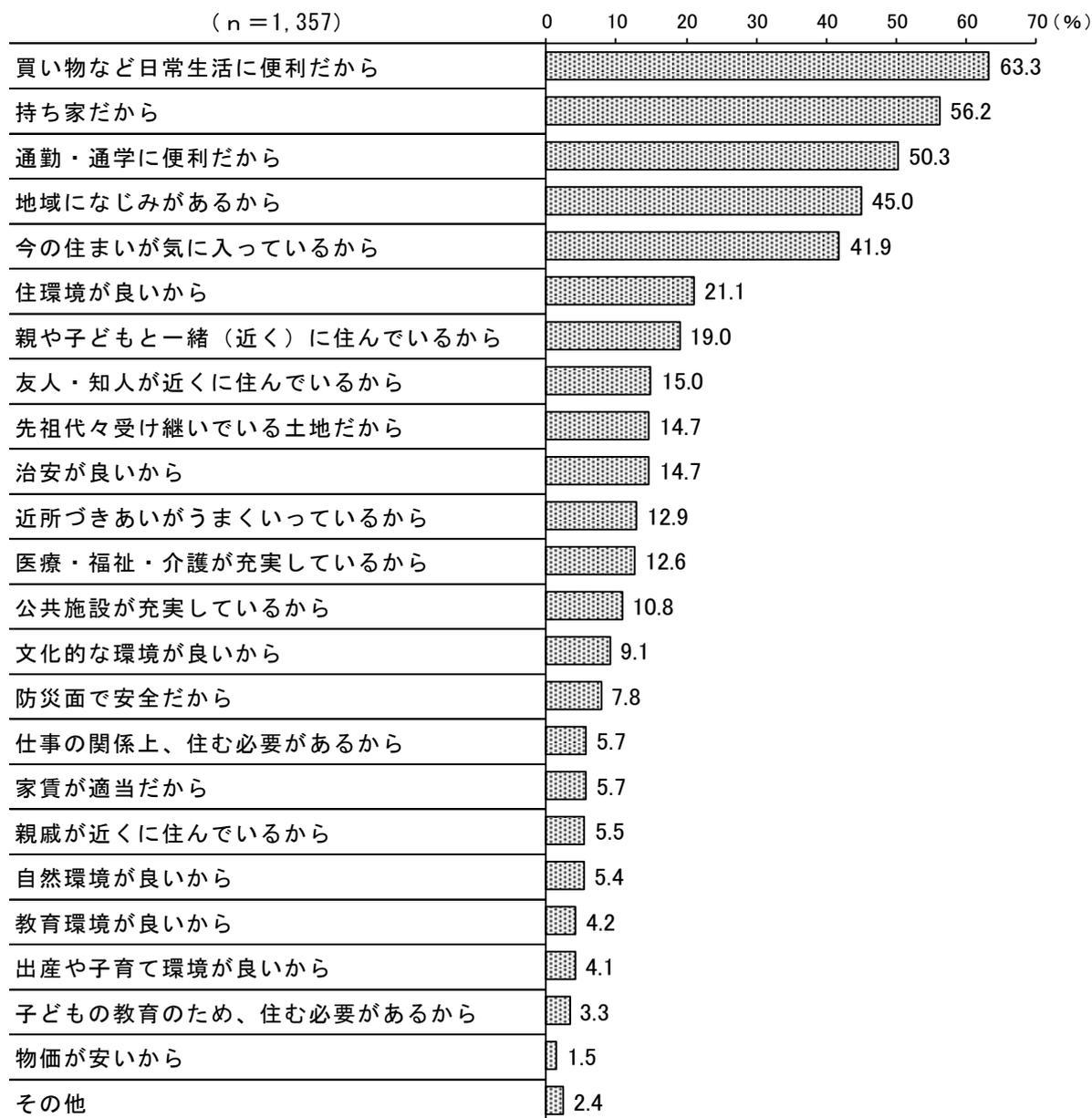


(2) 住み続けたい理由

《問4で、「いつまでも住み続けたいと思っている」または「当分住み続けたいと思っている」とお答えの方におたずねします》

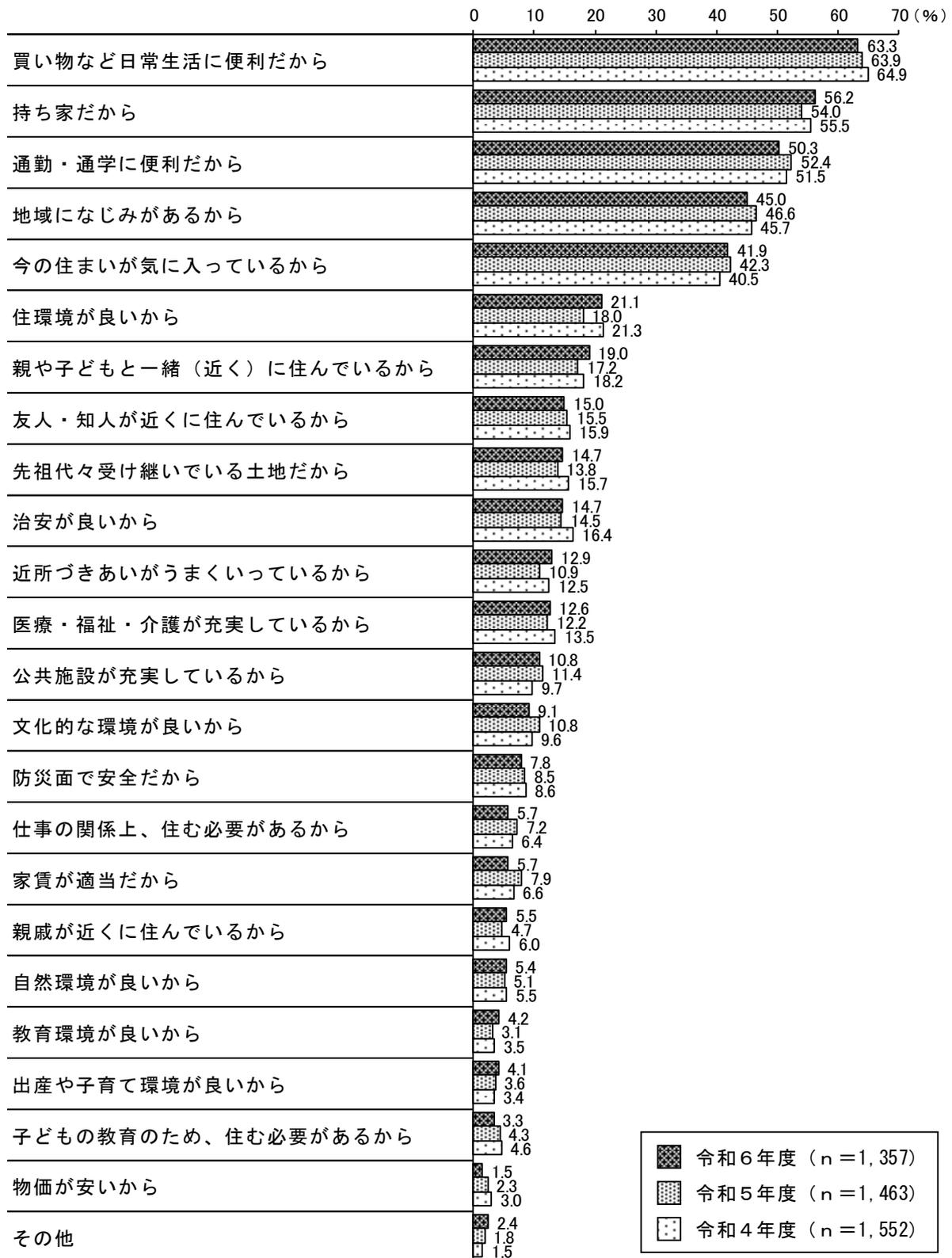
問4-1 住み続けたい理由は何ですか。(いくつでも○)

定住意向で、「いつまでも住み続けたいと思っている」または「当分住み続けたいと思っている」と答えた方に、住み続けたい理由を聞いたところ、「買い物など日常生活に便利だから」(63.3%)が6割を超えて最も高く、次いで「持ち家だから」(56.2%)、「通勤・通学に便利だから」(50.3%)、「地域になじみがあるから」(45.0%)となっている。



【経年比較】

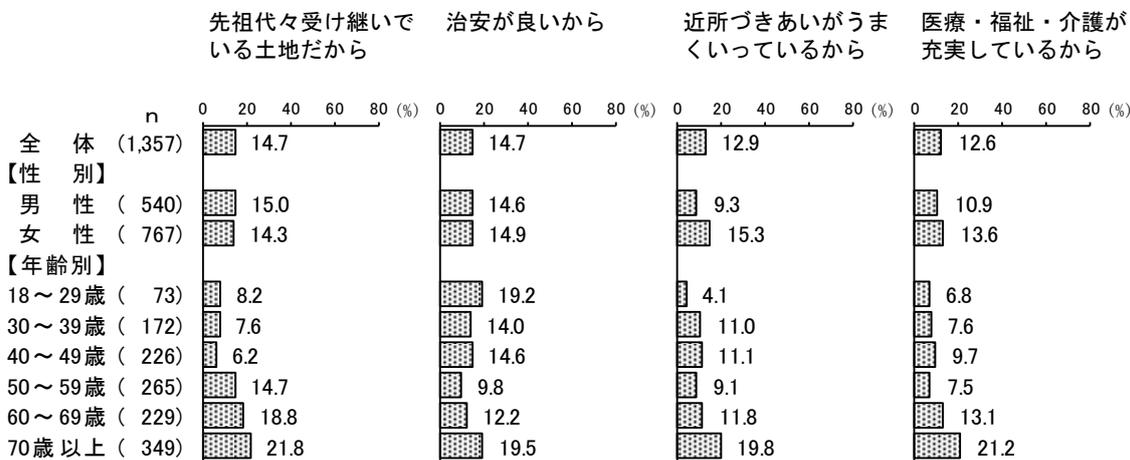
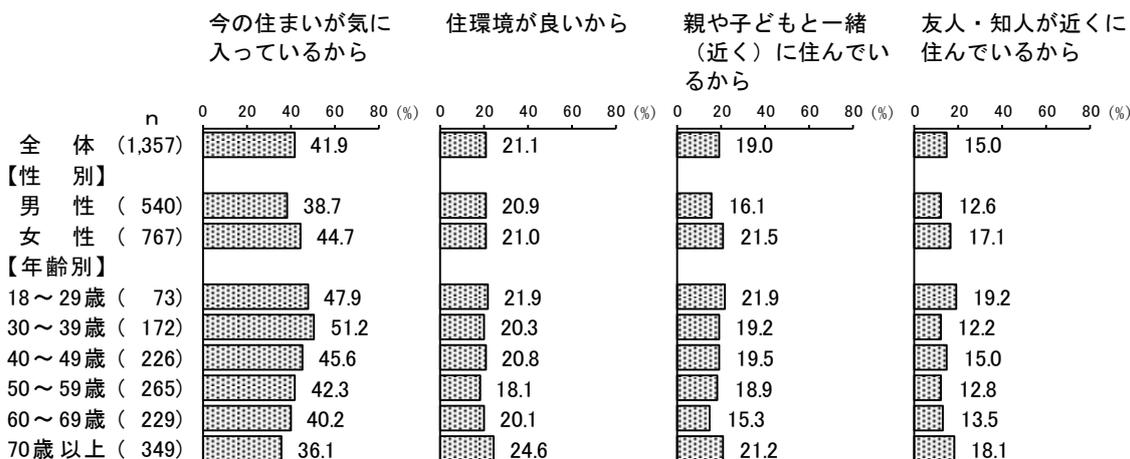
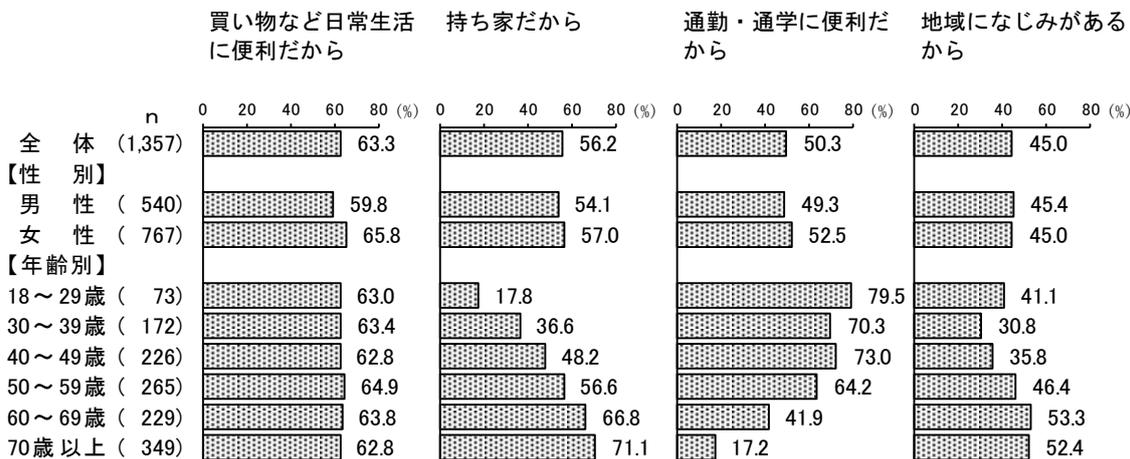
過去の調査結果と比較すると、令和5年度と特に大きな違いは見られない。



【性別、年齢別】(上位12項目)

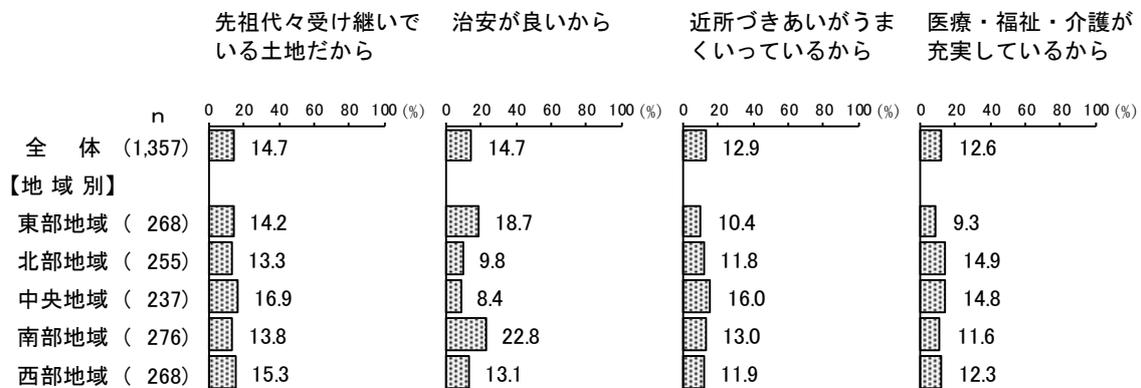
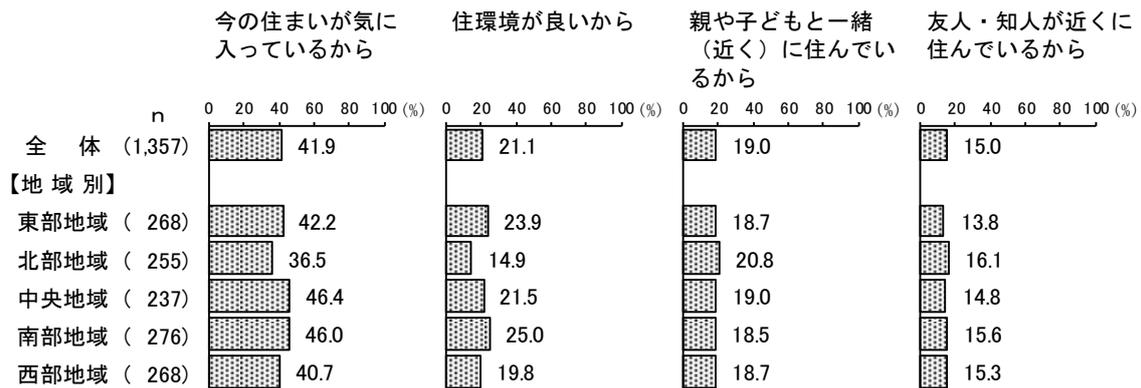
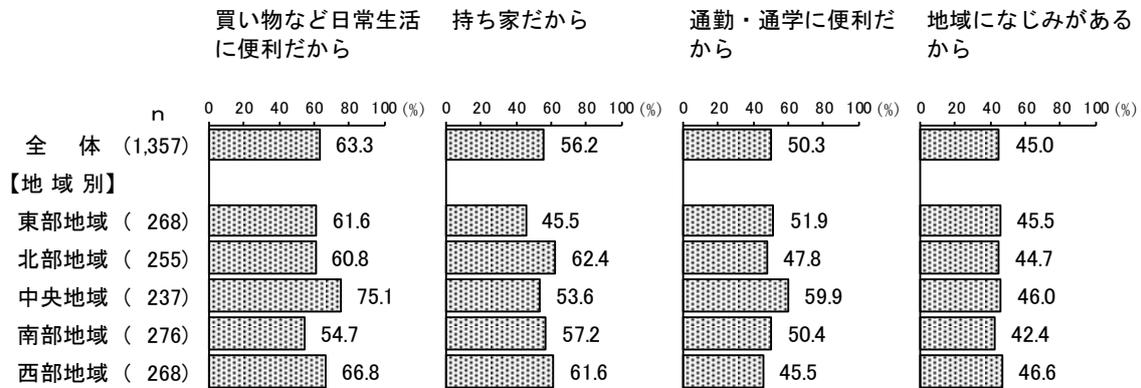
性別でみると、「買い物など日常生活に便利だから」は女性(65.8%)が男性(59.8%)より6.0ポイント高くなっている。また、「今の住まいが気に入っているから」は女性(44.7%)が男性(38.7%)より6.0ポイント高くなっている。

年齢別でみると、「持ち家だから」は70歳以上(71.1%)で7割を超え、60~69歳(66.8%)で7割近くと高くなっている。「通勤・通学に便利だから」は18~29歳(79.5%)、40~49歳(73.0%)、30~39歳(70.3%)で7割台と高くなっている。



【地域別】（上位12項目）

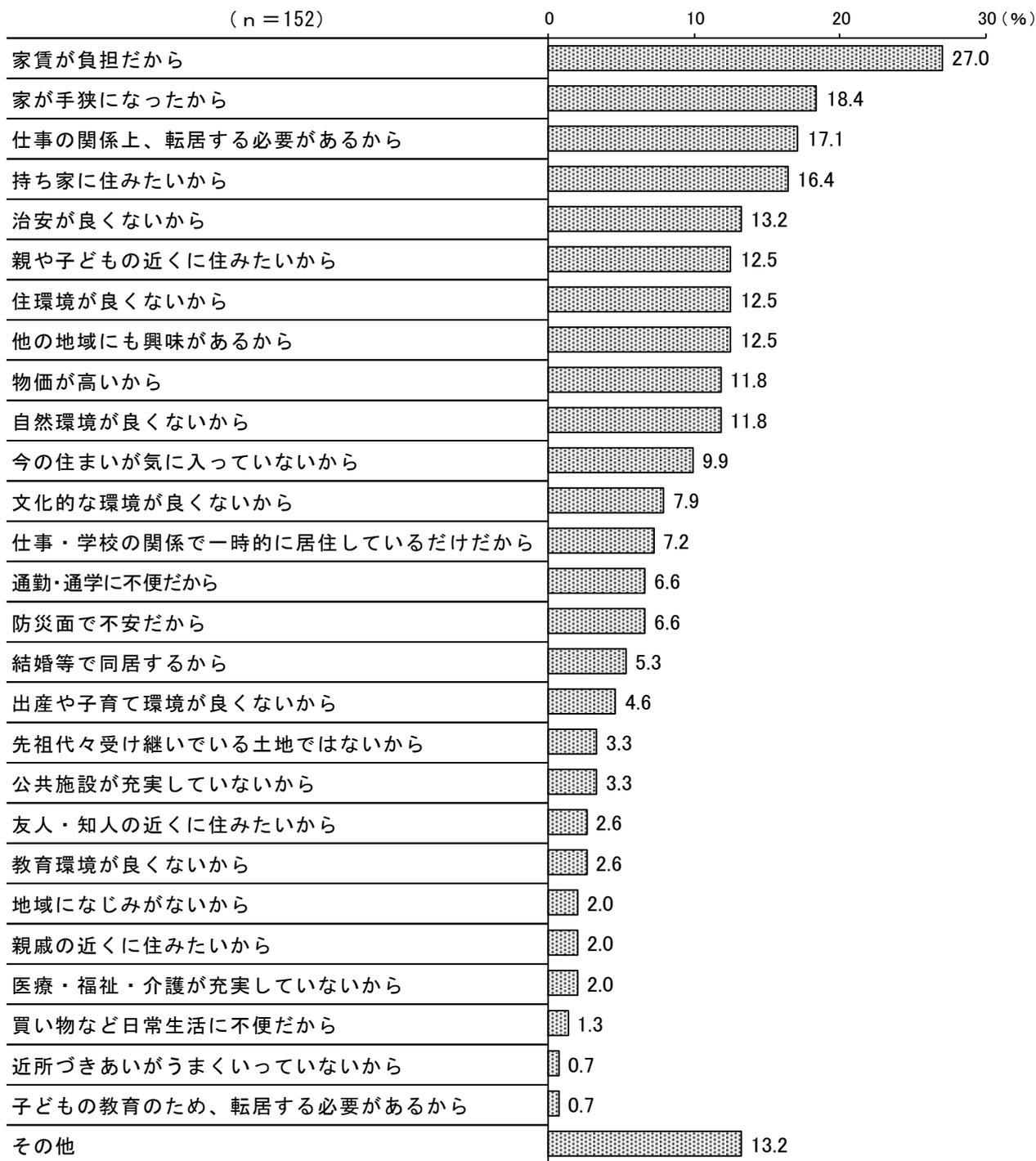
地域別でみると、「買い物など日常生活に便利だから」は中央地域（75.1%）で7割半ばと高くなっている。「持ち家だから」は北部地域（62.4%）、西部地域（61.6%）で6割台となっている。「通勤・通学に便利だから」は中央地域（59.9%）で約6割と高くなっている。



(3) 転居せざるをえない、転居したい理由

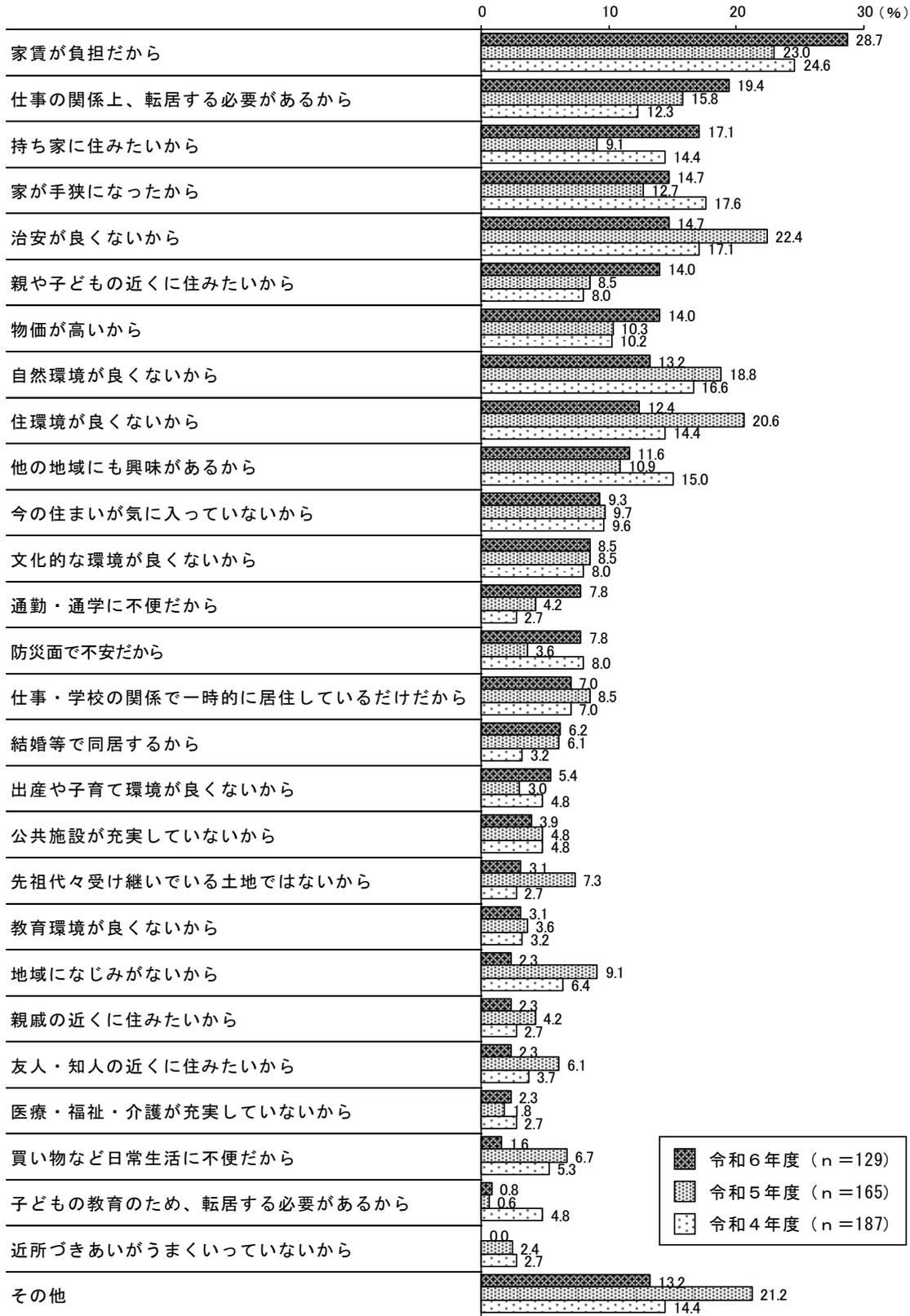
《問4で、「住み続けたいが転居せざるをえない事情がある」、「豊島区内で転居したいと思っている」、「他の区市町村に転居したいと思っている」とお答えの方におたずねします》
 問4-2 転居せざるをえない、転居したい理由は何ですか。(いくつでも○)

定住意向で、「住み続けたいが転居せざるをえない事情がある」、「豊島区内で転居したいと思っている」、「他の区市町村に転居したいと思っている」と答えた方に、転居せざるをえない、転居したい理由を聞いたところ、「家賃が負担だから」(27.0%)が3割近くで最も高く、次いで「家が手狭になったから」(18.4%)、「仕事の関係上、転居する必要があるから」(17.1%)、「持ち家に住みたいから」(16.4%)となっている。



【経年比較】

過去の調査結果と比較すると、「持ち家に住みたいから」は令和5年度より8.0ポイント、「家賃が負担だから」は5.7ポイント、「親や子どもの近くに住みたいから」は5.5ポイント、それぞれ増加している。一方、「住環境が良くないから」は令和5年度より8.2ポイント、「治安が良くないから」は7.7ポイント、それぞれ減少している。

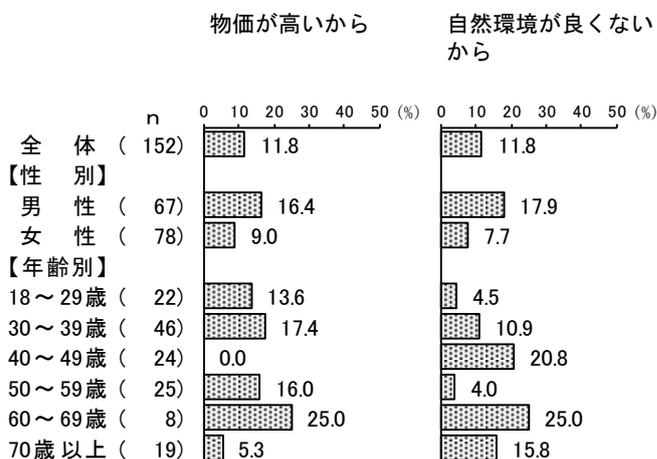
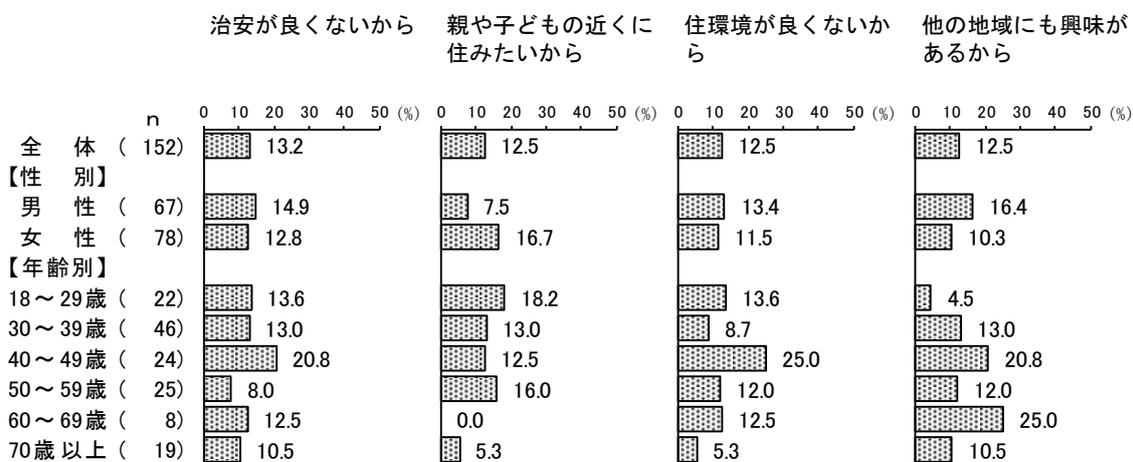
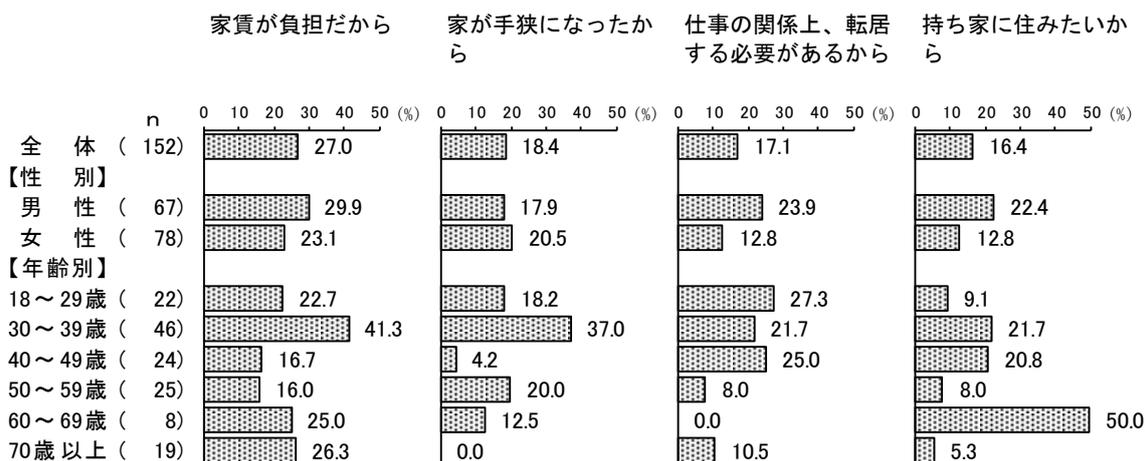


※過去の調査結果と比較するため、今回調査は問4で「豊島区内で転居したいと思っている」と答えた方を除く129名を回答者として集計している

【性別、年齢別】（上位10項目）

性別でみると、「家賃が負担だから」は男性（29.9%）が女性（23.1%）より6.8ポイント、「仕事の関係上、転居する必要があるから」は男性（23.9%）が女性（12.8%）より11.1ポイント、「持ち家に住みたいから」は男性（22.4%）が女性（12.8%）より9.6ポイント、それぞれ高くなっている。一方、「親や子どもの近くに住みたいから」は女性（16.7%）が男性（7.5%）より9.2ポイント高くなっている。

年齢別でみると、「家賃が負担だから」は30～39歳（41.3%）で4割を超えて高くなっている。「家が手狭になったから」は30～39歳（37.0%）で4割近くと高くなっている。

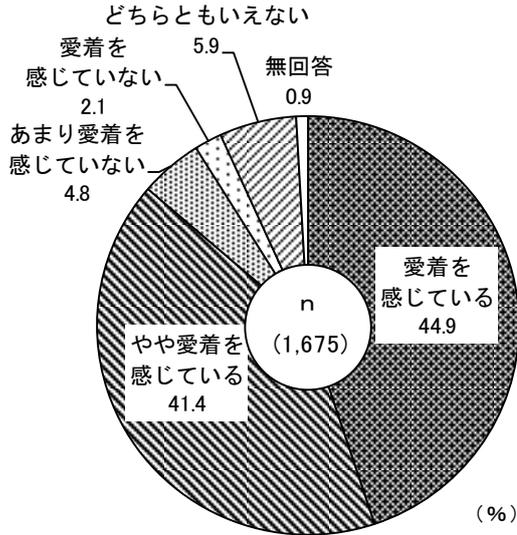


4. 地域への愛着

(1) 地域への愛着

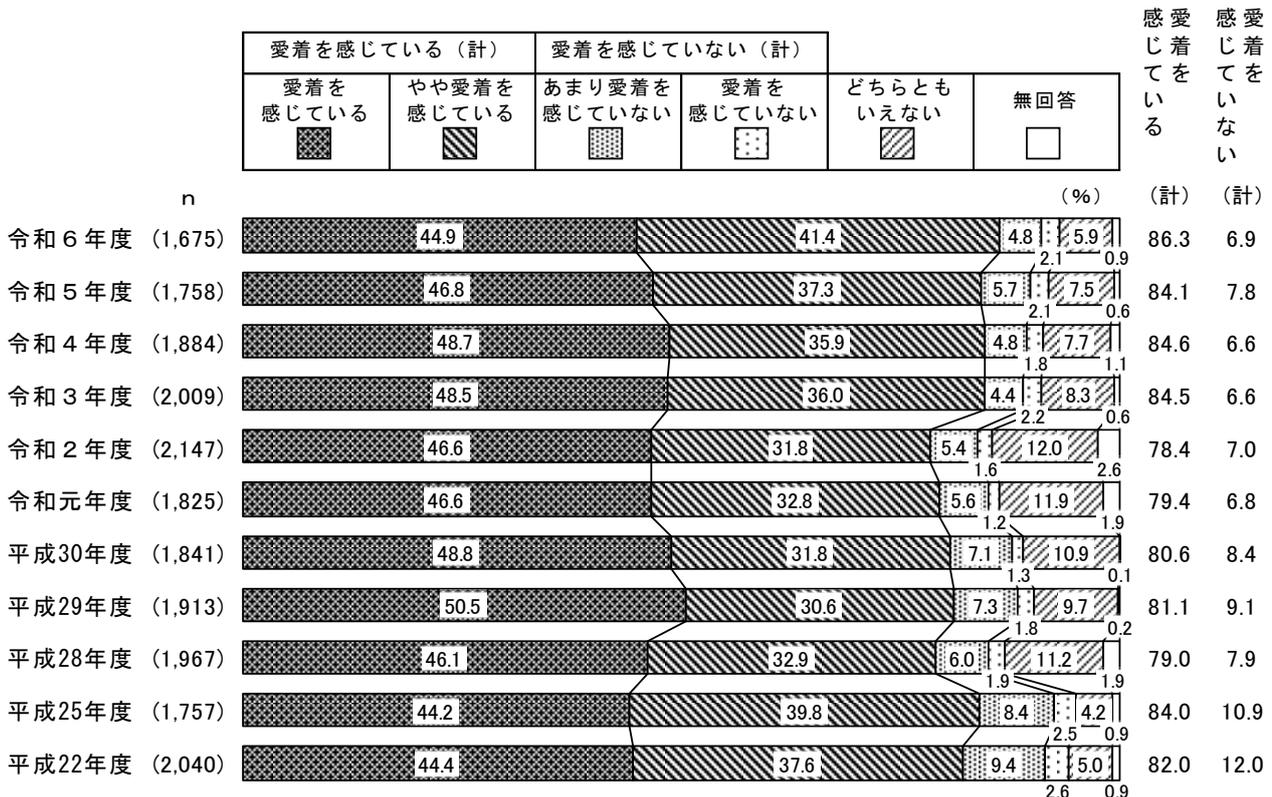
問5 あなたは現在お住まいの地域に愛着を感じますか。(1つに○)

現在お住まいの地域に愛着を感じるか聞いたところ、「愛着を感じている」(44.9%)と「やや愛着を感じている」(41.4%)を合わせた『愛着を感じている(計)』(86.3%)は8割半ばとなっている。一方、「あまり愛着を感じていない」(4.8%)と「愛着を感じていない」(2.1%)を合わせた『愛着を感じていない(計)』(6.9%)は1割未満となっている。



【経年比較】

過去の調査結果と比較すると、『愛着を感じている(計)』は令和2年度以降増加傾向となっており、平成25年度以降で最も高い値となっている。

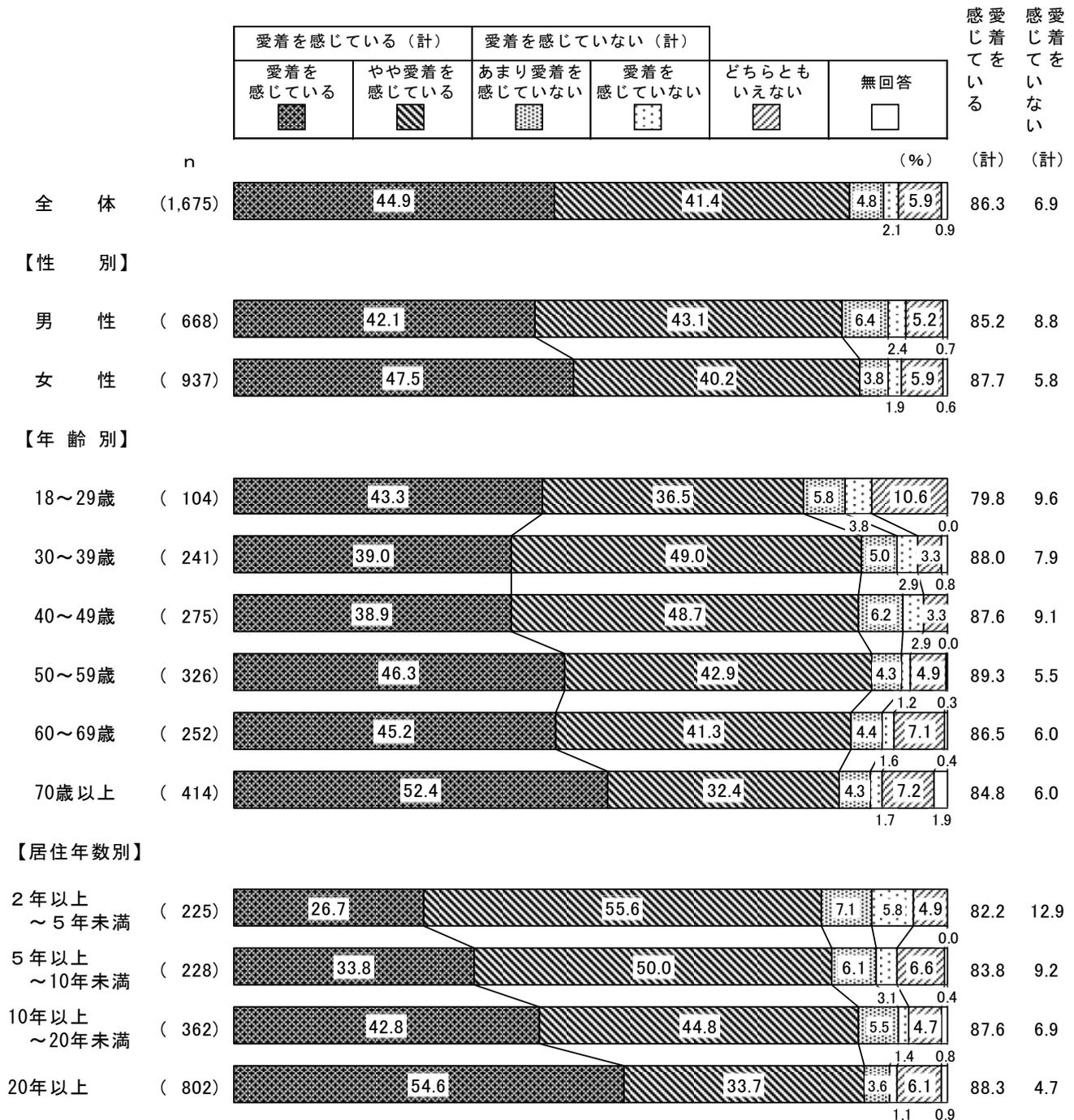


【性別、年齢別、居住年数別】

性別でみると、「愛着を感じている」は女性（47.5%）が男性（42.1%）より5.4ポイント高くなっている。

年齢別でみると、「愛着を感じている」は70歳以上（52.4%）で5割を超えて高くなっている。

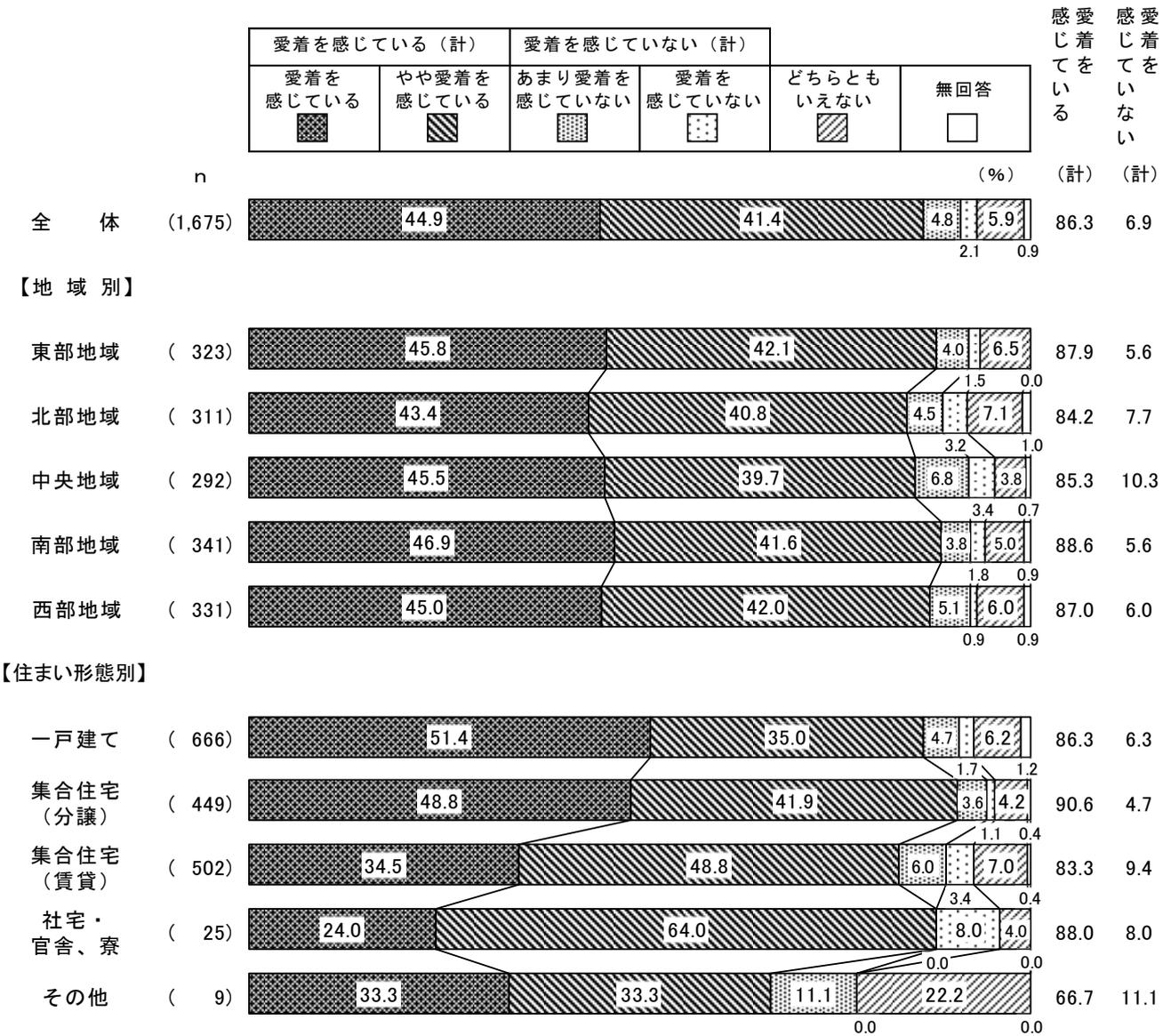
居住年数別でみると、「愛着を感じている」は居住年数が長くなるにつれて割合が高く、20年以上（54.6%）で5割半ばと高くなっている。



【地域別、住まい形態別】

地域別でみると、『愛着を感じている（計）』は南部地域（88.6%）が最も高くなっている。一方、『愛着を感じていない（計）』は中央地域（10.3%）が最も高くなっている。

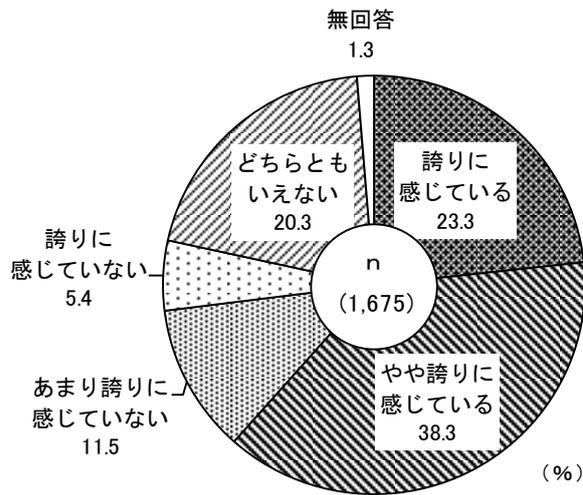
住まい形態別でみると、『愛着を感じている（計）』は集合住宅（分譲）（90.6%）で9割を超えて高くなっている。



(2) 豊島区に住んでいることを誇りに感じるか

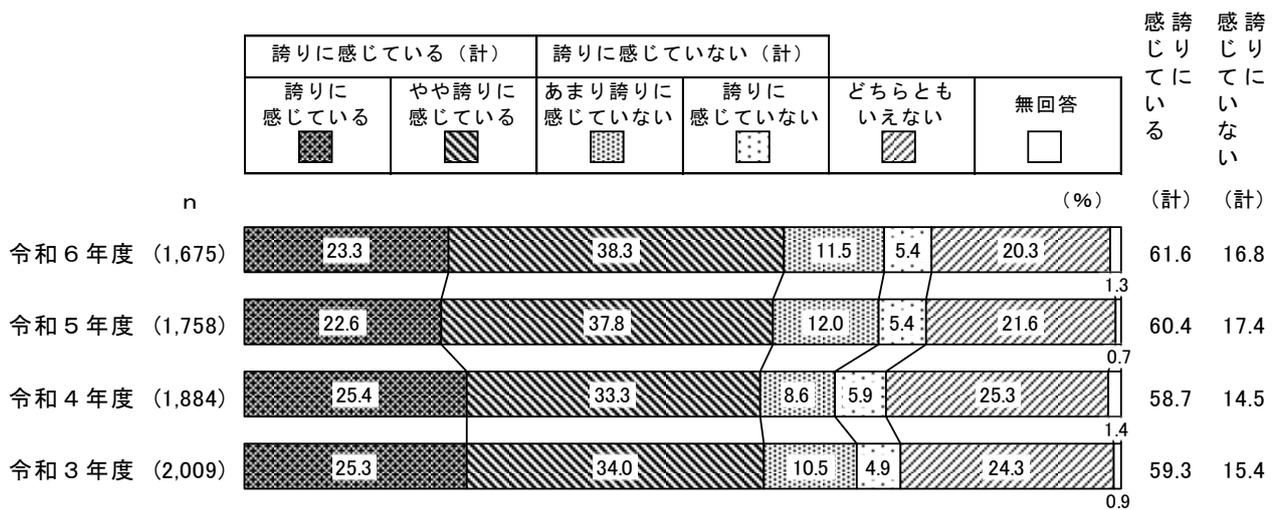
問6 あなたは豊島区に住んでいることを誇りに感じますか。(1つに○)

豊島区に住んでいることを誇りに感じるか聞いたところ、「誇りに感じている」(23.3%)と「やや誇りに感じている」(38.3%)を合わせた『誇りに感じている(計)』(61.6%)は6割を超えている。一方、「あまり誇りに感じていない」(11.5%)と「誇りに感じていない」(5.4%)を合わせた『誇りに感じていない(計)』(16.8%)は2割近くとなっている。



【経年比較】

過去の調査結果と比較すると、『誇りに感じている(計)』は令和4年度以降増加傾向となっている。

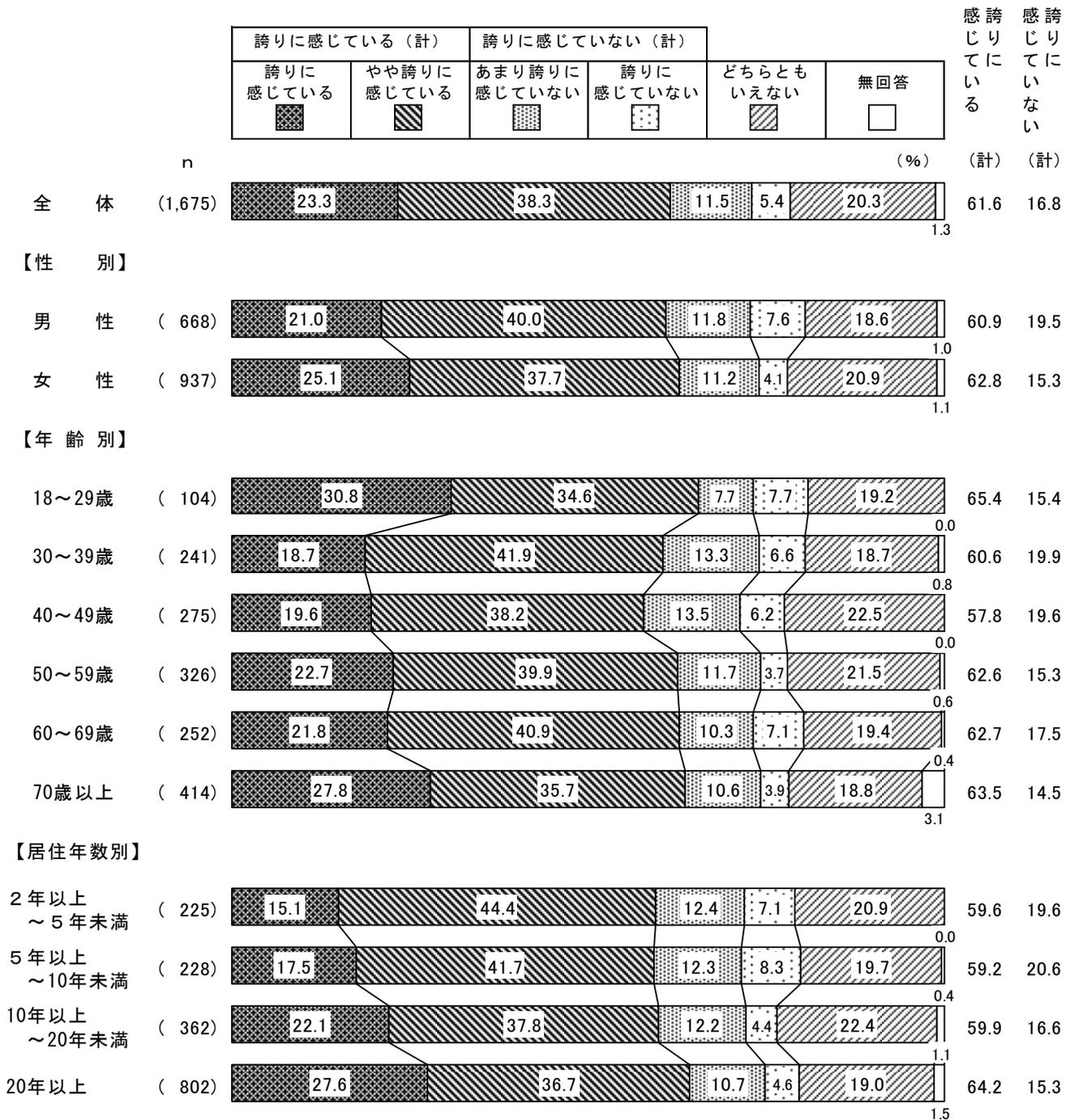


【性別、年齢別、居住年数別】

性別でみると、「誇りに感じている」は女性（25.1%）が男性（21.0%）より4.1ポイント高くなっている。

年齢別でみると、「誇りに感じている」は18～29歳（30.8%）で3割を超えて高くなっている。

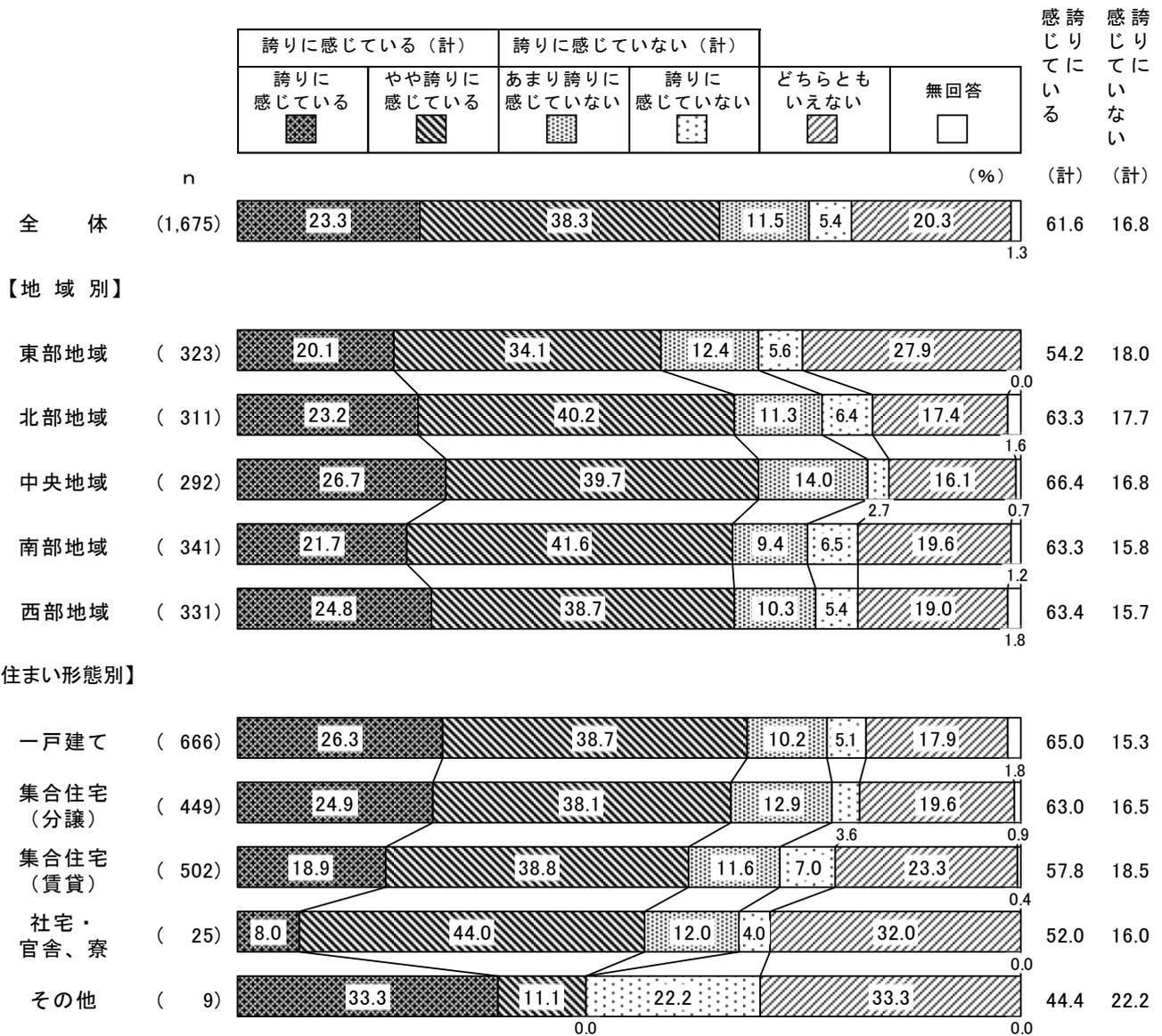
居住年数別でみると、「誇りに感じている」は20年以上（27.6%）で3割近くと高くなっている。



【地域別、住まい形態別】

地域別でみると、『誇りに感じている（計）』は中央地域（66.4%）が最も高くなっている。

住まい形態別でみると、『誇りに感じている（計）』は一戸建て（65.0%）で6割半ばとなっている。



第2章 地域の生活環境について

第2章 地域の生活環境について

《設問設定の考え方》

「豊島区基本計画」及び「豊島区実施計画」の「まちづくりの方向性」に対応するかたちで、生活環境に関して大きく7のグループを設定し、さらに、各グループにおいて基本計画の施策に対応する「目指すべき生活環境の姿」を設定した。

設定した「目指すべき生活環境の姿」に対して、「現在の評価」と7のグループごとに「今後の優先度」の回答を求めた。

また、「現在の評価」と「今後の優先度」をクロスさせた総合分析を行った。

【調査にあたり設定した7のグループ】

- (1) 地域と共に支えあう安全・安心なまち
- (2) 子育てしやすく、子ども・若者が自分らしく成長できるまち
- (3) 生涯にわたり健康で、地域で共に暮らせる福祉のまち
- (4) 豊かな心と活発な交流を育む多彩な文化のまち
- (5) 活気とにぎわいを生み出す産業と観光のまち
- (6) 共につくる地球にも人にもやさしいまち
- (7) 誰もが居心地の良い歩きたくなるまち

【各項目についての調査内容】

問7 以下の設問は、地域の生活環境を7グループに分けた上で、そのグループごとに評価の対象となる（目指すべき）生活環境の姿を表わしたものです。

あなたの生活実感やイメージにもとづき、最も近いと思われるものを選んでください。（「現在の評価」欄は、項目ごとに1つずつ○。「今後の優先度」欄は、各グループから今後優先的に良くしていくべきと考える項目番号を記入。もし、回答がわからない場合は、空欄のままにしてください。）

1. 目指すべき生活環境に対する「現在の評価」

- “どちらかというと思う” “どちらともいえない” “どちらかというと思うわない” の3つから実感に近いものを選択。
- “どちらかというと思う” から “どちらかというと思うわない” の割合を引いた数値を比較して、それが高いほど、当該項目に対する生活環境の満足度が高いものとして集計した。

2. 目指すべき生活環境に対する「今後の優先度」

- 各グループにおける複数の「目指すべき生活環境の姿」の中から、今後優先的に良くしていくべきと思う項目の番号を2つから4つ選択。

【グループと「評価の対象となる（目指すべき）生活環境の姿」一覧】

グループ	番号	評価の対象となる（目指すべき）生活環境の姿
① 地域と共に支えあう安全・安心なまち	1	異常気象や感染症、首都直下地震などの様々な危機事象に対する強靱なまちづくりが進んでいる
	2	災害に備えて家具転倒防止対策や家族分の備蓄をしている
	3	家庭、住民一人ひとりの防災意識や災害発生時の行動力が高まっている
	4	建物の不燃化・耐震化や、狭い道路の拡幅、無電柱化、集中豪雨による水害対策など、災害に強いまちづくりが進んでいる
	5	さまざまな地域活動団体やNPO、企業、大学、行政等の連携によるまちづくりが進んでいる
	6	地域活動のための施設やスペースがあり、子どもから高齢者までの多様な世代が交流している
	7	地域に住み続けるための住宅制度が充実している
	8	治安がよく、安心して暮らせる
② 子育てしやすく、子ども・若者が自分らしく成長できるまち	9	妊娠・出産期からきめ細かな支援により、安心して子どもを産み育てることができる
	10	子育てや家庭に関する悩みに対する相談先や支援事業が充実している
	11	需要に応じた保育サービスが提供されている
	12	児童虐待やドメスティック・バイオレンス（配偶者暴力）の影響などから子どもを守る体制が整備されている
	13	子どもたちは、遊びを通して豊かな心と体を育み幼児教育施設や学校に通っている
	14	学校は確かな学力、豊かな人間性、健康な体を育成する教育を行っている
	15	障害の有無や国籍、性別、不登校の状況等にかかわらず、すべての子どもたちの学びと成長のための支援が十分に行われている
	16	自宅、学校、職場以外に子ども若者の居場所が充実している
	17	学校施設の老朽化対策やバリアフリー化など安全安心な教育環境が提供されている
	18	学校教育に地域の人材が活用されている
	19	子どもの権利に関する理解が進んでいる
	20	子ども・若者の悩みや生きづらさに対する相談先や支援事業が充実している
ち ③ 生涯にわたり健康で、地域で共に暮らせる福祉のまち	21	福祉に関する相談体制が充実しており、身近な相談窓口を安心して利用できる
	22	高齢者や障害者、生活困窮者等が、必要な支援を受けながら安心して日常生活を送ることができる
	23	地域の中で、支援を必要とする人を見守り、支え合うような人と人とのつながりがある
	24	高齢者や障害者等が、社会参加し、交流しながら、いきいきとした生活を送っている
	25	まちのバリアフリー環境が整備され、日常生活に支障のないまちになっている
	26	認知症の人や障害者などの支援を必要とする方に対する区民の理解が進んでいる
	27	支援を必要とする人に適切で良質な福祉サービスが提供されている
	28	がん・生活習慣病等に関する正しい知識を得ることができ、がん検診や各種健診が受けやすい環境にある
	29	健康づくり支援が充実していて、心身の健康に気をつけて生活できている
	30	感染症や食中毒等に不安を感じる事が少ない
	31	誰もが身近な場所で適切な医療サービスの提供を安心して受けられる

グループ	番号	評価の対象となる（目指すべき）生活環境の姿
まち④ 流を豊 を育か むかな 多彩な 活心と 発多 文彩な 化発 の交	32	歴史的財産である文化財や文化資源が大切に保存・活用されている
	33	文化芸術に触れる機会が多くなった
	34	身近なところに、趣味や教養など自分の人生をより豊かにするために学ぶ場がある
	35	図書館の利用が生活の充実につながっている
	36	地域でスポーツに親しむ環境や機会がある
ちみ⑤ だ活 す気 産と 業に とぎ 観わ 光い のを ま生	37	各種経営相談窓口が充実しており、起業しやすい環境が整っている
	38	商店街を訪れた国内外の人々が困ることなく街歩きを楽しめる環境が整っている
	39	豊島区を魅力ある観光地として他人に紹介できる
	40	区内を訪れた国内外の人々に満足いただける受け入れ環境が整っている
	41	専門知識をもった相談員が親身に消費相談に乗ってくれる体制が整っている
人⑥ にも 共 につ く る 地 球 に も	42	地球温暖化について、関心を持ち、自分事として捉えている
	43	多様な生きものが生息・生育できる環境づくりが進んでいる
	44	ごみの収集が円滑に行われており、街がきれいに保たれている
	45	道路や公園、街角などにポイ捨てや落書きがなく、きれいである
	46	日頃から環境にやさしい行動をとっている
まち⑦ 誰 も が 居 心 地 の	47	地域特性にあわせたまちづくりが進み、快適な街並みが生まれている
	48	池袋周辺で、新宿・渋谷などにはない魅力あるまちづくりが進んでいる
	49	身近な生活道路が安全・快適に通行できる
	50	近くに好きな公園がある

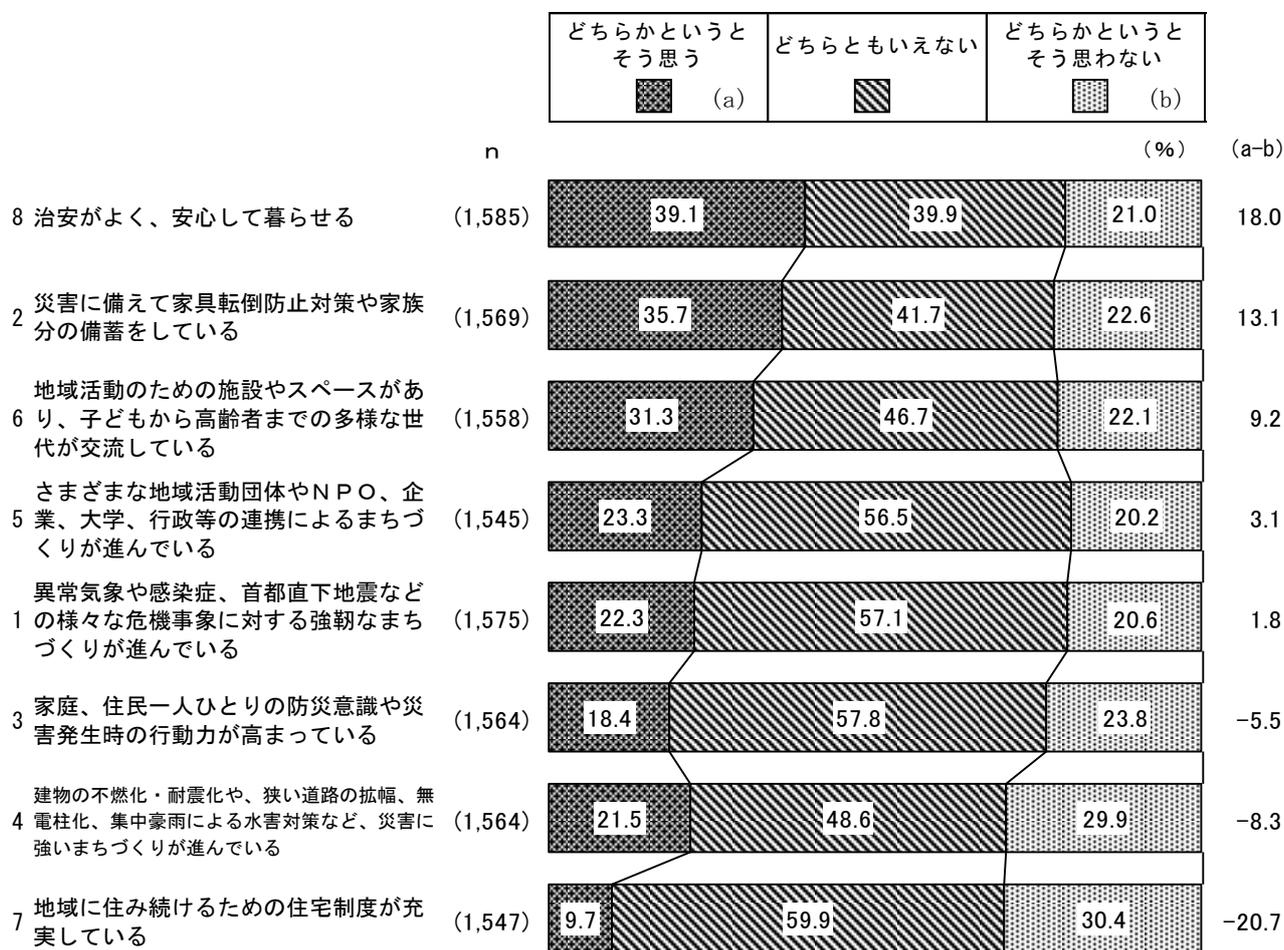
1. 目指すべき生活環境に対する「現在の評価」

(1) 地域と共に支えあう安全・安心なまち

「地域と共に支えあう安全・安心なまち」に関する生活環境について、下記の8つの項目を設定して、現在の評価を尋ねたところ、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も高い（満足度が高い）ものは、「治安がよく、安心して暮らせる」であり、次いで「災害に備えて家具転倒防止対策や家族分の備蓄をしている」となっている。

一方で、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も低い（満足度が低い）ものは、「地域に住み続けるための住宅制度が充実している」である。

【地域と共に支えあう安全・安心なまちにおける「現在の評価」】

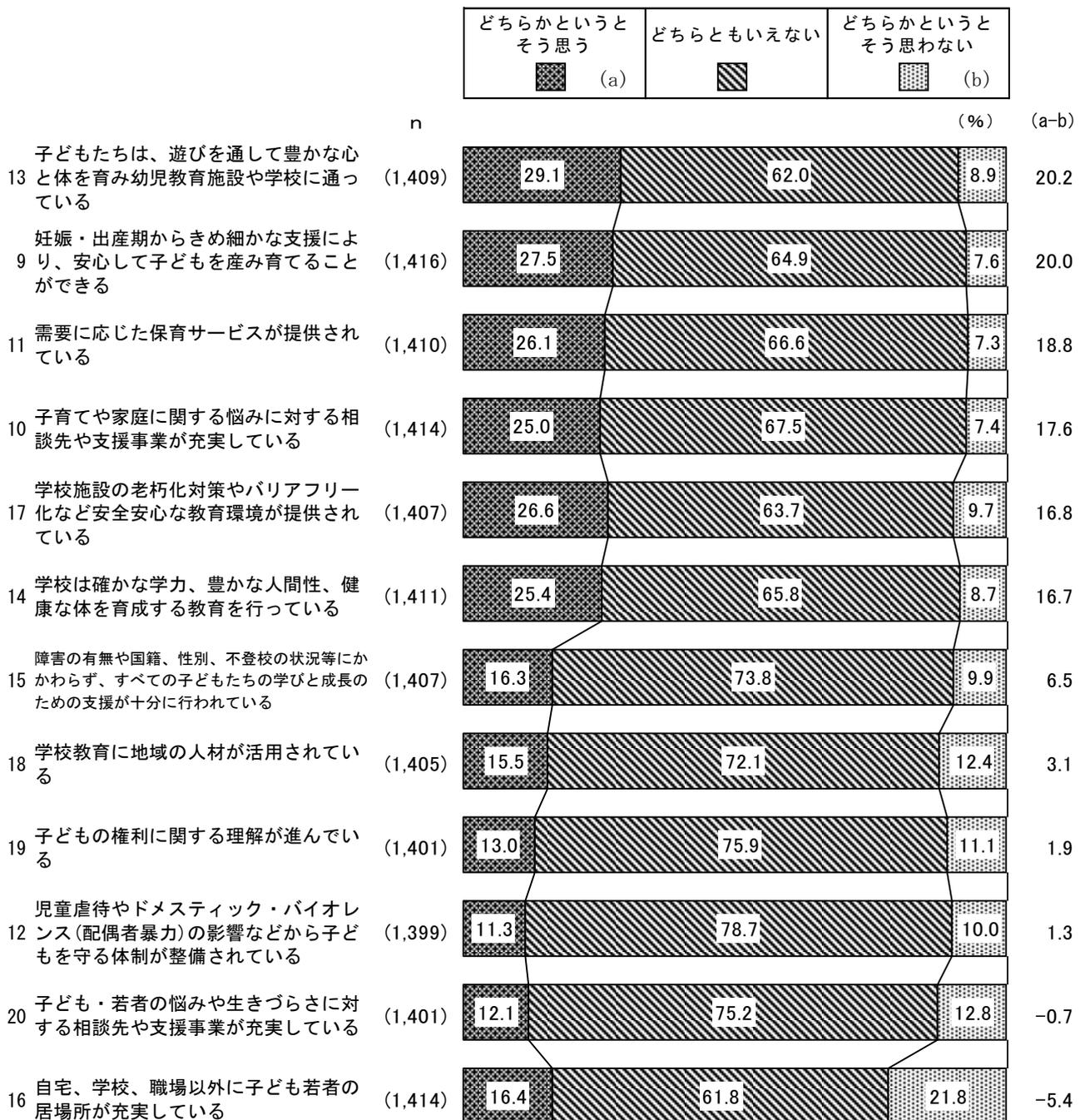


(2) 子育てしやすく、子ども・若者が自分らしく成長できるまち

「子育てしやすく、子ども・若者が自分らしく成長できるまち」に関する生活環境について、下記の12の項目を設定して、現在の評価を尋ねたところ、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も高い（満足度が高い）ものは、「子どもたちは、遊びを通して豊かな心と体を育み幼児教育施設や学校に通っている」であり、次いで「妊娠・出産期からきめ細かな支援により、安心して子どもを産み育てることができる」となっている。

一方で、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も低い（満足度が低い）ものは、「自宅、学校、職場以外に子ども若者の居場所が充実している」である。

【子育てしやすく、子ども・若者が自分らしく成長できるまちにおける「現在の評価」】

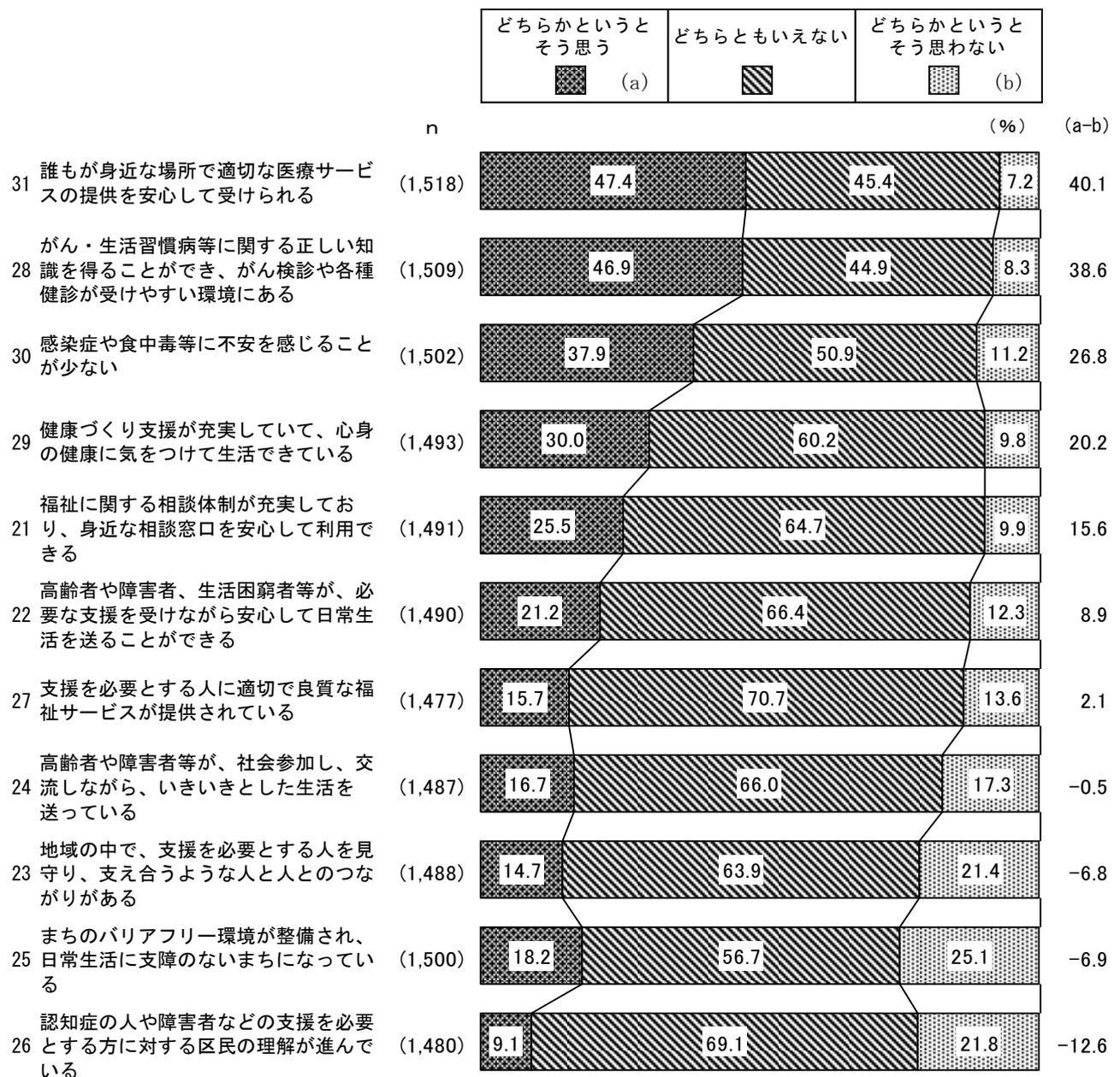


(3) 生涯にわたり健康で、地域で共に暮らせる福祉のまち

「生涯にわたり健康で、地域で共に暮らせる福祉のまち」に関する生活環境について、下記の11の項目を設定して、現在の評価を尋ねたところ、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も高い（満足度が高い）ものは、「誰もが身近な場所で適切な医療サービスの提供を安心して受けられる」であり、次いで「がん・生活習慣病等に関する正しい知識を得ることができ、がん検診や各種健診が受けやすい環境にある」となっている。

一方で、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も低い（満足度が低い）ものは、「認知症の人や障害者などの支援を必要とする方に対する区民の理解が進んでいる」である。

【生涯にわたり健康で、地域で共に暮らせる福祉のまちにおける「現在の評価」】

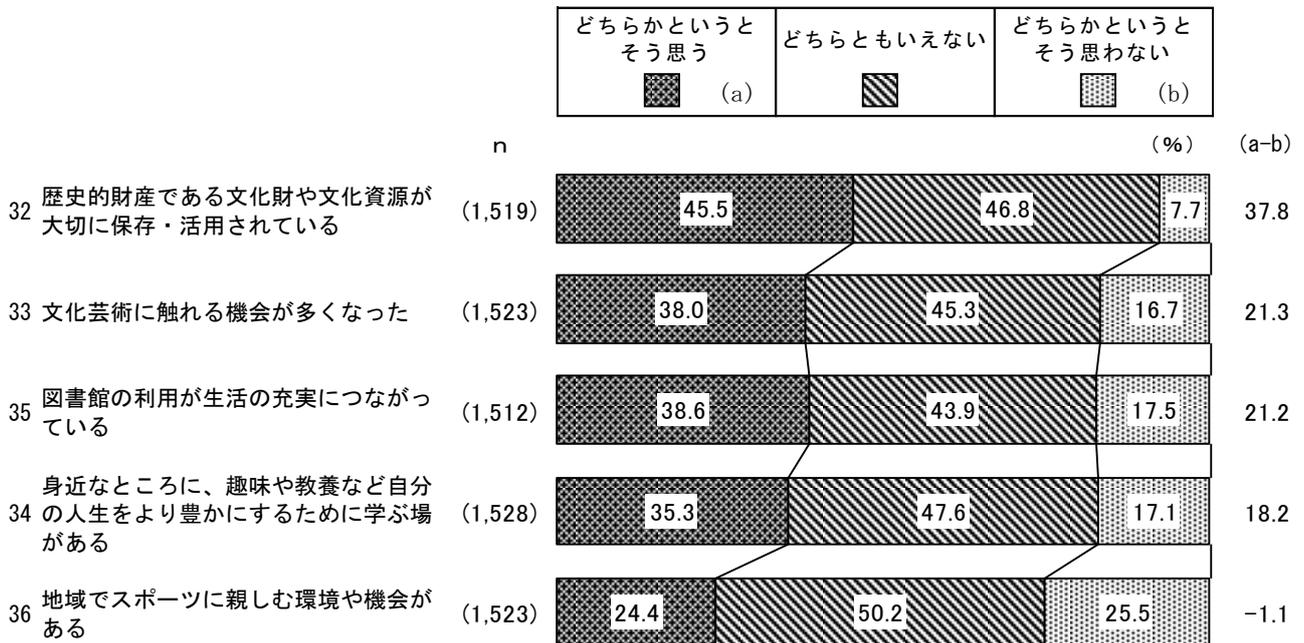


(4) 豊かな心と活発な交流を育む多彩な文化のまち

「豊かな心と活発な交流を育む多彩な文化のまち」に関する生活環境について、下記の5つの項目を設定して、現在の評価を尋ねたところ、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も高い（満足度が高い）ものは、「歴史的財産である文化財や文化資源が大切に保存・活用されている」であり、次いで「文化芸術に触れる機会が多くなった」となっている。

一方で、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も低い（満足度が低い）ものは、「地域でスポーツに親しむ環境や機会がある」である。

【豊かな心と活発な交流を育む多彩な文化のまちにおける「現在の評価」】

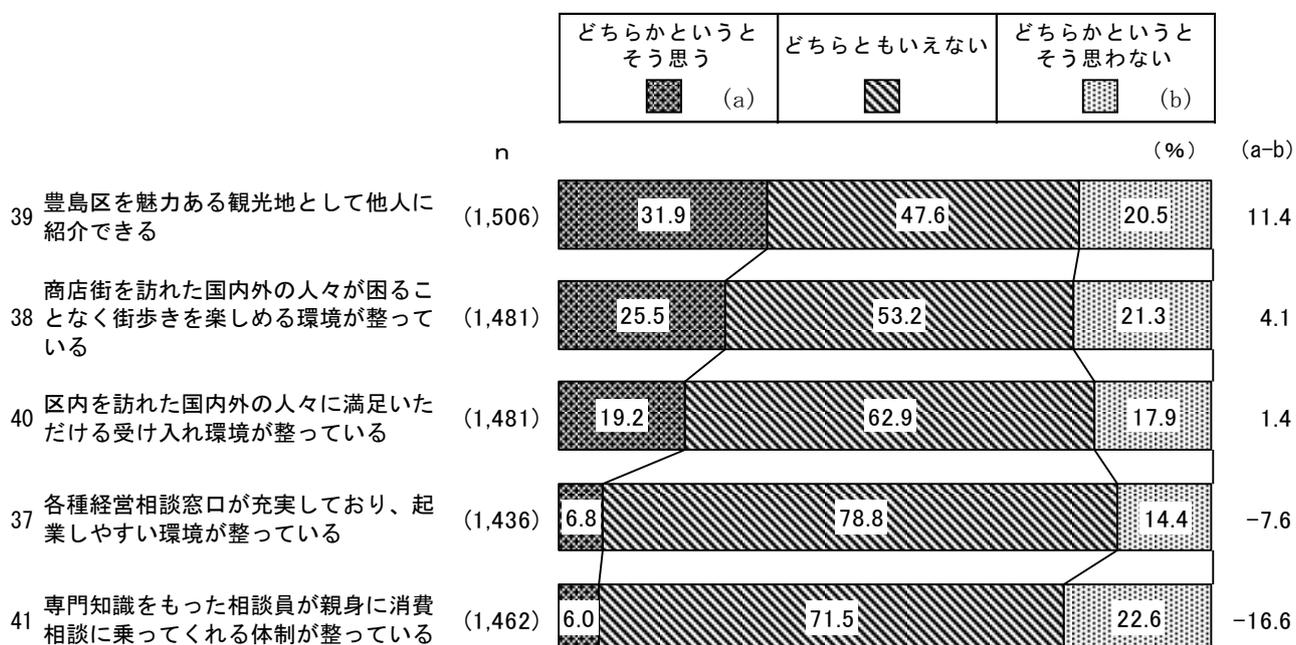


(5) 活気とにぎわいを生み出す産業と観光のまち

「活気とにぎわいを生み出す産業と観光のまち」に関する生活環境について、下記の5つの項目を設定して、現在の評価を尋ねたところ、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も高い（満足度が高い）ものは、「豊島区を魅力ある観光地として他人に紹介できる」であり、次いで「商店街を訪れた国内外の人々が困ることなく街歩きを楽しめる環境が整っている」となっている。

一方で、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も低い（満足度が低い）ものは、「専門知識をもった相談員が親身に消費相談に乗ってくれる体制が整っている」である。

【活気とにぎわいを生み出す産業と観光のまちにおける「現在の評価」】

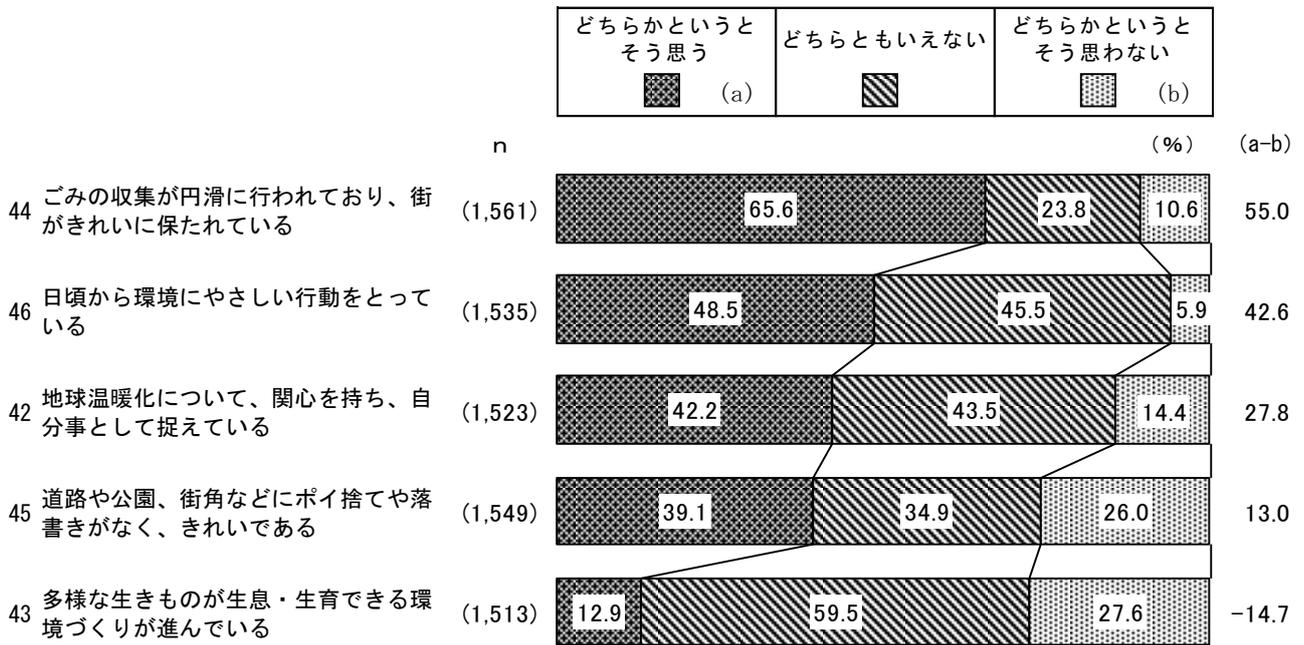


(6) 共につくる地球にも人にもやさしいまち

「共につくる地球にも人にもやさしいまち」に関する生活環境について、下記の5つの項目を設定して、現在の評価を尋ねたところ、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も高い（満足度が高い）ものは、「ごみの収集が円滑に行われており、街がきれいに保たれている」であり、次いで「日頃から環境にやさしい行動をとっている」となっている。

一方で、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も低い（満足度が低い）ものは、「多様な生きものが生息・生育できる環境づくりが進んでいる」である。

【共につくる地球にも人にもやさしいまちにおける「現在の評価」】

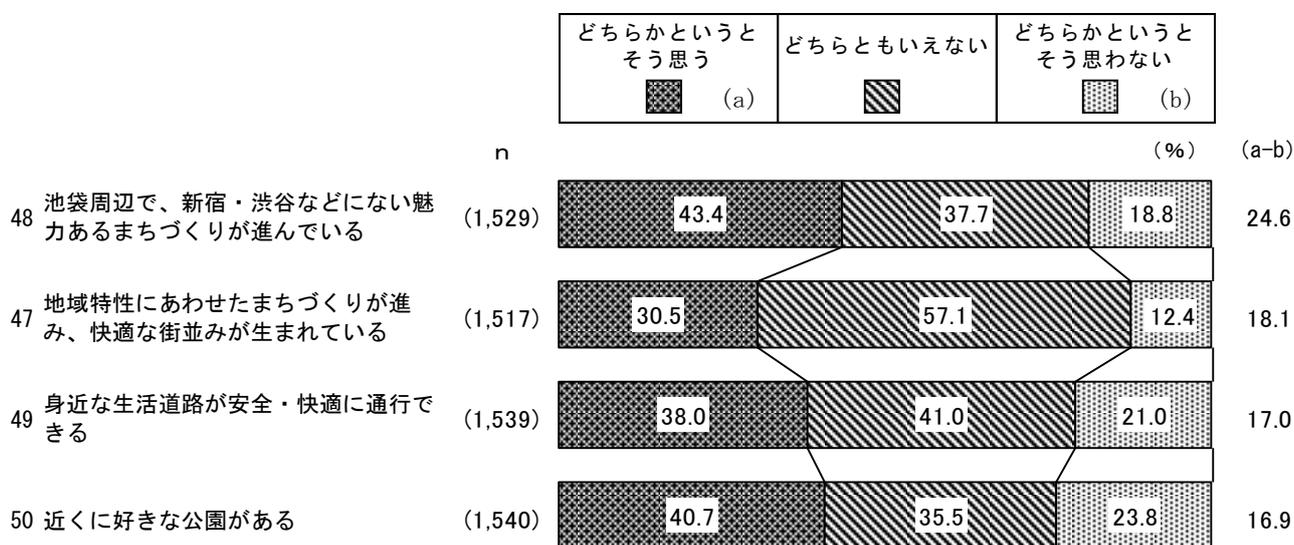


(7) 誰もが居心地の良い歩きたくなるまち

「誰もが居心地の良い歩きたくなるまち」に関する生活環境について、下記の4つの項目を設定して、現在の評価を尋ねたところ、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も高い（満足度が高い）ものは、「池袋周辺で、新宿・渋谷などない魅力あるまちづくりが進んでいる」であり、次いで「地域特性にあわせたまちづくりが進み、快適な街並みが生まれている」となっている。

一方で、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も低い（満足度が低い）ものは、「近くに好きな公園がある」である。

【誰もが居心地の良い歩きたくなるまちにおける「現在の評価」】



【グループ全体を通してみた「現在の評価」】

注) 表中の満足度欄の () 書きは前回調査 (令和5年度) の数値

(ア) 「現在の評価」が高い項目

生活環境について設定した全50項目のうち、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」の割合を引いた数値が高い (満足度が高い) 項目は以下のとおりである。

(%)

順位	グループ	評価の対象となる (目指すべき) 生活環境の姿	満足度
第1位	⑥ 共につくる地球にも人にもやさしいまち	[44] ごみの収集が円滑に行われており、街がきれいに保たれている	55.0 (50.6)
第2位	⑥ 共につくる地球にも人にもやさしいまち	[46] 日頃から環境にやさしい行動をとっている	42.6 (-)
第3位	③ 生涯にわたり健康で、地域で共に暮らせる福祉のまち	[31] 誰もが身近な場所で適切な医療サービスの提供を安心して受けられる	40.1 (40.4)
第4位	③ 生涯にわたり健康で、地域で共に暮らせる福祉のまち	[28] がん・生活習慣病等に関する正しい知識を得ることができ、がん検診や各種健診が受けやすい環境にある	38.6 (48.2)
第5位	④ 豊かな心と活発な交流を育む多彩な文化のまち	[32] 歴史的財産である文化財や文化資源が大切に保存・活用されている	37.8 (21.2)
第6位	⑥ 共につくる地球にも人にもやさしいまち	[42] 地球温暖化について、関心を持ち、自分事として捉えている	27.8 (-)
第7位	③ 生涯にわたり健康で、地域で共に暮らせる福祉のまち	[30] 感染症や食中毒等に不安を感じる事が少ない	26.8 (24.4)
第8位	⑦ 誰もが居心地の良い歩きたくなるまち	[48] 池袋周辺で、新宿・渋谷などない魅力あるまちづくりが進んでいる	24.6 (28.9)
第9位	④ 豊かな心と活発な交流を育む多彩な文化のまち	[33] 文化芸術に触れる機会が多くなった	21.3 (16.4)
第10位	④ 豊かな心と活発な交流を育む多彩な文化のまち	[35] 図書館の利用が生活の充実につながっている	21.2 (-)

(イ) 「現在の評価」が低い項目

生活環境について設定した全50項目のうち、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」の割合を引いた数値が低い (満足度が低い) 項目は以下のとおりである。

(%)

順位	グループ	評価の対象となる (目指すべき) 生活環境の姿	満足度
第1位	① 地域と共に支えあう安全・安心なまち	[07] 地域に住み続けるための住宅制度が充実している	-20.7 (-17.6)
第2位	⑤ 活気とにぎわいを生み出す産業と観光のまち	[41] 専門知識をもった相談員が親身に消費相談に乗ってくれる体制が整っている	-16.6 (-5.0)
第3位	⑥ 共につくる地球にも人にもやさしいまち	[43] 多様な生きものが息息・生育できる環境づくりが進んでいる	-14.7 (-27.0)
第4位	③ 生涯にわたり健康で、地域で共に暮らせる福祉のまち	[26] 認知症の人や障害者などの支援を必要とする方に対する区民の理解が進んでいる	-12.6 (-)
第5位	① 地域と共に支えあう安全・安心なまち	[04] 建物の不燃化・耐震化や、狭い道路の拡幅、無電柱化、集中豪雨による水害対策など、災害に強いまちづくりが進んでいる	-8.3 (-1.7)
第6位	⑤ 活気とにぎわいを生み出す産業と観光のまち	[37] 各種経営相談窓口が充実しており、起業しやすい環境が整っている	-7.6 (-)
第7位	③ 生涯にわたり健康で、地域で共に暮らせる福祉のまち	[25] まちのバリアフリー環境が整備され、日常生活に支障のないまちになっている	-6.9 (-)
第8位	③ 生涯にわたり健康で、地域で共に暮らせる福祉のまち	[23] 地域の中で、支援を必要とする人を見守り、支え合うような人と人とのつながりがある	-6.8 (1.6)
第9位	① 地域と共に支えあう安全・安心なまち	[03] 家庭、住民一人ひとりの防災意識や災害発生時の行動力が高まっている	-5.5 (-11.8)
第10位	② 子育てしやすく、子ども・若者が自分らしく成長できるまち	[16] 自宅、学校、職場以外に子ども若者の居場所が充実している	-5.4 (-)

※[28] 「がん・生活習慣病等に関する正しい知識を得ることができ、がん検診や各種健診が受けやすい環境にある」は令和5年度調査では「がん・生活習慣病に関する正しい知識が広がり、がん検診や各種健診が受けやすい環境にある」

※[41] 「専門知識をもった相談員が親身に消費相談に乗ってくれる体制が整っている」は令和5年度調査では「消費生活でトラブルに悩まされず、相談窓口も充実している」

※[04] 「建物の不燃化・耐震化や、狭い道路の拡幅、無電柱化、集中豪雨による水害対策など、災害に強いまちづくりが進んでいる」は令和5年度調査では「建物の耐火・耐震化や、狭い道路の拡幅など、災害に強いまちづくりが進んでいる」

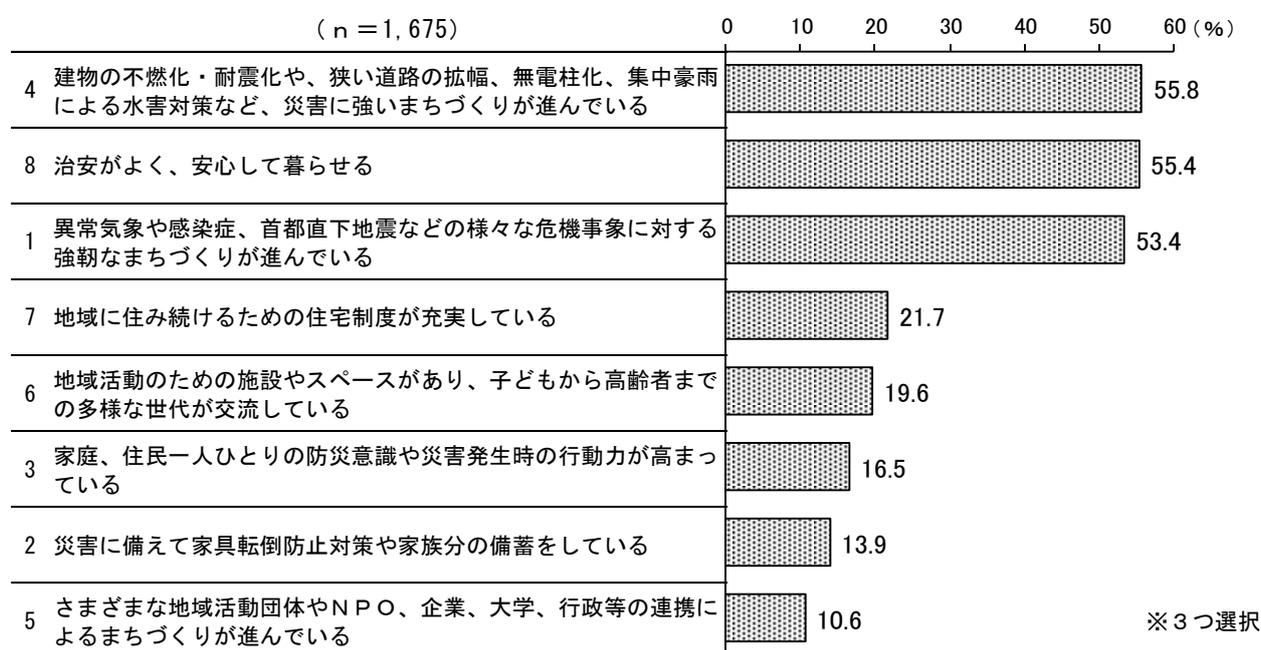
※[23] 「地域の中で、支援を必要とする人を見守り、支え合うような人と人とのつながりがある」は令和5年度調査では「地域の中で、高齢者等を見守り、支え合うような人と人とのつながりがある」

2. 目指すべき生活環境に対する「今後の優先度」

(1) 地域と共に支えあう安全・安心なまち

「地域と共に支えあう安全・安心なまち」に関する生活環境について、下記の8つの項目を設定して、今後の優先度を尋ねたところ、「建物の不燃化・耐震化や、狭い道路の拡幅、無電柱化、集中豪雨による水害対策など、災害に強いまちづくりが進んでいる」(55.8%)が5割半ばで最も高く、次いで「治安がよく、安心して暮らせる」(55.4%)、「異常気象や感染症、首都直下地震などの様々な危機事象に対する強靱なまちづくりが進んでいる」(53.4%)、「地域に住み続けるための住宅制度が充実している」(21.7%)となっている。

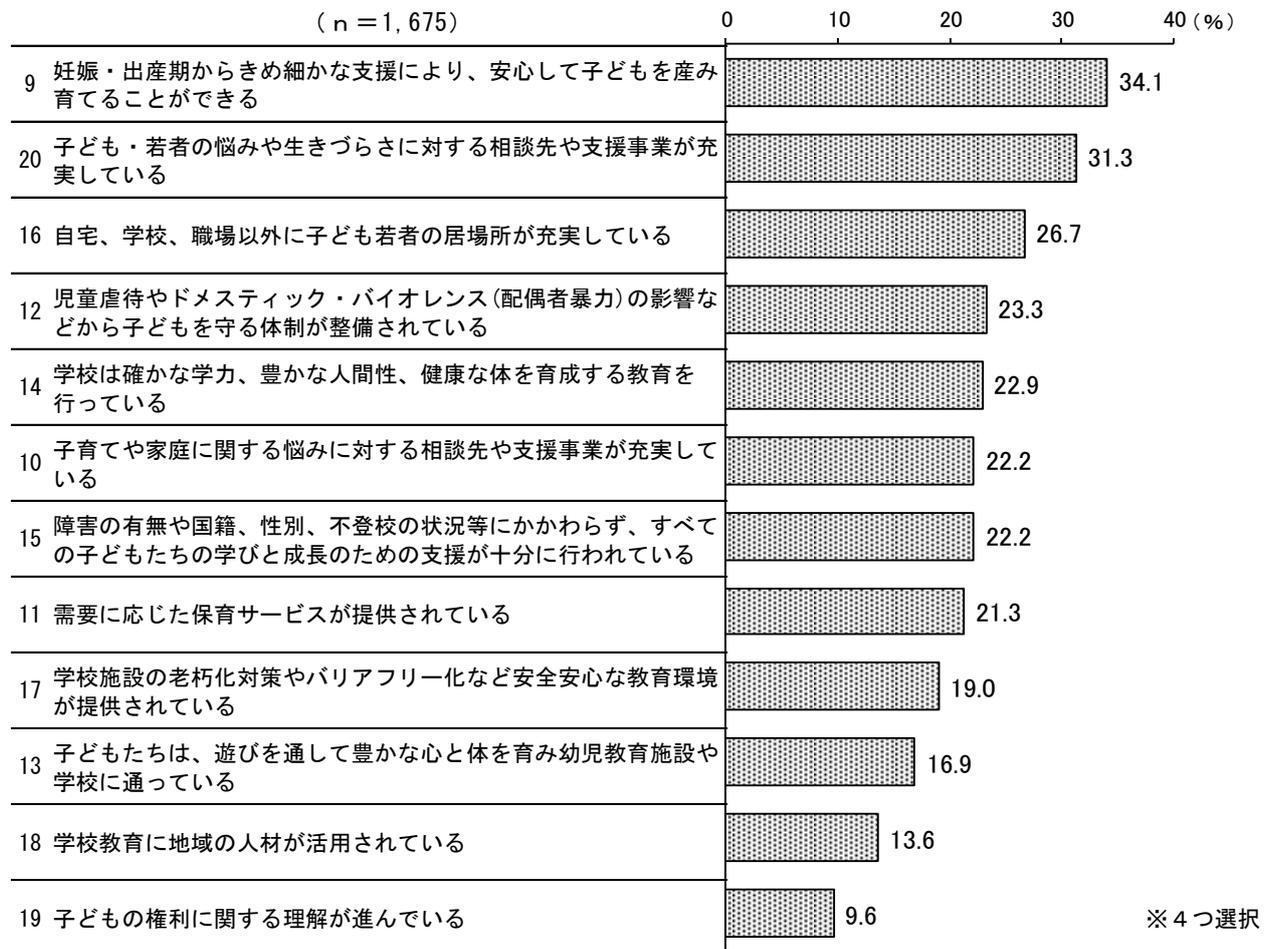
【地域と共に支えあう安全・安心なまちにおける「今後の優先度」】



(2) 子育てしやすく、子ども・若者が自分らしく成長できるまち

「子育てしやすく、子ども・若者が自分らしく成長できるまち」に関する生活環境について、下記の12の項目を設定して、今後の優先度を尋ねたところ、「妊娠・出産期からきめ細かな支援により、安心して子どもを産み育てることができる」(34.1%)が3割半ばで最も高く、次いで「子ども・若者の悩みや生きづらさに対する相談先や支援事業が充実している」(31.3%)、「自宅、学校、職場以外に子ども若者の居場所が充実している」(26.7%)、「児童虐待やドメスティック・バイオレンス(配偶者暴力)の影響などから子どもを守る体制が整備されている」(23.3%)となっている。

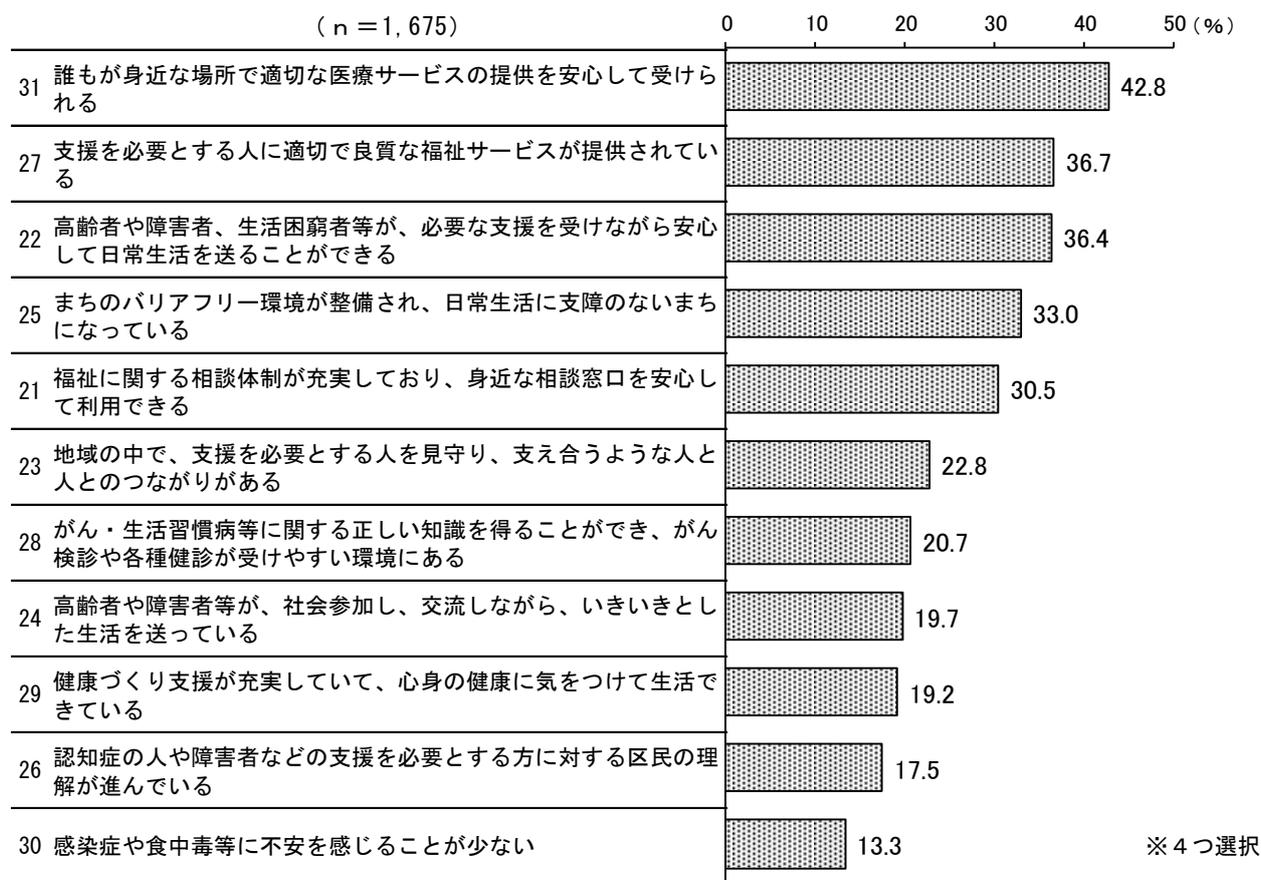
【子育てしやすく、子ども・若者が自分らしく成長できるまちにおける「今後の優先度」】



(3) 生涯にわたり健康で、地域で共に暮らせる福祉のまち

「生涯にわたり健康で、地域で共に暮らせる福祉のまち」に関する生活環境について、下記の11の項目を設定して、今後の優先度を尋ねたところ、「誰もが身近な場所で適切な医療サービスの提供を安心して受けられる」(42.8%)が4割を超えて最も高く、次いで「支援を必要とする人に適切で良質な福祉サービスが提供されている」(36.7%)、「高齢者や障害者、生活困窮者等が、必要な支援を受けながら安心して日常生活を送ることができる」(36.4%)、「まちのバリアフリー環境が整備され、日常生活に支障のないまちになっている」(33.0%)となっている。

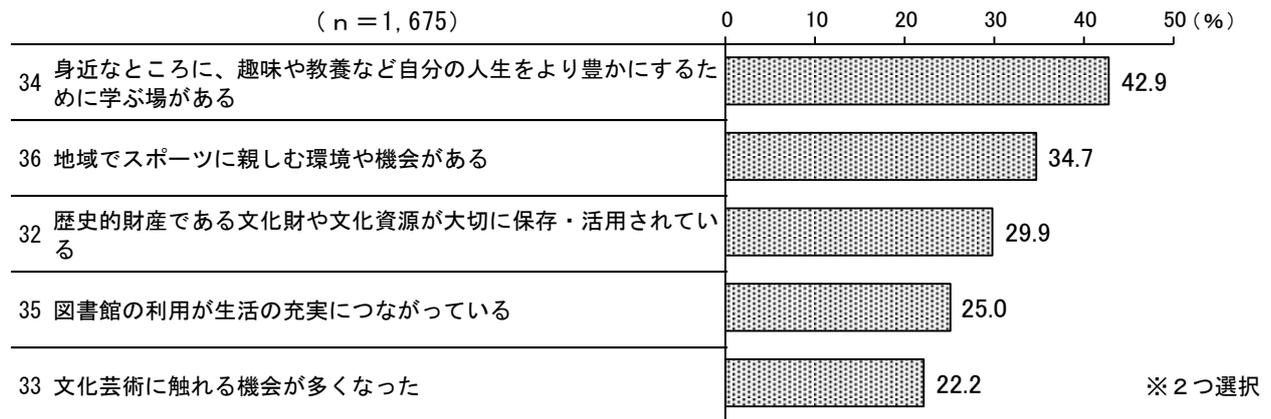
【生涯にわたり健康で、地域で共に暮らせる福祉のまちにおける「今後の優先度」】



(4) 豊かな心と活発な交流を育む多彩な文化のまち

「豊かな心と活発な交流を育む多彩な文化のまち」に関する生活環境について、下記の5つの項目を設定して、今後の優先度を尋ねたところ、「身近なところに、趣味や教養など自分の人生をより豊かにするために学ぶ場がある」(42.9%)が4割を超えて最も高く、次いで「地域でスポーツに親しむ環境や機会がある」(34.7%)、「歴史的財産である文化財や文化資源が大切に保存・活用されている」(29.9%)、「図書館の利用が生活の充実につながっている」(25.0%)となっている。

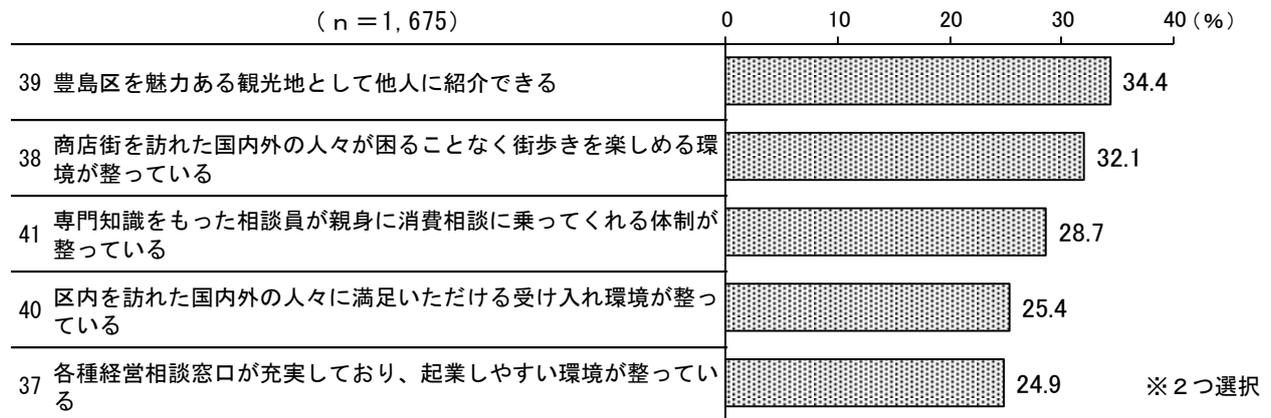
【豊かな心と活発な交流を育む多彩な文化のまちにおける「今後の優先度」】



(5) 活気とにぎわいを生み出す産業と観光のまち

「活気とにぎわいを生み出す産業と観光のまち」に関する生活環境について、下記の5つの項目を設定して、今後の優先度を尋ねたところ、「豊島区を魅力ある観光地として他人に紹介できる」(34.4%)が3割半ばで最も高く、次いで「商店街を訪れた国内外の人々が困ることなく街歩きを楽しめる環境が整っている」(32.1%)、「専門知識をもった相談員が親身に消費相談に乗ってくれる体制が整っている」(28.7%)、「区内を訪れた国内外の人々に満足いただける受け入れ環境が整っている」(25.4%)、となっている。

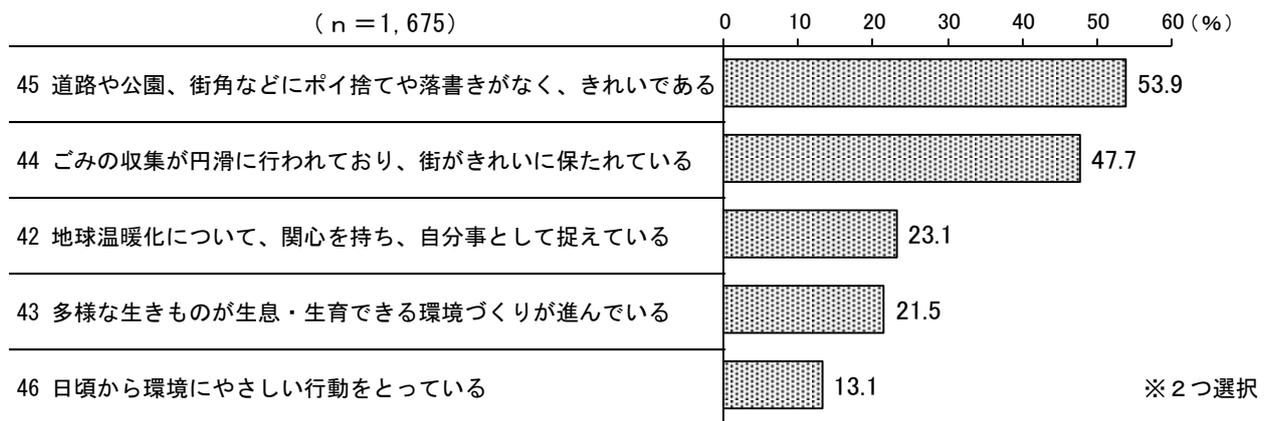
【活気とにぎわいを生み出す産業と観光のまちにおける「今後の優先度」】



(6) 共につくる地球にも人にもやさしいまち

「共につくる地球にも人にもやさしいまち」に関する生活環境について、下記の5つの項目を設定して、今後の優先度を尋ねたところ、「道路や公園、街角などにポイ捨てや落書きがなく、きれいである」(53.9%)が5割半ばで最も高く、次いで「ごみの収集が円滑に行われており、街がきれいに保たれている」(47.7%)、「地球温暖化について、関心を持ち、自分事として捉えている」(23.1%)、「多様な生きものが生息・生育できる環境づくりが進んでいる」(21.5%)となっている。

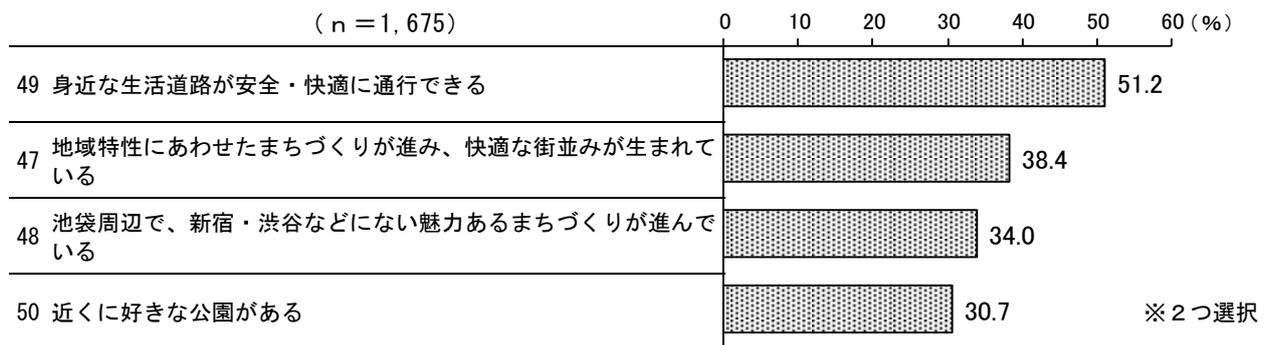
【共につくる地球にも人にもやさしいまちにおける「今後の優先度」】



(7) 誰もが居心地の良い歩きたくなるまち

「誰もが居心地の良い歩きたくなるまち」に関する生活環境について、下記の4つの項目を設定して、今後の優先度を尋ねたところ、「身近な生活道路が安全・快適に通行できる」(51.2%)が5割を超えて最も高く、次いで「地域特性にあわせたまちづくりが進み、快適な街並みが生まれている」(38.4%)、「池袋周辺で、新宿・渋谷などない魅力あるまちづくりが進んでいる」(34.0%)、「近くに好きな公園がある」(30.7%)となっている。

【誰もが居心地の良い歩きたくなるまちにおける「今後の優先度」】



3. 「現在の評価」と「今後の優先度」をクロスさせた総合分析

7のグループごとに、「現在の評価」と「今後の優先度」の調査結果を下記により数値化し、この2つの評価を軸として、総合分析を行った。

【数値化の方法】

それぞれの設問について、下記のとおり数値化した。

■現在の評価（目指すべき生活環境の姿に近いか）

各項目の加重平均値

$$= (\text{「どちらかというと思う」の回答者数} \times 1 \text{点} + \text{「どちらともいえない」の回答者数} \times 0 \text{点} + \text{「どちらかというと思わない」の回答者数} \times -1 \text{点}) \div \text{回答者数}$$

■今後の優先度

各項目の回答割合（％）

■基準軸の設定

- ・現在の評価：0（ゼロ）を基準
- ・今後の優先度：グループごとの各項目の平均優先度を基準

「現在の評価」を縦軸、「今後の優先度」を横軸とし、上記の基準軸設定により、下記のとおり、「A」「B」「C」「D」の4つの領域を設定して、グループごとに評価、分析を行った。

(+) 「現在の評価」の軸 (-)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40px; margin: 0 auto;">C</div> 現在の評価は高いが、今後の優先度は低い 現在の評価 (+) プラス 各項目の優先度 (<) 平均優先度	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40px; margin: 0 auto;">A</div> 現在の評価も、今後の優先度も高い 現在の評価 (+) プラス 各項目の優先度 (>) 平均優先度
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40px; margin: 0 auto;">D</div> 現在の評価も、今後の優先度も低い 現在の評価 (-) マイナス 各項目の優先度 (<) 平均優先度	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40px; margin: 0 auto;">B</div> 現在の評価は低いが、今後の優先度は高い 現在の評価 (-) マイナス 各項目の優先度 (>) 平均優先度
	(-)	(+)

「今後の優先度」の軸

上記のチャート図において、右下に位置していればいるほど、「現在の評価は低い、今後の優先度は高い」ことになり、改善に向けて力を入れていく必要があるということになる。

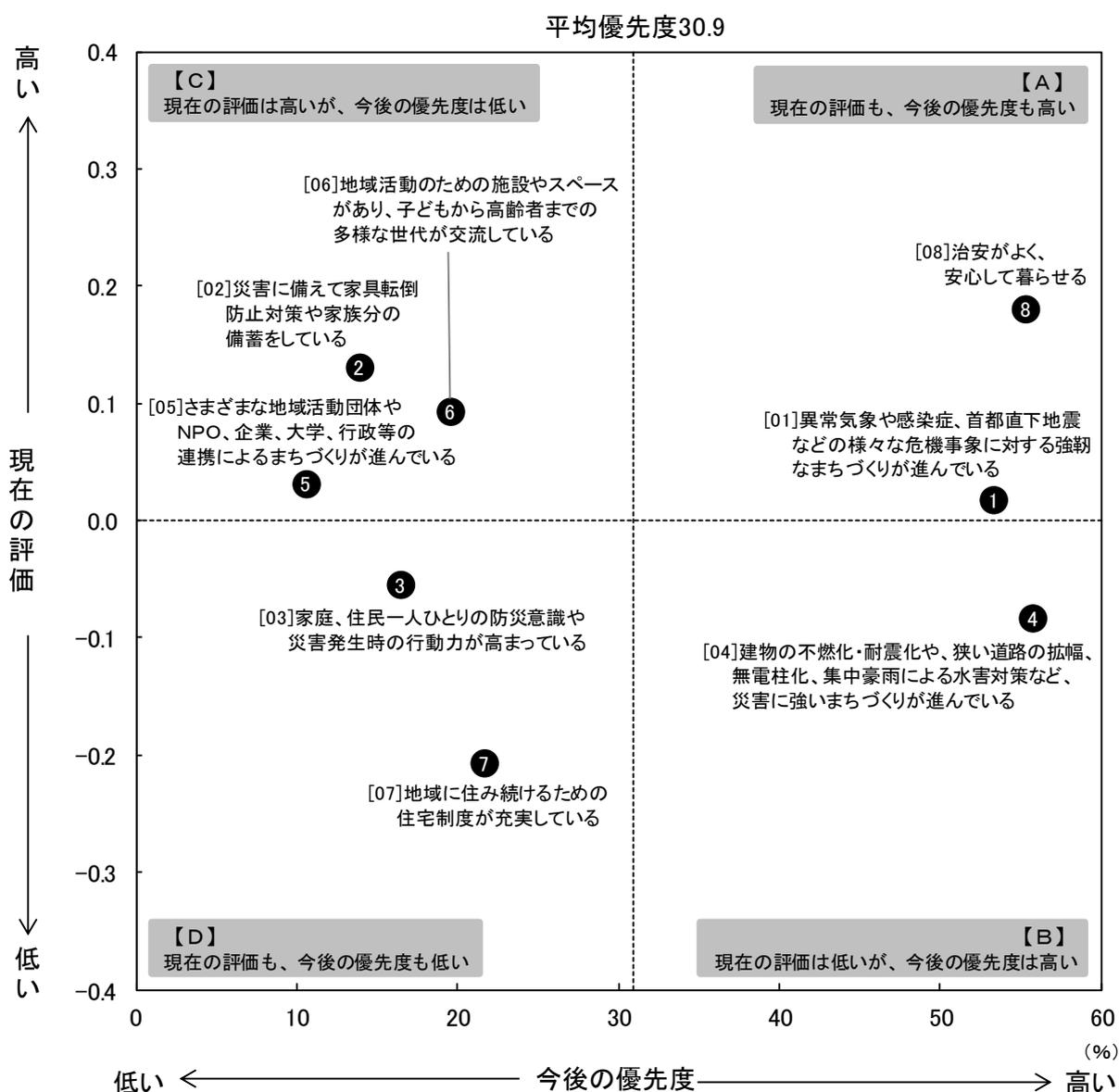
B	評価【低】かつ 優先度【高】	行政として重点的に取り組む
A	評価【高】かつ 優先度【高】	現状維持
D	評価【低】かつ 優先度【低】	
C	評価【高】かつ 優先度【低】	行政の役割は小さい

(1) 地域と共に支えあう安全・安心なまち

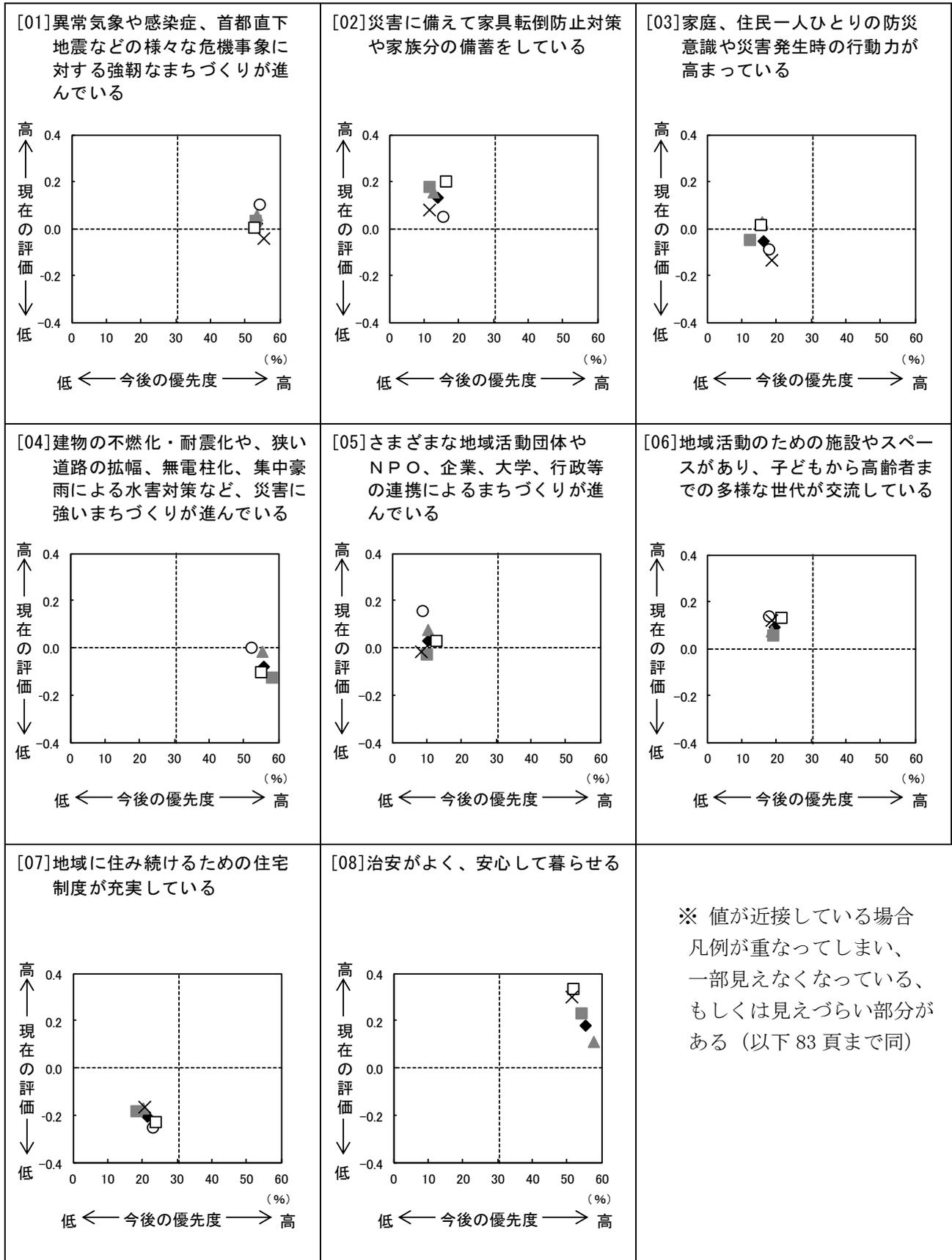
「地域と共に支えあう安全・安心なまち」に関する生活環境では、8項目のうち2項目が「(A) 現在の評価も、今後の優先度も高い」に位置している。また、1項目が「(B) 現在の評価は低い、今後の優先度は高い」に、3項目が「(C) 現在の評価は高い、今後の優先度は低い」に、2項目が「(D) 現在の評価も、今後の優先度も低い」に位置している。

改善に向けて取り組む必要のある「(B) 現在の評価は低い、今後の優先度は高い」は、「建物の不燃化・耐震化や、狭い道路の拡幅、無電柱化、集中豪雨による水害対策など、災害に強いまちづくりが進んでいる」が位置している。

【地域と共に支えあう安全・安心なまちにおける総合分析】



【地域と共に支えあう安全・安心なまちにおける地域別比較】



【凡例】
 ◆: 区全体 ■: 東部地域 ▲: 北部地域 ×: 西部地域 ○: 中央地域 □: 南部地域

※ 地域の具体的区分は6ページの(7)居住地域名を参照

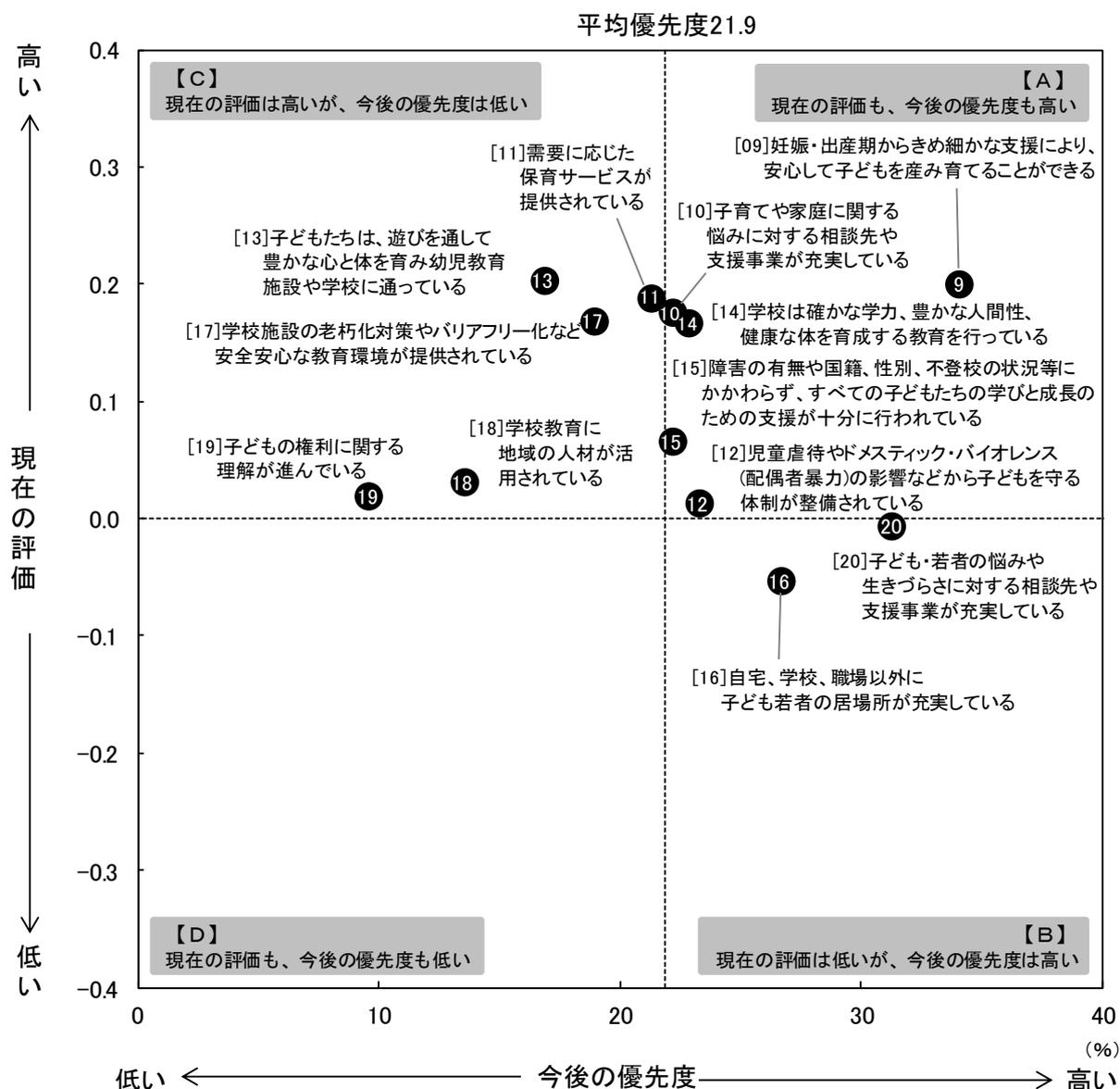
(2) 子育てしやすく、子ども・若者が自分らしく成長できるまち

「子育てしやすく、子ども・若者が自分らしく成長できるまち」に関する生活環境では、12項目のうち5項目が「(A) 現在の評価も、今後の優先度も高い」に位置している。また、2項目が「(B) 現在の評価は低い、今後の優先度は高い」に、5項目が「(C) 現在の評価は高いが、今後の優先度は低い」に位置している。

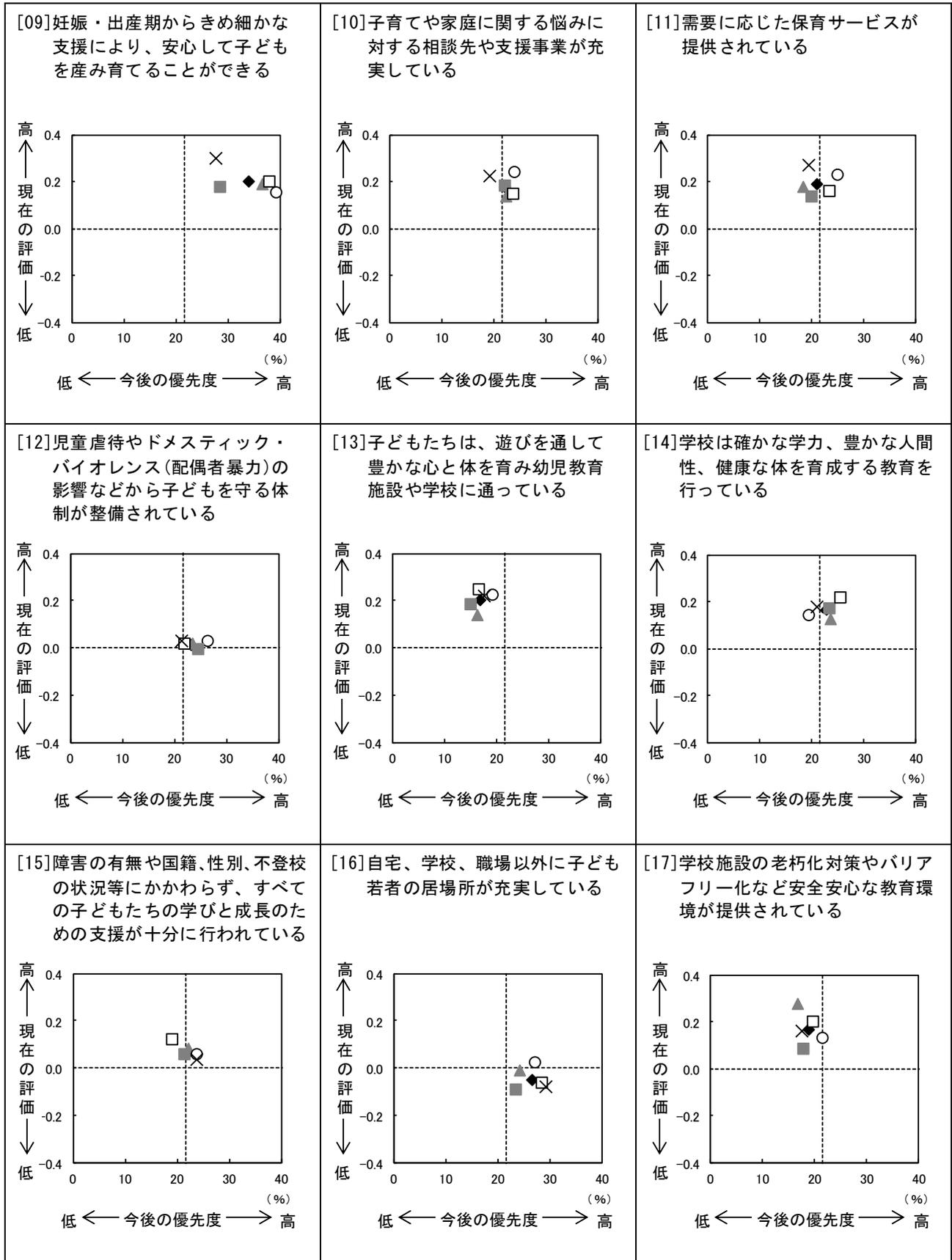
なお、「(D) 現在の評価も、今後の優先度も低い」に位置する項目はみられない。

改善に向けて取り組む必要のある「(B) 現在の評価は低い、今後の優先度は高い」は、「自宅、学校、職場以外に子ども若者の居場所が充実している」、「子ども・若者の悩みや生きづらさに対する相談先や支援事業が充実している」が位置している。

【子育てしやすく、子ども・若者が自分らしく成長できるまちにおける総合分析】



【子育てしやすく、子ども・若者が自分らしく成長できるまちにおける地域別比較（1）】

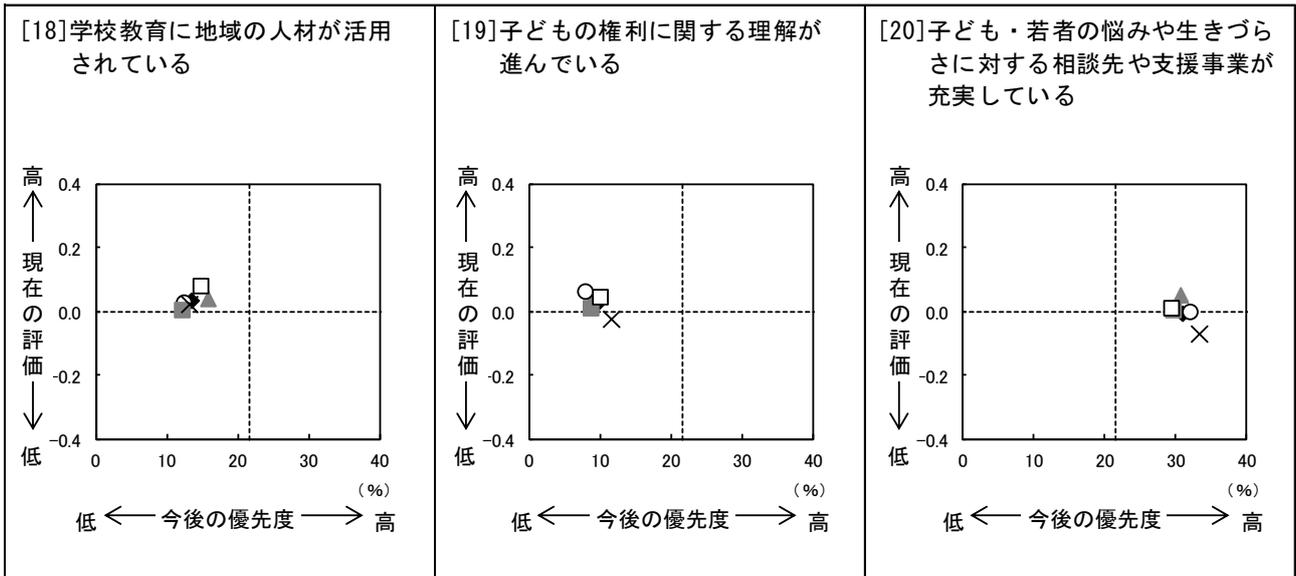


【凡例】

- ◆: 区全体
- : 東部地域
- ▲: 北部地域
- ×: 西部地域
- : 中央地域
- : 南部地域

※ 地域の具体的区分は6ページの(7)居住地域名を参照

【子育てしやすく、子ども・若者が自分らしく成長できるまちにおける地域別比較（2）】



【凡例】
 ◆: 区全体 ■: 東部地域 ▲: 北部地域 ×: 西部地域 ○: 中央地域 □: 南部地域

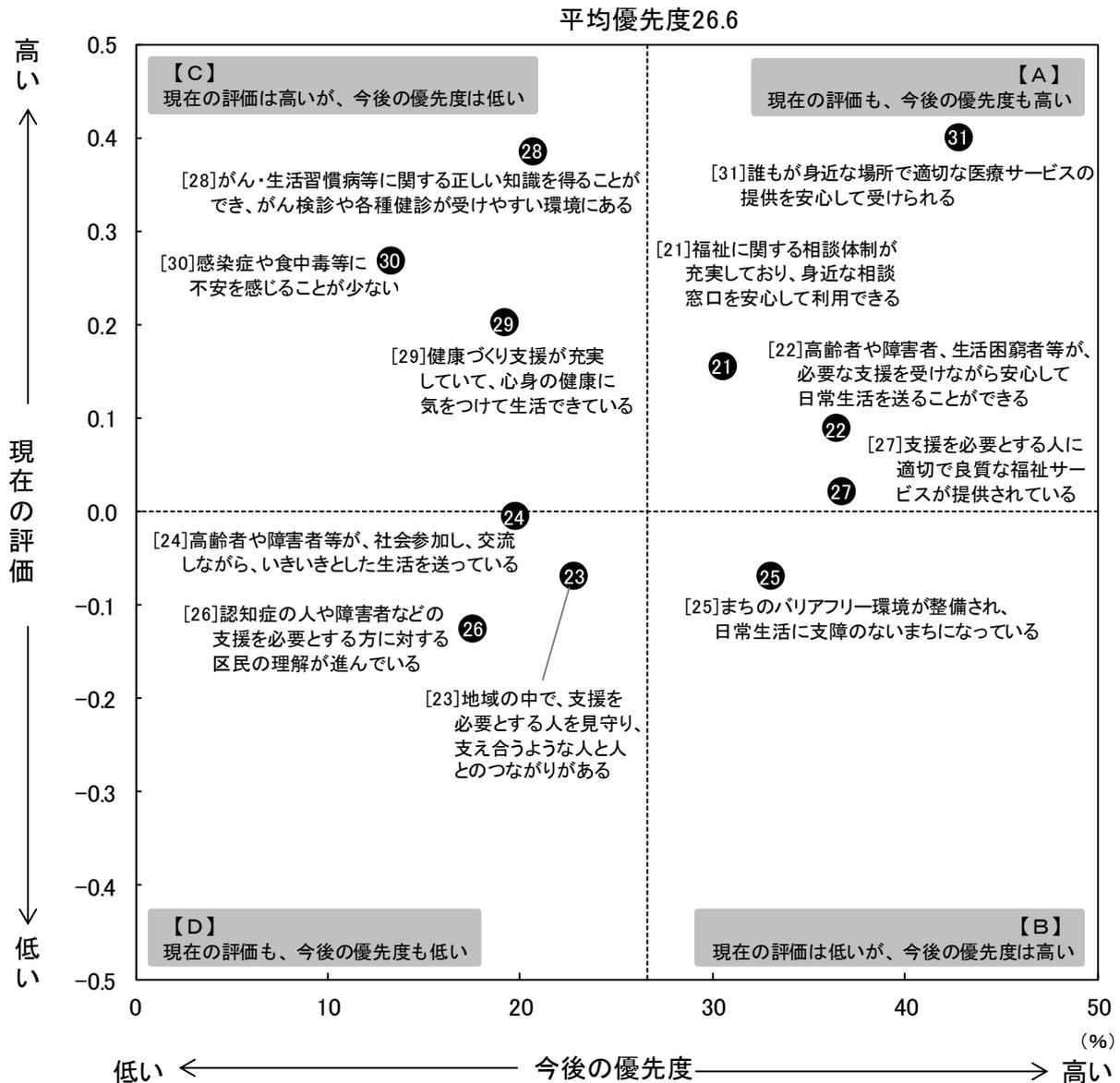
※ 地域の具体的区分は6ページの(7)居住地域名を参照

(3) 生涯にわたり健康で、地域で共に暮らせる福祉のまち

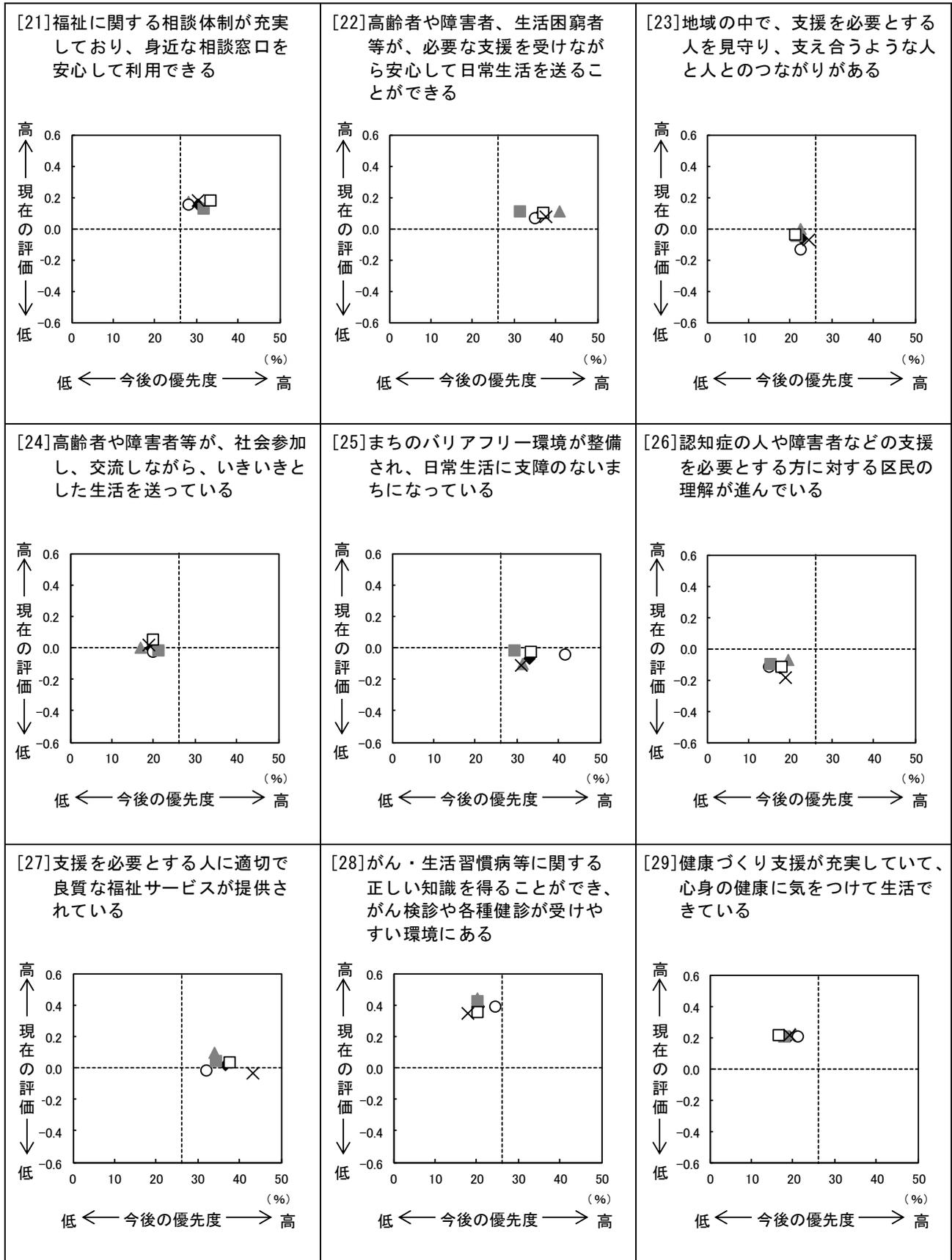
「生涯にわたり健康で、地域で共に暮らせる福祉のまち」に関する生活環境では、11項目のうち4項目が「(A) 現在の評価も、今後の優先度も高い」に位置している。また、1項目が「(B) 現在の評価は低い、今後の優先度は高い」に、3項目が「(C) 現在の評価は高い、今後の優先度は低い」に、3項目が「(D) 現在の評価も、今後の優先度も低い」に位置している。

改善に向けて取り組む必要のある「(B) 現在の評価は低い、今後の優先度は高い」は、「まちのバリアフリー環境が整備され、日常生活に支障のないまちになっている」が位置している。

【生涯にわたり健康で、地域で共に暮らせる福祉のまちにおける総合分析】



【生涯にわたり健康で、地域で共に暮らせる福祉のまちにおける地域別比較（1）】

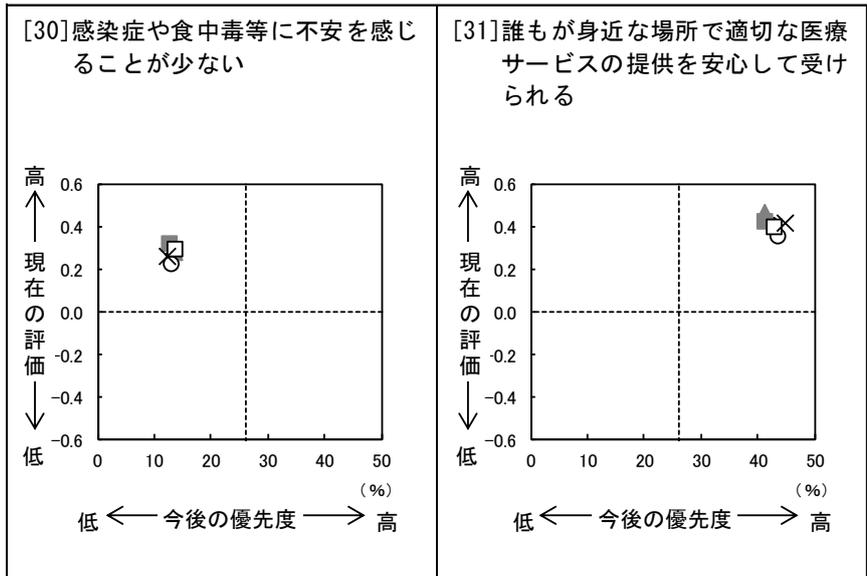


【凡例】

- ◆: 区全体
- : 東部地域
- ▲: 北部地域
- ×: 西部地域
- : 中央地域
- : 南部地域

※ 地域の具体的区分は6ページの（7）居住地域名を参照

【生涯にわたり健康で、地域で共に暮らせる福祉のまちにおける地域別比較（2）】



【凡例】
 ◆: 区全体 ■: 東部地域 ▲: 北部地域 ×: 西部地域 ○: 中央地域 □: 南部地域

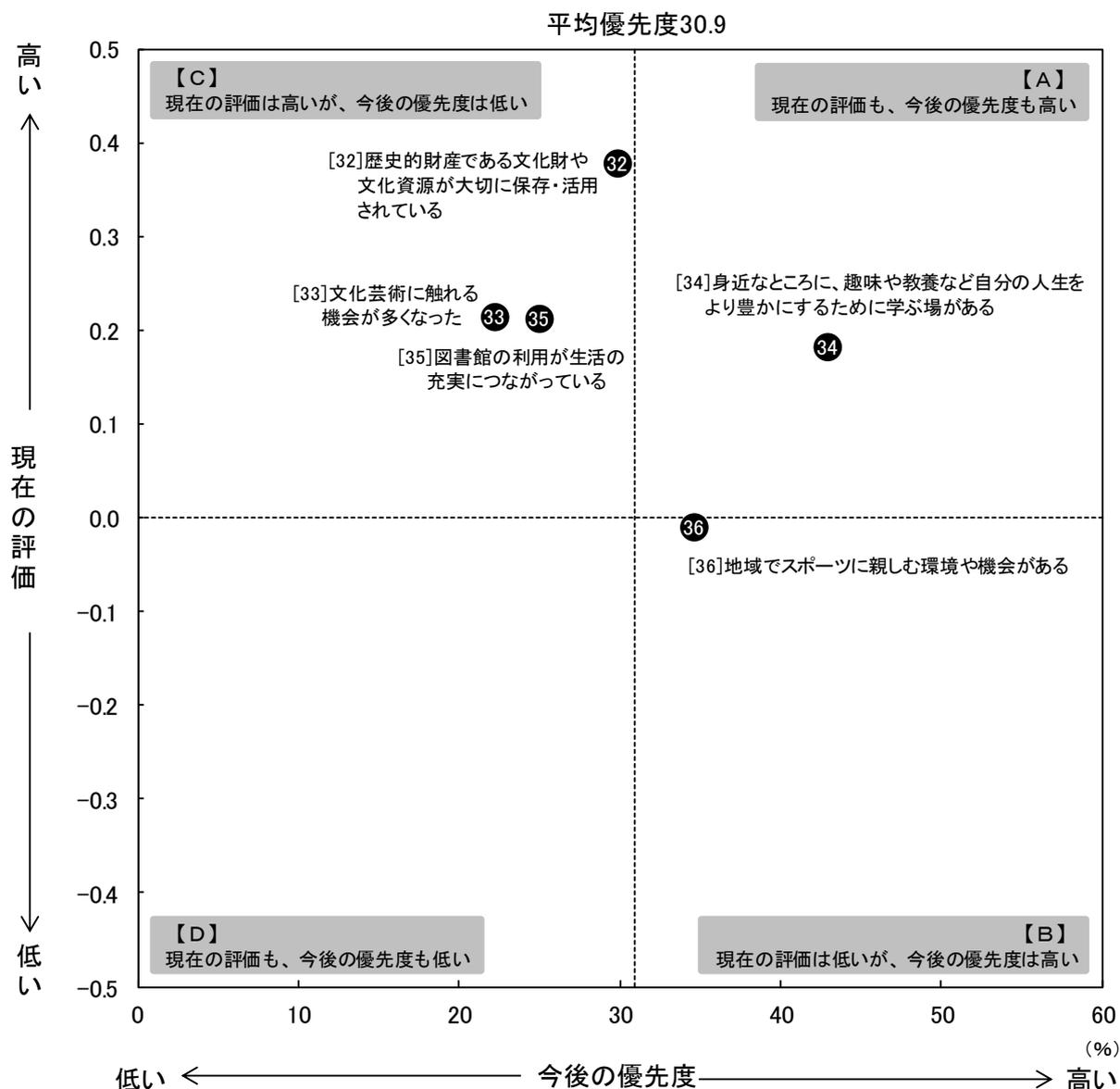
※ 地域の具体的区分は6ページの（7）居住地域名を参照

(4) 豊かな心と活発な交流を育む多彩な文化のまち

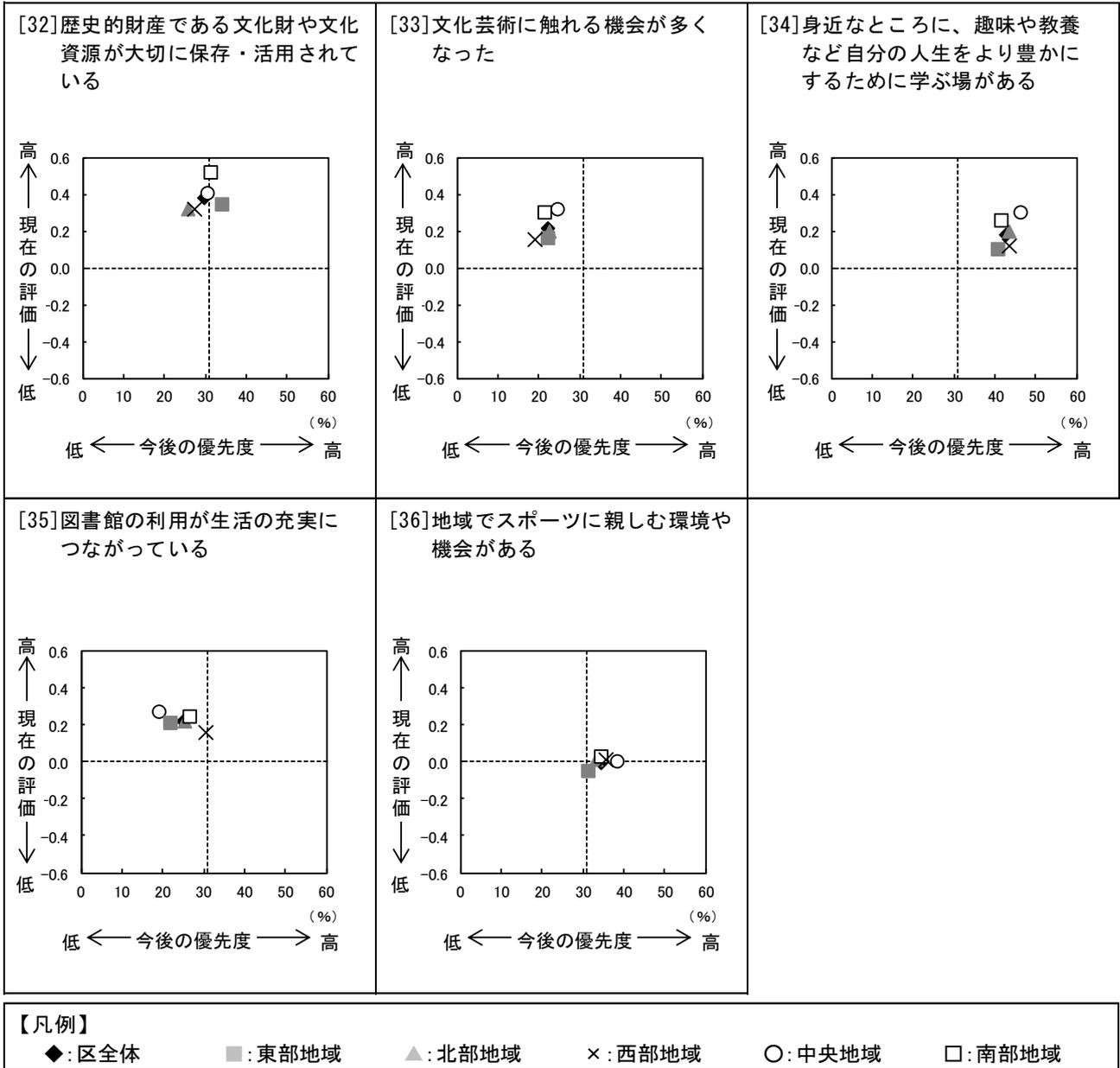
「豊かな心と活発な交流を育む多彩な文化のまち」に関する生活環境では、5項目のうち1項目が「(A) 現在の評価も、今後の優先度も高い」に位置している。また、1項目が「(B) 現在の評価は低い、今後の優先度は高い」に、3項目が「(C) 現在の評価は高いが、今後の優先度は低い」に位置している。なお、「(D) 現在の評価も、今後の優先度も低い」に位置する項目はみられない。

改善に向けて取り組む必要のある「(B) 現在の評価は低い、今後の優先度は高い」は、「地域でスポーツに親しむ環境や機会がある」が位置している。

【豊かな心と活発な交流を育む多彩な文化のまちにおける総合分析】



【豊かな心と活発な交流を育む多彩な文化のまちにおける地域別比較】



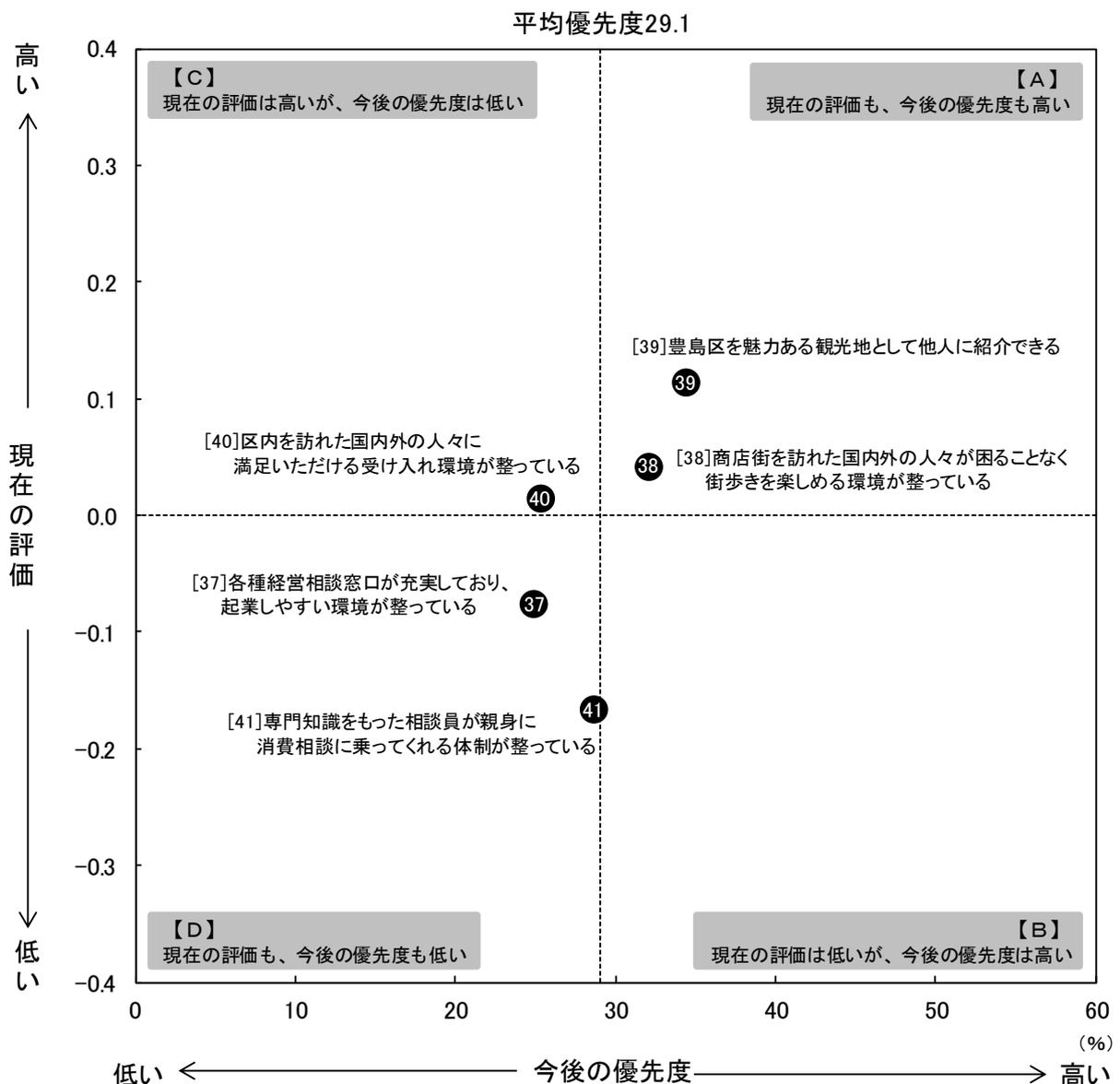
※ 地域の具体的区分は6ページの(7)居住地域名を参照

(5) 活気とにぎわいを生み出す産業と観光のまち

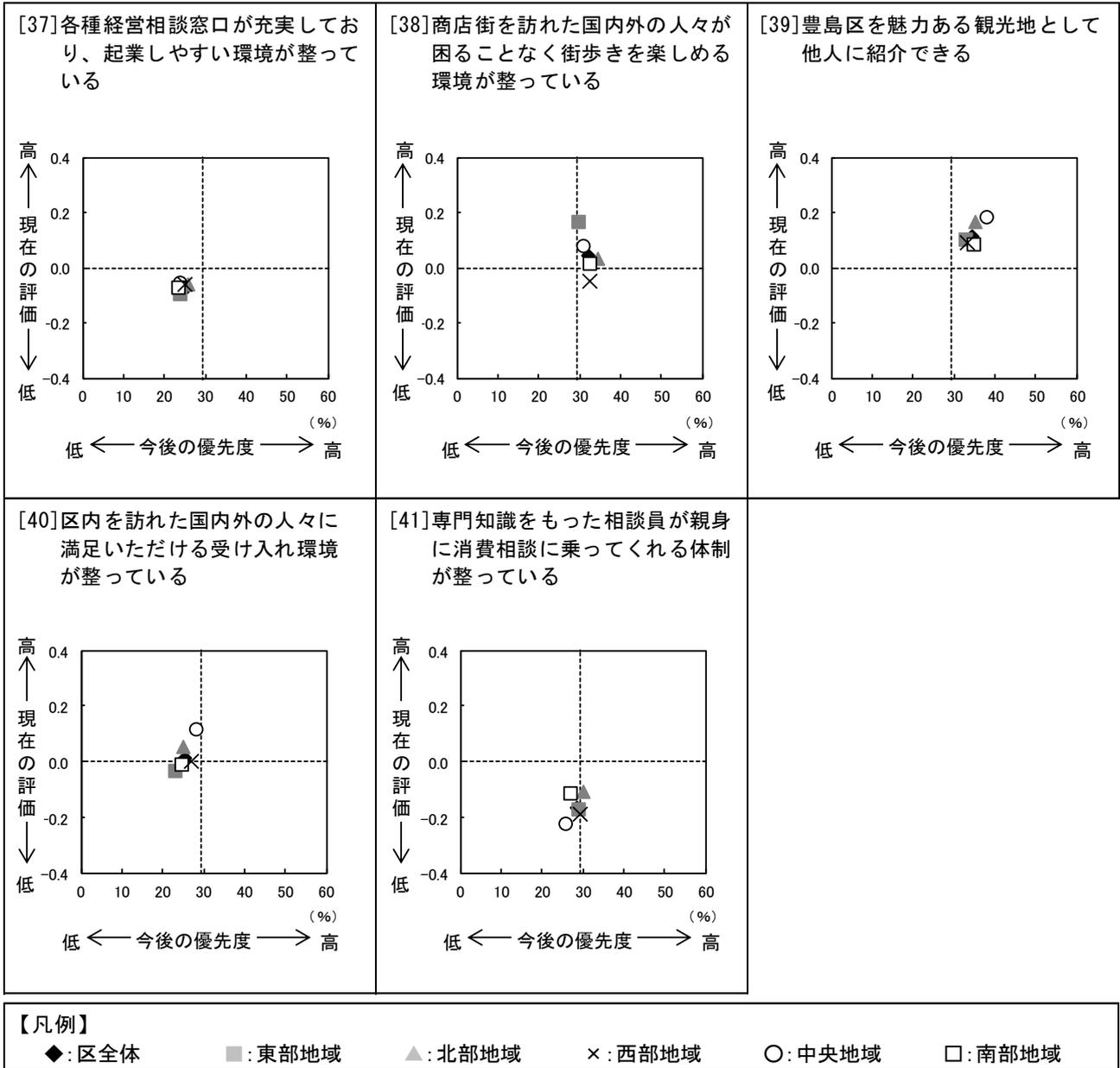
「活気とにぎわいを生み出す産業と観光のまち」に関する生活環境では、5項目のうち2項目が「(A) 現在の評価も、今後の優先度も高い」に位置している。また、1項目が「(C) 現在の評価は高いが、今後の優先度は低い」に、2項目が「(D) 現在の評価も、今後の優先度も低い」に位置している。

改善に向けて取り組む必要のある「(B) 現在の評価は低い、今後の優先度は高い」に位置する項目はみられない。

【活気とにぎわいを生み出す産業と観光のまちにおける総合分析】



【活気とにぎわいを生み出す産業と観光のまちにおける地域別比較】



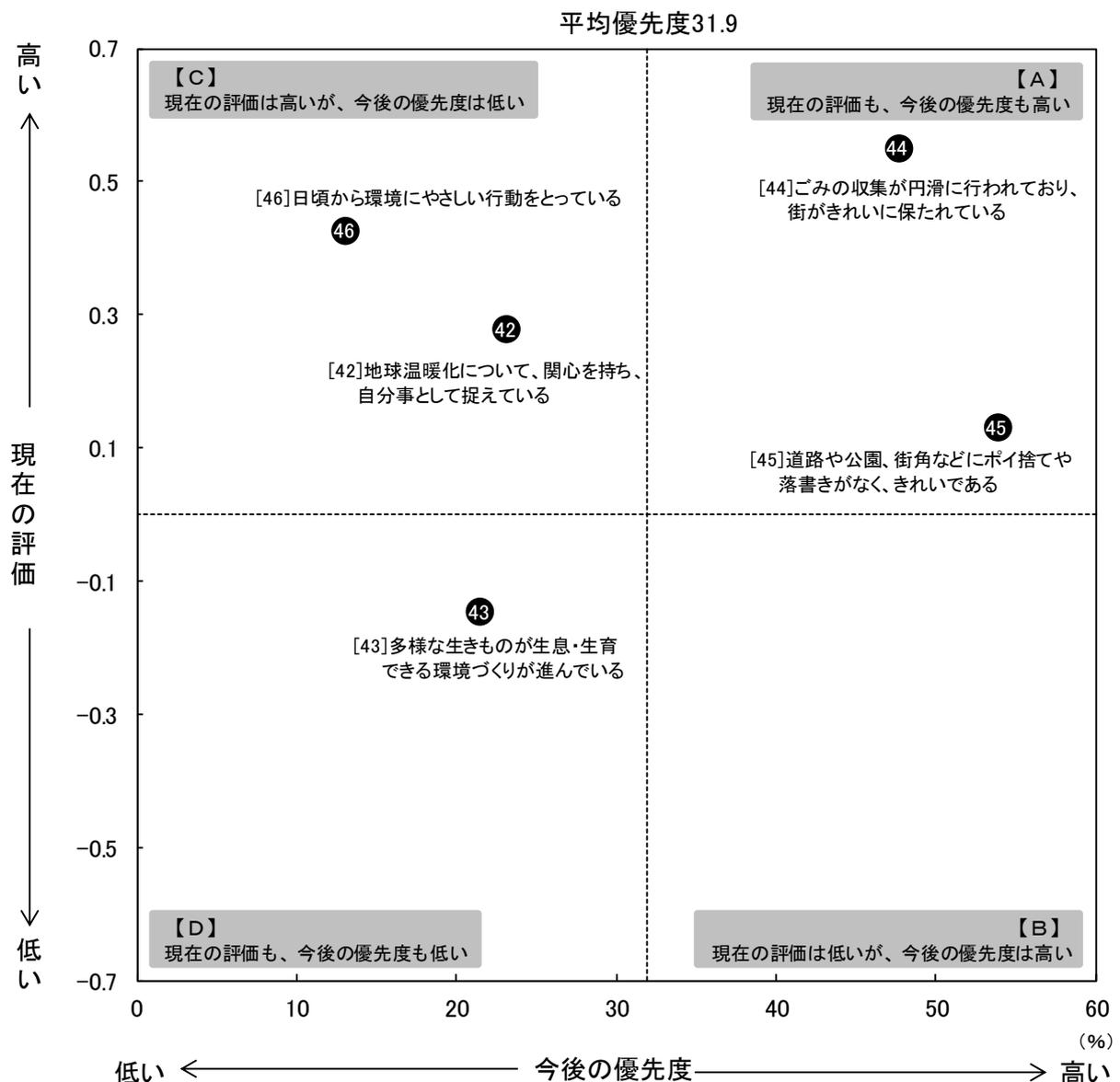
※ 地域の具体的区分は6ページの(7)居住地域名を参照

(6) 共につくる地球にも人にもやさしいまち

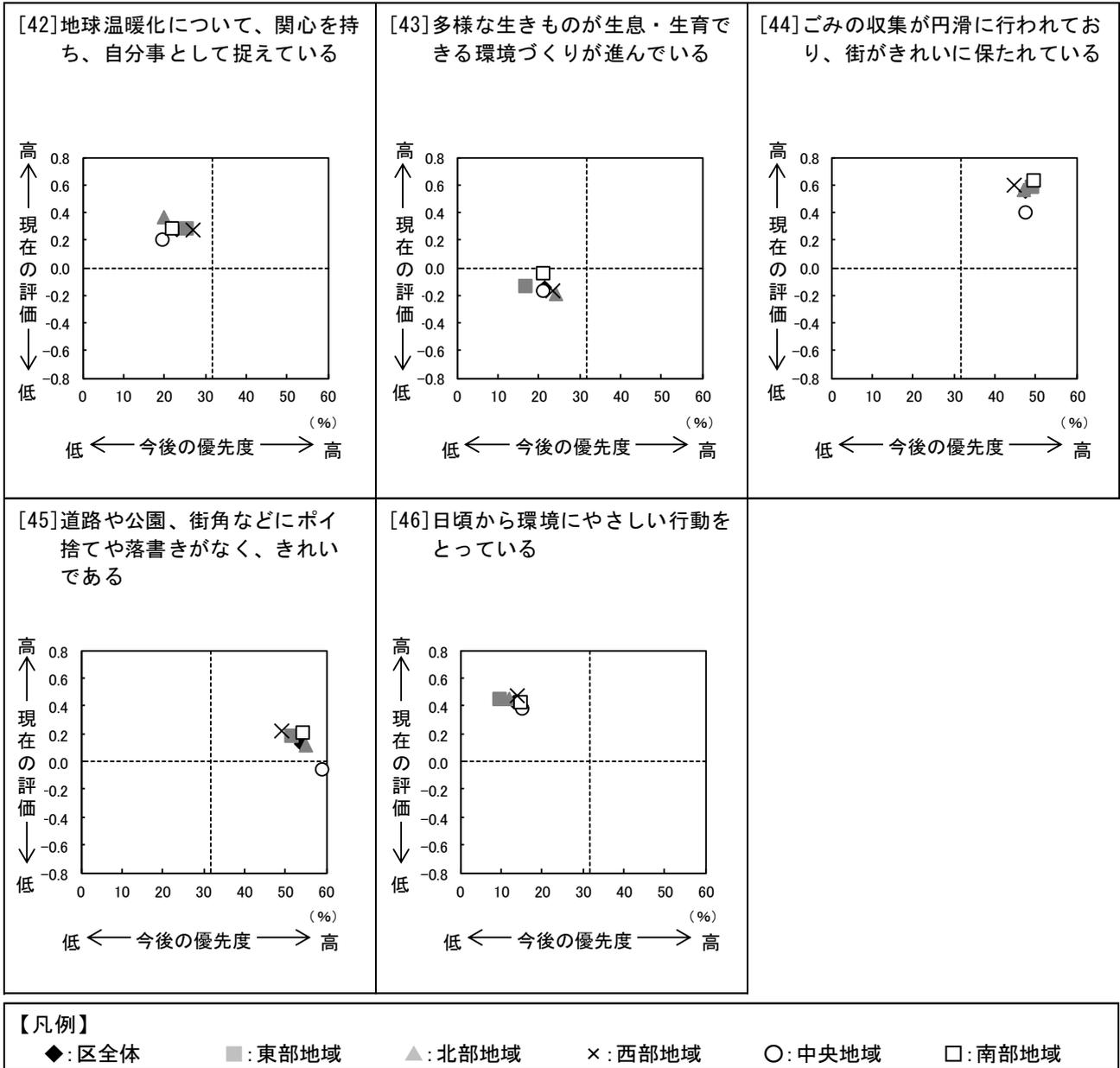
「共につくる地球にも人にもやさしいまち」に関する生活環境では、5項目のうち2項目が「(A) 現在の評価も、今後の優先度も高い」に位置している。また、2項目が「(C) 現在の評価は高いが、今後の優先度は低い」に、1項目が「(D) 現在の評価も、今後の優先度も低い」に位置している。

改善に向けて取り組む必要のある「(B) 現在の評価は低い、今後の優先度は高い」に位置する項目はみられない。

【共につくる地球にも人にもやさしいまちにおける総合分析】



【共につくる地球にも人にもやさしいまちにおける地域別比較】



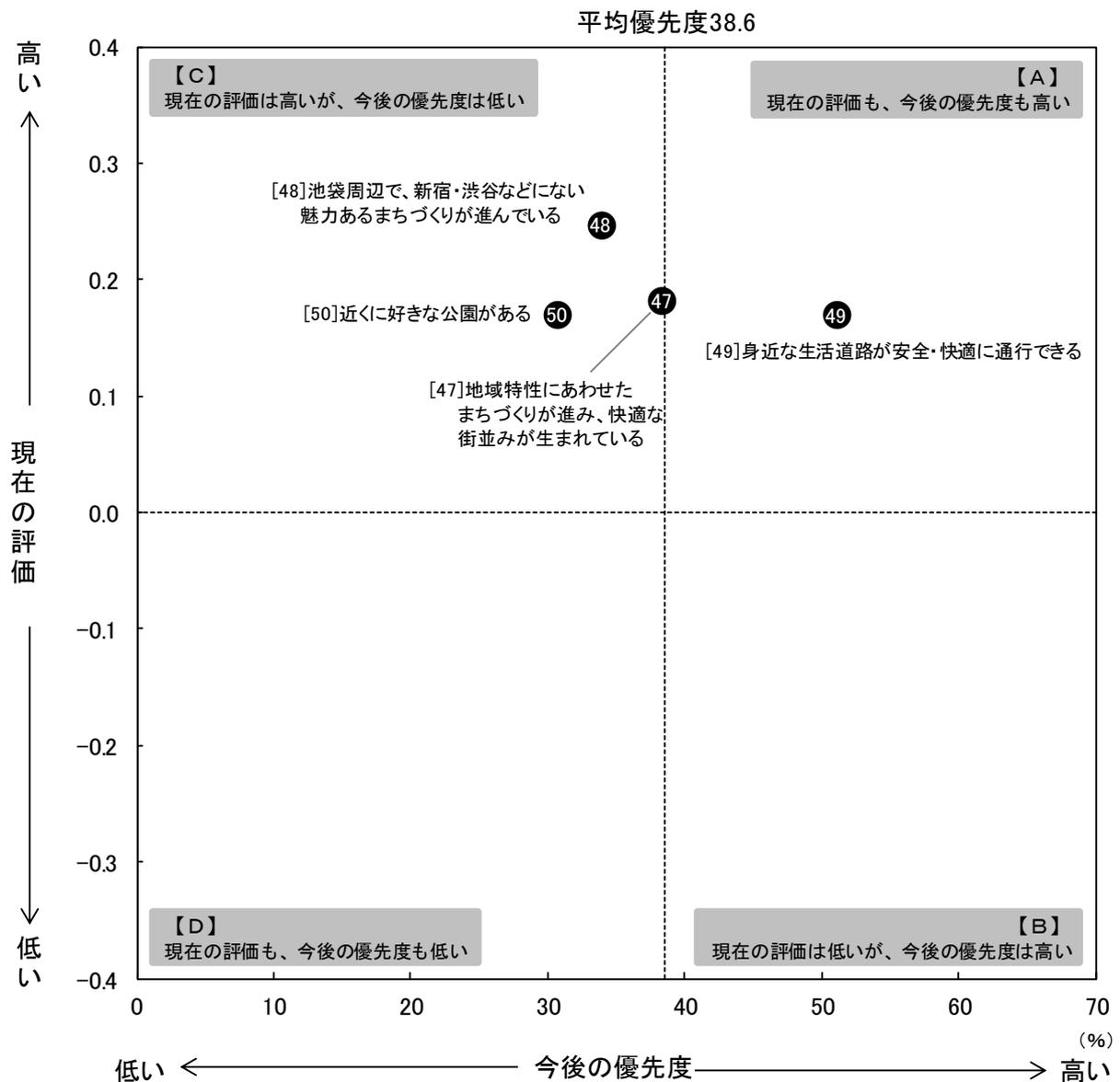
※ 地域の具体的区分は6ページの(7)居住地域名を参照

(7) 誰もが居心地の良い歩きたくなるまち

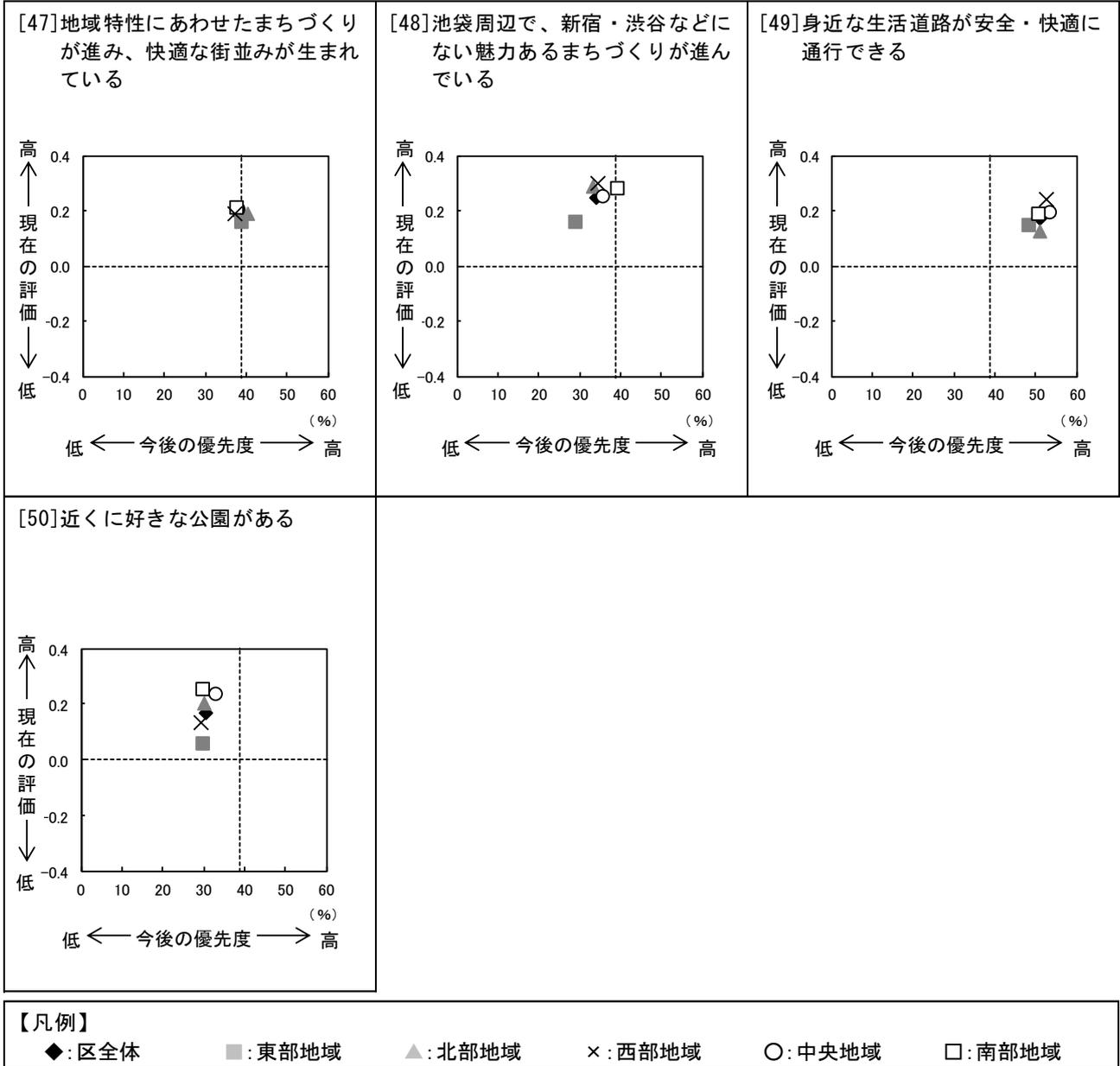
「誰もが居心地の良い歩きたくなるまち」に関する生活環境では、4項目のうち1項目が「(A) 現在の評価も、今後の優先度も高い」に位置している。また、3項目が「(C) 現在の評価は高いが、今後の優先度は低い」に位置している。なお、「(D) 現在の評価も、今後の優先度も低い」に位置する項目はみられない。

改善に向けて取り組む必要のある「(B) 現在の評価は低い、今後の優先度は高い」に位置する項目はみられない。

【誰もが居心地の良い歩きたくなるまちにおける総合分析】



【誰もが居心地の良い歩きたくなるまちにおける地域別比較】



※ 地域の具体的区分は6ページの(7)居住地域名を参照

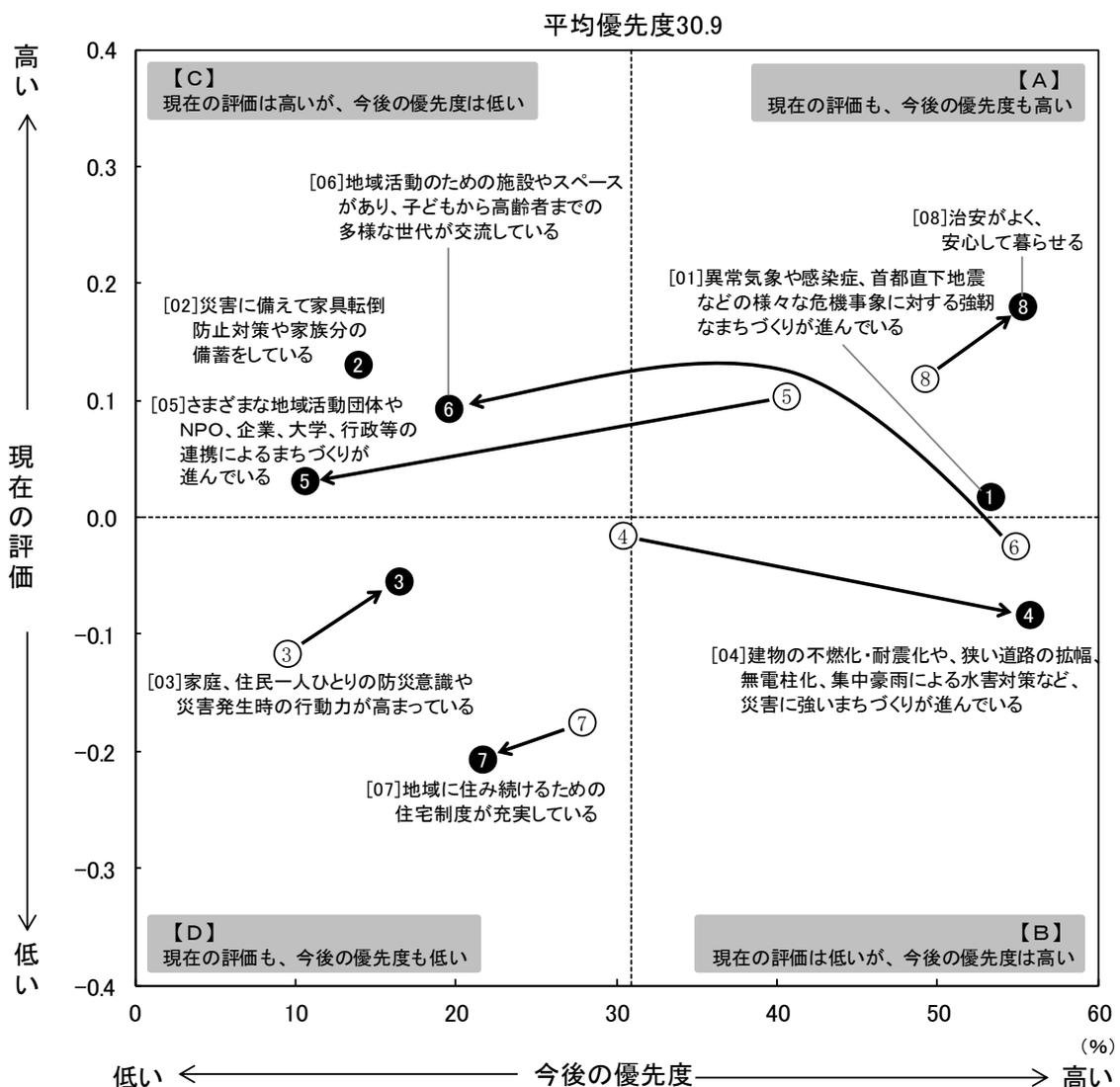
4. 総合分析の経年比較

総合分析を前回調査（令和5年度）と比較した。●が今回調査、○が前回調査、前回から今回への推移を矢印で表している。

(1) 地域と共に支えあう安全・安心なまち

「地域と共に支えあう安全・安心なまち」に関する生活環境では、「建物の不燃化・耐震化や、狭い道路の拡幅、無電柱化、集中豪雨による水害対策など、災害に強いまちづくりが進んでいる」が「(D) 現在の評価も、今後の優先度も低い」から「(B) 現在の評価は低い、今後の優先度は高い」へ移動した。一方、「さまざまな地域活動団体やNPO、企業、大学、行政等の連携によるまちづくりが進んでいる」が「(A) 現在の評価も、今後の優先度も高い」から「(C) 現在の評価は高い、今後の優先度は低い」へ移動した。また、「地域活動のための施設やスペースがあり、子どもから高齢者までの多様な世代が交流している」が「(B) 現在の評価は低い、今後の優先度は高い」から「(C) 現在の評価は高い、今後の優先度は低い」へ移動した。

【地域と共に支えあう安全・安心なまちにおける総合分析の経年比較】



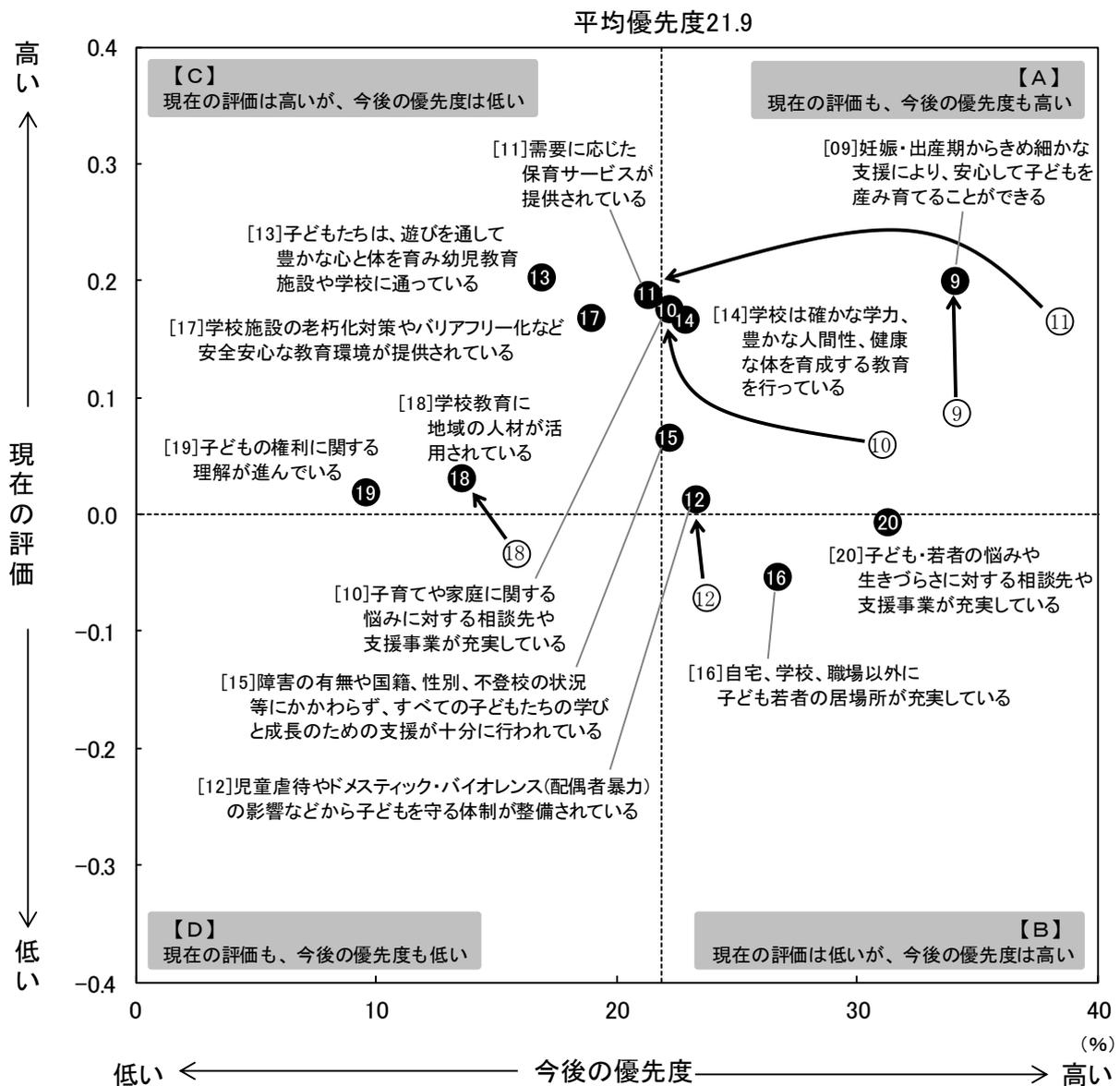
※矢印がないものは今回調査からの項目

※[04]「建物の不燃化・耐震化や、狭い道路の拡幅、無電柱化、集中豪雨による水害対策など、災害に強いまちづくりが進んでいる」は令和5年度調査では「建物の耐火・耐震化や、狭い道路の拡幅など、災害に強いまちづくりが進んでいる」

(2) 子育てしやすく、子ども・若者が自分らしく成長できるまち

「子育てしやすく、子ども・若者が自分らしく成長できるまち」に関する生活環境では、「児童虐待やドメスティック・バイオレンス(配偶者暴力)の影響などから子どもを守る体制が整備されている」が「(B) 現在の評価は低い、今後の優先度は高い」から「(A) 現在の評価も、今後の優先度も高い」へ移動した。また、「学校教育に地域の人材が活用されている」が「(D) 現在の評価も、今後の優先度も低い」から「(C) 現在の評価は高い、今後の優先度は低い」へ移動した。一方、「需要に応じた保育サービスが提供されている」が「(A) 現在の評価も、今後の優先度も高い」から「(C) 現在の評価は高い、今後の優先度は低い」へ移動した。

【子育てしやすく、子ども・若者が自分らしく成長できるまちにおける総合分析の経年比較】

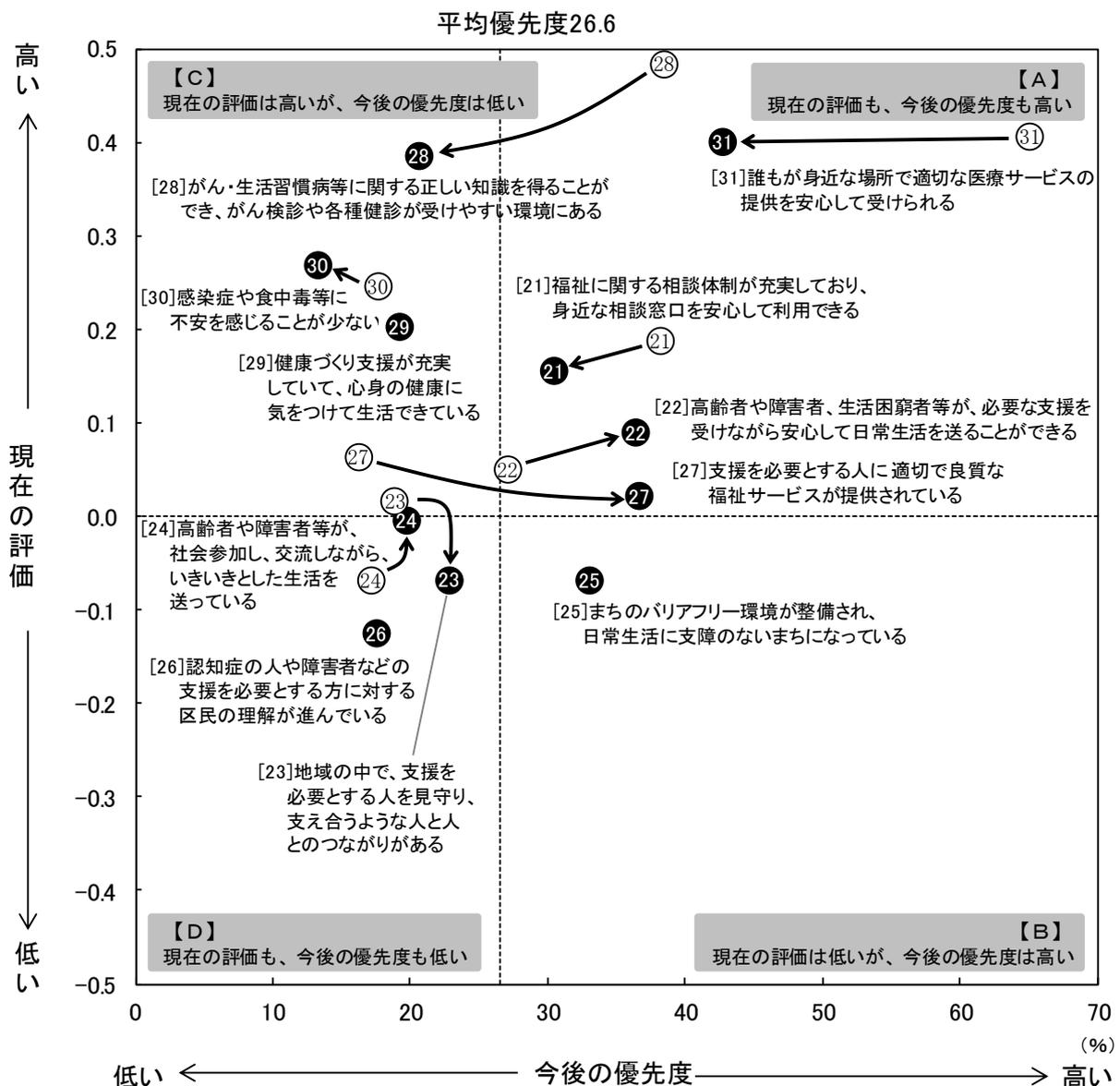


※矢印がないものは今回調査からの項目
 ※[11]「需要に応じた保育サービスが提供されている」は令和5年度調査では「地域の保育需要に応じた保育施設の整備、保育サービスの向上が図られている」
 ※[18]「学校教育に地域の人材が活用されている」は令和5年度調査では「学校教育に地域の人材や文化資源が活用されている」

(3) 生涯にわたり健康で、地域で共に暮らせる福祉のまち

「生涯にわたり健康で、地域で共に暮らせる福祉のまち」に関する生活環境では、「支援を必要とする人に適切で良質な福祉サービスが提供されている」が「(C) 現在の評価は高いが、今後の優先度は低い」から「(A) 現在の評価も、今後の優先度も高い」へ移動した。一方、「がん・生活習慣病等に関する正しい知識を得ることができ、がん検診や各種健診が受けやすい環境にある」が「(A) 現在の評価も、今後の優先度も高い」から「(C) 現在の評価は高いが、今後の優先度は低い」へ移動した。また、「地域の中で、支援を必要とする人を見守り、支え合うような人と人とのつながりがある」が「(C) 現在の評価は高いが、今後の優先度は低い」から「(D) 現在の評価も、今後の優先度も低い」へ移動した。

【生涯にわたり健康で、地域で共に暮らせる福祉のまちにおける総合分析の経年比較】



※矢印がないものは今回調査からの項目

※[21]「福祉に関する相談体制が充実しており、身近な相談窓口を安心して利用できる」は令和5年度調査では「医療や介護、生活支援サービスなどの提供体制が充実し、身近な相談窓口を安心して利用できる」

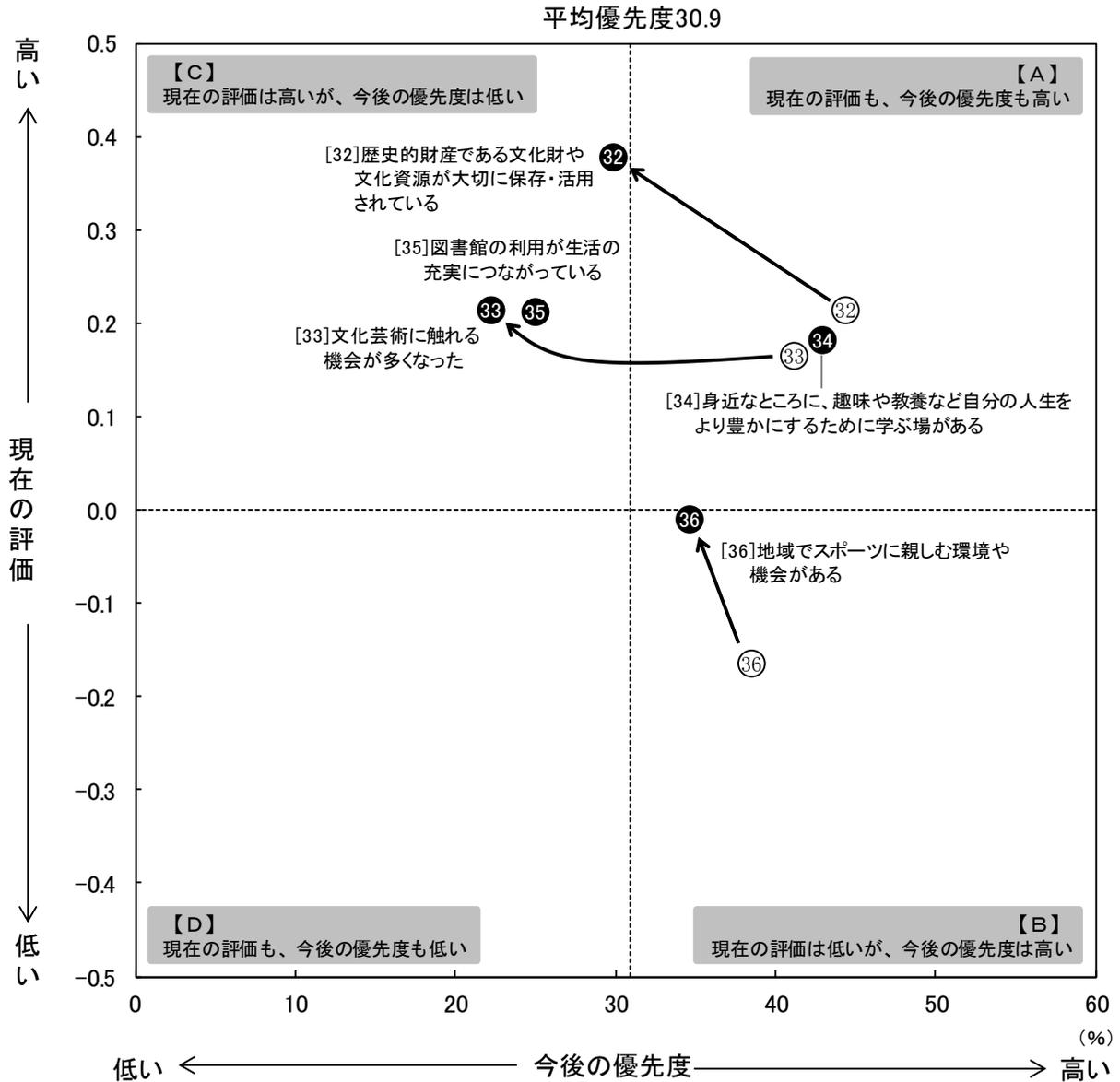
※[23]「地域の中で、支援を必要とする人を見守り、支え合うような人と人とのつながりがある」は令和5年度調査では「地域の中で、高齢者等を見守り、支え合うような人と人とのつながりがある」

※[27]「支援を必要とする人に適切で良質な福祉サービスが提供されている」は令和5年度調査では「地域の中で、高齢者や障害者の権利が守られ、質の高いサービスが提供されている」

(4) 豊かな心と活発な交流を育む多彩な文化のまち

「豊かな心と活発な交流を育む多彩な文化のまち」に関する生活環境では、「歴史的財産である文化財や文化資源が大切に保存・活用されている」と「文化芸術に触れる機会が多くなった」が「(A) 現在の評価も、今後の優先度も高い」から「(C) 現在の評価は高いが、今後の優先度は低い」へ移動した。

【豊かな心と活発な交流を育む多彩な文化のまちにおける総合分析の経年比較】

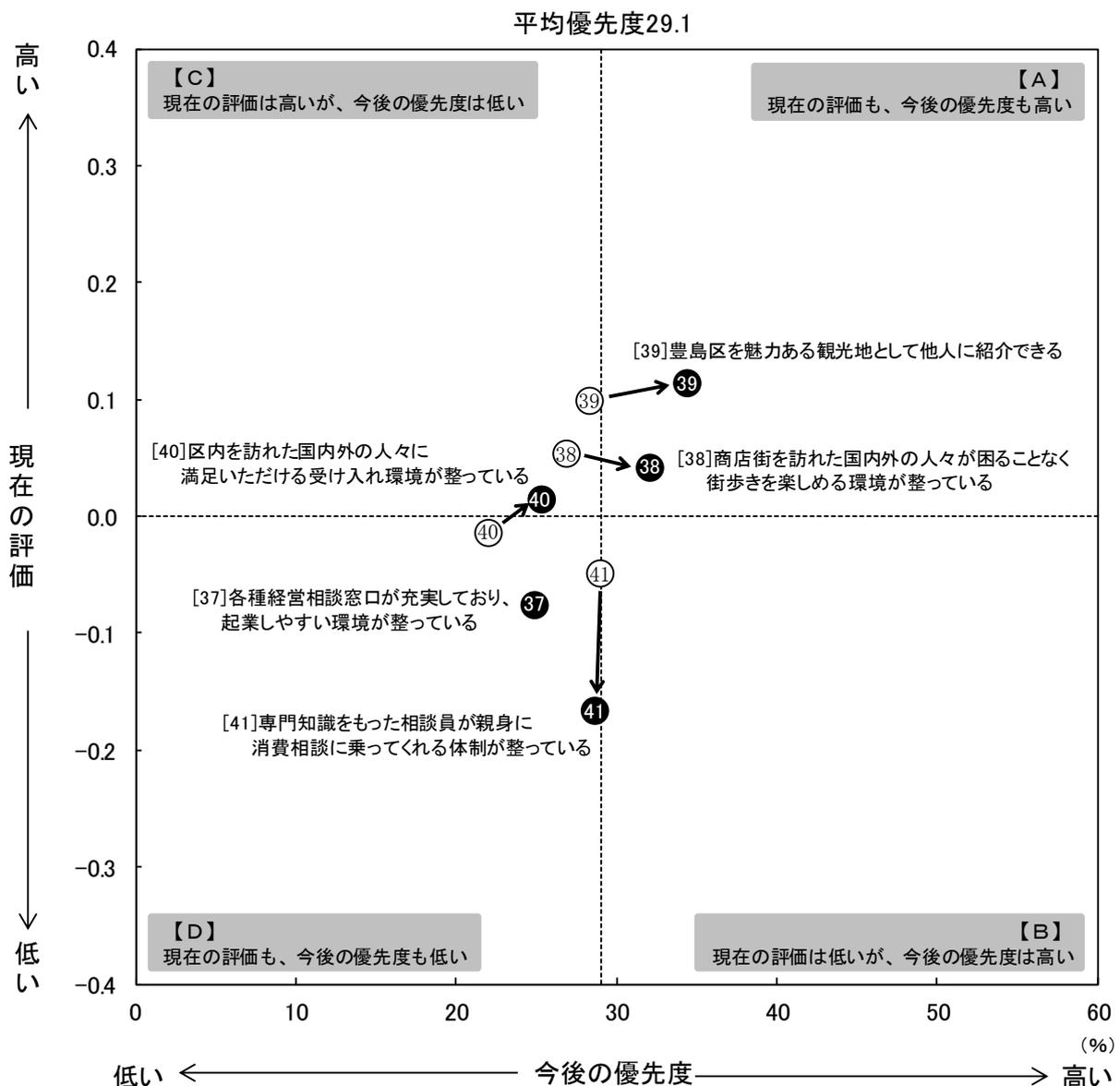


※矢印がないものは今回調査からの項目

(5) 活気とにぎわいを生み出す産業と観光のまち

「活気とにぎわいを生み出す産業と観光のまち」に関する生活環境では、「豊島区を魅力ある観光地として他人に紹介できる」と「商店街を訪れた国内外の人々が困ることなく街歩きを楽しめる環境が整っている」が「(C) 現在の評価は高いが、今後の優先度は低い」から「(A) 現在の評価も、今後の優先度も高い」へ移動した。また、「区内を訪れた国内外の人々に満足いただける受け入れ環境が整っている」が「(D) 現在の評価も、今後の優先度も低い」から「(C) 現在の評価は高いが、今後の優先度は低い」へ移動した。

【活気とにぎわいを生み出す産業と観光のまちにおける総合分析の経年比較】



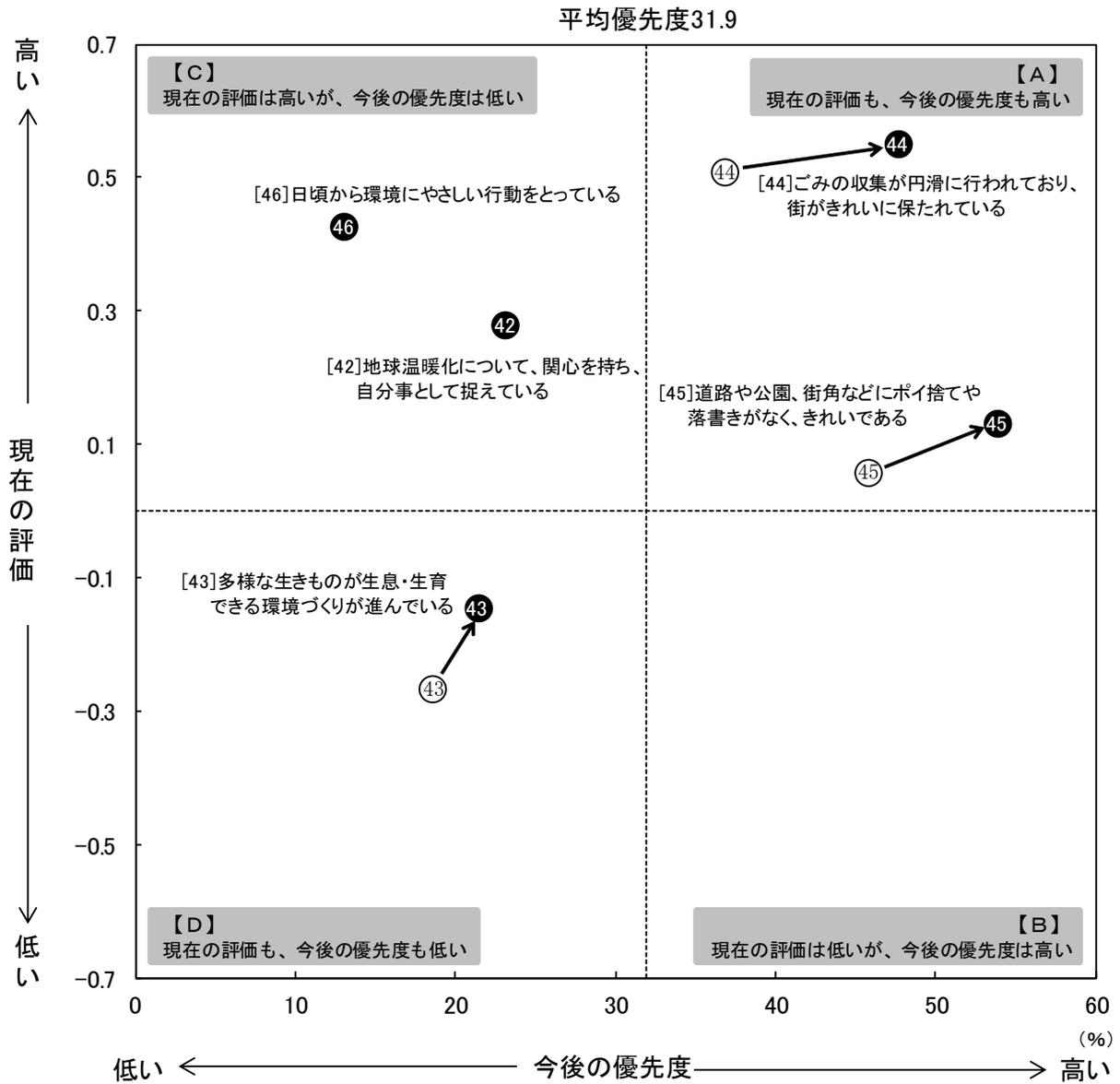
※矢印がないものは今回調査からの項目

※[41]「専門知識をもった相談員が親身に消費相談に乗ってくれる体制が整っている」は令和5年度調査では「消費生活でトラブルに悩まされず、相談窓口も充実している」

(6) 共につくる地球にも人にもやさしいまち

「共につくる地球にも人にもやさしいまち」に関する生活環境では、領域間での移動はみられない。

【共につくる地球にも人にもやさしいまちにおける総合分析の経年比較】

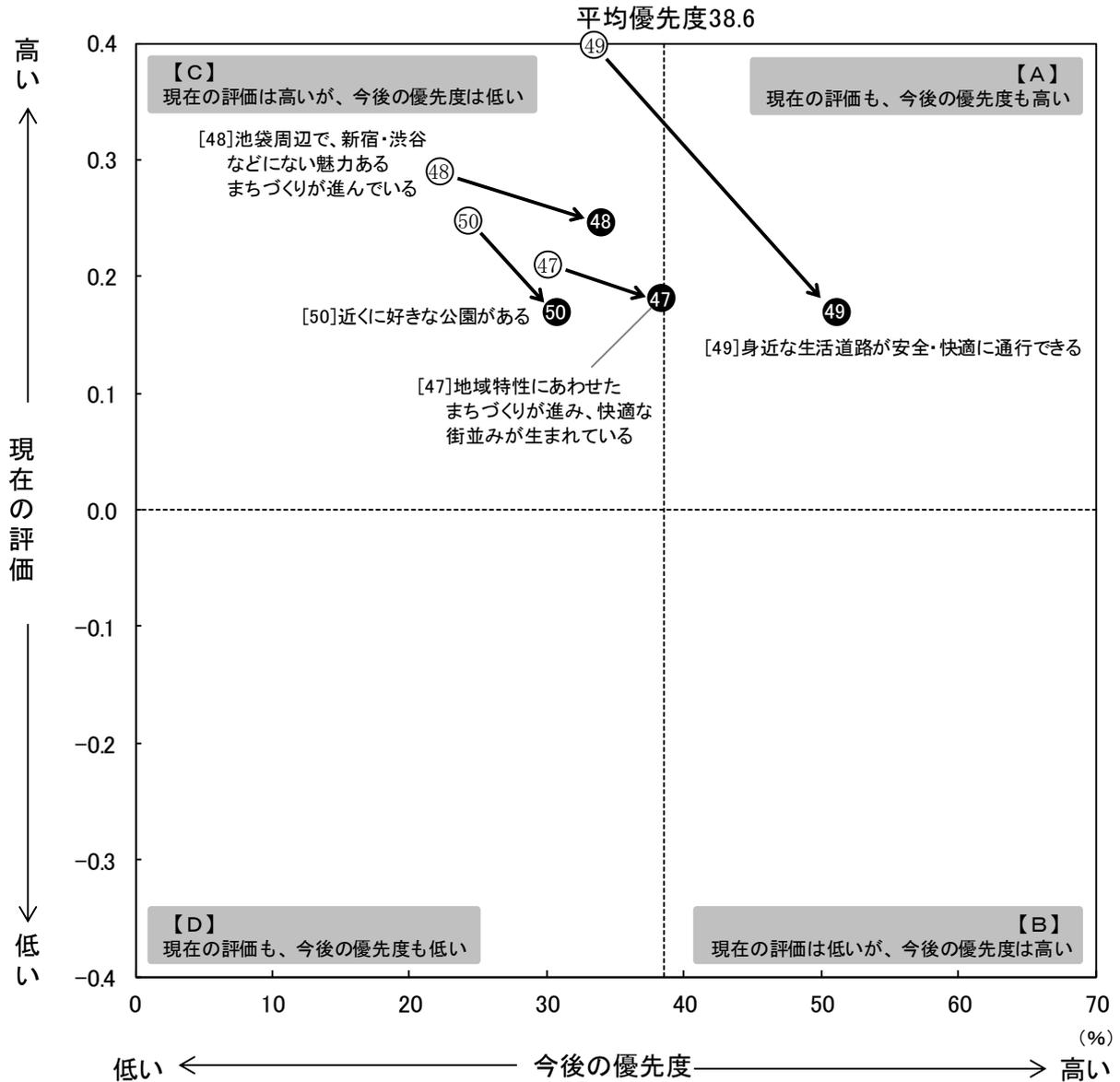


※矢印がないものは今回調査からの項目

(7) 誰もが居心地の良い歩きたくなるまち

「誰もが居心地の良い歩きたくなるまち」に関する生活環境では、「身近な生活道路が安全・快適に通行できる」が「(C) 現在の評価は高いが、今後の優先度は低い」から「(A) 現在の評価も、今後の優先度も高い」へ移動した。

【誰もが居心地の良い歩きたくなるまちにおける総合分析の経年比較】



※矢印がないものは今回調査からの項目

第3章 区の情報・区の政策等について

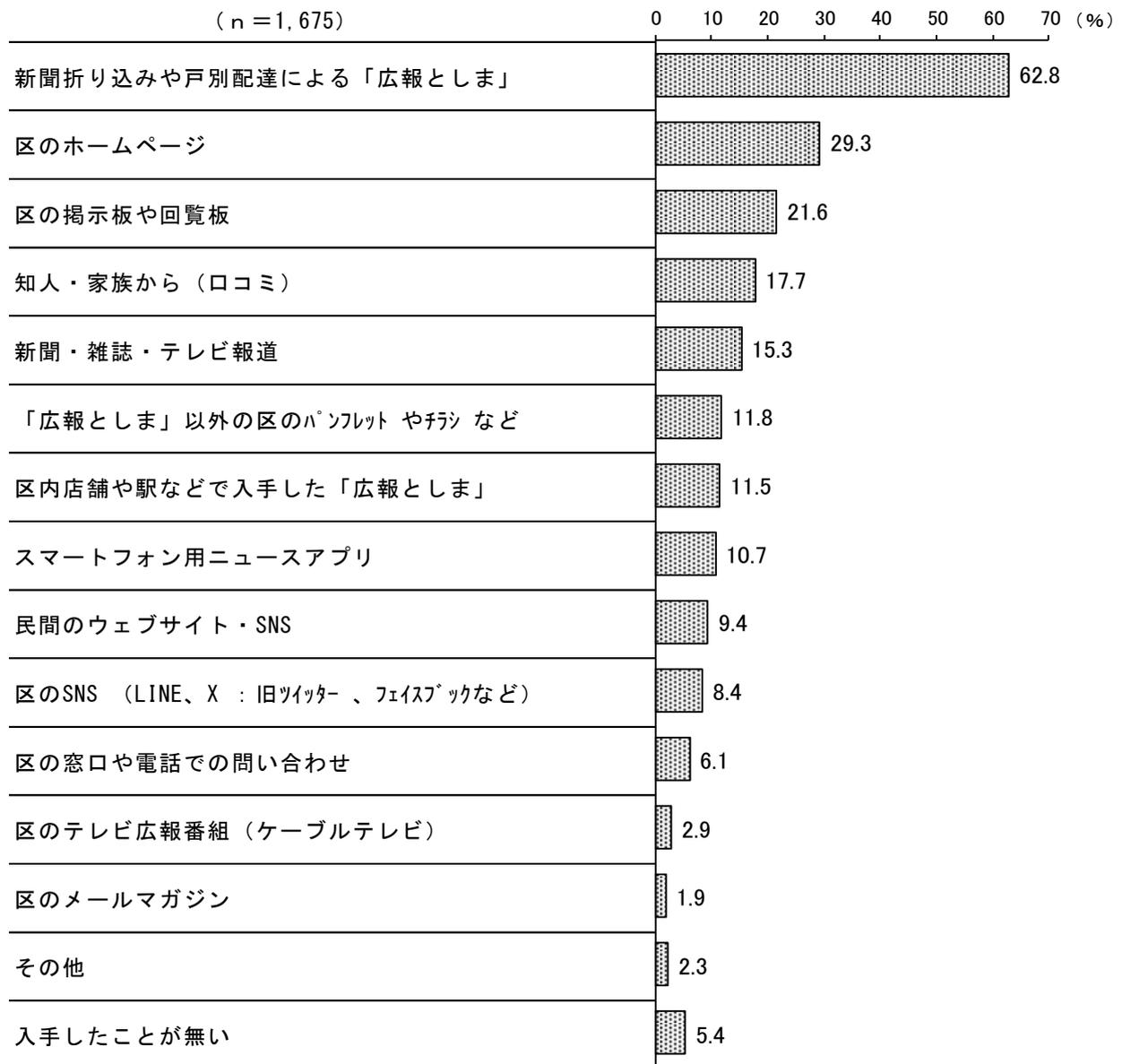
第3章 区の情報・区の政策等について

1. 区の情報・区政への参加について

(1) 区に関する情報の入手方法

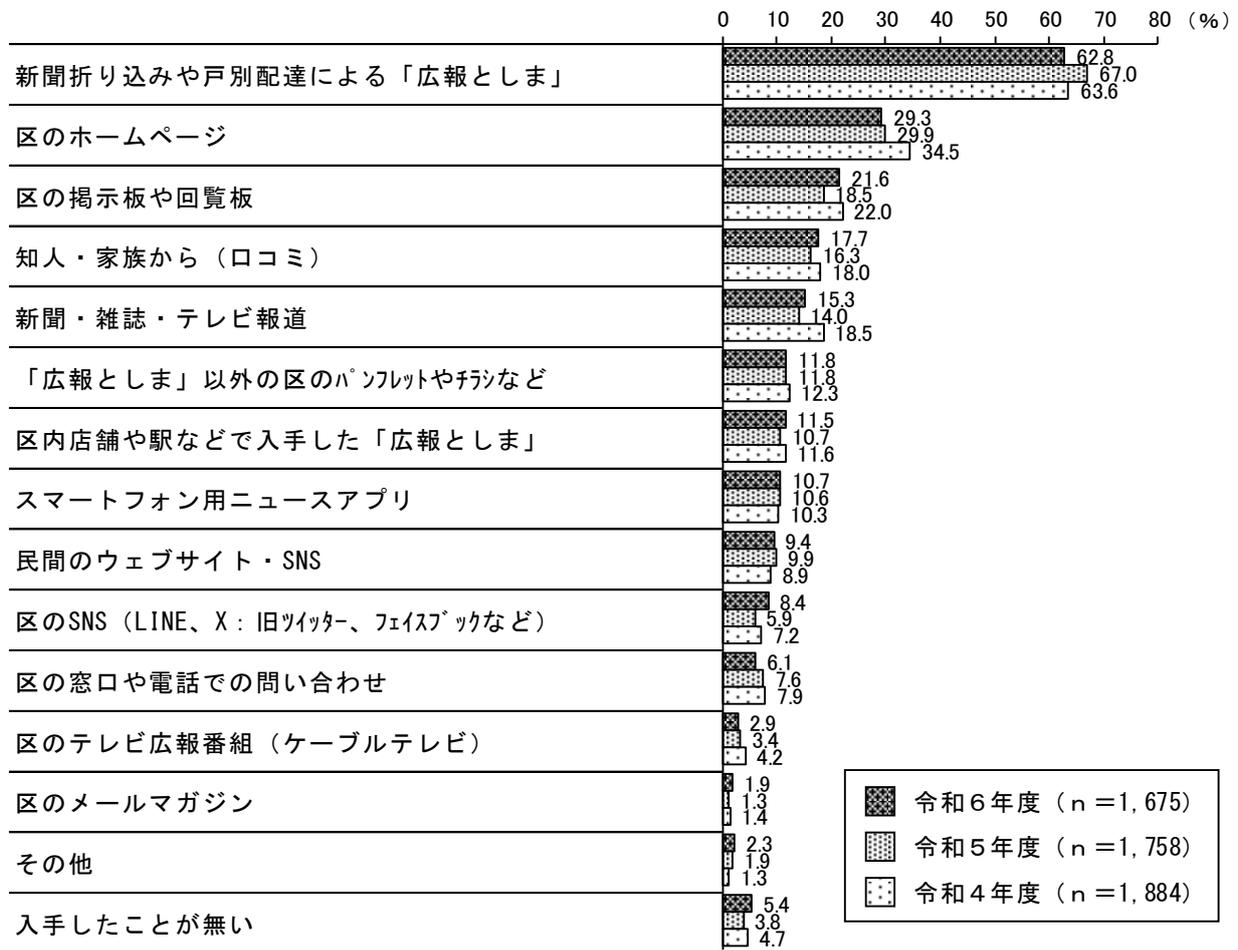
問8 あなたは、これまで区に関する情報をどのような方法で入手していますか。
(いくつでも○)

区に関する情報をどのような方法で入手しているか聞いたところ、「新聞折り込みや戸別配達による『広報としま』」(62.8%)が6割を超えて最も高く、次いで「区のホームページ」(29.3%)、「区の掲示板や回覧板」(21.6%)、「知人・家族から(口コミ)」(17.7%)となっている。



【経年比較】

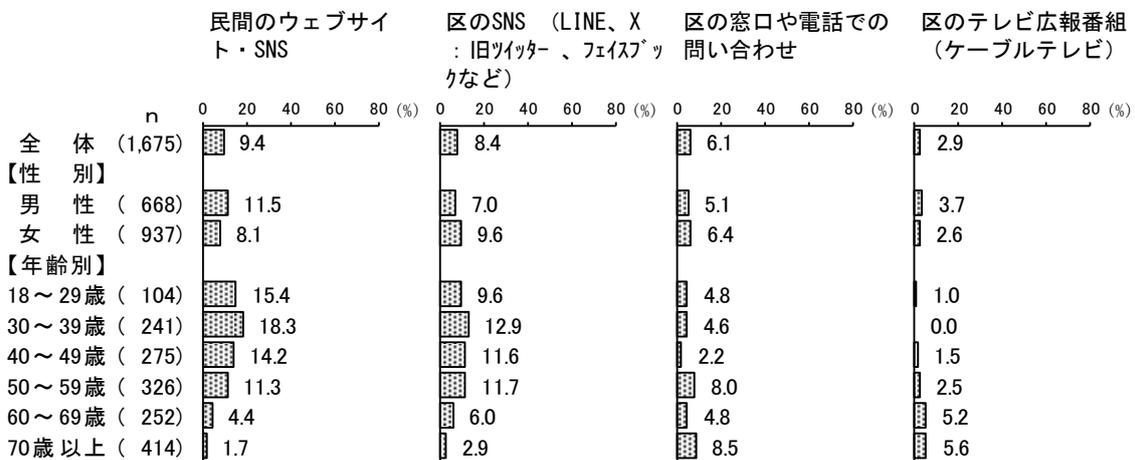
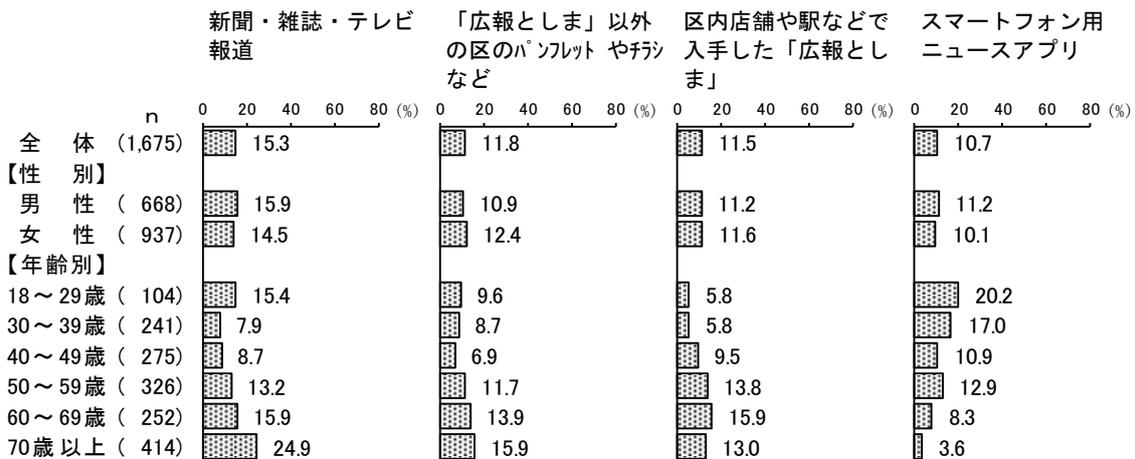
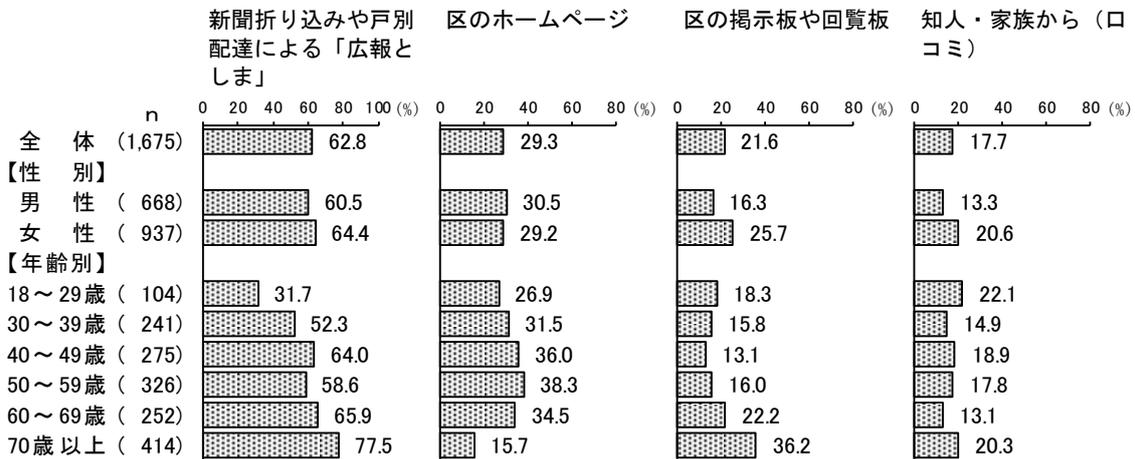
過去の調査結果と比較すると、「新聞折り込みや戸別配達による『広報としま』」は令和5年度より4.2ポイント減少している。



【性別、年齢別】（上位12項目）

性別でみると、「新聞折り込みや戸別配達による『広報としま』」は女性（64.4%）が男性（60.5%）より3.9ポイント、「区の掲示板や回覧板」は女性（25.7%）が男性（16.3%）より9.4ポイント、「知人・家族から（口コミ）」は女性（20.6%）が男性（13.3%）より7.3ポイント、それぞれ高くなっている。

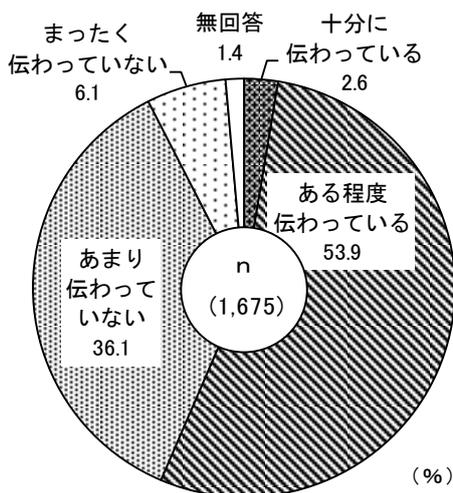
年齢別でみると、「新聞折り込みや戸別配達による『広報としま』」は70歳以上（77.5%）で8割近くと高くなっている。「区のホームページ」は50～59歳（38.3%）で4割近くと高くなっている。



(2) 区政情報が伝わっていると思うか

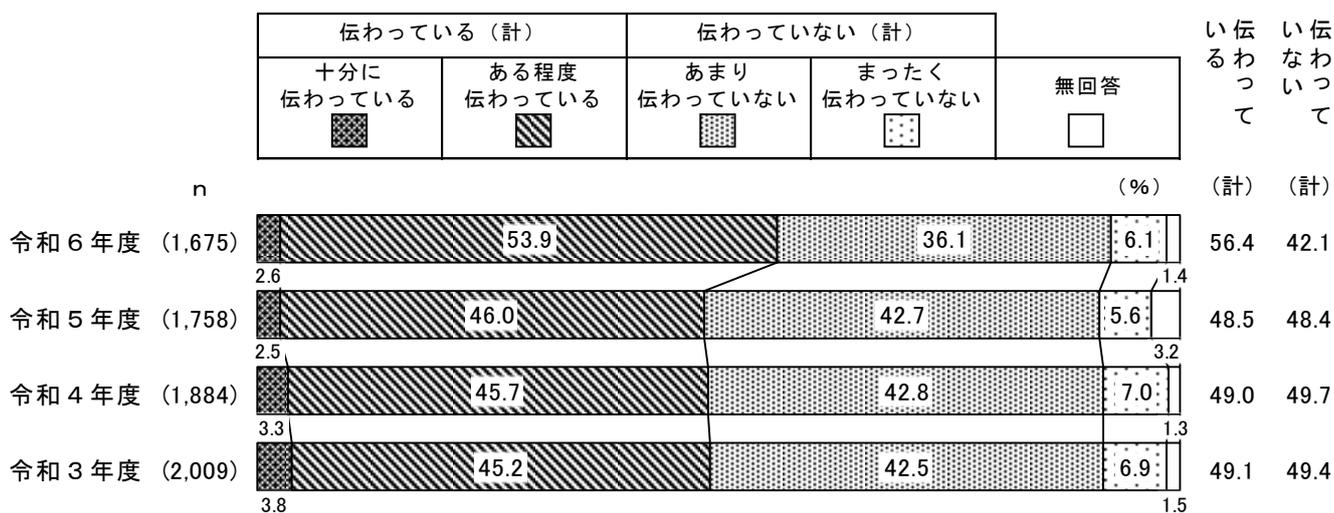
問9 あなたは、区政情報が伝わっていると思いますか（1つに〇）

区政情報が伝わっていると思うか聞いたところ、「十分に伝わっている」(2.6%)と「ある程度伝わっている」(53.9%)を合わせた『伝わっている(計)』(56.4%)は5割半ばとなっている。一方、「あまり伝わっていない」(36.1%)と「まったく伝わっていない」(6.1%)を合わせた『伝わっていない(計)』(42.1%)は4割を超えている。



【経年比較】

過去の調査結果と比較すると、『伝わっている(計)』は令和5年度より7.9ポイント増加し、初めて5割を超えた。



【性別、年齢別、職業別】

性別でみると、大きな違いはみられない。

年齢別でみると、『伝わっている（計）』は70歳以上（74.6%）で7割半ばと高くなっている。

職業別でみると、『伝わっている（計）』は専業の主婦（主夫）（72.0%）、無職（69.9%）で7割前後と高くなっている。一方、『伝わっていない（計）』は学生（61.1%）で6割を超えて高くなっている。

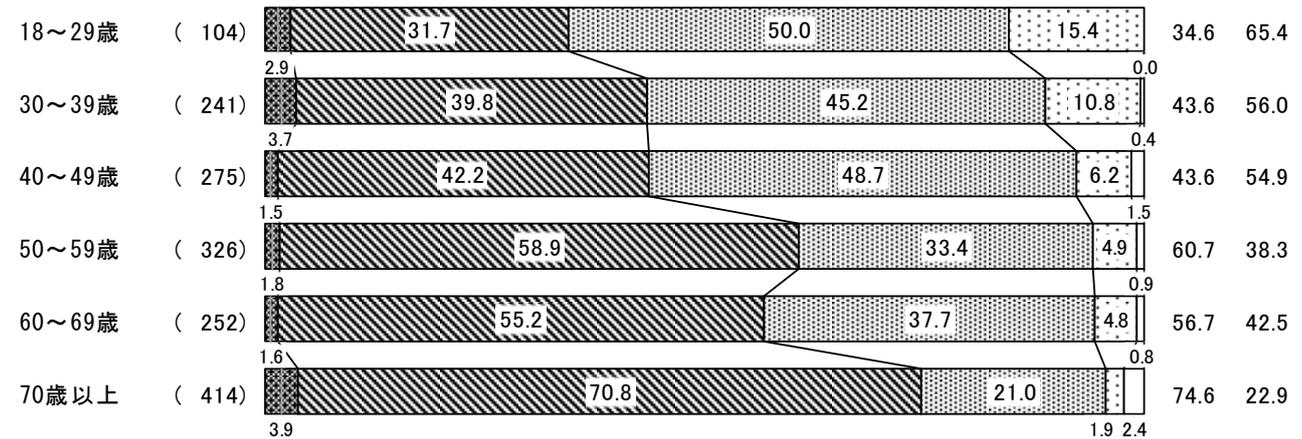
伝わっている（計）		伝わっていない（計）		無回答	い伝 るわ っ て （計）	い伝 なわ い っ て （計）
十分に 伝わっている	ある程度 伝わっている	あまり 伝わっていない	まったく 伝わっていない			



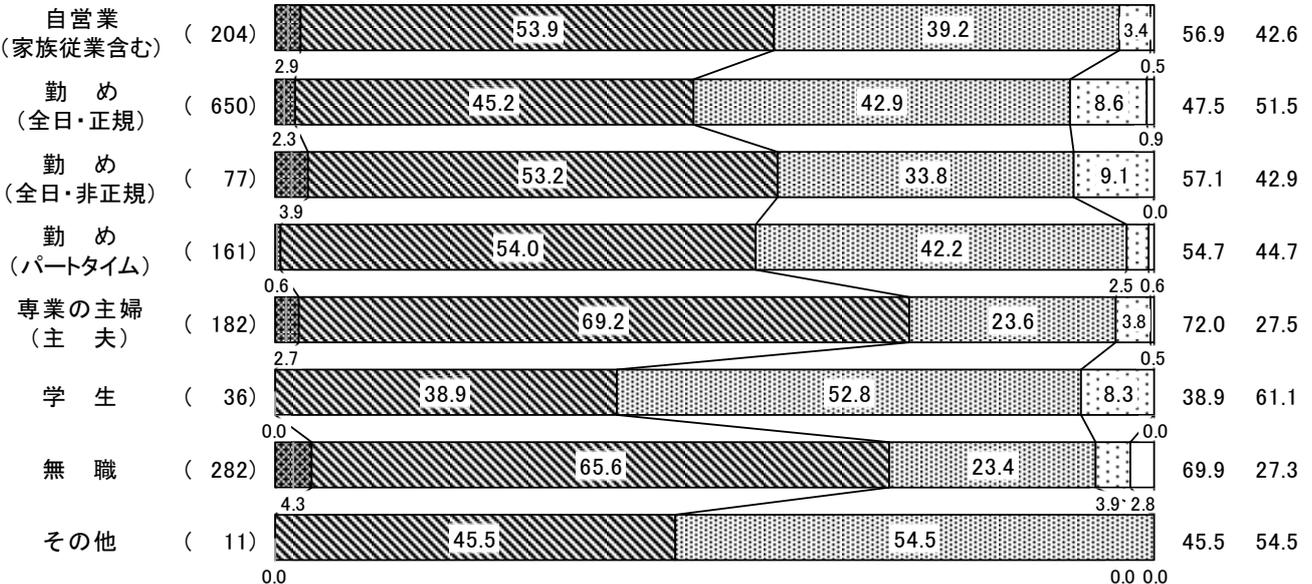
【性別】



【年齢別】



【職業別】

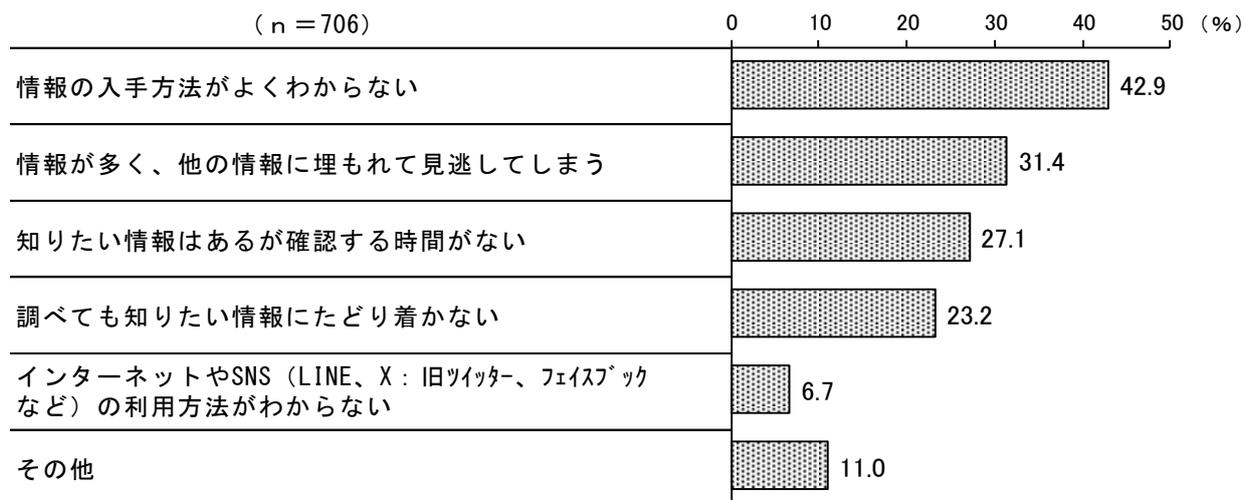


(3) 区政情報が伝わっていないと思う理由

《問9で、「あまり伝わっていない」または「まったく伝わっていない」とお答えの方におたずねします》

問9-1 伝わっていないと思う理由についてお答えください。(いくつでも○)

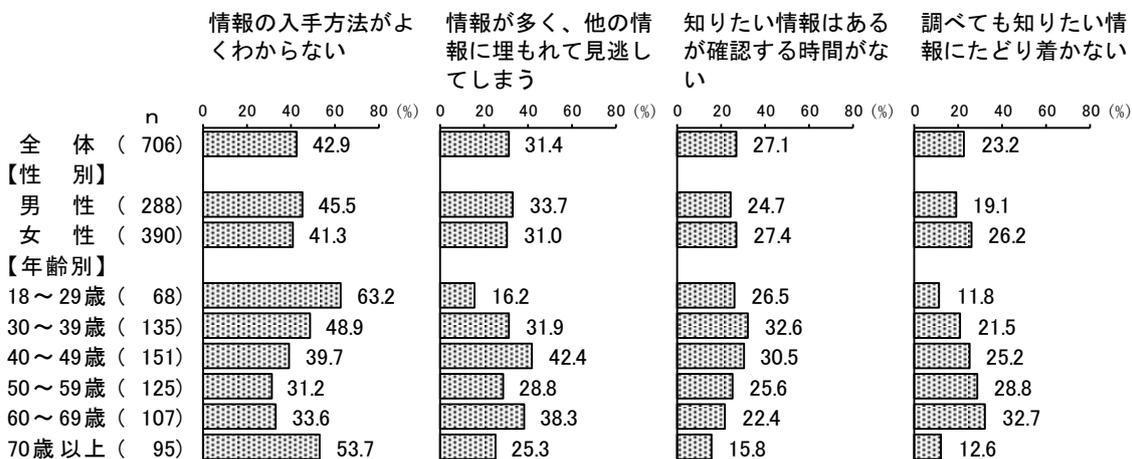
区政情報が「あまり伝わっていない」または「まったく伝わっていない」と答えた方に、伝わっていないと思う理由を聞いたところ、「情報の入手方法がよくわからない」(42.9%)が4割を超えて最も高く、次いで「情報が多く、他の情報に埋もれて見逃してしまう」(31.4%)、「知りたい情報はあるが確認する時間がない」(27.1%)、「調べても知りたい情報にたどり着かない」(23.2%)となっている。



【性別、年齢別】(上位4項目)

性別でみると、「情報の入手方法がよくわからない」は男性(45.5%)が女性(41.3%)より4.2ポイント高くなっている。一方、「調べても知りたい情報にたどり着かない」は女性(26.2%)が男性(19.1%)より7.1ポイント高くなっている。

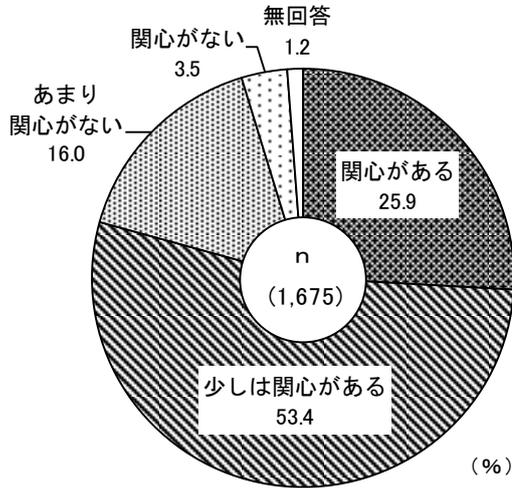
年齢別でみると、「情報の入手方法がよくわからない」は18~29歳(63.2%)で6割を超えて高くなっている。「情報が多く、他の情報に埋もれて見逃してしまう」は40~49歳(42.4%)で4割を超えて高くなっている。



(4) 区政への関心

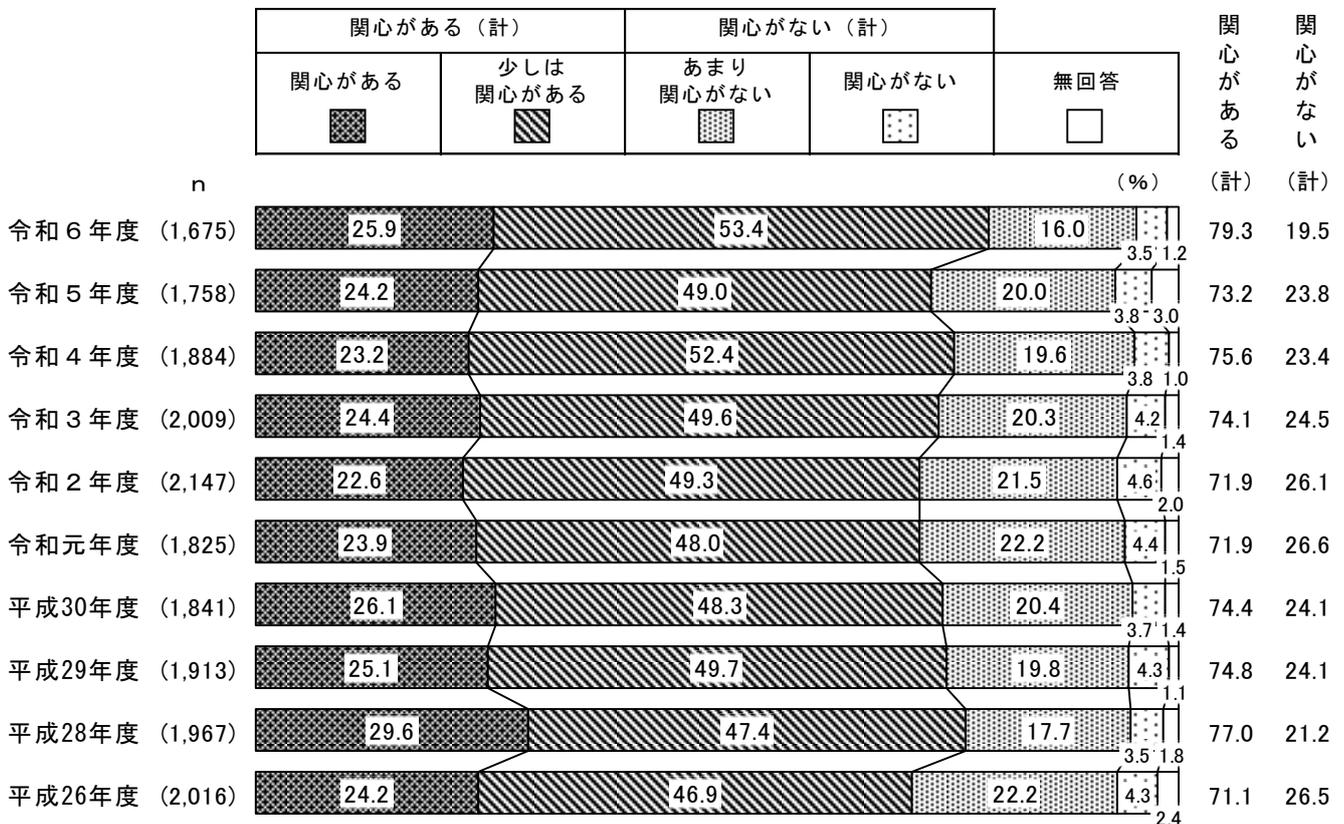
問10 あなたは、区政に関心がありますか。(1つに○)

区政に関心があるか聞いたところ、「関心がある」(25.9%)と「少しは関心がある」(53.4%)を合わせた『関心がある(計)』(79.3%)は8割近くとなっている。一方、「あまり関心がない」(16.0%)と「関心がない」(3.5%)を合わせた『関心がない(計)』(19.5%)は約2割となっている。



【経年比較】

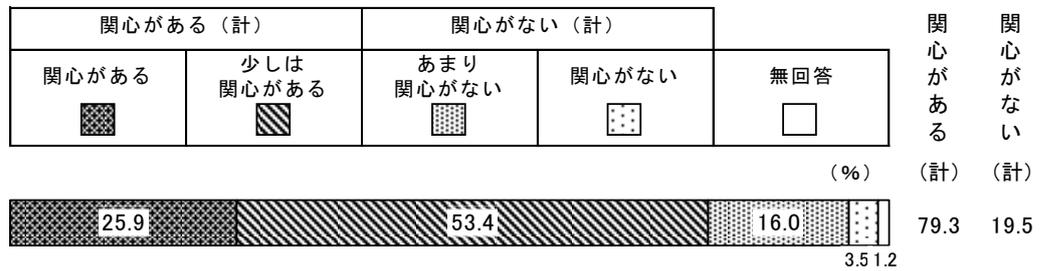
過去の調査結果と比較すると、『関心がある(計)』は令和5年度より6.1ポイント増加し、平成26年度以降で最も高い値となっている。



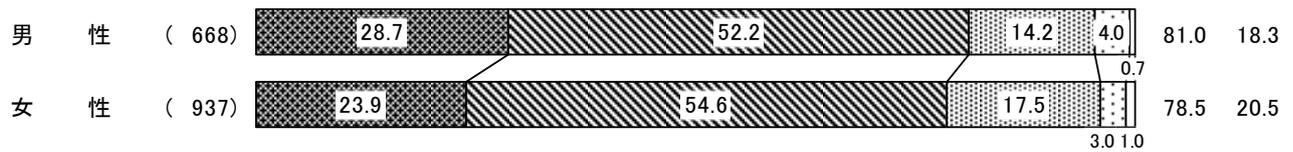
※平成26年度調査は「豊島区基本計画策定のための区民意識調査」

【性別、年齢別、職業別】

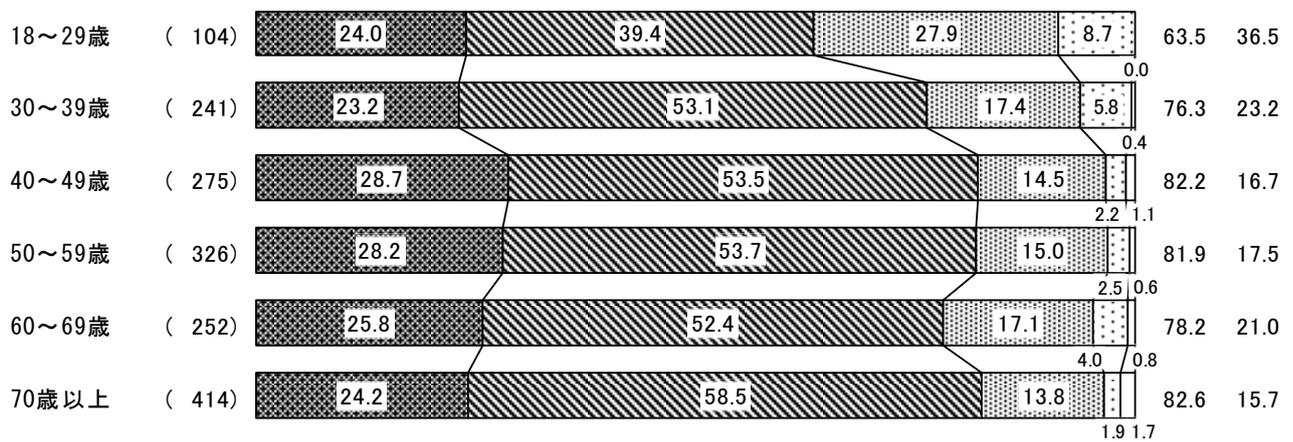
性別でみると、「関心がある」は男性（28.7%）が女性（23.9%）より4.8ポイント高くなっている。
 年齢別でみると、『関心がない（計）』は18～29歳（36.5%）で4割近くと高くなっている。
 職業別でみると、「関心がある」は学生（41.7%）で4割を超えて高くなっている。



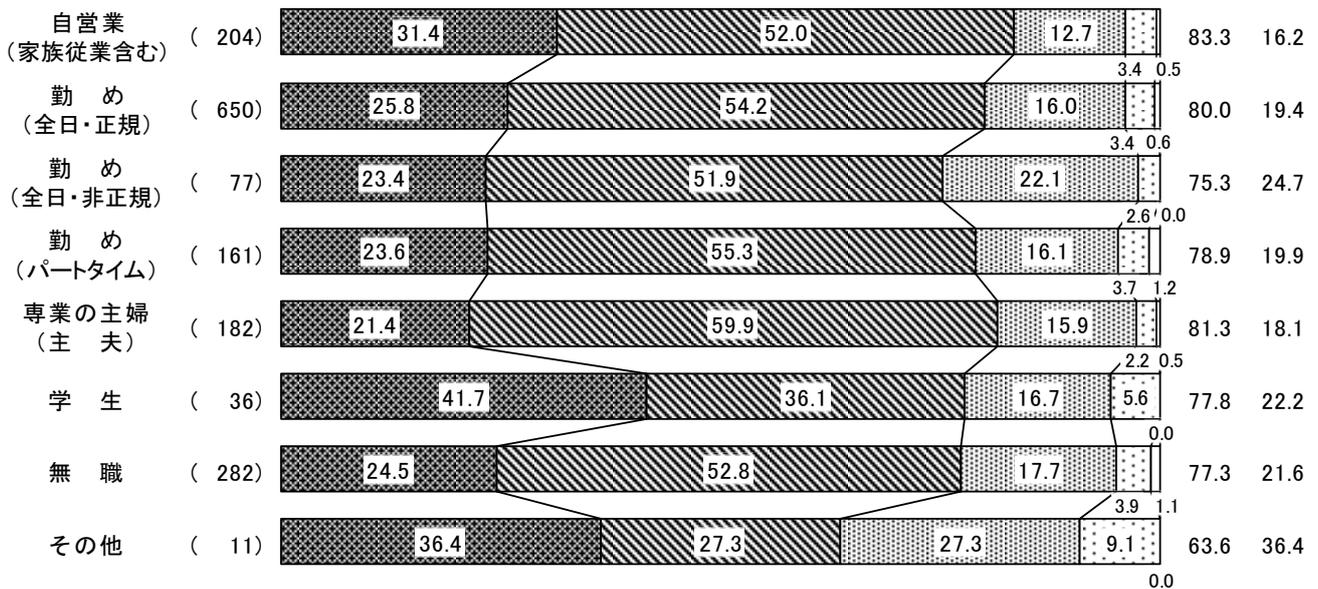
【性別】



【年齢別】



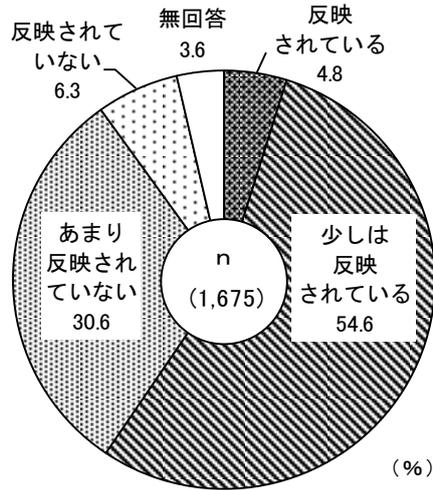
【職業別】



(5) 区の政策に区民の意見が反映されているか

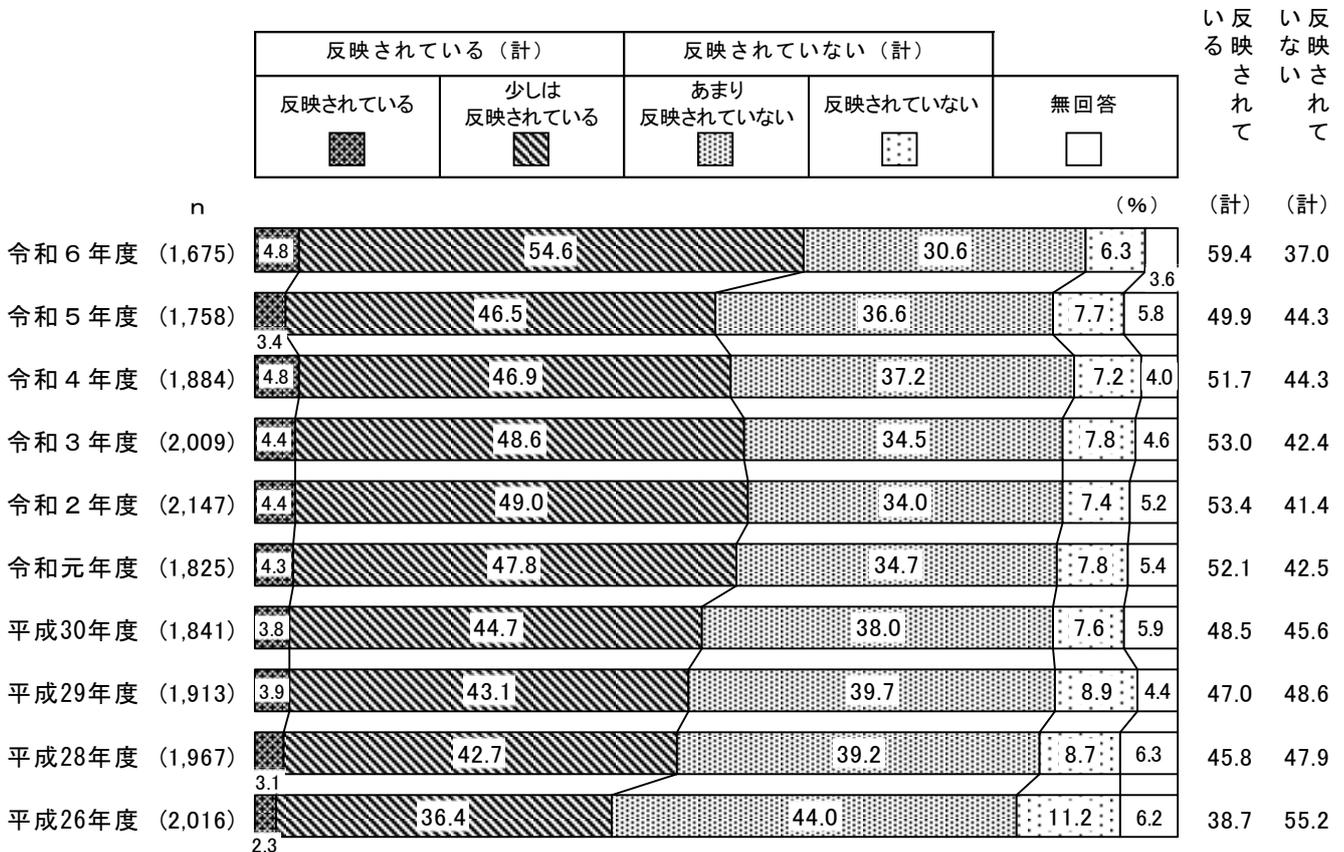
問11 あなたは、区の政策に区民の考えや意見がどの程度反映されていると思いますか。
(1つに○)

区の政策に区民の考えや意見がどの程度反映されていると思うか聞いたところ、「反映されている」(4.8%)と「少しは反映されている」(54.6%)を合わせた『反映されている(計)』(59.4%)は6割近くとなっている。一方、「あまり反映されていない」(30.6%)と「反映されていない」(6.3%)を合わせた『反映されていない(計)』(37.0%)は4割近くとなっている。



【経年比較】

過去の調査結果と比較すると、『反映されている(計)』は令和5年度より9.5ポイント増加し、平成26年度以降で最も高い値となっている。

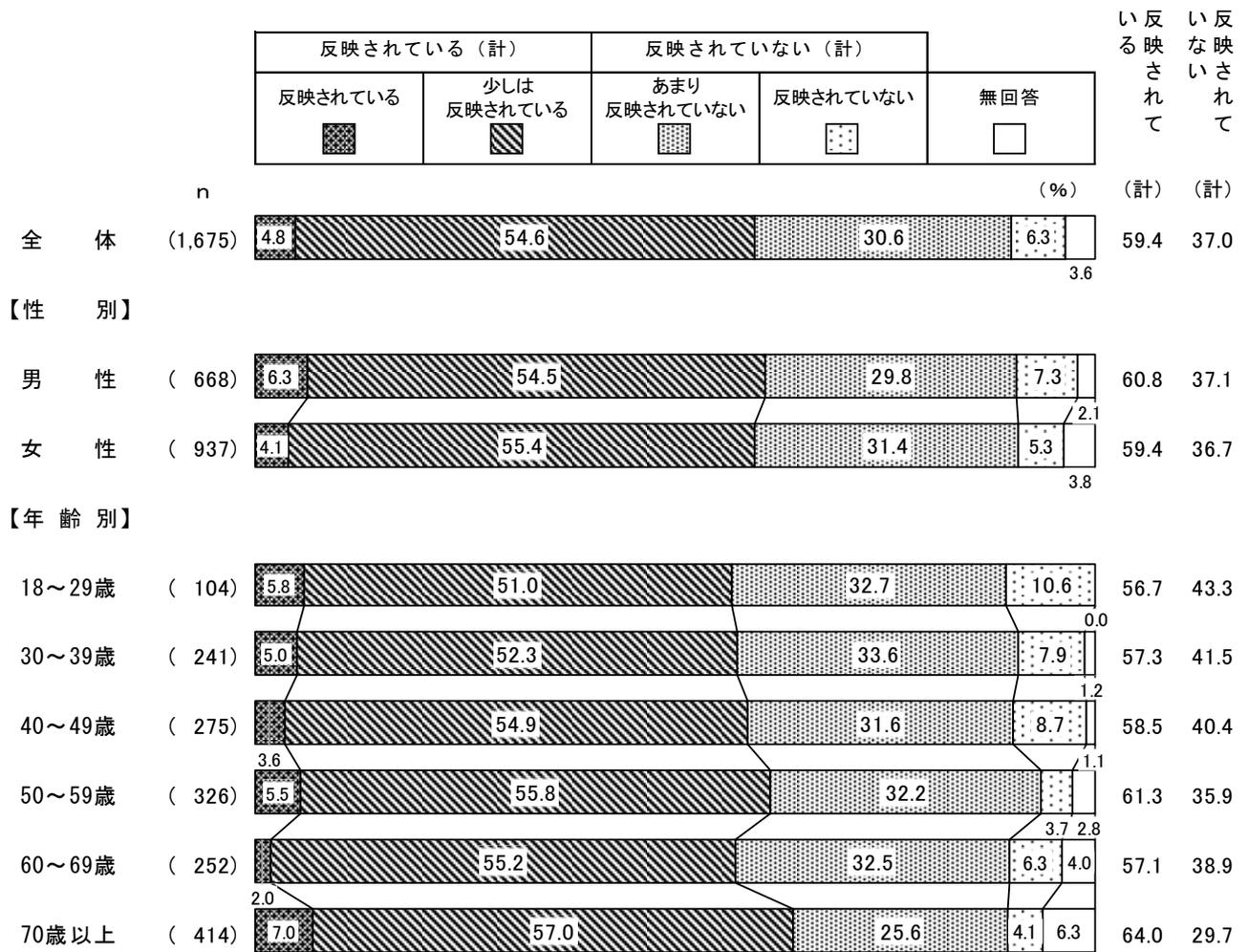


※平成26年度調査は「豊島区基本計画策定のための区民意識調査」

【性別、年齢別】

性別でみると、大きな違いはみられない。

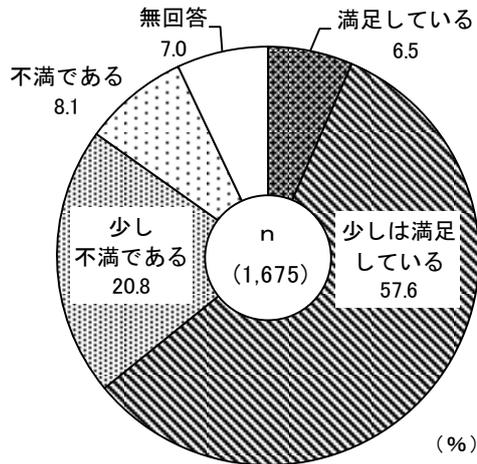
年齢別でみると、『反映されている（計）』は70歳以上（64.0%）で6割半ばと高くなっている。



(6) 区に意見を述べる機会や手段、方法に対する満足度

問12 あなたは、区に意見を述べる機会や手段、方法に満足していますか。(1つに○)

区に意見を述べる機会や手段、方法に満足しているか聞いたところ、「満足している」(6.5%)と「少しは満足している」(57.6%)を合わせた『満足している(計)』(64.1%)は6割半ばとなっている。一方、「少し不満である」(20.8%)と「不満である」(8.1%)を合わせた『不満である(計)』(28.9%)は3割近くとなっている。



【経年比較】

過去の調査結果と比較すると、『満足している(計)』は令和5年度より25.3ポイント増加し、平成26年度以降で最も高い値となっている。

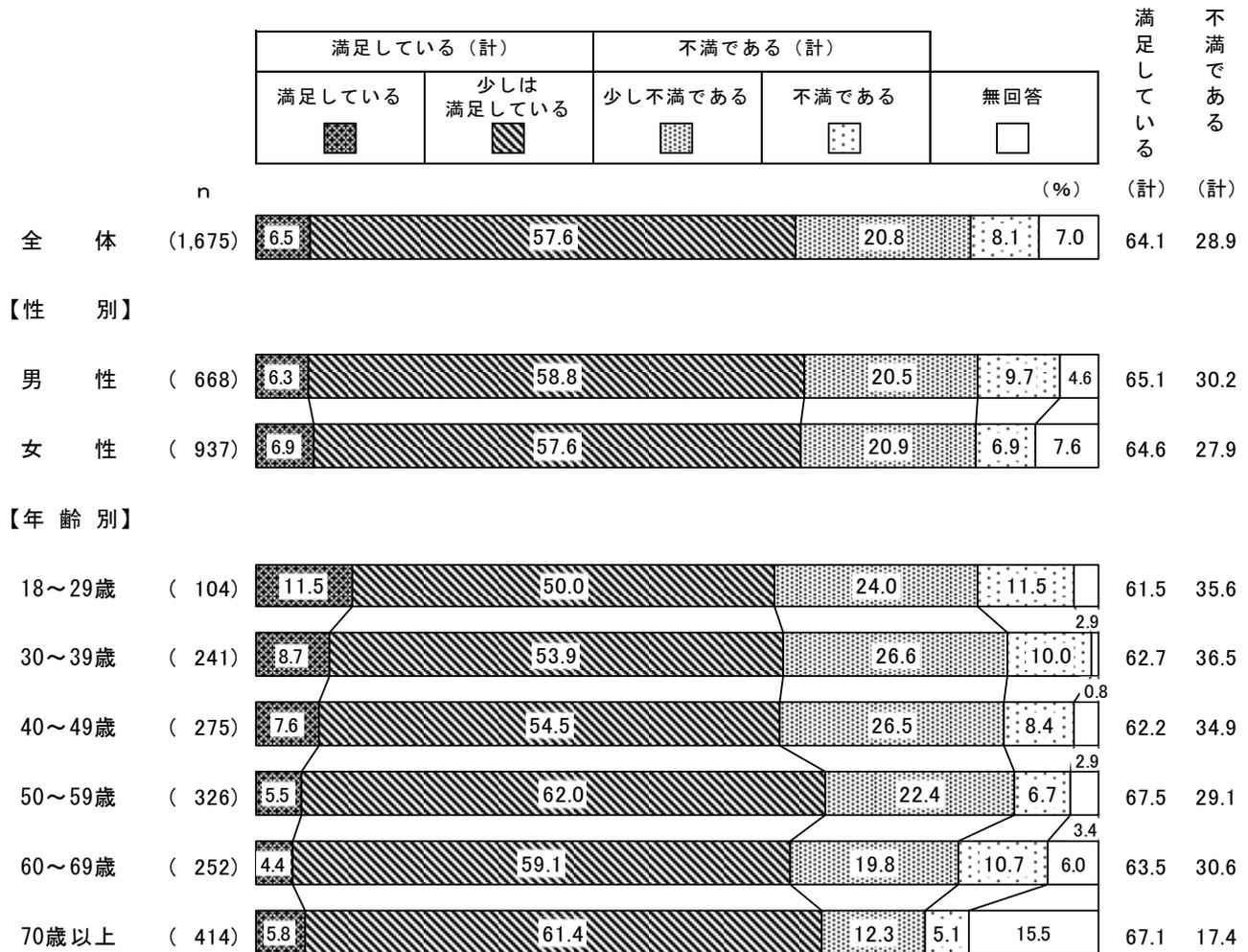
年度	n	満足度 (%)					満足している(計)	不満である(計)
		満足している	少しは満足している	少し不満である	不満である	無回答		
令和6年度	(1,675)	6.5	57.6	20.8	8.1	7.0	64.1	28.9
令和5年度	(1,758)	4.8	34.0	39.7	14.1	7.4	38.8	53.8
令和4年度	(1,884)	6.0	33.7	41.3	12.0	7.0	39.7	53.3
令和3年度	(2,009)	5.9	35.1	39.2	12.8	7.0	41.0	52.0
令和2年度	(2,147)	6.2	32.9	38.6	14.0	8.3	39.1	52.6
令和元年度	(1,825)	6.2	33.2	37.2	14.9	8.5	39.4	52.1
平成30年度	(1,841)	5.9	29.9	39.0	16.3	8.9	35.8	55.3
平成29年度	(1,913)	5.4	29.7	41.0	17.0	6.9	35.1	58.0
平成28年度	(1,967)	4.8	28.3	39.5	17.5	9.9	33.1	57.0
平成26年度	(2,016)	4.6	25.5	42.9	18.2	8.8	30.1	61.1

※平成26年度調査は「豊島区基本計画策定のための区民意識調査」

【性別、年齢別】

性別でみると、大きな違いはみられない。

年齢別でみると、『満足している（計）』は50～59歳（67.5%）、70歳以上（67.1%）で7割近く、『不満である（計）』は30～39歳（36.5%）で4割近くと最も高くなっている。



(7) あればよいと思う区に意見を述べる機会や手段、方法

《問 12 で、「少し不満である」または「不満である」とお答えの方におたずねします》
 問 12-1 どのような機会や手段、方法があればよいと思いますか（自由回答）

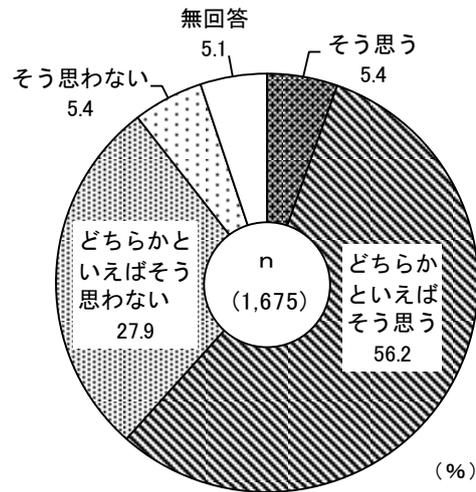
区に意見を述べる機会や手段、方法に「少し不満である」または「不満である」と答えた方に、どのような機会や手段、方法があればよいと思うか尋ねた。自由回答形式から以下の回答があげられた。

機会・手段・方法	具体的な内容
インターネットの活用	区議会の議論を分かりやすく SNS 等で知りたい
	SNS 等で、時間や場所の制約がなく意見表明できる仕組み
	ウェブサイトフォームやLINE で区長や区政に直接伝える手段
	リアルタイムで意見を投げられる場を作る
意識調査、アンケートの実施	地域をブロック分けして、そこの居住者に定期的にニーズを聞くアンケートを実施する
	意識調査を、1 回あたりの内容をもっと簡便なものにしつつ回数を増やす
タウンミーティング等	気軽に参加できる土曜、日曜、祝日のタウンミーティングを開催する
	区議会等において一般区民も参加ができ、意見交換をすることができる機会を作る
	地域等、公共施設等で説明会みたいな方針説明があれば良い
	地域ごとに区議や区長が住民と議論する機会が設けられれば良い
	ご近所のママ友同士、誘い合っていけるような気軽な雰囲気と場所の提供
意見箱、相談窓口の設置	意見を述べる投書箱があると良い
	子どもから高齢者まで気軽に意見を述べられるように目安箱的ものを区内の利用しやすい所に設置する
	街中の分かりやすい場所（駅や公園の看板、コンビニなど）に二次元コードをのせて、すぐに意見が送れるようにするなど、とにかく簡単な仕組みを作る
その他	区議会の情報が「広報としま」以外あまり知る事が出来ない
	高齢者が多いのでアナログな方法も考えた方がいいと思う
	今現在、どのような機会や手段・方法があるのかわからないので、そこをわかりやすく提示・発信して欲しい

(8) 柔軟な区政運営ができているか

問13 あなたは、社会状況や区民ニーズに応じた柔軟な区政運営ができていると思いますか。
(1つに○)

社会状況や区民ニーズに応じた柔軟な区政運営ができていると思うか聞いたところ、「そう思う」(5.4%)と「どちらかといえばそう思う」(56.2%)を合わせた『そう思う(計)』(61.6%)は6割を超えている。一方、「どちらかといえばそう思わない」(27.9%)と「そう思わない」(5.4%)を合わせた『そう思わない(計)』(33.3%)は3割を超えている。



【経年比較】

過去の調査結果と比較すると、『そう思う(計)』は令和5年度より13.6ポイント増加し、令和3年度以降で最も高い値となっている。

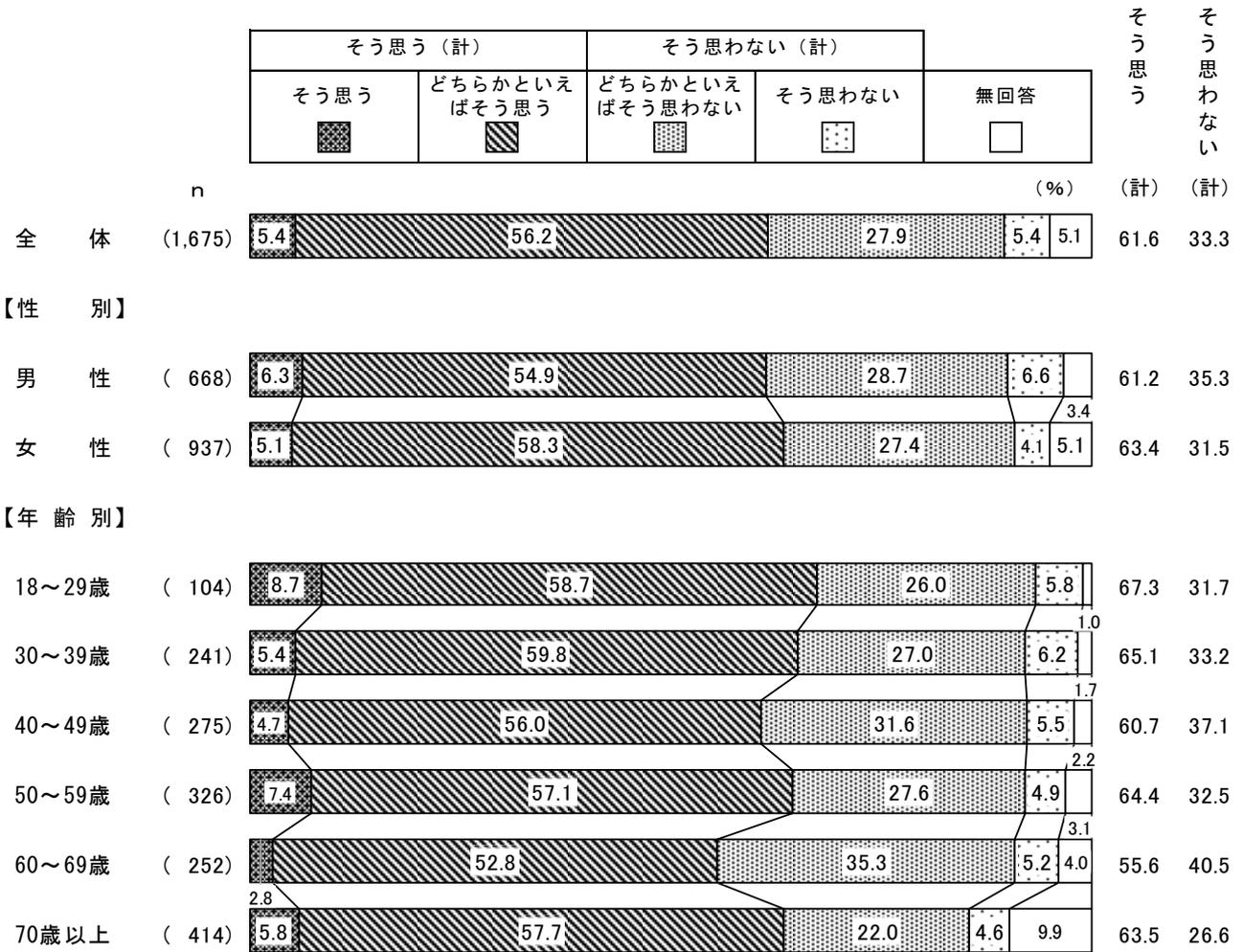
	『そう思う(計)』		『そう思わない(計)』		無回答 (%)	『そう思う(計)』 (%)	『そう思わない(計)』 (%)
	『そう思う』 (%)	『どちらかといえばそう思う』 (%)	『どちらかといえばそう思わない』 (%)	『そう思わない』 (%)			
令和6年度 (n=1,675)	5.4	56.2	27.9	5.4	5.1	61.6	33.3
令和5年度 (n=1,758)	4.6	43.4	35.8	9.9	6.3	48.0	45.7
令和4年度 (n=1,884)	5.8	41.9	37.9	8.7	5.7	47.7	46.6
令和3年度 (n=2,009)	5.7	43.9	35.3	9.1	6.1	49.5	44.4

※令和5年度調査までの設問文は「あなたは、区内の経済状況や区民需要の変化に応じた柔軟な区政運営ができていると思いますか。」

【性別、年齢別】

性別でみると、『そう思う（計）』は女性（63.4%）が男性（61.2%）より2.2ポイント高くなっている。

年齢別でみると、『そう思う（計）』は60～69歳（55.6%）以外の年代で6割を超えている。

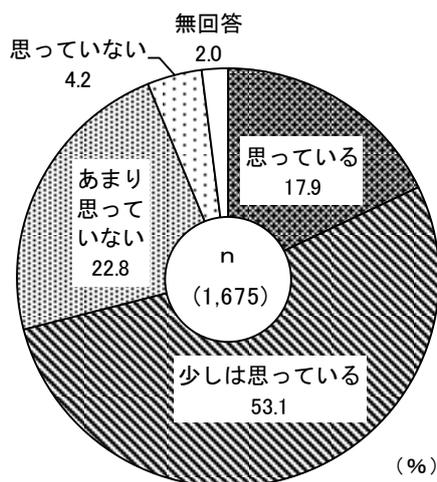


2. 地域との関わりについて

(1) 地域のために何か役立ちたいか

問 14 あなたは、日頃、地域の一員として、地域のために何か役立ちたいと思っていますか。
(1つに○)

地域のために何か役立ちたいと思っているか聞いたところ、「思っている」(17.9%)と「少しは思っている」(53.1%)を合わせた『思っている(計)』(70.9%)は7割を超えている。一方、「あまり思っていない」(22.8%)と「思っていない」(4.2%)を合わせた『思っていない(計)』(27.0%)は3割近くとなっている。



【経年比較】

過去の調査結果と比較すると、「思っている(計)」は令和5年度より5.3ポイント増加している。

n	思っている(計)		思っていない(計)		無回答	思っている(計)	思っていない(計)
	思っている	少しは思っている	あまり思っていない	思っていない			
令和6年度 (1,675)	17.9	53.1	22.8	4.2	2.0	70.9	27.0
令和5年度 (1,758)	16.0	49.7	24.3	6.3	3.8	65.6	30.6
令和4年度 (1,884)	16.8	51.5	23.2	6.5	2.0	68.3	29.7
令和3年度 (2,009)	17.0	50.2	23.6	7.1	2.0	67.2	30.8
令和2年度 (2,147)	16.9	50.5	24.2	5.8	2.5	67.4	30.0
令和元年度 (1,825)	17.7	51.8	22.7	5.7	2.1	69.5	28.4
平成30年度 (1,841)	21.1	51.5	19.4	6.1	1.9	72.6	25.5
平成29年度 (1,913)	20.5	51.5	20.5	5.8	1.7	72.0	26.3
平成28年度 (1,967)	19.2	53.6	18.9	5.3	2.9	72.8	24.2
平成26年度 (2,016)	19.6	50.8	21.6	4.9	3.1	70.4	26.5

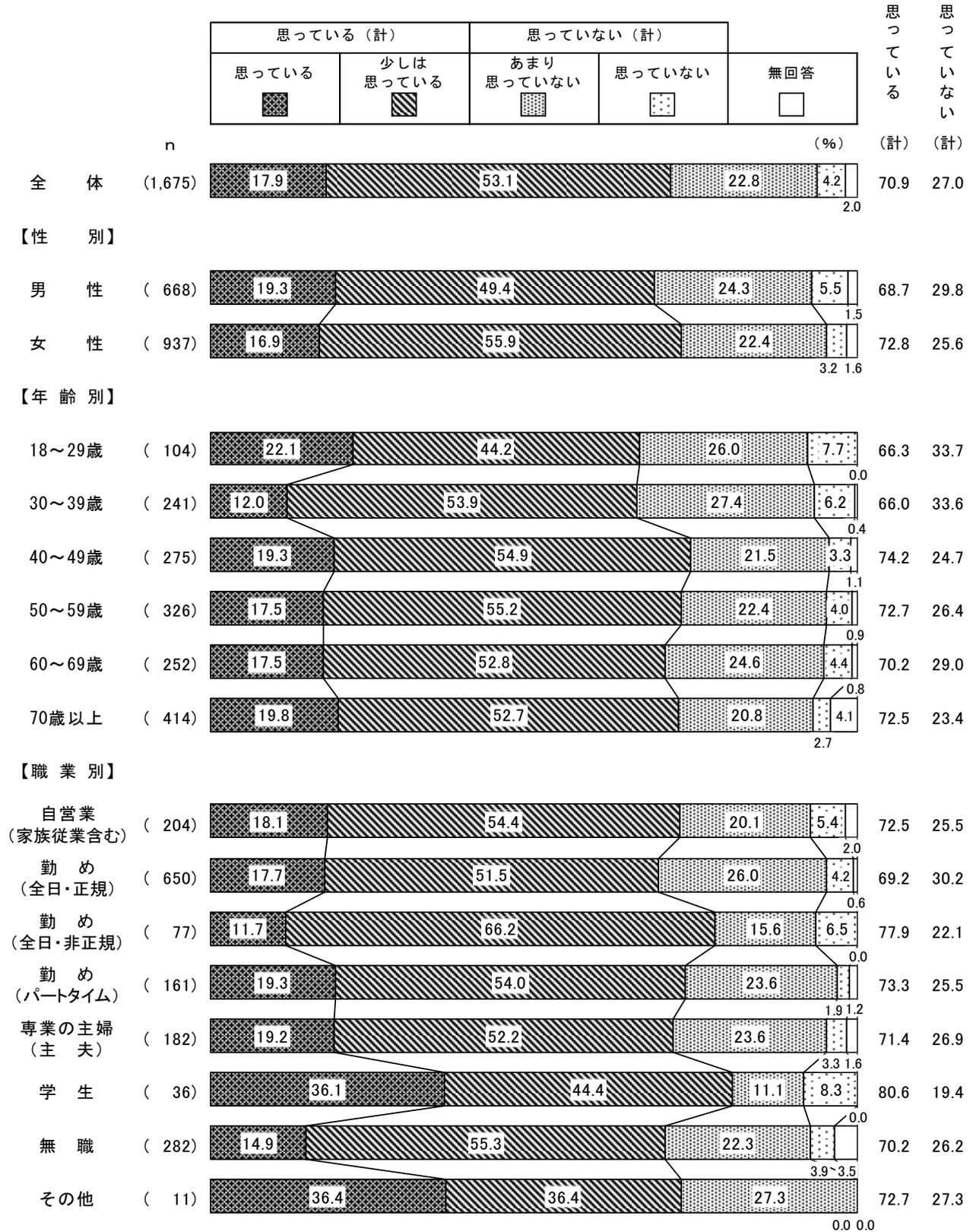
※平成26年度調査は「豊島区基本計画策定のための区民意識調査」

【性別、年齢別、職業別】

性別でみると、『思っている（計）』は女性（72.8%）が男性（68.7%）より4.1ポイント高くなっている。

年齢別でみると、『思っていない（計）』は18～29歳（33.7%）、30～39歳（33.6%）で3割半ばと高くなっている。

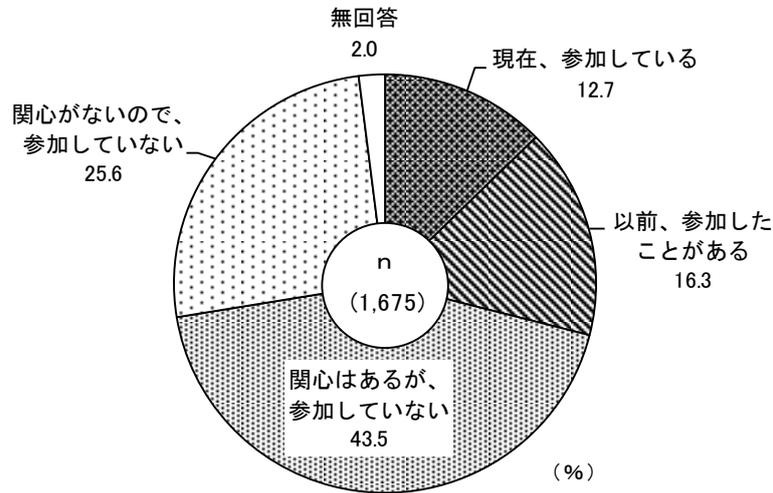
職業別でみると、「思っている」は学生（36.1%）で3割半ばと高くなっている。



(2) 町会、自治会などの地域活動への参加状況

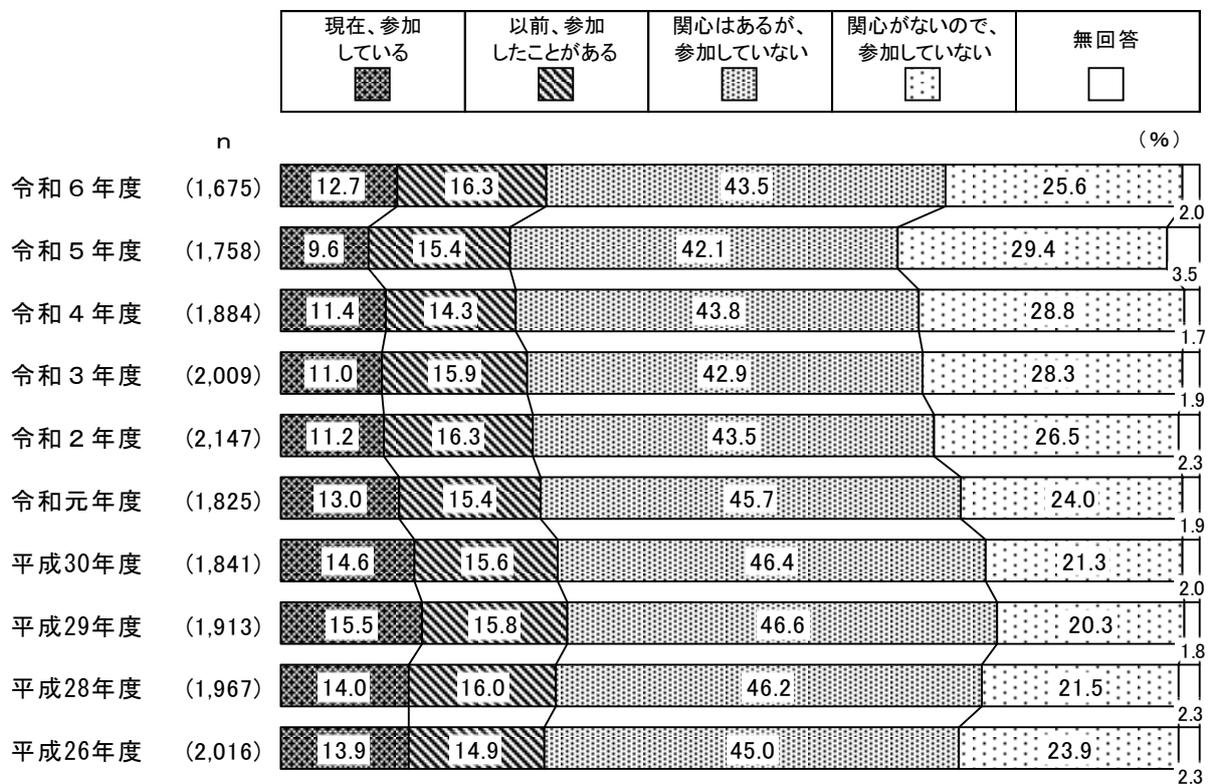
問 15 あなたは、お住まいの地域で、町会、自治会などの地域活動に参加していますか。
(1つに○)

町会、自治会などの地域活動に参加しているか聞いたところ、「現在、参加している」(12.7%)が1割超、「以前、参加したことがある」(16.3%)が1割半ばとなっている。また、「関心はあるが、参加していない」(43.5%)が4割半ば、「関心がないので、参加していない」(25.6%)が2割半ばとなっている。



【経年比較】

過去の調査結果と比較すると、「現在、参加している」は令和5年度より3.1ポイント増加している。



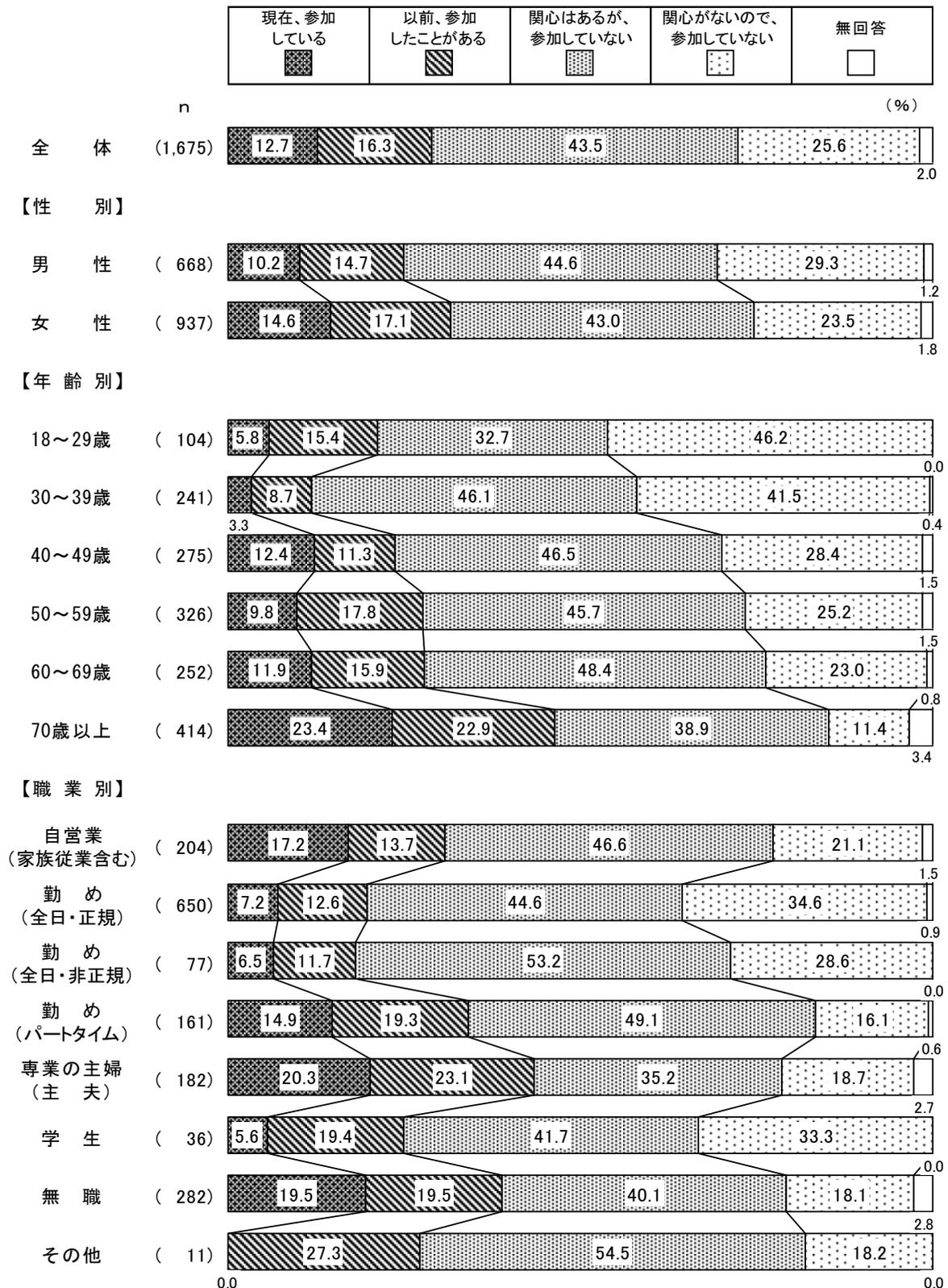
※平成26年度調査は「豊島区基本計画策定のための区民意識調査」

【性別、年齢別、職業別】

性別でみると、「現在、参加している」は女性（14.6%）が男性（10.2%）より4.4ポイント高くなっている。

年齢別でみると、「現在、参加している」は70歳以上（23.4%）で2割を超えて高くなっている。

職業別でみると、「現在、参加している」は専業主婦（主夫）（20.3%）、無職（19.5%）で約2割となっている。

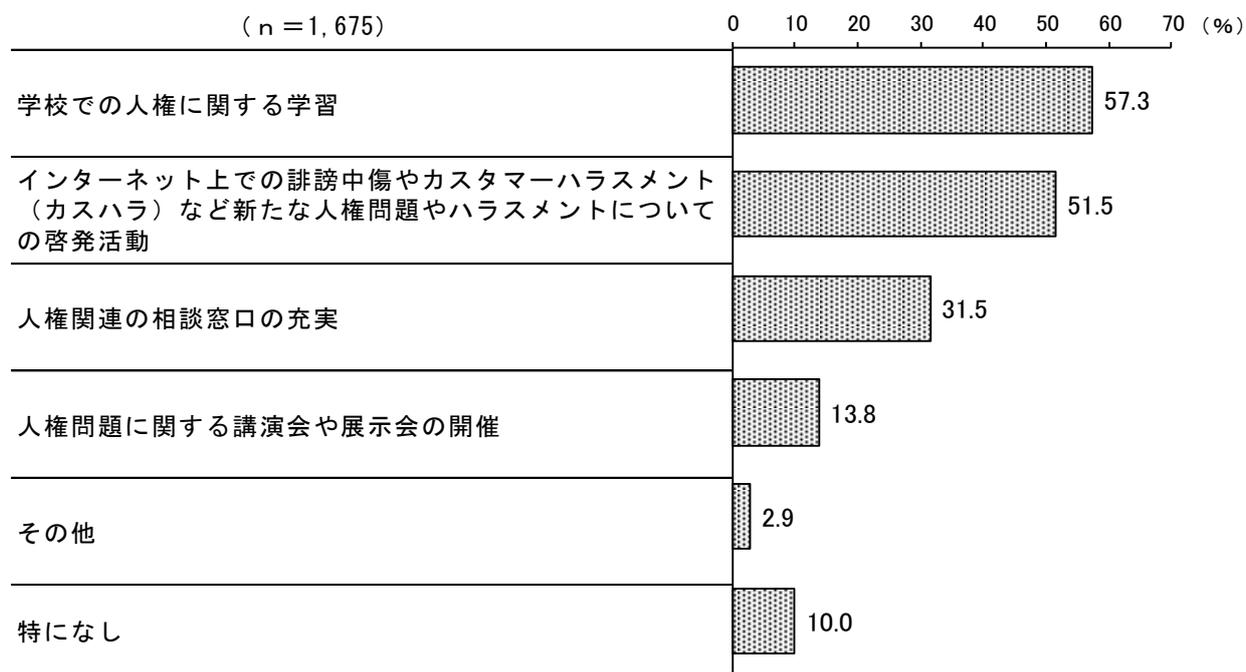


3. 人権が尊重された多様性のある社会について

(1) 人権事業において特に力を入れるべきこと

問 16 人権事業において、特に力を入れるべきことはどのようなことだと思いますか。
(いくつでも○)

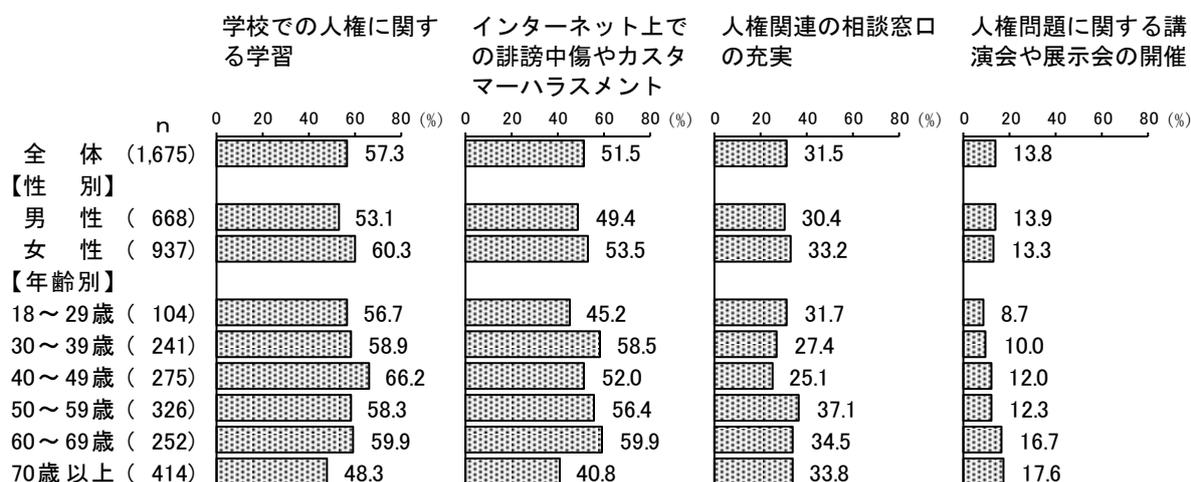
人権事業において、特に力を入れるべきことはどのようなことだと思うか聞いたところ、「学校での人権に関する学習」(57.3%)が6割近くで最も高く、次いで「インターネット上での誹謗中傷やカスタマーハラスメント(カスハラ)など新たな人権問題やハラスメントについての啓発活動」(51.5%)、「人権関連の相談窓口の充実」(31.5%)、「人権問題に関する講演会や展示会の開催」(13.8%)となっている。また、「その他」の回答として、「家庭教育」、「公共機関でのコンプライアンス徹底」などがあげられた。



【性別、年齢別】(上位4項目)

性別でみると、「学校での人権に関する学習」は女性(60.3%)が男性(53.1%)より7.2ポイント高くなっている。

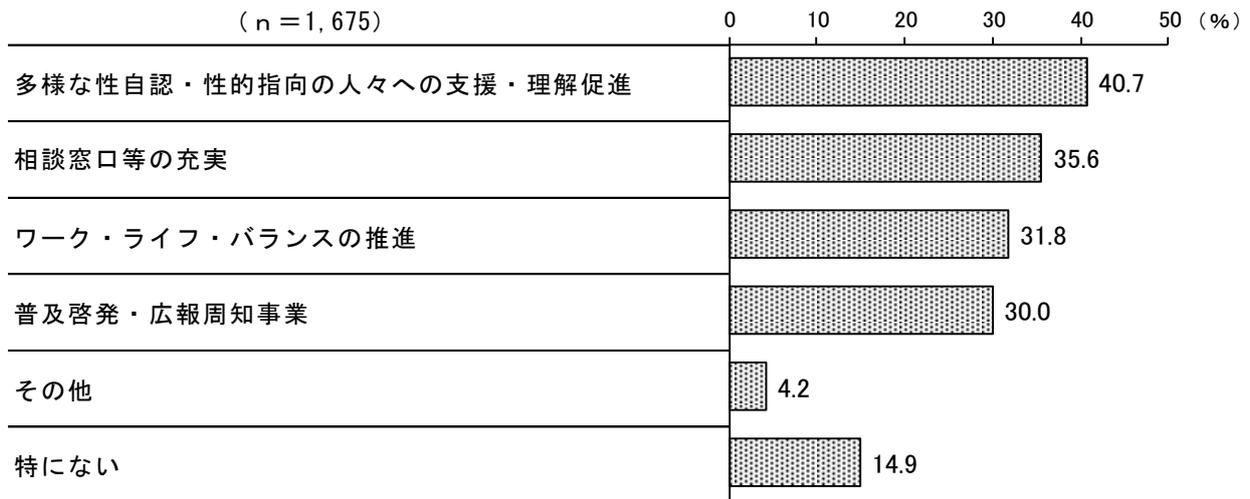
年齢別でみると、「学校での人権に関する学習」は40～49歳(66.2%)で6割半ばと高くなっている。



(2) ジェンダー平等社会を目指すための区の取組み

問17 性別等にかかわらず、誰もが自分らしく生きられるジェンダー平等社会を目指すにあたり、区としてどのような取組みが必要だと思いますか。(いくつでも○)

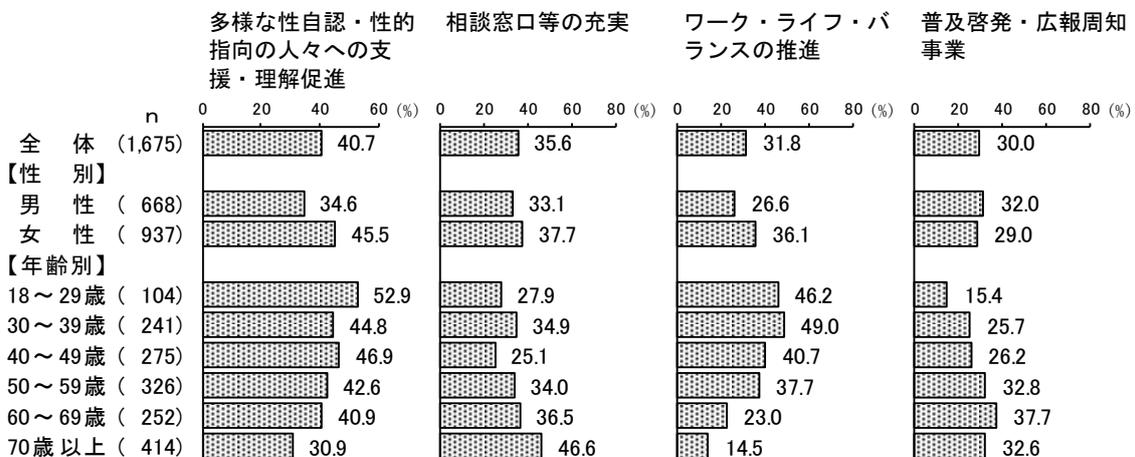
ジェンダー平等社会を目指すにあたり、区としてどのような取組みが必要だと思うか聞いたところ、「多様な性自認・性的指向の人々への支援・理解促進」(40.7%)が4割を超えて最も高く、次いで「相談窓口等の充実」(35.6%)、「ワーク・ライフ・バランスの推進」(31.8%)、「普及啓発・広報周知事業」(30.0%)となっている。また、「その他」の回答として、「パートナーシップ制度の導入」、「中・高校での教育プログラム」などがあげられた。



【性別、年齢別】

性別で見ると、「多様な性自認・性的指向の人々への支援・理解促進」は女性(45.5%)が男性(34.6%)より10.9ポイント高くなっている。「ワーク・ライフ・バランスの推進」は女性(36.1%)が男性(26.6%)より9.5ポイント高くなっている。

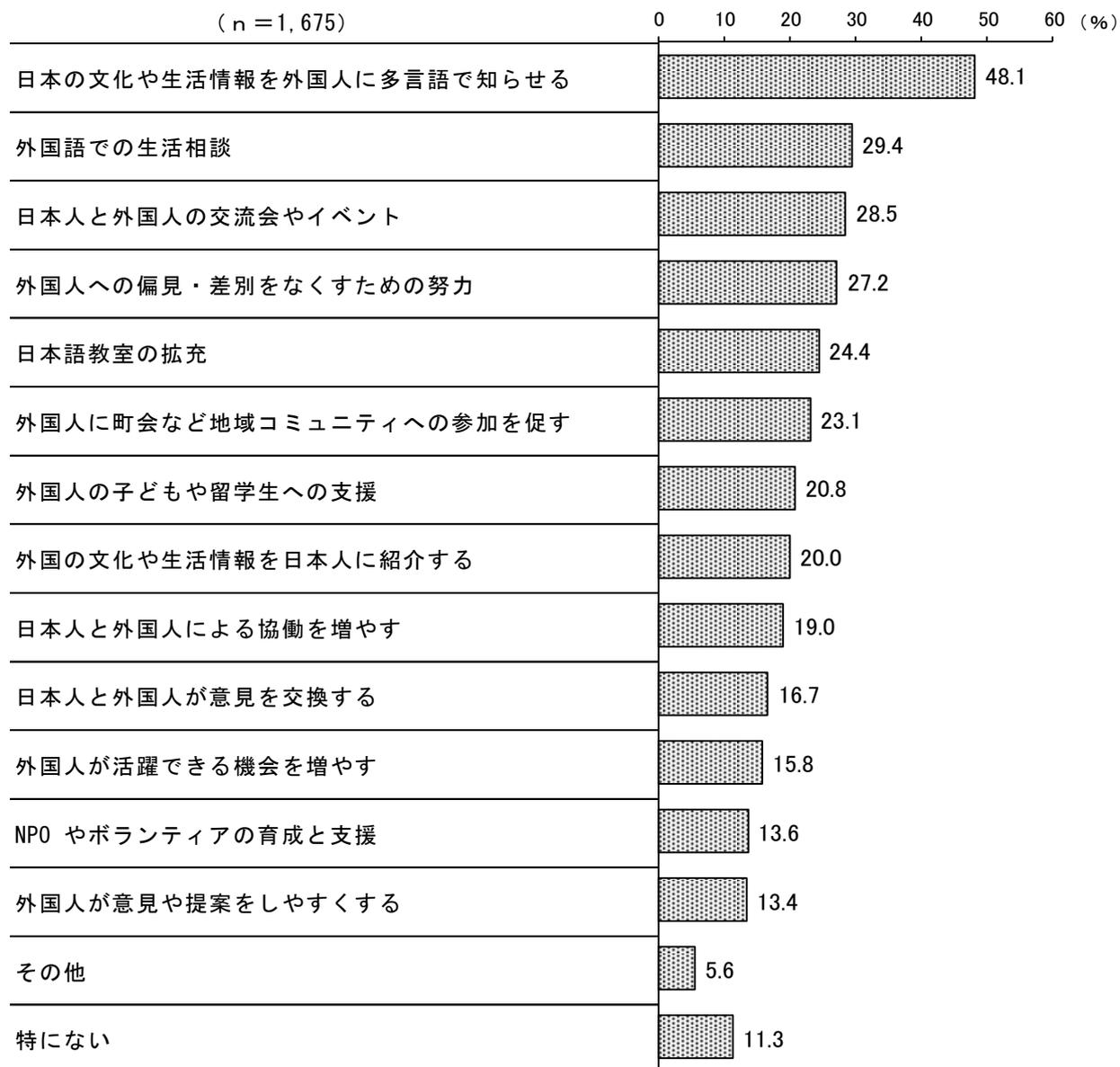
年齢別で見ると、「多様な性自認・性的指向の人々への支援・理解促進」は18~29歳(52.9%)で5割を超えて高くなっている。「相談窓口等の充実」は70歳以上(46.6%)で5割近くと高くなっている。



(3) 「多文化共生のまちづくり」のために区が力を入れるべきこと

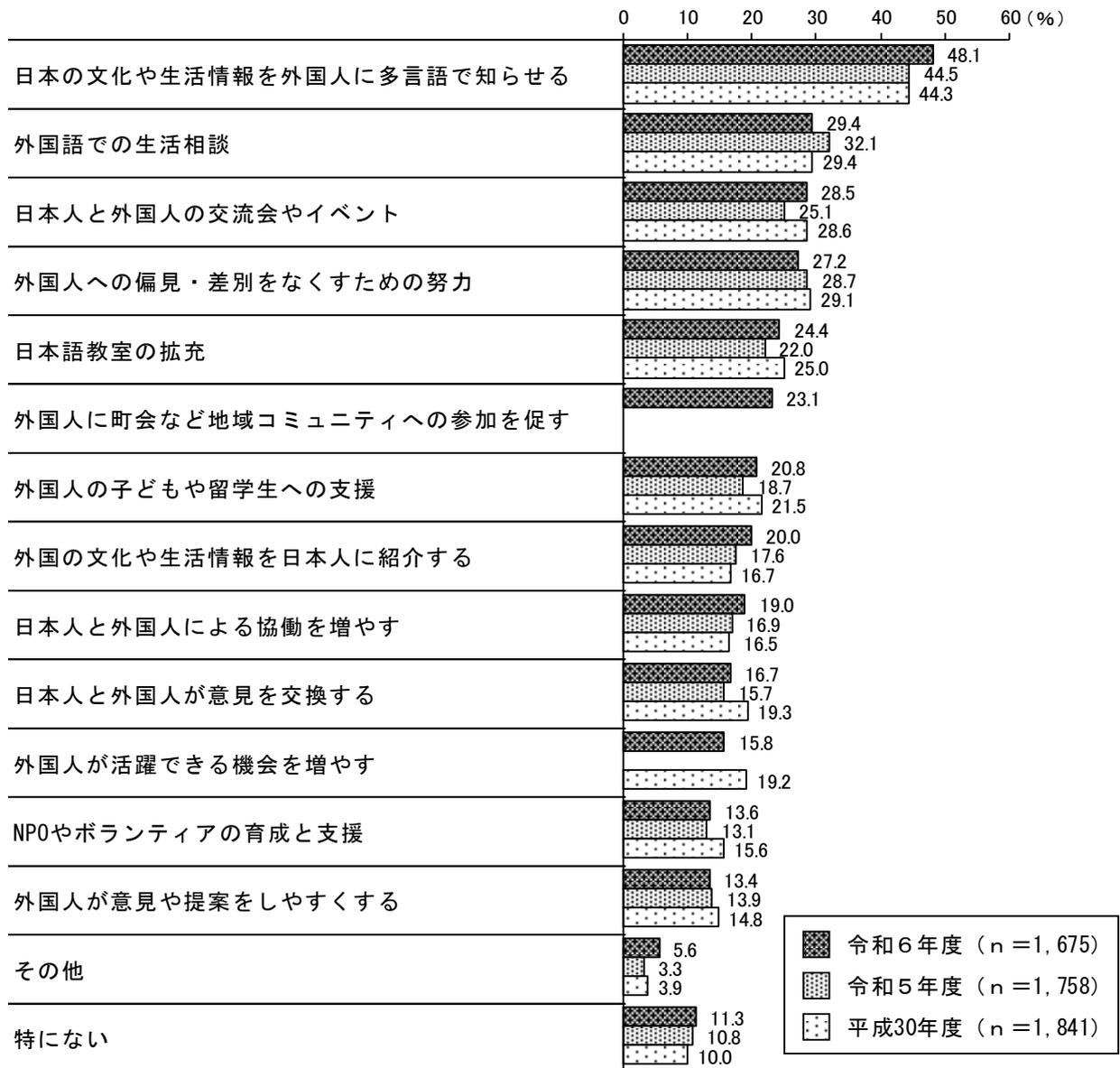
問 18 「多文化共生社会」とは、「国籍や民族などの異なる人々が互いの文化的違いを認め、理解し、地域で共に生きていく社会」を言います。「多文化共生のまちづくり」のために、今後、区の対応として、どのようなことに力を入れるべきと思いますか。(いくつでも○)

「多文化共生のまちづくり」のために、今後、区の対応として、どのようなことに力を入れるべきと思うか聞いたところ、「日本の文化や生活情報を外国人に多言語で知らせる」(48.1%)が5割近くで最も高く、次いで「外国語での生活相談」(29.4%)、「日本人と外国人の交流会やイベント」(28.5%)、「外国人への偏見・差別をなくすための努力」(27.2%)となっている。



【経年比較】

過去の調査結果と比較すると、「日本の文化や生活情報を外国人に多言語で知らせる」は令和5年度より3.6ポイント、「日本人と外国人の交流会やイベント」は令和5年度より3.4ポイント、それぞれ増加している。一方、「外国語での生活相談」は令和5年度より2.7ポイント減少している。



※ 「日本の文化や生活情報を外国人に多言語で知らせる」は令和5年度調査では「日本の文化や生活情報を外国語で知らせる」

※ 「外国の文化や生活情報を日本人に紹介する」は令和5年度調査では「外国の文化や生活情報を紹介する」

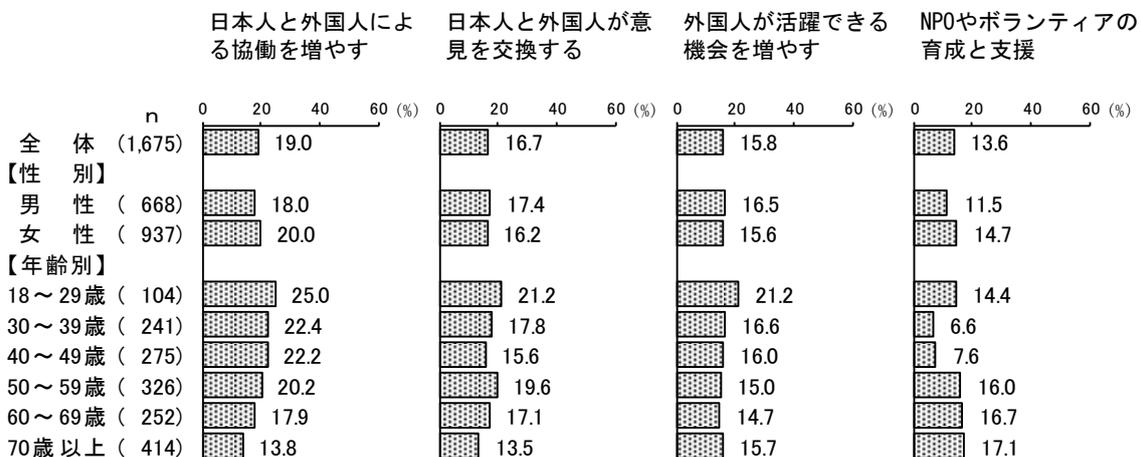
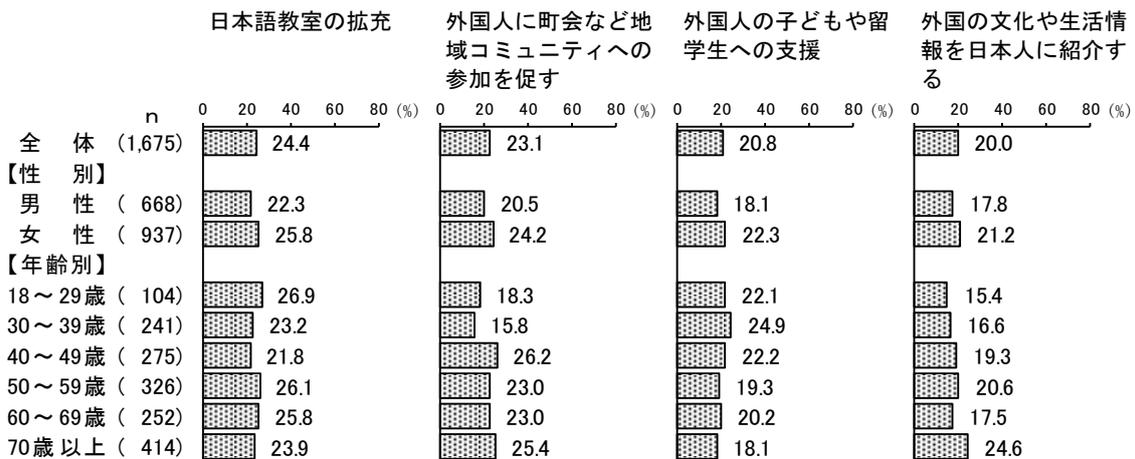
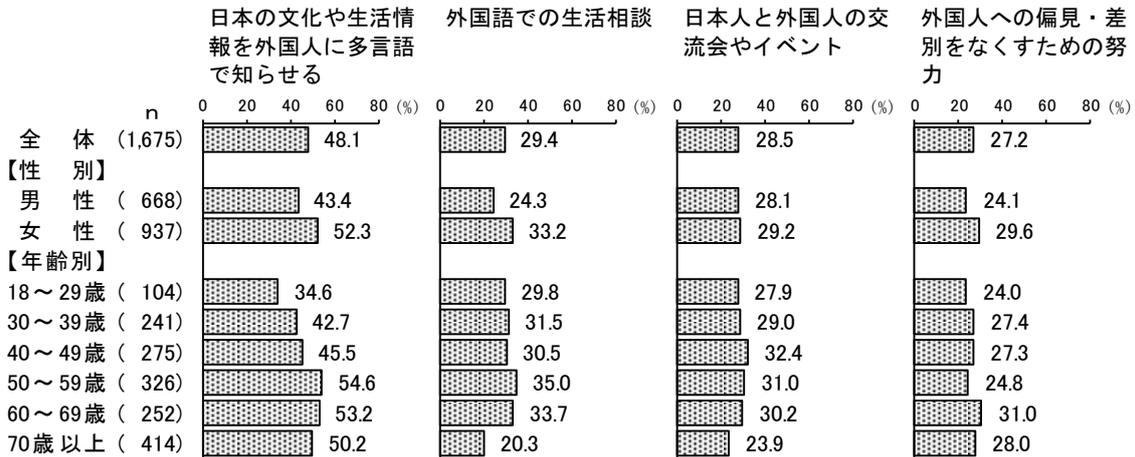
※ 「外国人が活躍できる機会を増やす」は令和5年度調査ではなし

※ 「外国人に町会など地域コミュニティへの参加を促す」は今回調査からの選択肢

【性別、年齢別】(上位12項目)

性別でみると、「日本の文化や生活情報を外国人に多言語で知らせる」は女性(52.3%)が男性(43.4%)より8.9ポイント高くなっている。「外国語での生活相談」は女性(33.2%)が男性(24.3%)より8.9ポイント高くなっている。

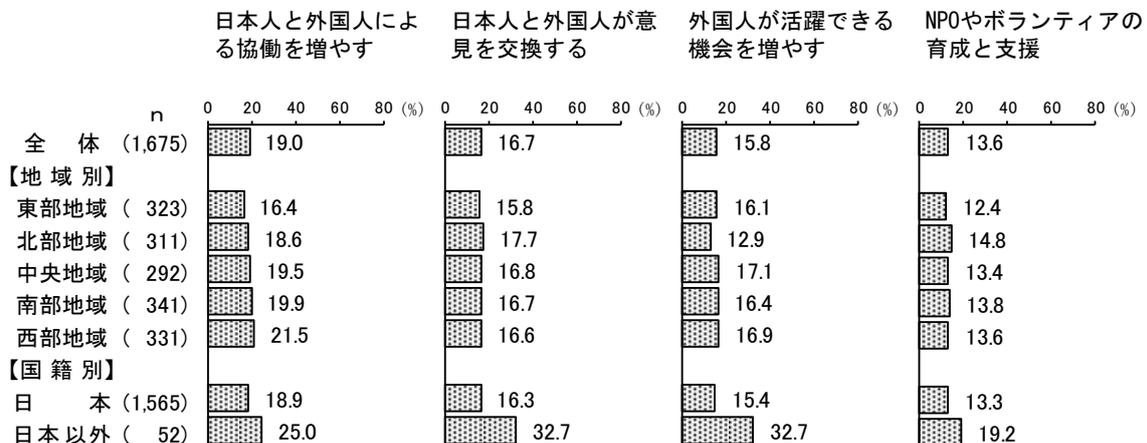
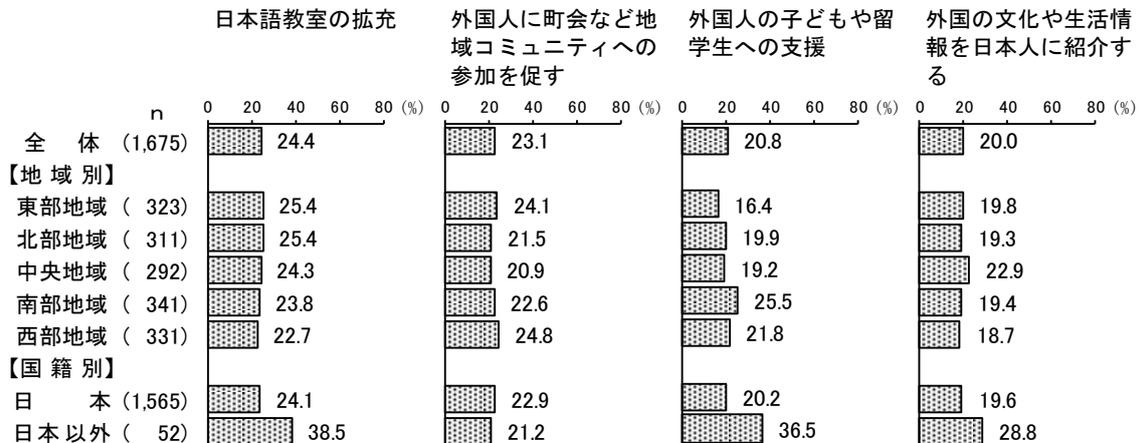
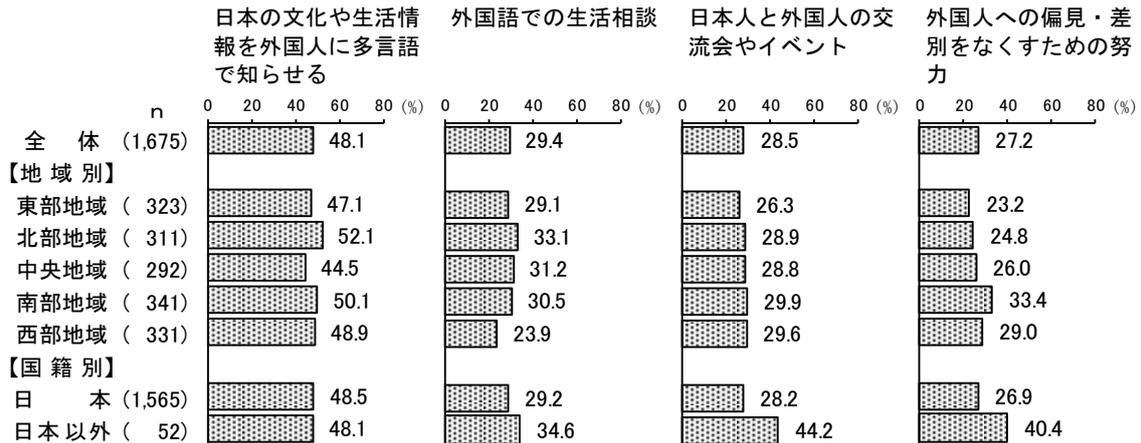
年齢別でみると、「日本の文化や生活情報を外国人に多言語で知らせる」は50～59歳(54.6%)で5割半ばと高くなっている。「外国語での生活相談」は50～59歳(35.0%)で3割半ばと高くなっている。



【地域別】（上位12項目）

地域別でみると、「日本の文化や生活情報を外国人に多言語で知らせる」は北部地域（52.1%）、南部地域（50.1%）で5割台となっている。「外国人への偏見・差別をなくすための努力」は南部地域（33.4%）で3割を超えて高くなっている。

国籍別でみると、「外国人が活躍できる機会を増やす」は日本以外（32.7%）が日本（15.4%）より17.3ポイント、「日本人と外国人が意見を交換する」は日本以外（32.7%）が日本（16.3%）より16.4ポイント、「外国人の子どもや留学生への支援」は日本以外（36.5%）が日本（20.2%）より16.3ポイント、「日本人と外国人の交流会やイベント」は日本以外（44.2%）が日本（28.2%）より16.0ポイント、それぞれ高くなっている。

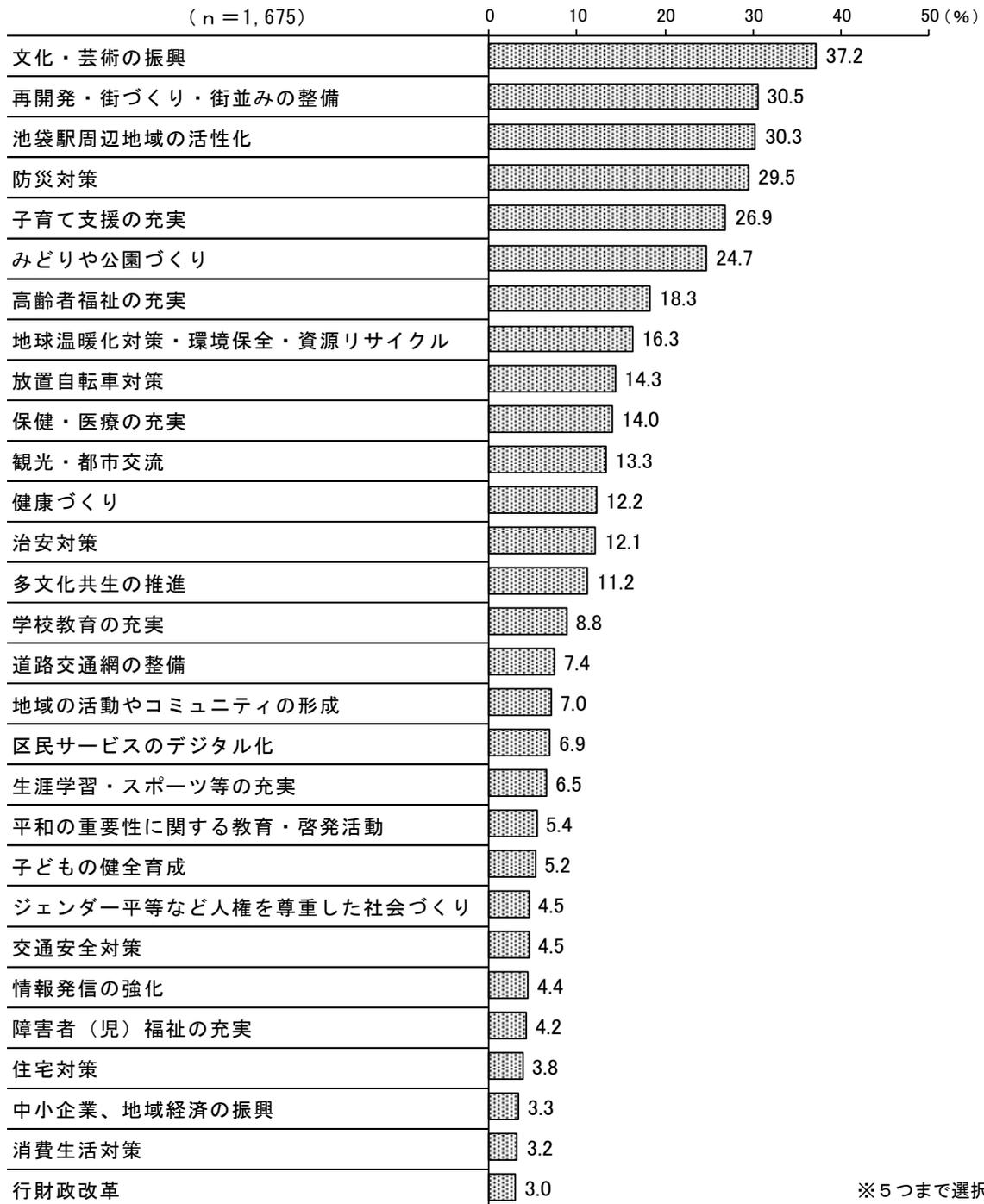


4. 区政全般への要望

(1) 現在、区が力を入れていると思う施策

問19 区政全体について考えた場合、ここに掲げた項目のうち、あなたが「現在、区が力を入れていると思う施策」、「特に力を入れてほしいと思う施策」はどのようなことですか。
(〇はそれぞれ5つまで)

現在、区が力を入れていると思う施策を聞いたところ、「文化・芸術の振興」(37.2%)が4割近くで最も高く、次いで「再開発・街づくり・街並みの整備」(30.5%)、「池袋駅周辺地域の活性化」(30.3%)、「防災対策」(29.5%)となっている。



※「ジェンダー平等など人権を尊重した社会づくり」は4.54% (小数点第2位まで)

「交通安全対策」は4.48% (同上)

【経年比較】

過去の調査結果と比較すると、上位10項目の中で、令和5年度より順位が高くなったものは、「文化・芸術の振興」、「池袋駅周辺地域の活性化」、「防災対策」、「高齢者福祉の充実」の4項目となっている。

一方、上位10項目の中で、令和5年度より順位が低くなったものは、「再開発・街づくり・街並みの整備」、「みどりや公園づくり」、「放置自転車対策」の3項目となっている。

<令和6年度>			順位比較	<令和5年度>	
順位		%		順位	%
1	文化・芸術の振興	37.2	↑	2	33.7
2	再開発・街づくり・街並みの整備	30.5	↓	1	38.3
3	池袋駅周辺地域の活性化	30.3	↑	4	23.9
4	防災対策	29.5	↑	12	10.8
5	子育て支援の充実	26.9	↓	5	22.1
6	みどりや公園づくり	24.7	↓	3	31.4
7	高齢者福祉の充実	18.3	↑	9	16.0
8	地球温暖化対策・環境保全・資源リサイクル	16.3	↓	8	16.8
9	放置自転車対策	14.3	↓	6	19.9
10	保健・医療の充実	14.0	↓	10	15.4
11	観光・都市交流	13.3	↓	11	11.3
12	健康づくり	12.2	↓	7	17.5
13	治安対策	12.1	↑	14	8.2
14	多文化共生の推進	11.2	↑	19	6.0
15	学校教育の充実	8.8	↑	16	7.2
16	道路交通網の整備	7.4	↓	13	10.5
17	地域の活動やコミュニティの形成	7.0	↓	17	6.1
18	区民サービスのデジタル化	6.9	↑	17	6.1
19	生涯学習・スポーツ等の充実	6.5	↑	21	4.0
20	平和の重要性に関する教育・啓発活動	5.4	↓	—	—
21	子どもの健全育成	5.2	↑	15	7.2
22	ジェンダー平等など人権を尊重した社会づくり	4.5	↑	26	2.4
23	交通安全対策	4.5	↓	23	3.9
24	情報発信の強化	4.4	↓	—	—
25	障害者（児）福祉の充実	4.2	↓	21	4.0
26	住宅対策	3.8	↑	24	3.4
27	中小企業、地域経済の振興	3.3	↑	28	1.6
28	消費生活対策	3.2	↑	25	3.1
29	行財政改革	3.0	↑	27	1.8

※「ジェンダー平等など人権を尊重した社会づくり」は4.54%（小数点第2位まで）

「交通安全対策」は4.48%（同上）

※「池袋駅周辺地域の活性化」は令和5年度調査では「池袋副都心の活性化」

※「地球温暖化対策・環境保全・資源リサイクル」は令和5年度調査では「環境保全・資源リサイクル」

※「区民サービスのデジタル化」は令和5年度調査では「区民サービスのIT化・情報化の推進」

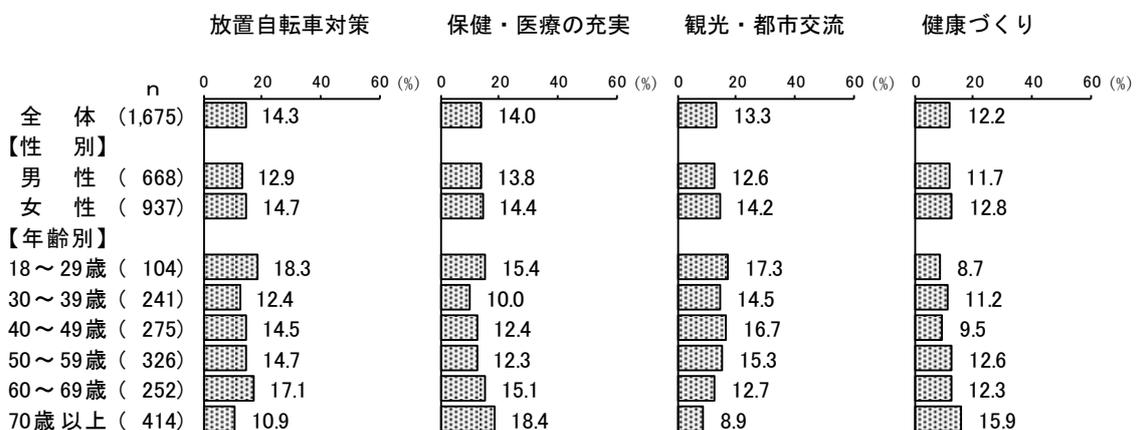
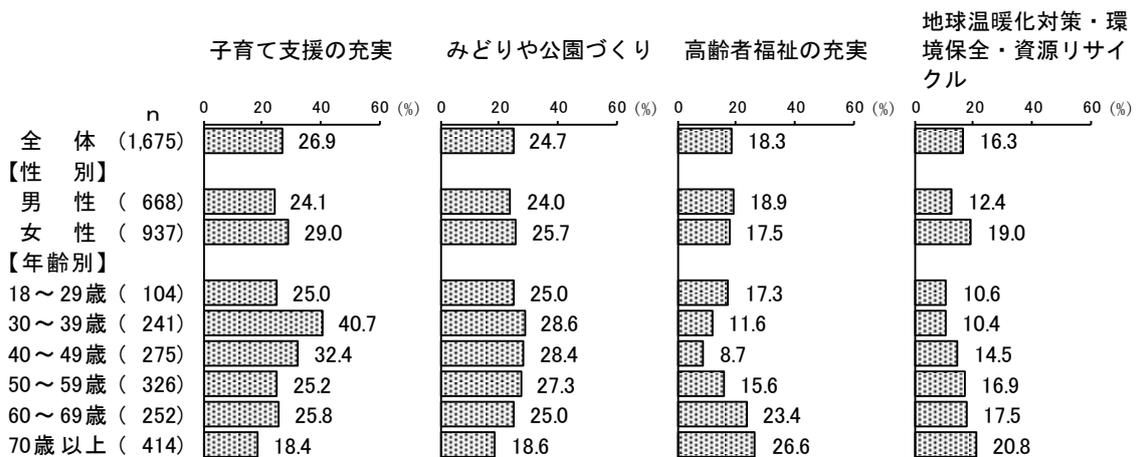
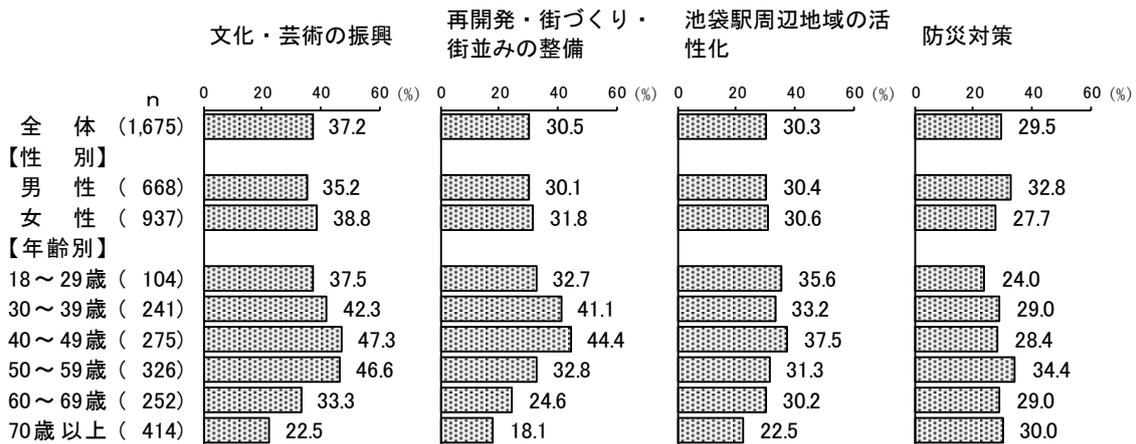
※「平和の重要性に関する教育・啓発活動」、「情報発信の強化」は今回調査からの選択肢

※「ジェンダー平等など人権を尊重した社会づくり」は令和5年度調査では「男女共同参画など人権を尊重した社会づくり」

【性別、年齢別】（上位12項目）

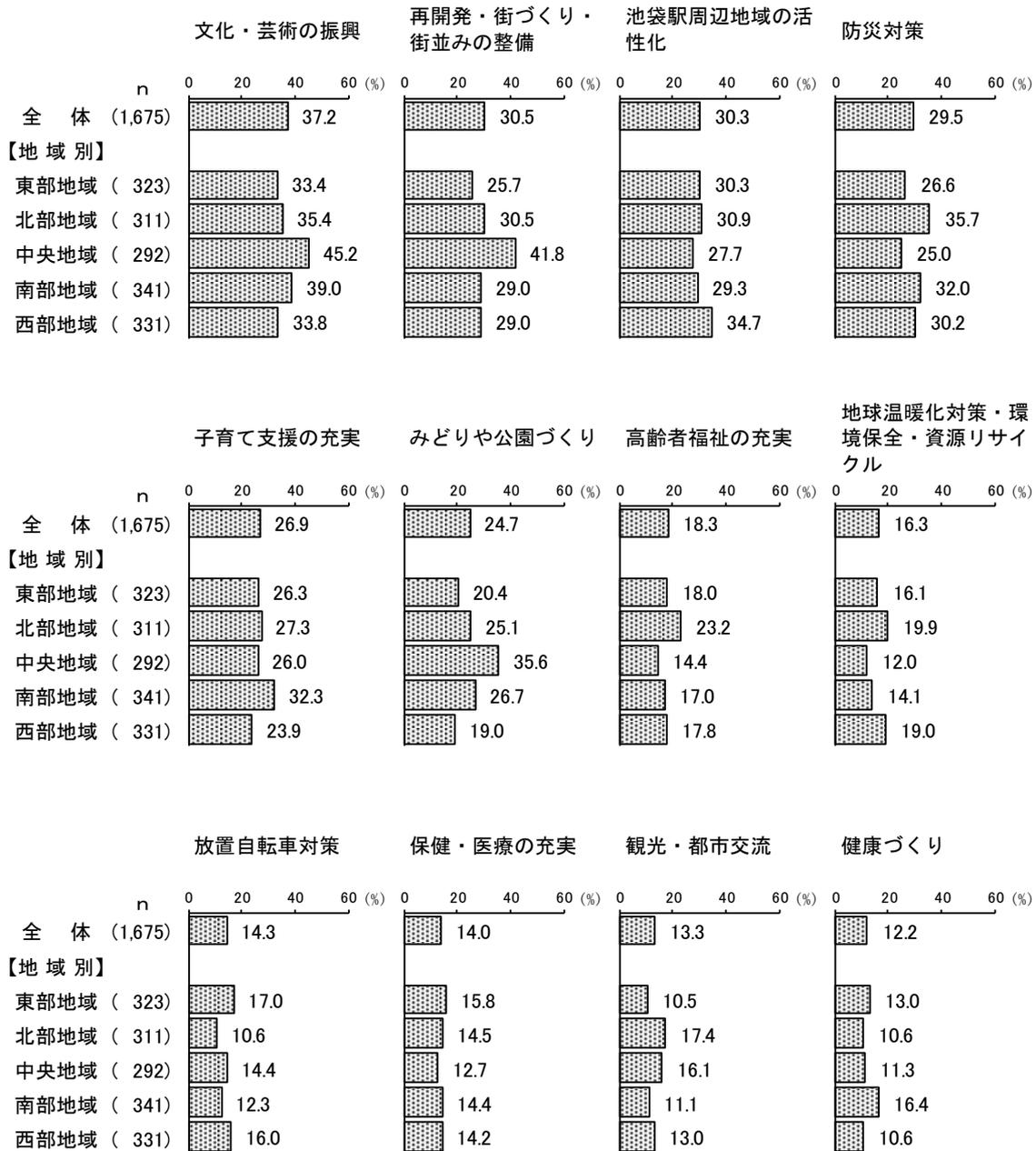
性別でみると、「文化・芸術の振興」は女性（38.8%）が男性（35.2%）より3.6ポイント、「子育て支援の充実」は女性（29.0%）が男性（24.1%）より4.9ポイント、「地球温暖化対策・環境保全・資源リサイクル」は女性（19.0%）が男性（12.4%）より6.6ポイント、それぞれ高くなっている。「防災対策」は男性（32.8%）が女性（27.7%）より5.1ポイント高くなっている。

年齢別でみると、「文化・芸術の振興」は40～49歳（47.3%）、50～59歳（46.6%）で5割近くと高くなっている。「再開発・街づくり・街並みの整備」は40～49歳（44.4%）、30～39歳（41.1%）で4割台と高くなっている。



【地域別】（上位12項目）

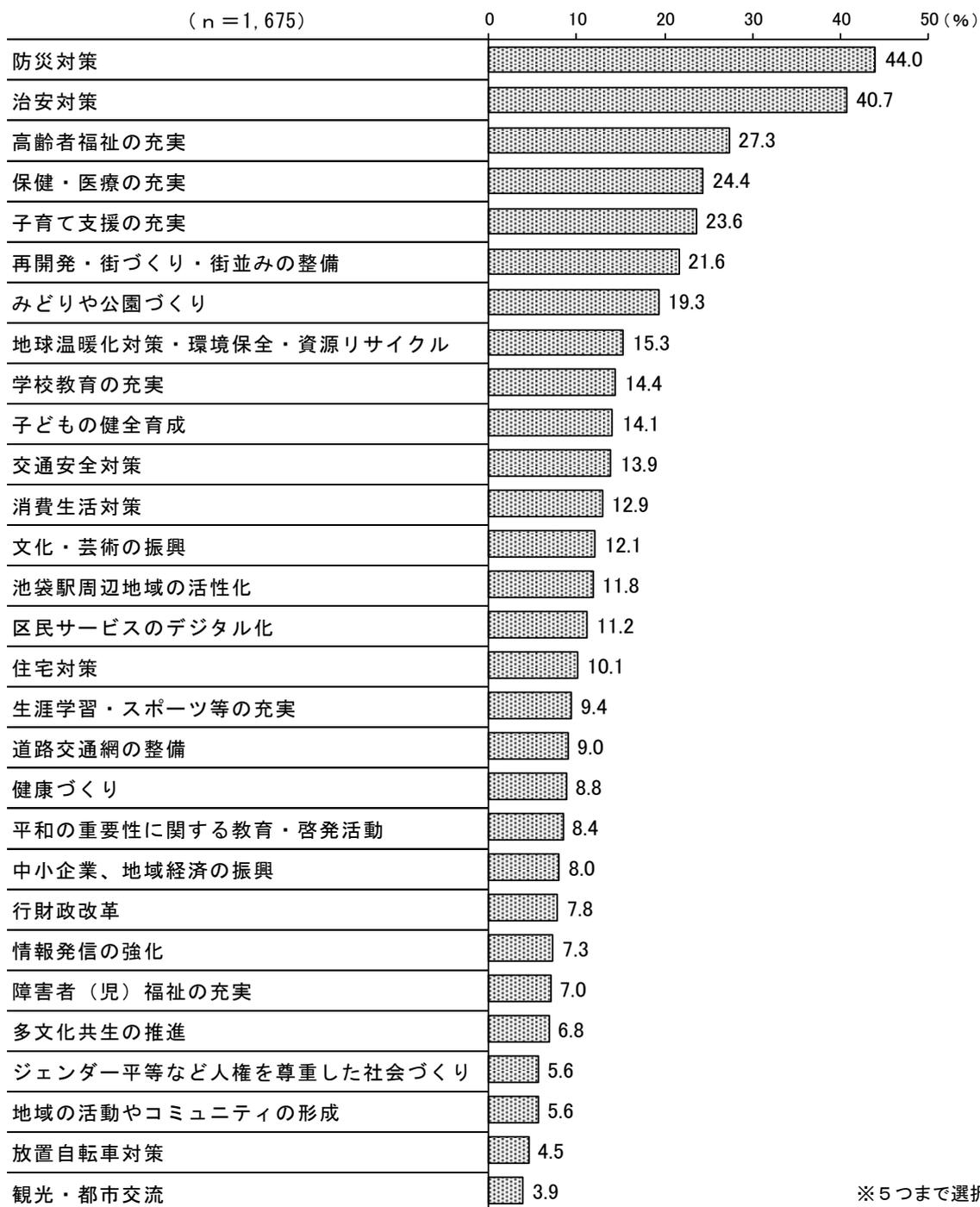
地域別でみると、「文化・芸術の振興」は中央地域（45.2%）で4割半ばと高くなっている。「再開発・街づくり・街並みの整備」も中央地域（41.8%）で4割を超えて高くなっている。「防災対策」は北部地域（35.7%）で3割半ばと高くなっている。「子育て支援の充実」は南部地域（32.3%）で3割を超えて高くなっている。



(2) 特に力を入れてほしいと思う施策

問19 区政全体について考えた場合、ここに掲げた項目のうち、あなたが「現在、区が力を入れていると思う施策」、「特に力を入れてほしいと思う施策」はどのようなことですか。
(〇はそれぞれ5つまで)

特に力を入れてほしいと思う施策を聞いたところ、「防災対策」(44.0%)が4割半ばで最も高く、次いで「治安対策」(40.7%)、「高齢者福祉の充実」(27.3%)、「保健・医療の充実」(24.4%)となっている。



【経年比較】

過去の調査結果と比較すると、上位10項目の中で、令和5年度より順位が高くなったものは、「防災対策」、「保健・医療の充実」、「子育て支援の充実」、「再開発・街づくり・街並みの整備」、「地球温暖化対策・環境保全・資源リサイクル」、「学校教育の充実」の6項目となっている。

一方、上位10項目の中で、令和5年度より順位が低くなったものは、「治安対策」、「高齢者福祉の充実」、「みどりや公園づくり」、「子どもの健全育成」の4項目となっている。

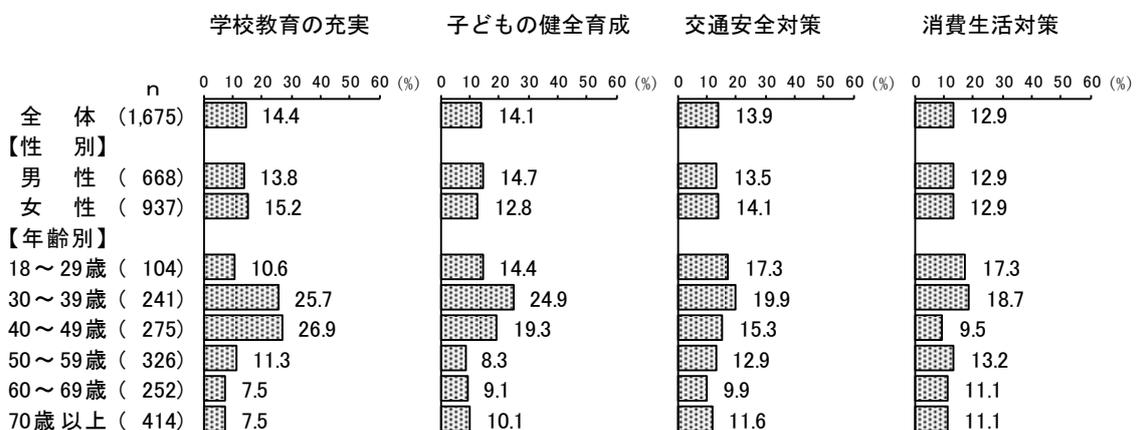
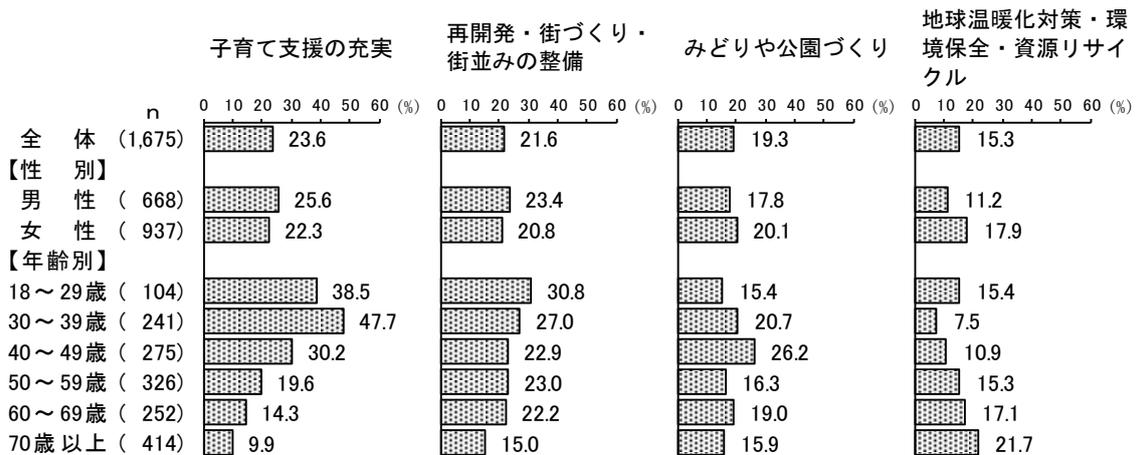
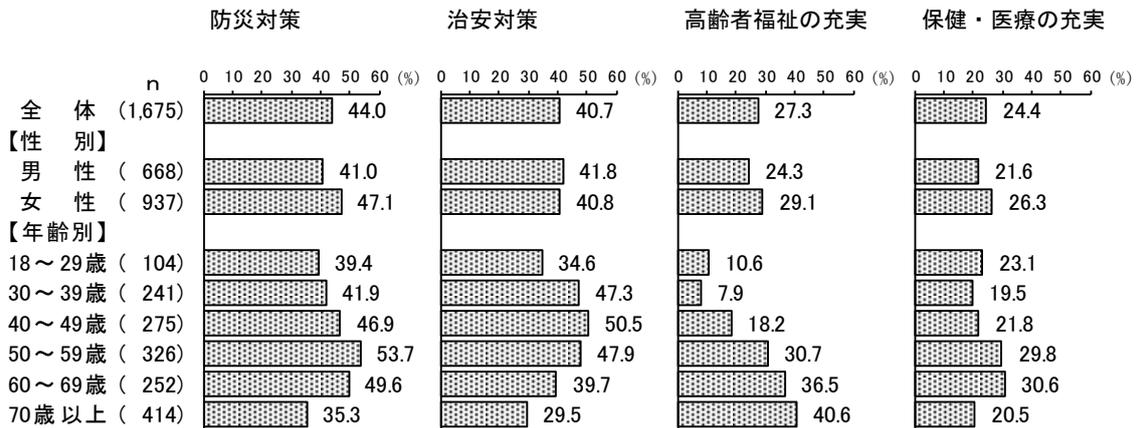
<令和6年度>			順位比較	<令和5年度>	
順位		%		順位	%
1	防災対策	44.0	↑	4	26.9
2	治安対策	40.7	↓	1	32.9
3	高齢者福祉の充実	27.3	↑	2	27.5
4	保健・医療の充実	24.4	↑	5	26.8
5	子育て支援の充実	23.6	↑	7	23.7
6	再開発・街づくり・街並みの整備	21.6	↑	8	22.3
7	みどりや公園づくり	19.3	↓	3	27.1
8	地球温暖化対策・環境保全・資源リサイクル	15.3	↑	17	10.2
9	学校教育の充実	14.4	↑	10	16.0
10	子どもの健全育成	14.1	↓	9	16.2
11	交通安全対策	13.9	↑	15	10.5
12	消費生活対策	12.9	↑	13	10.5
13	文化・芸術の振興	12.1	↑	18	10.0
14	池袋駅周辺地域の活性化	11.8	↓	11	11.2
15	区民サービスのデジタル化	11.2	↑	19	9.6
16	住宅対策	10.1	↓	15	10.5
17	生涯学習・スポーツ等の充実	9.4	↑	21	8.7
18	道路交通網の整備	9.0	↑	20	9.5
19	健康づくり	8.8	↓	11	11.2
20	平和の重要性に関する教育・啓発活動	8.4	↑	—	—
21	中小企業、地域経済の振興	8.0	↑	24	6.3
22	行財政改革	7.8	←	22	6.9
23	情報発信の強化	7.3	↑	—	—
24	障害者（児）福祉の充実	7.0	↓	13	10.5
25	多文化共生の推進	6.8	↑	26	4.9
26	ジェンダー平等など人権を尊重した社会づくり	5.6	↓	25	5.3
26	地域の活動やコミュニティの形成	5.6	↓	23	6.4
28	放置自転車対策	4.5	↓	27	4.8
29	観光・都市交流	3.9	↓	28	4.4

- ※ 「地球温暖化対策・環境保全・資源リサイクル」は令和5年度調査までは「環境保全・資源リサイクル」
- ※ 「池袋駅周辺地域の活性化」は令和5年度調査までは「池袋副都心の活性化」
- ※ 「区民サービスのデジタル化」は令和5年度調査までは「区民サービスのIT化・情報化の推進」
- ※ 「平和の重要性に関する教育・啓発活動」、「情報発信の強化」は今回調査からの選択肢
- ※ 「ジェンダー平等など人権を尊重した社会づくり」は令和5年度調査までは「男女共同参画など人権を尊重した社会づくり」

【性別、年齢別】(上位12項目)

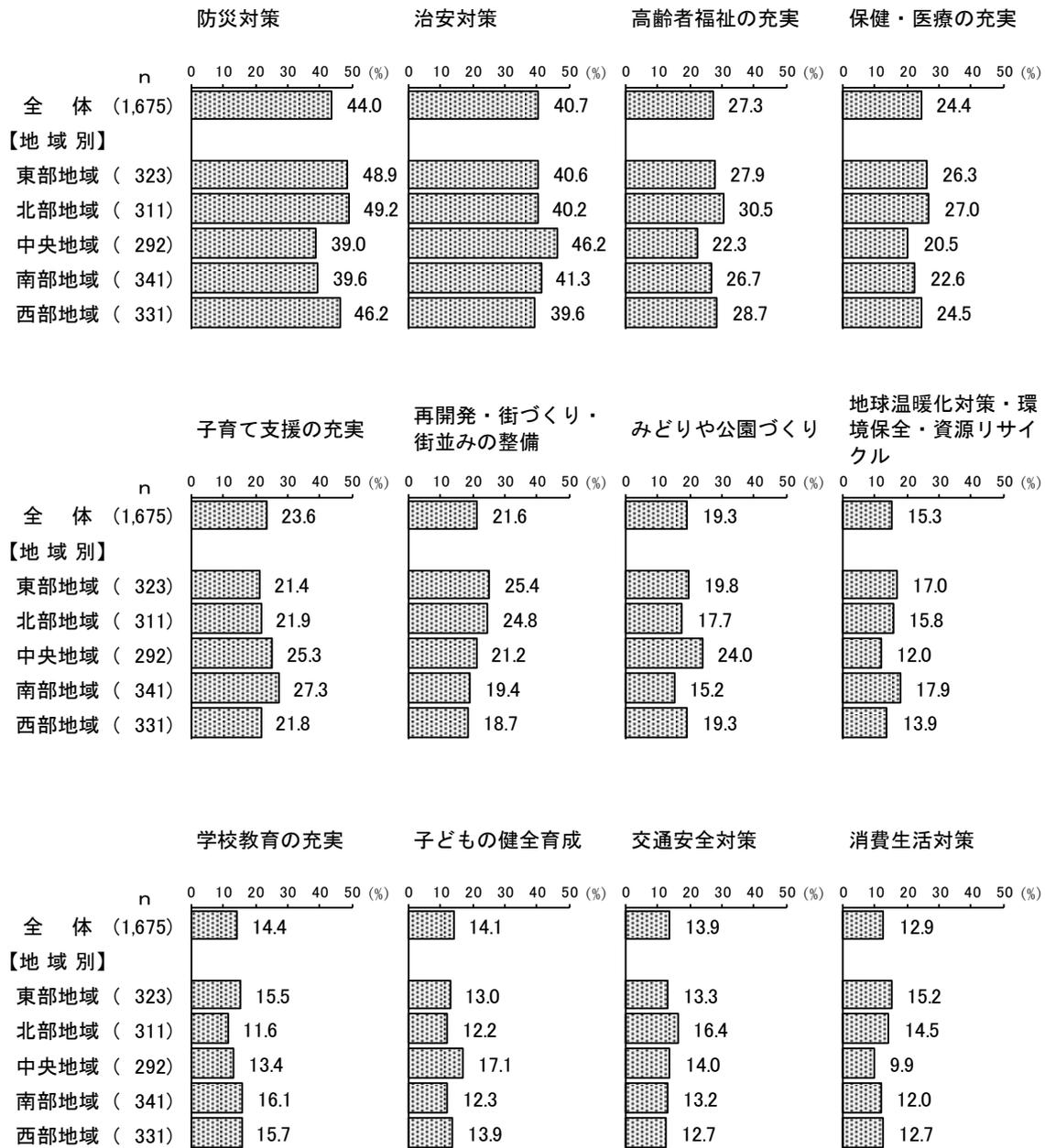
性別でみると「防災対策」は女性(47.1%)が男性(41.0%)より6.1ポイント、「高齢者福祉の充実」は女性(29.1%)が男性(24.3%)より4.8ポイント、「保健・医療の充実」は女性(26.3%)が男性(21.6%)より4.7ポイント、「地球温暖化対策・環境保全・資源リサイクル」は女性(17.9%)が男性(11.2%)より6.7ポイント、それぞれ高くなっている。「子育て支援の充実」は男性(25.6%)が女性(22.3%)より3.3ポイント高くなっている。

年齢別でみると、「防災対策」は50～59歳(53.7%)で5割半ばと高くなっている。「治安対策」は40～49歳(50.5%)で5割を超えて高くなっている。



【地域別】（上位12項目）

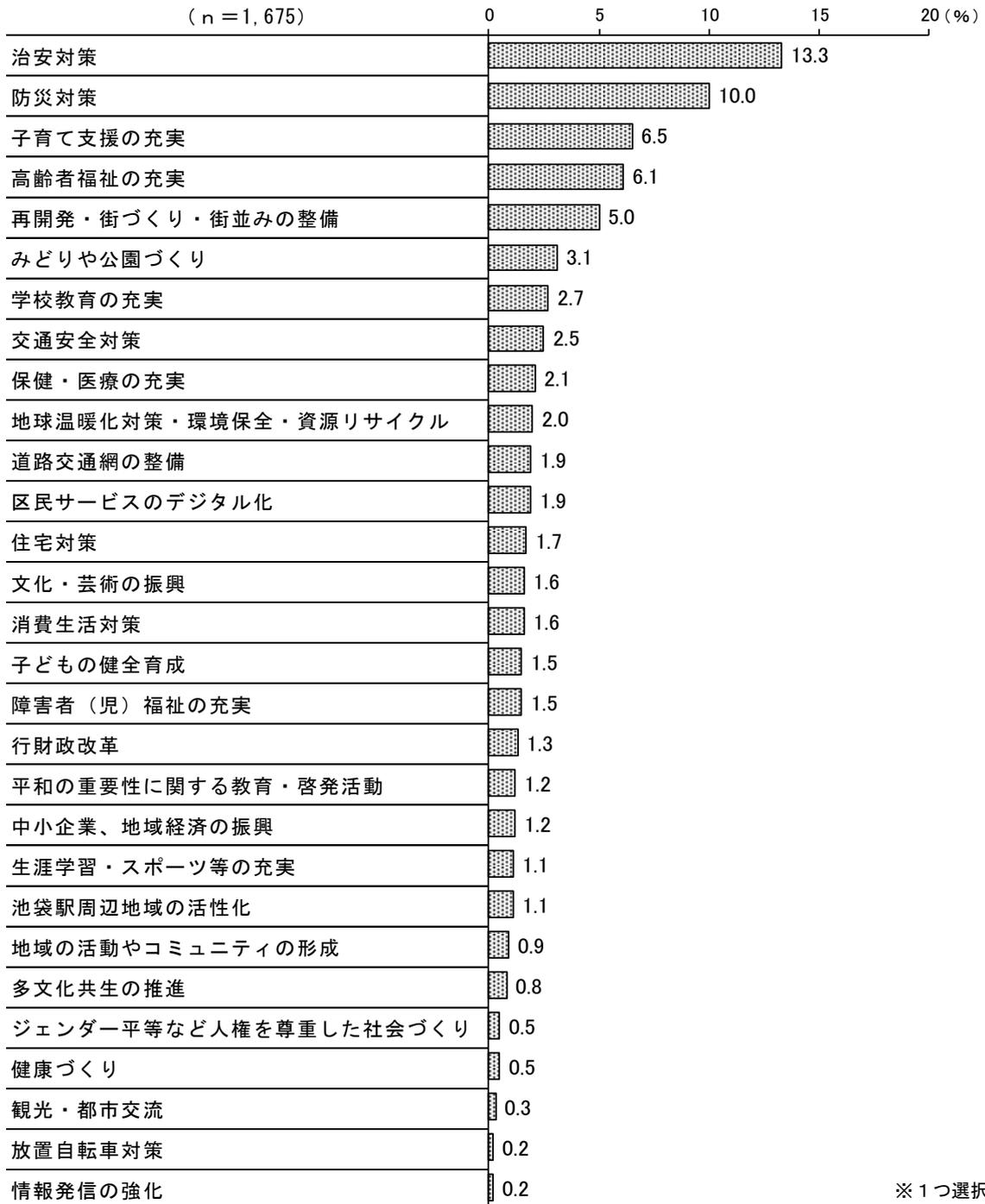
地域別でみると、「治安対策」は中央地域（46.2%）で4割半ばと高くなっている。



(3) 一番力を入れてほしいと思う施策

問 19-1 問 19 で選んだ 5 つの「特に力を入れてほしいと思う施策」の中で、一番力を入れてほしいものの番号とその理由を書いてください。

特に力を入れてほしいと思う施策の中で、一番力を入れてほしいものを聞いたところ、「治安対策」(13.3%) が 1 割を超えて最も高く、次いで「防災対策」(10.0%)、「子育て支援の充実」(6.5%)、「高齢者福祉の充実」(6.1%) となっている。



【主な理由】

一番力を入れてほしい施策と、その理由をあげた。

上位10位の施策を掲載している。

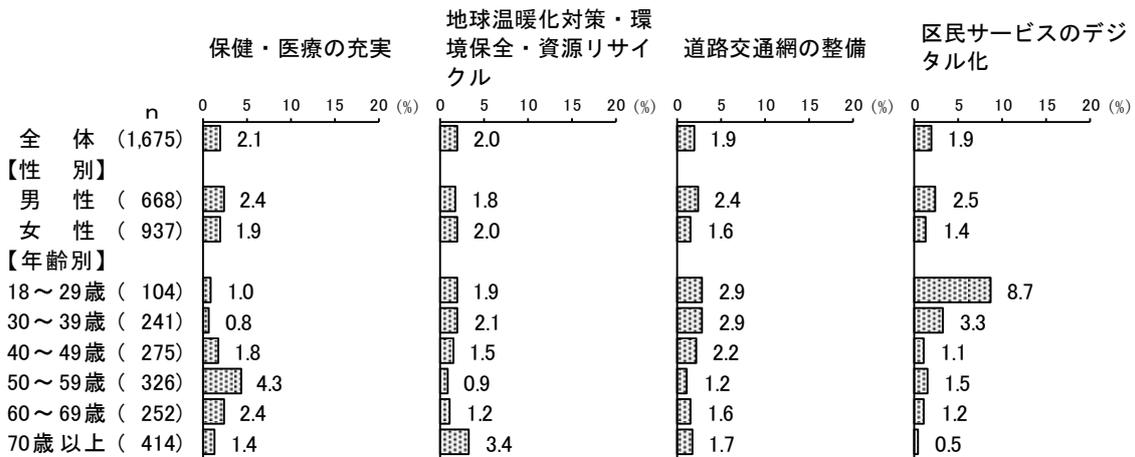
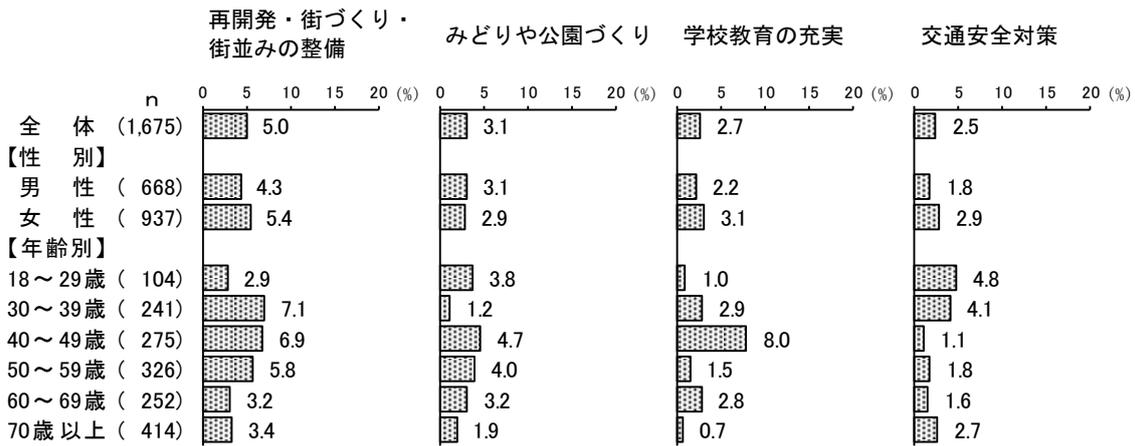
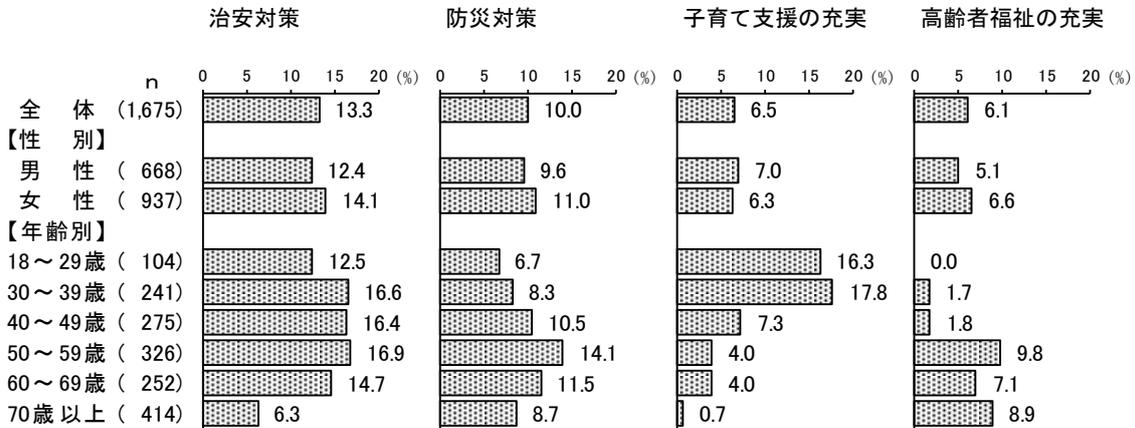
施策	主な理由
治安対策	豊島区が子育てに力を入れているのは分かるが、特に池袋周辺は治安対策が十分とは言えない。手当等の充実はありがたいが、まずは子どもの安全を確保できる環境でないと、いずれ転出してしまいう家族もいると思う
	最近強盗が増えているニュースを耳にするので、防犯カメラやパトロールなど治安対策を強化して欲しい
	最近闇バイトや外国人による犯罪などが増え、安全に暮らしていけるのか不安を覚えるため
防災対策	今後、大きな地震が必ずくると言われているので、防災対策に一番力を入れて欲しい
	古い家が多く道路が狭い場所が多いので、地震、火事などがあつた場合、消防車が入らない場所が多すぎると感じている。早急に対策して欲しい
	防災対策について、区の取組をあまり知らず、情報発信を強化して欲しい
子育て支援の充実	区民ひろばのプログラムがとても良かった。今でも十分だが無痛分娩のできる病院を増やしたり、妊婦や乳幼児家庭の支援を手厚くして欲しい
	自身が子供を持つまではこんなに大変だと思わなかった。経済的な理由の他に自宅保育の大変さやベビーカーで移動する際の大変さは経験しないと分からないと思うので、支援を進めて欲しい。もっと子育て世代が豊島区に集まれば人口も増えるし理解も進むと思う
	子育て支援を充実させれば、豊島区で子どもを産み育てたいと考える人が増え、活気あるまちになっていくと思うため
高齢者福祉の充実	老後の不安を少しでもなくした暮らしを続けたい
	予防医療体制、高齢者就業体制、訪問介護・訪問医療体制、地域見守り体制など、安心して歳を重ねることが出来る地域になるよう力を入れて欲しい
	老後の不安がない事は、魅力ある、住みたくなる町につながると思うため
再開発・街づくり・街並みの整備	街並みを整えて美しく治安の良い街になっていけば、ファミリー世帯が増え活気が出るだろうから
	23区で一番魅力ある街になってもらいたいから
	池袋(駅)は豊島区にとって一番のコンテンツであるが、商業ビルのテナントが変わるなど変化が大きいので、計画的な整備や再開発を区として検討して欲しい
みどりや公園づくり	子どもの遊べる施設や遊具をたくさん作って欲しい。夏場でも遊べる施設を作って欲しい
	公園に休みの日に行つてゆっくりするのが好きで、落ち着く場所を増やしたいから
	広い空間は気持ちが安らぐから。豊島区は非常に緑が少なく、自然を感じられる場所がとても少ないので、健やかな公園が増えたら嬉しい
学校教育の充実	子供は未来なので。未来をつくるためには、教育の充実が常に大切。教育にお金をかけて欲しい
	子供の頃の記憶から、将来ここに住みたいかが決まってくると思うので
	区立の小中学校の教員の手当てを増額することで教育の質を向上して欲しい(未来への投資)

施策	主な理由
交通安全対策	自転車、電動キックボードの交通ルールの遵守の推進
	日本語がわからない外国人の人にもわかるよう説明して欲しい
	周りに小学校や保育園があり、小さい子供たちがいるので、安全に登下校できるよう交通安全対策をしっかりとって欲しい
保健・医療の充実	緊急の際、病院をたらい回しにならない様にして欲しい
	新たな高度医療が充実した総合病院の建設を期待している
	がん検診をバラバラではなく1日で一括で受けられるようにして欲しい
地球温暖化対策・ 環境保全・資源リサイクル	現在深刻な世界問題であるにもかかわらず、しっかりとした対策がなされていないから
	これからの人達に負荷がかかってしまうから
	区内で必要とする人に、不要な食器や服を届けられるようにして欲しい

【性別、年齢別】（上位12項目）

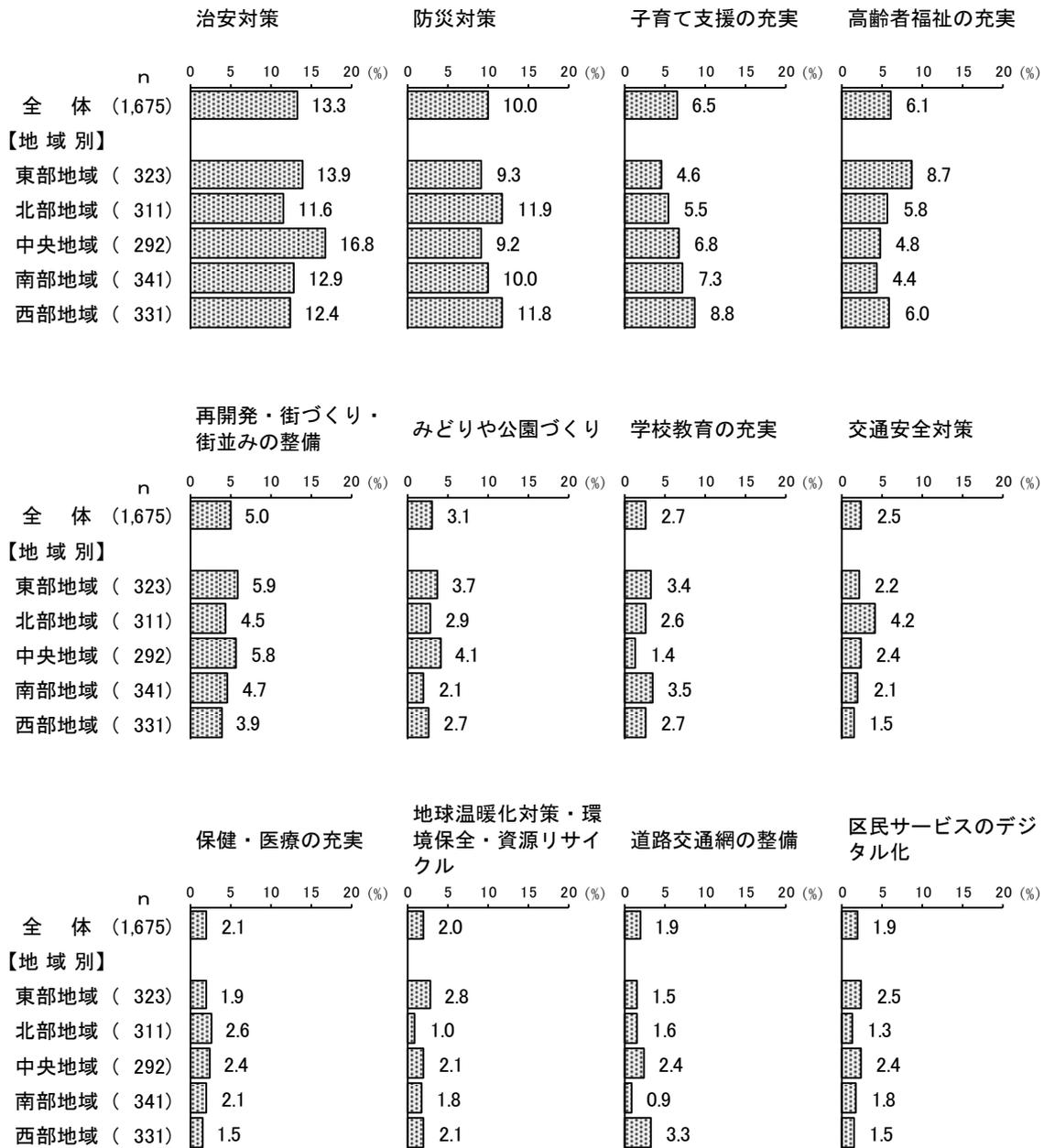
性別でみると、大きな違いはみられない。

年齢別でみると、「防災対策」は50～59歳（14.1%）で1割半ばとなっている。「子育て支援の充実」は30～39歳（17.8%）、18～29歳（16.3%）で1割半ばとなっている。



【地域別】（上位12項目）

地域別でみると、「治安対策」は中央地域（16.8%）で2割近くとなっている。



(4) 総合分析

「現在、区が力を入れていると思う施策（現在の評価）」と「特に力を入れてほしいと思う施策（今後の優先度）」の調査結果を下記により数値化し、この2つの評価を軸として、総合分析を行った。また、前回調査（令和5年度）と比較するため、●が今回調査、○が前回調査とし、前回から今回への推移を矢印で表した。

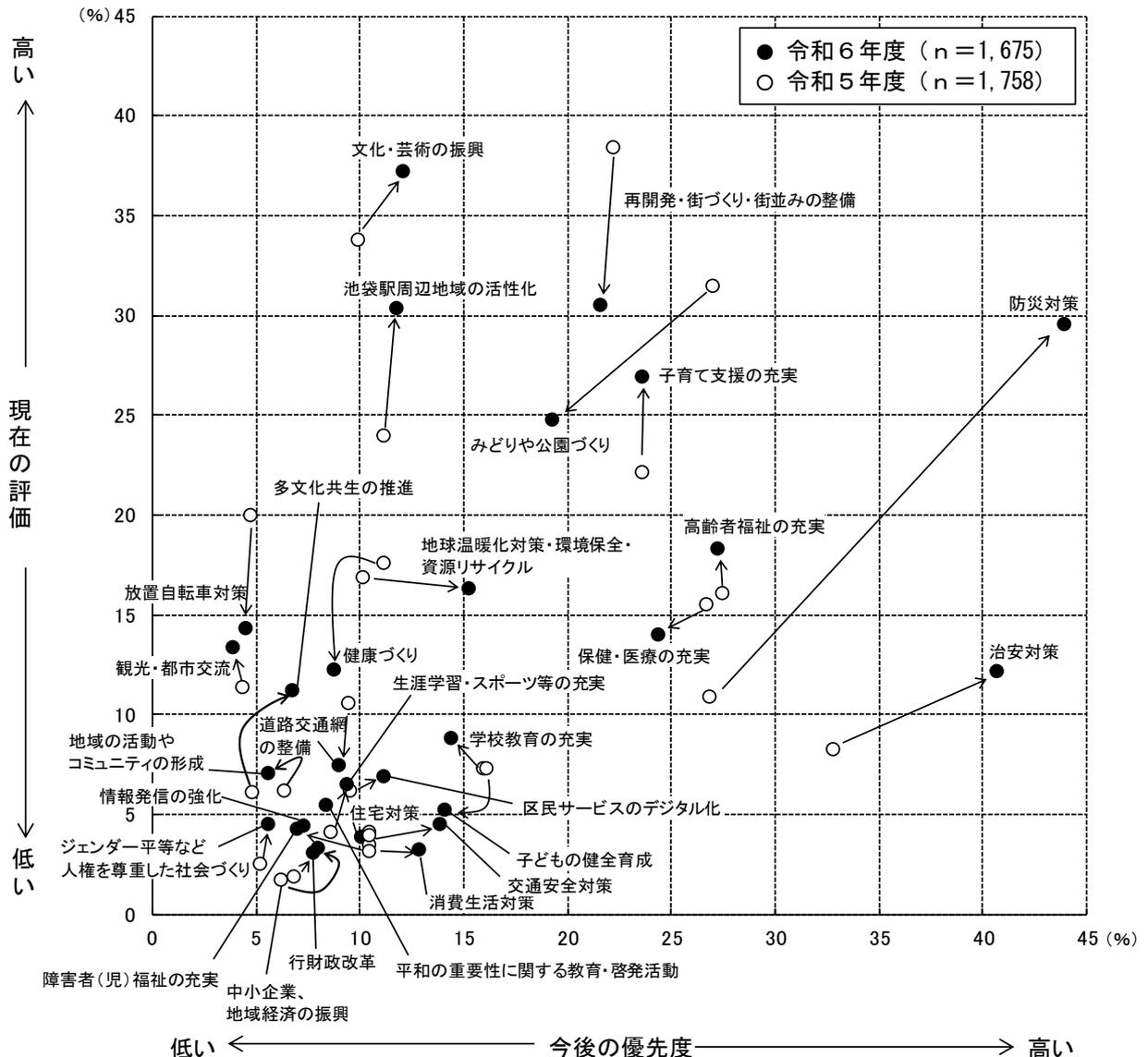
【数値化の方法】

それぞれの設問について、下記のとおり数値化した。

<p>■現在の評価 各項目の回答割合（％）</p>	<p>■今後の優先度 各項目の回答割合（％）</p>
-------------------------------	--------------------------------

このグラフで右下に位置していればいるほど、「現在の評価は低いが、今後の優先度は高い」ことになり、改善に向けて力を入れていく必要があるということになる。

現在の評価は低いが、今後の優先度は高い項目は、「治安対策」となっている。



※「地球温暖化対策・環境保全・資源リサイクル」は令和5年度調査までは「環境保全・資源リサイクル」
 ※「池袋駅周辺地域の活性化」は令和5年度調査までは「池袋副都心の活性化」
 ※「区民サービスのデジタル化」は令和5年度調査までは「区民サービスのIT化・情報化の推進」
 ※「平和の重要性に関する教育・啓発活動」、「情報発信の強化」は今回調査からの選択肢
 ※「ジェンダー平等など人権を尊重した社会づくり」は令和5年度調査までは「男女共同参画など人権を尊重した社会づくり」

5. 自由意見

最後に、これからの豊島区のまちづくりについて、ご意見やご要望があれば、ご自由にお書きください。

これからの豊島区のまちづくりに対する自由意見の整理結果は以下のとおりである。708 人の方から回答を得られた。回答内容によって複数に分けた意見もあるため、全体の意見数は 1,073 件となっている。意見の分類は、問 19：区の施策の項目に沿って行った。

分 類 項 目	件 数
① 誰もがいつでも主役	109
② 地域と共に支えあう安全・安心なまち	181
③ 子育てしやすく、子ども・若者が自分らしく成長できるまち	70
④ 生涯にわたり健康で、地域で共に暮らせる福祉のまち	81
⑤ 豊かな心と活発な交流を育む多彩な文化のまち	48
⑥ 活気とにぎわいを生み出す産業と観光のまち	59
⑦ 共につくる地球にも人にもやさしいまち	145
⑧ 誰もが居心地の良い歩きたくなるまち	165
⑨ 未来を見据えた持続可能な行財政運営	143
⑩ その他	49
⑪ 本調査について	23
合 計	1,073

Ⅲ 調査票

令和 6 年度 豊島区 協働のまちづくりに関する区民意識調査

～ご協力のお願い～

区民の皆さまには、日ごろから区政の運営にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

豊島区では、一人ひとりの区民の皆さまをはじめ、町会や自治会、NPO、学校など、地域の多様な主体の参加と協働の仕組みづくりに取り組んでいます。

この調査は、日常生活のなかでお感じになっている地域の生活環境、区の政策等について、広くご意見・ご要望をおうかがいし、これからの計画づくりや行政サービスのあり方の検討、区民の皆さまとの協働の仕組みづくり等の基礎として、活かしていくために実施するものです。

実施に当たり、区内に2年以上お住まいの18歳以上の方から無作為に5,000名を選ばせていただきました。回答の内容は、全て統計的に処理し、回答者が特定されることはありません。

お忙しいこととは存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようよろしくお願い申し上げます。

令和6年11月 豊島区長 高 際 み ゆ き

【ご回答にあたってのお願い】 所要時間15分程度（全19問）

- ◎ご回答は、《郵送》または《インターネット》で行うことができます。
- ◎調査へのご回答は、原則として封筒のあて名のご本人様が行ってください。
(ご本人の回答が困難な場合には、ご家族様にご相談いただいても結構です。)
- ◎ご回答は、あてはまる選択肢の番号に○印、または番号を記入してください。
- ◎質問で、選択肢の番号を「1つに○」「○は3つまで」「いくつでも○」などと指定している場合は、指定の範囲内で選択してください。また、「その他」を選んだ場合や自由回答には、具体的な内容をご記入ください。
- ◎調査票右上のIDはランダム（無作為）に記載しており、個人を特定するものではありません。

回答期限：**令和6年12月9日(月)**

【郵送での回答方法】

- ◎ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、回答期限までにご投函ください。

【インターネットでの回答方法】

- ◎裏面、「インターネットでの回答手順」をご参照のうえ、回答期限までに送信してください。
- ◎インターネットで回答した場合には、紙の調査票を返送していただく必要はありません。

【インターネットでの回答手順】 通信サービスの接続料金は利用者様の負担となります。

手順1 ページにアクセスしてください。

◎パソコン又はスマートフォン、タブレット等で、下記の(1)、(2)いずれかの方法でアクセスしてください。

(1) 右の二次元コードを読み取り回答フォームにアクセス



(2) 下記URLを直接入力し、回答フォームにアクセス

https://

二次元コード

手順2 ログインをしてください。

◎下記のログイン画面が表示されますので、紙の調査票1ページ目右上のIDを入力して

「次へ」を選択してください。

豊島区 協働のまちづくりに関する区民意識調査

調査にご協力をお願いします(所要時間15分程度/全19問)

回答期限：**令和6年12月9日(月)23時59分まで**

【注意事項】

- ・回答は統計的に処理するため、回答者が特定されることはありません。
- ・ページの移動は必ず画面下部のボタン [戻る]、[次へ] を使用してください。
- ブラウザやスマートフォンの附属機能 [戻る]、[進む] は画面が正常に動かなくなるため使用しないでください。
- ・この調査は回答を中断しても続きから回答を再開することができます。その際にはログインIDが必要になりますので、全ての質問の回答が終了するまでログインIDを保管してください。

調査票1ページの右上に記載されているログインIDを入力してください。

ログインID

〔紙の調査票右上のID(半角英数字6桁)を入力〕

開始

豊島区 協働のまちづくりに関する区民意識調査 調査票
ID XXXXXX
I. 豊島区の印象について
1. 住み心地
問1 あなたにとって現在お住まいの地域の住み心地はどうですか。(1つに○)
1. 住み良い 3. どちらかといえば住みにくい 5. わからない
2. どちらかといえば住み良い 4. 住みにくい

手順3 質問画面が表示されますので、順に回答してください。

◎選択肢の中からあてはまる項目の番号を選択し、画面下の「次へ」を押してください。

◎ブラウザ、スマートフォンの「戻る」機能は使えません。一つ前の質問に戻りたい場合は、画面下の「戻る」を押してください。

◎回答を中断しても、時間をおいて続きから回答することができます。その際にはログインIDが必要になりますので、全ての回答が終了するまでログインIDを保管してください。

◎すべての回答が終わりましたら、「送信」を押して、回答を送信してください。正しく回答データが送信されましたら、「回答終了」の画面が表示されます。

【問い合わせ先】 ご不明な点がございましたら、下記までお問合せください。

【担当課】 豊島区 政策経営部 企画課 企画調整グループ

【電話】 03-4566-2511 (直通)

【FAX】 03-3980-5093



I. 豊島区の印象について

1. 住み心地

問1 あなたにとって現在お住まいの地域の住み心地はどうか。(1つに○)

- | | | |
|-----------------|------------------|----------|
| 1. 住み良い | 3. どちらかといえば住みにくい | 5. わからない |
| 2. どちらかといえば住み良い | 4. 住みにくい | |

問2 以前と比べて住み心地に変化はありますか。(1つに○)

- | | |
|-----------------|----------|
| 1. 以前より住み良くなった | 3. 変わらない |
| 2. 以前より住みにくくなった | 4. わからない |

《問2で、「1. 以前より住み良くなった」または「2. 以前より住みにくくなった」とお答えの方におたずねします》

問2-1 住み良くなった、または、住みにくくなったと考える理由は何ですか。具体的な理由について1つお答えください。(自由回答)

2. 居住の経緯

問3 あなたは生まれてからずっと豊島区にお住まいですか。(1つに○)

- | | |
|-------------------------------|---------------|
| 1. ずっと住んでいる (一時的に豊島区を離れた人も含む) | 2. 他の区市町村からきた |
|-------------------------------|---------------|

《問3で、「2. 他の区市町村からきた」とお答えの方におたずねします》

問3-1 転入するにあたって、豊島区以外の区市町村でもお住まいを探しましたか。(1つに○)

- | |
|---|
| 1. 他の区市町村でも探したが、豊島区に決めた |
| 2. 最初から豊島区に住もうと考えていたので、他の区市町村は探さなかった |
| 3. 転居先が豊島区内に決まっていた (会社の寮や社宅が豊島区内だった、同居をはじめ家族の住宅が豊島区内にあった、親などが決めた、子どもの頃に引っ越してきたなど) |

《問3-1で、「1」または「2」とお答えの方におたずねします》

問3-2 住む場所として豊島区を選んだ理由は何ですか。(いくつでも○)

- | | |
|----------------------|----------------------------|
| 1. 買い物など日常生活に便利だから | 9. 治安が良いから |
| 2. 通勤・通学に便利だから | 10. 防災面で安全だから |
| 3. 出産や子育て環境が良いから | 11. 公共施設が充実しているから |
| 4. 教育環境が良いから | 12. 街並みや街の雰囲気が良いから |
| 5. 文化的な環境が良いから | 13. 豊島区またはその地域のイメージが良かったから |
| 6. 医療・福祉・介護が充実しているから | 14. 気に入った物件が豊島区内だったから |
| 7. 住環境が良いから | 15. 物価が安いから |
| 8. 自然環境が良いから | 16. その他 () |

3. 定住意向

問4 あなたはこれからも現在お住まいの地域に住み続けたいと思いますか。(1つに○)

<ol style="list-style-type: none"> 1. いつまでも住み続けたいと思っている 2. 当分住み続けたいと思っている 3. 住み続けたいが転居せざるをえない事情がある 4. 豊島区内で転居したいと思っている 5. 他の区市町村に転居したいと思っている 	<ol style="list-style-type: none"> 6. わからない
---	--

《問4で、「1」または「2」とお答えの方におたずねします》

▶問4-1 住み続けたい理由は何ですか。(いくつでも○)

<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域になじみがあるから 2. 先祖代々受け継いでいる土地だから 3. 今の住まいが気に入っているから 4. 持ち家だから 5. 親や子どもと一緒に(近く)に住んでいるから 6. 親戚が近くに住んでいるから 7. 友人・知人が近くに住んでいるから 8. 近所づきあいがうまくいっているから 9. 買い物など日常生活に便利だから 10. 通勤・通学に便利だから 11. 仕事の関係上、住む必要があるから 12. 出産や子育て環境が良いから 	<ol style="list-style-type: none"> 13. 子どもの教育のため、住む必要があるから 14. 教育環境が良いから 15. 文化的な環境が良いから 16. 医療・福祉・介護が充実しているから 17. 住環境が良いから 18. 家賃が適当だから 19. 物価が安いから 20. 自然環境が良いから 21. 治安が良いから 22. 防災面で安全だから 23. 公共施設が充実しているから 24. その他 ()
---	--

《問4で、「3~5」とお答えの方におたずねします》

▶問4-2 転居せざるをえない、転居したい理由は何ですか。(いくつでも○)

<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域になじみがないから 2. 先祖代々受け継いでいる土地ではないから 3. 今の住まいが気に入っていないから 4. 持ち家に住みたいから 5. 家が手狭になったから 6. 親や子どもの近くに住みたいから 7. 親戚の近くに住みたいから 8. 友人・知人の近くに住みたいから 9. 結婚等で同居するから 10. 近所づきあいがうまくいっていないから 11. 買い物など日常生活に不便だから 12. 通勤・通学に不便だから 13. 仕事の関係上、転居する必要があるから 14. 仕事・学校の関係で一時的に居住しているだけだから 	<ol style="list-style-type: none"> 15. 出産や子育て環境が良くないから 16. 子どもの教育のため、転居する必要があるから 17. 教育環境が良くないから 18. 文化的な環境が良くないから 19. 医療・福祉・介護が充実していないから 20. 住環境が良くないから 21. 家賃が負担だから 22. 物価が高いから 23. 自然環境が良くないから 24. 治安が良くないから 25. 防災面で不安だから 26. 公共施設が充実していないから 27. 他の地域にも興味があるから 28. その他 ()
---	--

4. 地域への愛着

問5 あなたは現在お住まいの地域に愛着を感じますか。(1つに○)

1. 愛着を感じている	4. 愛着を感じていない
2. やや愛着を感じている	5. どちらともいえない
3. あまり愛着を感じていない	

問6 あなたは豊島区に住んでいることを誇りに感じますか。(1つに○)

1. 誇りに感じている	4. 誇りに感じていない
2. やや誇りに感じている	5. どちらともいえない
3. あまり誇りに感じていない	

II. 地域の生活環境の評価と今後の優先度について

問7 以下の設問は、地域の生活環境を7グループに分けた上で、そのグループごとに評価の対象となる(目指すべき)生活環境の姿を表わしたものです。

あなたの生活実感やイメージにもとづき、最も近いと思われるものを選んでください。「現在の評価」欄は、項目ごとに1つずつ○。「今後の優先度」欄は、各グループから今後優先的に良くしていくべきと考える項目番号を記入。もし、回答がわからない場合は、空欄のままにしてください。

グループ	項目番号	評価の対象となる(目指すべき)生活環境の姿	現在の評価			今後の優先度 各グループの中で、今後優先的に良くしていくべきと思う項目の番号を選んでください。
			どちらかというところ そう思う	いえない	どちらかというところ そう思わない	
① 地域と共に支えあう安全・安心なまち	1	異常気象や感染症、首都直下地震などの様々な危機事象に対する強靱なまちづくりが進んでいる	1	2	3	※1~8の中から3つ選んで、番号を書いてください。
	2	災害に備えて家具転倒防止対策や家族分の備蓄をしている	1	2	3	
	3	家庭、住民一人ひとりの防災意識や災害発生時の行動力が高まっている	1	2	3	
	4	建物の不燃化・耐震化や、狭い道路の拡幅、無電柱化、集中豪雨による水害対策など、災害に強いまちづくりが進んでいる	1	2	3	
	5	さまざまな地域活動団体やNPO、企業、大学、行政等の連携によるまちづくりが進んでいる	1	2	3	
	6	地域活動のための施設やスペースがあり、子どもから高齢者までの多様な世代が交流している	1	2	3	
	7	地域に住み続けるための住宅制度が充実している	1	2	3	
	8	治安がよく、安心して暮らせる	1	2	3	

グループ	項目番号	評価の対象となる（目指すべき）生活環境の姿	現在の評価			今後の優先度 各グループの中で、今後優先的に良くしていくべきと思う項目の番号を選んでください。
			どちらかというところ そう思う	いいえ ない	どちらかというところ そう思わない	
②子育てしやすく、子ども・若者が自分らしく成長できるまち	9	妊娠・出産期からきめ細かな支援により、安心して子どもを産み育てることができる	1	2	3	※9～20の中から4つ選んで、番号を書いてください。
	10	子育てや家庭に関する悩みに対する相談先や支援事業が充実している	1	2	3	
	11	需要に応じた保育サービスが提供されている	1	2	3	
	12	児童虐待やドメスティック・バイオレンス(配偶者暴力)の影響などから子どもを守る体制が整備されている	1	2	3	
	13	子どもたちは、遊びを通して豊かな心と体を育み幼児教育施設や学校に通っている	1	2	3	
	14	学校は確かな学力、豊かな人間性、健康な体を育成する教育を行っている	1	2	3	
	15	障害の有無や国籍、性別、不登校の状況等にかかわらず、すべての子どもたちの学びと成長のための支援が十分に行われている	1	2	3	
	16	自宅、学校、職場以外に子ども若者の居場所が充実している	1	2	3	
	17	学校施設の老朽化対策やバリアフリー化など安全安心な教育環境が提供されている	1	2	3	
	18	学校教育に地域の人材が活用されている	1	2	3	
19	子どもの権利に関する理解が進んでいる	1	2	3		
20	子ども・若者の悩みや生きづらさに対する相談先や支援事業が充実している	1	2	3		
③生涯にわたり健康で、地域で共に暮らせる福祉のまち	21	福祉に関する相談体制が充実しており、身近な相談窓口を安心して利用できる	1	2	3	※21～31の中から4つ選んで、番号を書いてください。
	22	高齢者や障害者、生活困窮者等が、必要な支援を受けながら安心して日常生活を送ることができる	1	2	3	
	23	地域の中で、支援を必要とする人を見守り、支え合うような人と人とのつながりがある	1	2	3	
	24	高齢者や障害者等が、社会参加し、交流しながら、いきいきとした生活を送っている	1	2	3	
	25	まちのバリアフリー環境が整備され、日常生活に支障のないまちになっている	1	2	3	
	26	認知症の人や障害者などの支援を必要とする方に対する区民の理解が進んでいる	1	2	3	
	27	支援を必要とする人に適切で良質な福祉サービスが提供されている	1	2	3	
	28	がん・生活習慣病等に関する正しい知識を得ることができ、がん検診や各種健診が受けやすい環境にある	1	2	3	
	29	健康づくり支援が充実していて、心身の健康に気をつけて生活できている	1	2	3	
	30	感染症や食中毒等に不安を感じる事が少ない	1	2	3	
	31	誰もが身近な場所で適切な医療サービスの提供を安心して受けられる	1	2	3	

グループ	項目番号	評価の対象となる（目指すべき）生活環境の姿	現在の評価			今後の優先度 各グループの中で、 今後優先的に良くし ていくべきと思う項 目の番号を選んでく ださい。
			どちらかという と そう思う	い え な い	ど ち ら か と い う と そ う 思 わ な い	
④ 豊かな心と活発な交流を 育む多彩な文化のまち	32	歴史的財産である文化財や文化資源が大切に保存・活用されている	1	2	3	※32～36の中から 2つ選んで、 番号を書いて ください。 <input type="text"/> <input type="text"/>
	33	文化芸術に触れる機会が多くなった	1	2	3	
	34	身近なところに、趣味や教養など自分の人生をより豊かにするために学ぶ場がある	1	2	3	
	35	図書館の利用が生活の充実につながっている	1	2	3	
	36	地域でスポーツに親しむ環境や機会がある	1	2	3	
⑤ 活気とにぎわいを生み出す 産業と観光のまち	37	各種経営相談窓口が充実しており、起業しやすい環境が整っている	1	2	3	※37～41の中から 2つ選んで、 番号を書いて ください。 <input type="text"/> <input type="text"/>
	38	商店街を訪れた国内外の人々が困ることなく街歩きを楽しめる環境が整っている	1	2	3	
	39	豊島区を魅力ある観光地として他人に紹介できる	1	2	3	
	40	区内を訪れた国内外の人々に満足いただける受け入れ環境が整っている	1	2	3	
	41	専門知識をもった相談員が親身に消費相談に乗ってくれる体制が整っている	1	2	3	
⑥ 共につくる地球にも人にも やさしいまち	42	地球温暖化について、関心を持ち、自分事として捉えている	1	2	3	※42～46の中から 2つ選んで、 番号を書いて ください。 <input type="text"/> <input type="text"/>
	43	多様な生きものが生息・生育できる環境づくりが進んでいる	1	2	3	
	44	ごみの収集が円滑に行われており、街がきれいに保たれている	1	2	3	
	45	道路や公園、街角などにポイ捨てや落書きがなく、きれいである	1	2	3	
	46	日頃から環境にやさしい行動をとっている	1	2	3	
⑦ 誰もが居心地の良い 歩きたくなるまち	47	地域特性にあわせたまちづくりが進み、快適な街並みが生まれている	1	2	3	※47～50の中から 2つ選んで、 番号を書いて ください。 <input type="text"/> <input type="text"/>
	48	池袋周辺で、新宿・渋谷などない魅力あるまちづくりが進んでいる	1	2	3	
	49	身近な生活道路が安全・快適に通行できる	1	2	3	
	50	近くに好きな公園がある	1	2	3	

Ⅲ. 区の情報・区の政策等について

1. 区の情報・区政への参加について

問8 あなたは、これまで区に関する情報をどのような方法で入手していますか。(いくつでも○)

- | | |
|------------------------------------|---------------------|
| 1. 新聞折り込みや戸別配達による「広報としま」 | 9. 区の窓口や電話での問い合わせ |
| 2. 区内店舗や駅などで入手した「広報としま」 | 10. 民間のウェブサイト・SNS |
| 3. 「広報としま」以外の区のパンフレットやチラシなど | 11. 新聞・雑誌・テレビ報道 |
| 4. 区のホームページ | 12. スマートフォン用ニュースアプリ |
| 5. 区のSNS (LINE、X：旧ツイッター、フェイスブックなど) | 13. 知人・家族から (口コミ) |
| 6. 区のメールマガジン | 14. その他 |
| 7. 区のテレビ広報番組 (ケーブルテレビ) | () |
| 8. 区の掲示板や回覧板 | 15. 入手したことが無い |

問9 あなたは、区政情報が伝わっていると思いますか。(1つに○)

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. 十分に伝わっている | 3. あまり伝わっていない |
| 2. ある程度伝わっている | 4. まったく伝わっていない |

《問9で、「3」または「4」とお答えの方におたずねします》

問9-1 伝わっていないと思う理由についてお答えください。(いくつでも○)

- | |
|--|
| 1. 情報が多く、他の情報に埋もれて見逃してしまう |
| 2. 調べても知りたい情報にたどり着かない |
| 3. 情報の入手方法がよくわからない |
| 4. 知りたい情報はあがるが確認する時間がない |
| 5. インターネットやSNS (LINE、X：旧ツイッター、フェイスブックなど) の利用方法がわからない |
| 6. その他 () |

問10 あなたは、区政に関心がありますか。(1つに○)

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. 関心がある | 3. あまり関心がない |
| 2. 少しは関心がある | 4. 関心がない |

問11 あなたは、区の政策に区民の考えや意見がどの程度反映されていると思いますか。(1つに○)

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. 反映されている | 3. あまり反映されていない |
| 2. 少しは反映されている | 4. 反映されていない |

問 12 あなたは、区に意見を述べる機会や手段、方法に満足していますか。(1つに○)

- | | |
|--------------|------------|
| 1. 満足している | 3. 少し不満である |
| 2. 少しは満足している | 4. 不満である |

《問 12 で、「3」または「4」とお答えの方におたずねします》

▶ 問 12-1 どのような機会や手段、方法があればよいと思いますか (自由回答)

問 13 あなたは、社会状況や区民ニーズに応じた柔軟な区政運営ができていると思いますか。(1つに○)

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1. そう思う | 3. どちらかといえばそう思わない |
| 2. どちらかといえばそう思う | 4. そう思わない |

2. 地域との関わりについて

問 14 あなたは、日頃、地域の一員として、地域のために何か役立ちたいと思っていますか。(1つに○)

- | | |
|-------------|--------------|
| 1. 思っている | 3. あまり思っていない |
| 2. 少しは思っている | 4. 思っていない |

問 15 あなたは、お住まいの地域で、町会、自治会などの地域活動に参加していますか。(1つに○)

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1. 現在、参加している | 3. 関心はあるが、参加していない |
| 2. 以前、参加したことがある | 4. 関心がないので、参加していない |

3. 人権が尊重された多様性のある社会について

問 16 人権事業において、特に力を入れるべきことはどのようなことだと思いますか。(いくつでも○)

- | |
|--|
| 1. 学校での人権に関する学習 |
| 2. 人権問題に関する講演会や展示会の開催 |
| 3. 人権関連の相談窓口の充実 |
| 4. インターネット上での誹謗中傷やカスタマーハラスメント (カスハラ) など新たな人権問題やハラスメントについての啓発活動 |
| 5. その他 () |
| 6. 特になし |

問 17 性別等にかかわらず、誰もが自分らしく生きられるジェンダー平等社会を目指すにあたり、区としてどのような取組みが必要だと思えますか。(いくつでも○)

- | | |
|----------------------------|--------------------|
| 1. 普及啓発・広報周知事業 | 4. ワーク・ライフ・バランスの推進 |
| 2. 相談窓口等の充実 | 5. その他 () |
| 3. 多様な性自認・性的指向の人々への支援・理解促進 | 6. 特にない |

問 18 「多文化共生社会」とは、「国籍や民族などの異なる人々が互いの文化的違いを認め、理解し、地域で共に生きていく社会」を言います。

「多文化共生のまちづくり」のために、今後、区の対応として、どのようなことに力を入れるべきと思えますか。(いくつでも○)

- | | |
|----------------------------|-----------------------------|
| 1. 日本の文化や生活情報を外国人に多言語で知らせる | 8. NPO やボランティアの育成と支援 |
| 2. 日本人と外国人の交流会やイベント | 9. 外国人への偏見・差別をなくすための努力 |
| 3. 外国の文化や生活情報を日本人に紹介する | 10. 外国人の子どもや留学生への支援 |
| 4. 外国語での生活相談 | 11. 外国人が意見や提案をしやすくする |
| 5. 日本語教室の拡充 | 12. 外国人が活躍できる機会を増やす |
| 6. 日本人と外国人が意見を交換する | 13. 外国人に町会など地域コミュニティへの参加を促す |
| 7. 日本人と外国人による協働を増やす | 14. その他 () |
| | 15. 特にない |

IV. 区政全般への要望

問 19 区政全体について考えた場合、ここに掲げた1～29の項目のうち、あなたが「現在、区が力を入れていると思う施策」、「特に力を入れてほしいと思う施策」はどのようなことですか。

(○はそれぞれ5つまで)

施 策	現在、区が力を入れていると思う施策 (5つまで)	特に力を入れてほしいと思う施策 (5つまで)
誰もがいつでも主役		
平和の重要性に関する教育・啓発活動	1	1
ジェンダー平等など人権を尊重した社会づくり	2	2
多文化共生の推進	3	3
地域と共に支えあう安全・安心なまち		
防災対策	4	4
地域の活動やコミュニティの形成	5	5
住宅対策	6	6
治安対策	7	7
子育てしやすく、子ども・若者が自分らしく成長できるまち		
子育て支援の充実	8	8
学校教育の充実	9	9
子どもの健全育成	10	10
生涯にわたり健康で、地域で共に暮らせる福祉のまち		
高齢者福祉の充実	11	11
障害者（児）福祉の充実	12	12
健康づくり	13	13
保健・医療の充実	14	14
豊かな心と活発な交流を育む多彩な文化のまち		
文化・芸術の振興	15	15
生涯学習・スポーツ等の充実	16	16
活気とにぎわいを生みだす産業と観光のまち		
中小企業、地域経済の振興	17	17
観光・都市交流	18	18
消費生活対策	19	19
共につくる地球にも人にもやさしいまち		
地球温暖化対策・環境保全・資源リサイクル	20	20
みどりや公園づくり	21	21
誰もが居心地の良い歩きたくなるまち		
再開発・街づくり・街並みの整備	22	22
池袋駅周辺地域の活性化	23	23
道路交通網の整備	24	24
交通安全対策	25	25
放置自転車対策	26	26
未来を見据えた持続可能な行財政運営		
行財政改革	27	27
情報発信の強化	28	28
区民サービスのデジタル化	29	29

▶ 問 19-1 問 19 で選んだ5つの「特に力を入れてほしいと思う施策」の中で、一番力を入れてほしいものの番号とその理由を書いてください。

番号	理由

V. あなたご自身のことについて（※統計的に分析するために使用します。）

① あなたの自認する性をお答えください。（1つに○）

1. 男性 2. 女性 3. () ※自認する性を記載してください。

② あなたの年齢について、お答えください。（1つに○）

1. 18～19歳 5. 35～39歳 9. 55～59歳 13. 75～79歳
2. 20～24歳 6. 40～44歳 10. 60～64歳 14. 80歳以上
3. 25～29歳 7. 45～49歳 11. 65～69歳
4. 30～34歳 8. 50～54歳 12. 70～74歳

③ あなたの職業について、お答えください。（1つに○）

1. 自営業主 6. 専業の主婦（主夫）
2. 家族従業（家事手伝い・家族従業者等） 7. 学 生
3. 勤め（全日・正規） 8. 無 職
4. 勤め（全日・非正規） 9. その他（ ）
5. 勤め（パートタイム）

《③で、「3～5」とお答えの方におたずねします》

▶ ④お勤めの方にお聞きします。あなたの仕事の内容を次の中からお選びください。（1つに○）

1. 経営・管理職（会社、団体、官公庁の役員・課長以上の管理職など）
2. 専門・技術職（病院勤務医、弁護士、税理士、研究所研究員、教員、食品・機械・建築・情報処理・医療等の技術者、看護師、栄養士、保育士、新聞記者、デザイナーなど）
3. 事務職（事務系・営業系事務員、事務機械オペレーターなど）
4. 労務・技能職（工員・職人・大工、警察官、消防士、守衛、清掃員、運転手、車掌など）
5. 販売・サービス職（店員、販売外交員、保険外交員、給仕、調理師、介護職員、理・美容師など）
6. その他（ ）

⑤ 配偶者はいらっしゃいますか。（豊島区パートナーシップ・ファミリーシップ届受理証明書の交付を受けた方・事実婚の方を含みます。）（1つに○）

1. いる 2. いない

《⑤で、「1」とお答えの方におたずねします》

▶ ⑥共働きをしていますか。（1つに○）

1. 共働きしている（パート・アルバイトを含む） 2. 共働きしていない

⑦ あなたのお住まいの町名について、お答えください。(町名の番号に○印を付け、()内に何丁目かお書きください。) 記入例 ① 駒込 (2) 丁目

1. 駒込 () 丁目	8. 南池袋 () 丁目	15. 南長崎 () 丁目
2. 巣鴨 () 丁目	9. 西池袋 () 丁目	16. 長崎 () 丁目
3. 西巣鴨 () 丁目	10. 池袋 () 丁目	17. 千早 () 丁目
4. 北大塚 () 丁目	11. 池袋本町 () 丁目	18. 要町 () 丁目
5. 南大塚 () 丁目	12. 雑司が谷 () 丁目	19. 高松 () 丁目
6. 上池袋 () 丁目	13. 高田 () 丁目	20. 千川 () 丁目
7. 東池袋 () 丁目	14. 目白 () 丁目	

⑧ あなたの豊島区にお住まいの年数について、お答えください。(1つに○)

1. 2年以上～3年未満	3. 5年以上～10年未満	5. 15年以上～20年未満
2. 3年以上～5年未満	4. 10年以上～15年未満	6. 20年以上

⑨ 豊島区に住み始めたのはいつですか。お答えください。(1つに○)

1. 生まれた時から	3. 大学・専門学校生の頃	5. 結婚した頃
2. 子どもの頃(高校生まで)	4. 就職した頃	6. その他 ()

⑩ あなたが豊島区に住む前に住んでいた地域について、お答えください。(1つに○)

1. 生まれてからずっと豊島区に住んでいる	6. 練馬区	11. 神奈川県
2. 新宿区	7. その他の特別区	12. その他の関東
3. 文京区	8. 東京都の市町村	13. その他の国内
4. 北区	9. 埼玉県	14. 外国
5. 板橋区	10. 千葉県	

⑪ あなたの国籍をお答えください。(1つに○)

1. 日本	2. 日本以外
-------	---------

⑫ あなたの世帯の構成について、お答えください。(1つに○)

1. 単身者	3. 親と子	5. その他
2. 夫婦のみ	4. 三世代	()

《⑫で、「3. 親と子」または「4. 三世代」とお答えの方におたずねします》

▶⑬ご家族の中に次に該当するお子さんは何人いらっしゃいますか。

就学前の乳幼児	() 人
小学生	() 人
中学生	() 人

⑭あなたのお住まいの形態について、お答えください。(1つに○)

1. 持ち家 (一戸建)	5. UR 都市機構・公社・公営の賃貸住宅
2. 持ち家 (分譲マンションなどの集合住宅)	6. 社宅・公務員住宅
3. 民間の借家 (一戸建て)	7. 住み込み・寮・寄宿舎など
4. 民間の借家 (賃貸マンション・アパート等の集合住宅)	8. その他 ()

⑮ あなたの世帯の年収 (税込) について、差し支えなければ、お答えください。(1つに○)

1. 200万円未満	5. 800万円～1,000万円未満
2. 200万円～400万円未満	6. 1,000万円～1,500万円未満
3. 400万円～600万円未満	7. 1,500万円以上
4. 600万円～800万円未満	

最後に、これからの豊島区のまちづくりについて、ご意見やご要望があれば、ご自由にお書きください。

調査にご協力いただき大変ありがとうございました。

この調査票は、同封の返信用封筒に入れて **令和6年12月9日(月)** までにお近くの郵便ポストに投函してください。(切手を貼る必要はありません。)



協働のまちづくりに関する区民意識調査 報告書

令和7年(2025)年3月発行
(令和6年11月調査)

調査主体 豊島区 政策経営部 企画課
〒171-8422 東京都豊島区南池袋 2-45-1
電話 03-3981-1111 (代表)

調査実施 一般社団法人輿論科学協会
〒160-8509 東京都新宿区四谷 4-16-3
電話 03-5944-0711 (代表)

